カラーレーザープリンター

DocuPrint C3530

ドキュプリント

取扱説明書

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

ハードディスクドライブのデータ消失

外部からの衝撃やユーザーマニュアルなどに記載された方法に従わない電源の遮断などの理由によって、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスに関連する被害

コンピューターウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制 (電波規制や材料規制など) は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

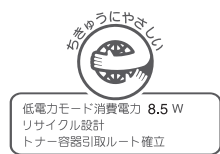
はじめに

このたびは DocuPrint C3530 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、本機で印刷するための準備、操作方法、および使用上の注意事項などについて記載してあります。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
本書は、読んだあとも必ず保管してください。本書で使用しているイラストは、両面印刷機能付きで 3 トレイキャビネットを装着したモデルを例に記載しています。
［お願い］☆保証書は大切に保管してください。

富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラス I のレーザーシステム」です。取扱説明書に従って操作してください。取扱説明書に書かれた以外の操作は行なわないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

DocuPrint C3530 は、財団法人日本環境協会エコマーク事務局認定・エコマーク商品類型 No.122「プリンタ」商品です。（認定番号：第 02122012 号）。本機は、省エネルギー、部品の再使用の推進・再資源化、および有害物質の排除を実現することによって、エコマーク認定基準に適合した、ライフサイクルを通して環境に配慮したプリンターです。

弊社は、製品の研究開発から廃棄にいたる事業活動全般において、地球環境の保全を経営の重要課題のひとつに位置づけております。これまでも環境負荷を低減するために、生産施設におけるフロンの全廃など、さまざまな活動を展開してまいりました。
また、お客様の身近なところでは、複写機やプリンターで使用した用紙、消耗品のカートリッジやパーツなどのリサイクルを推進することにより、今後も資源の保護に積極的に取り組んでまいります。
このような活動の一環として、DocuPrint C3530 に、弊社の品質基準に適合したリサイクル・パーツを使用しております。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合せて障害を防止してください。

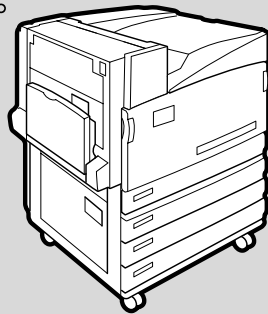
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

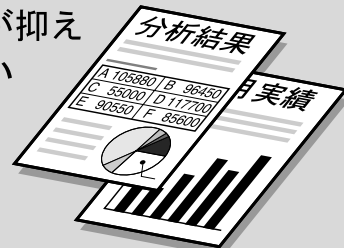
本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

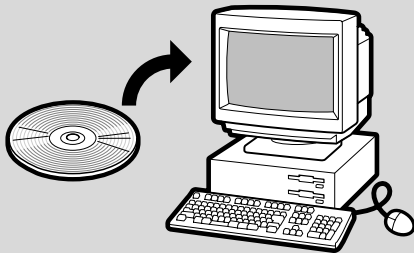
DocuPrint C3530 の特長

DocuPrint C3530 は、次のような特長があります。

カラーも白黒も35枚/分で印刷できます。

カラー、白黒ともに、A4▯用紙に毎分35枚の速さで印刷できます。
（同一原稿を連続印刷した場合）

ビジネス文書に最適な画質で印刷できます。

オイルレス定着技術の採用で、ビジネス文書に多い黒文字は読みやすく、グラフィックスや写真は、カラー印刷特有のテカリが抑えられています。

プリンタードライバーのインストールや設定が簡単です。

CentreWareのCD-ROMを使って、プリンタードライバーのインストールやプリンターの設定などが、簡単にできます。

マルチクライアント環境をサポートします。

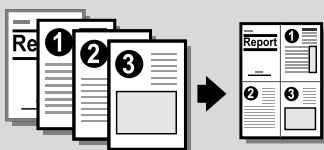
標準搭載しているページ記述言語の「ART EX」のほかに、「PostScript®ソフトウエア」「ART Ⅳ/エミュレーション」がオプションで用意されています。

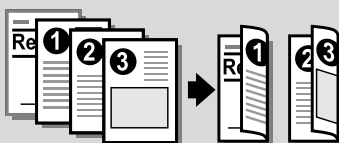
TrustMarkingに対応しています。

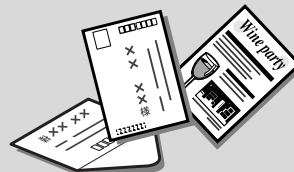
「TrustMarking」および「TrustMarkingBasic」を別途ご購入いただくことにより、複写機でコピーすると浮かび上がる隠し文字列を、特殊なプリントパターンとして埋め込んでプリントできます。

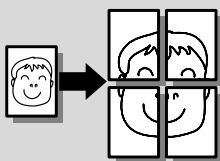
こんな印刷ができます。

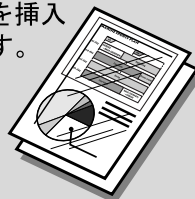
まとめて1枚(Nアップ)

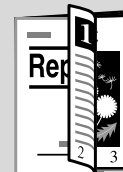
1枚の用紙に、複数のページを割り付けて印刷します。

両面印刷

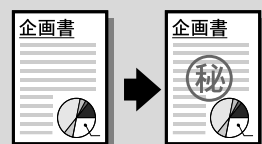
用紙の両面に印刷します。
(両面機能付きの場合)

はがき、封筒など

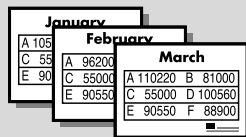
官製はがき、封筒などの特殊紙に印刷できます。

拡大連写

ポスターなどを作製するときに使用します。

OHP合紙

OHPフィルムを1枚印刷するごとに、自動的に用紙を挿入します。

小冊子作成

正しいページ順の小冊子になるように、両面印刷とページ配分を組み合わせて印刷します。(両面機能付きの場合)

スタンプ

印刷データに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて印刷します。

フォーム*

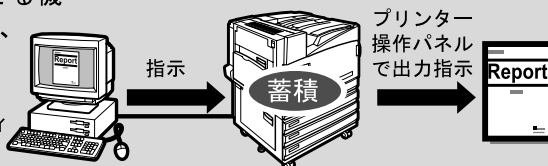
使用頻度の高い印刷フォームは、フォーム機能を利用すると、データ転送の時間が短縮できます。

受信制限

TCP/IPプロトコルを使用する場合、印刷を受け付けるIPアドレスを制限できます。

セキュリティー/サンプルプリント*

セキュリティープリントとは･･･
印刷指示したデータを、いったん、プリンター本体に蓄積させて、印刷したいときにプリンターの操作パネルからの指示で出力させる機能です。第三者に見られたくない文書や、機密文書を印刷するときに便利です。

サンプルプリントとは･･･
複数部数を印刷する場合に、まず1部だけ印刷し、残りの部数は印刷結果を確認してから、プリンターの操作パネルからの指示で出力させる機能です。

* セキュリティー/サンプルプリントとフォーム機能を使用するには、オプションの内蔵増設ハードディスクと、256MB以上のメモリーが必要です。

設定項目については、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

参照

オンラインヘルプの使い方、目次については、「4.2.2　オンラインヘルプの使い方」(P.48) を参照してください。

目　次

第 4 章 印刷する

第 5 章　日常管理

第 6 章　トラブル対処方法

第 7 章　共通メニューの設定

付　録

マニュアル体系について

ここでは、本機のマニュアルの種類と、その概要を説明します。

本体同梱マニュアル

本機には次のマニュアルが同梱されています。

セットアップガイド

本機の設置方法について説明しています。

取扱説明書 ＜本書＞

本機で印刷するまでの準備、操作方法、およびトラブルの対処方法などについて説明しています。

オプション品同梱マニュアル

別売りのオプション品に、必要に応じてマニュアルが同梱されています。マニュアルは同梱されている CD-ROM に格納されている場合もあります。

PostScript® ソフトウエアキット設置手順書 / 取扱説明書

設置手順書では、PostScript ソフトウエアキットの設置方法を説明しています。取扱説明書（PDF）では、PostScript Driver Library に入っているソフトウエアの説明やインストール方法、使用方法、および HP-GL/2 エミュレーションモードの設定方法などについて説明しています。

ART Ⅳ / エミュレーションキット設置手順書 / 設定ガイド

設置手順書では、ART Ⅳ / エミュレーションキットの設置方法について説明しています。設定ガイド（PDF）では、ART Ⅳ、ESC/P、HP-GL/2、201H の各エミュレーションモードの設定方法などについて説明しています。

参照
各エミュレーション設定ガイドは、本体に同梱されている CD-ROM 内に格納されています。

補足
PostScript ソフトウエアキットと ART Ⅳ / エミュレーションキットは、同時に装着できません。

マニュアル（HTML）

プリンタードライバーのインストール、プリンターの環境設定などを説明しています。同梱されている CentreWare の CD-ROM に入っています。

商品マニュアル

必要に応じて購入していただくマニュアル（リファレンスマニュアル（ART Ⅳ対応）など）もあります。
これらのマニュアルでは、プリンター（プロッター）制御言語のコマンドやソフトウエアのインストール手順などを説明しています。

本書の読み方

ここでは、本書の読み方について説明します。

前提知識

本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。
お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、コンピューター、OS（オペレーティングシステム）、ネットワークシステムに付属の説明書をお読みください。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

第 1 章　プリンター環境の設定

ローカルプリンター、またはネットワークプリンターとして使用する場合の接続例と、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。

第 2 章　プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーのインストールについて説明しています。

第 3 章　プリンターの基本操作

各部の名称と働き、電源の入 / 切、印刷の中止方法について説明しています。

第 4 章　印刷する

主な印刷方法について説明しています。

第 5 章　日常管理

用紙について、用紙のセット方法、消耗品の交換方法など、日常の管理について説明しています。
また、本機で出力できるレポート / リストについてや、コンピューターから本機の状態を確認したり設定したりできるツール（CentreWare Internet Services）について説明しています。

第 6 章　トラブル対処方法

トラブル（紙づまり、エラーメッセージなど）が発生したときの対処方法について説明しています。

第 7 章　共通メニューの設定

プリンターの操作パネルから設定できる項目の概要と、その設定方法について説明しています。

付録

主な仕様や Q&A などを記載しています。

本書の表記

① 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足　補足事項を記述しています。

参照　参照先を記述しています。

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

参照「　　」：参照先は、本書内です。

参照『　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。

「　　」：フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD-ROM などの名称を表します。

[　　]：コンピューター上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。

〈　　〉キー：キーボード上のキーを表しています。

〈　　〉ボタン：操作パネル上のボタンを表しています。

【　　】：操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージ、メニューの選択肢や設定値を表します。

④チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

⑤ラジオボタンがチェックされている項目が、選択されている項目です。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。**

⚠注意　**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。**

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを抜け

アースを接続せよ

設置および移動時の注意

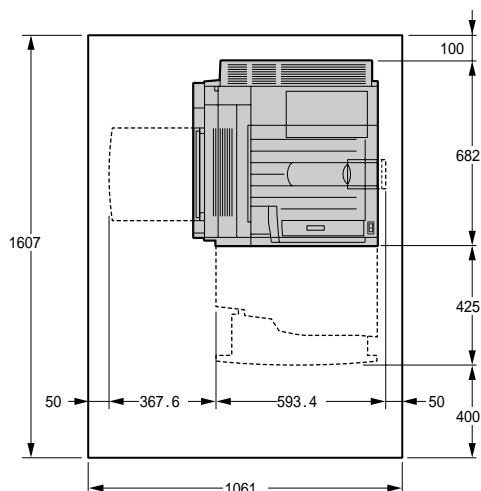
⚠注意

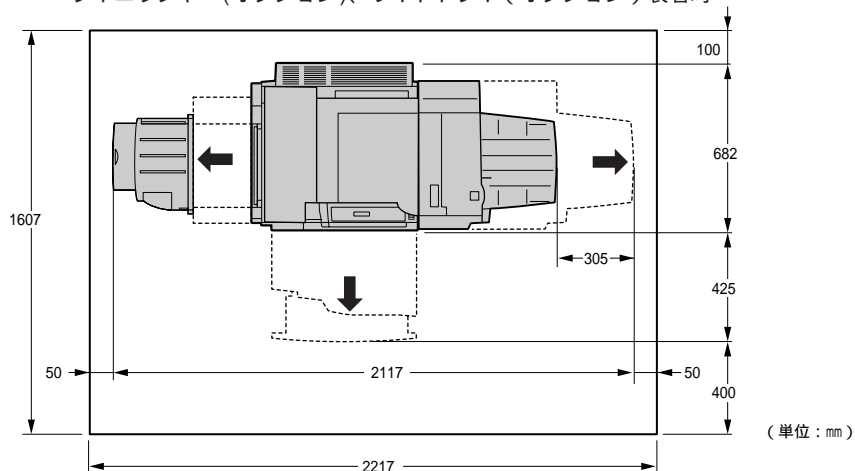
高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

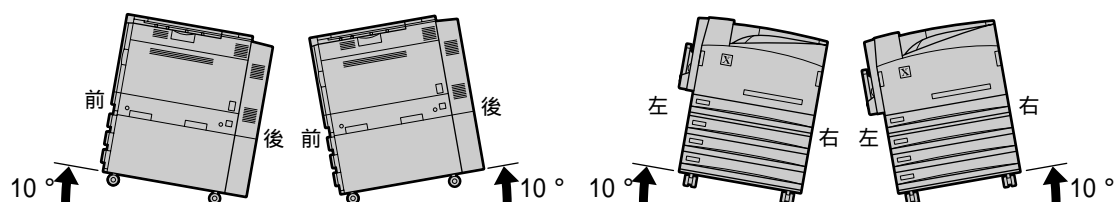
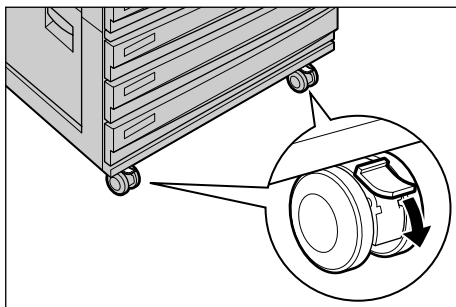
ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

機械は、重さ　160.5kg（標準（両面機能付き）＋大容量給紙キャビネット（オプション）モデル+サイドトレイ（オプション）+フィニッシャー（オプション））に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

機械を移動するときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

機械の背面、上面奥と上面左側には通気口があります。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。
また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

フィニッシャー(オプション)、サイドトレイ（オプション）装着時

（単位：㎜）

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、機械を 10 度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

機器を設置したあとは、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

その他

- **いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。**
  温度 10 〜 32 ℃　湿度 15 〜 85% （結露がないこと）
  温度が 32 ℃のときは湿度 47.5% 以下、湿度が 85% のときは温度 27.8 ℃以下でお使いください。

  補足
  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

- **直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。**

- **イーサネットケーブルを直接屋外に接続すると落雷などにより故障するおそれがあります。**
  屋内接続のみ使用してください。

電源およびアース接続時の注意

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は 100V、15A となっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ているアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線）弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

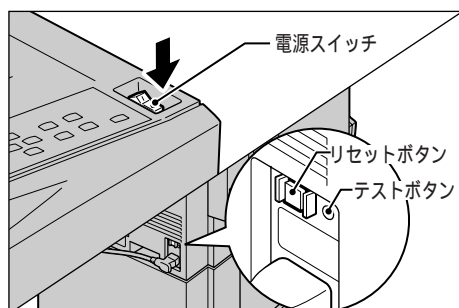
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店までご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

機械の本体には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態（「｜」の状態）にしておきます。1ヶ月に1度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電ブレーカーが働かなくなり感電の原因となるおそれがあります。
なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。異常などがある場合は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店までご連絡ください。

① プリンターの電源を切ります。
② ブレーカーのリセットボタンを押し込みます。このとき、リセットボタンから手を離しても、リセットボタンは押し込まれたままの状態となります。
③ ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていたリセットボタンが解除され、突き出ます。
これで確認は終了です。
④ 再度、リセットボタンを押して、リセットボタンを押し込んだ状態に戻します。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

インターフェイスケーブルおよびオプションを装着するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

その他

● 機械には、落雷によるサージ電流からの保護回路が内蔵されています。付近に落雷が発生したときは電源スイッチを切り、電源コードを機械から外して、雷がおさまるのを待ってください。

機械使用上の注意

⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、ディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

この商品は、レーザーの国際規格 IEC60825（Class1）に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは商品内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

付属の CD-ROM を CD-ROM 対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音量により、耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。

⚠注意

機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

電気を通しやすい紙（折り紙・カーボン紙・コート紙など）は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

用紙トレイを引き出すときはゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。
なお、紙片や用紙が定着部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。

狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。頭痛などの原因となるおそれがあります。

その他

- 紙づまりの処置や故障の処置を行うときは、本書をよくお読みください。

消耗品取り扱い上の注意

⚠警告

トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。トナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

トナー、トナー回収ボトル、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を濡らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、粉じん発火する可能性があります。

⚠注意

フューザーカートリッジを取り外すときには、必ず電源スイッチを切って、20 分後にフューザーカートリッジを取り外してください。

その他

- **消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。**
  - **高温、多湿の場所**
  - **火気のある場所**
  - **直射日光が当たる場所**
  - **ホコリが多い場所**
- **消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された「取り扱い上の注意」をよく読んでから使用してください。**
- **回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは環境保護・資源有効活用のため、リサイクルしています。**

－取り扱い上の注意－

不要となりましたトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは適切な処置が必要です。必ず弊社または販売店にお渡しください。

● 以下の事項に従って、応急措置を行ってください。
  - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
  - トナーを吸入した場合は、多量の水でよくうがいをしてください。
  - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだ物を吐き出させ、速やかに医師に相談し指示を受けてください。

フィニッシャー使用上の注意

詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分にご注意ください。

フィニッシャーが作動しているとき、作動部分には触れないでください。指をはさみ、ケガをすることがあります。

安全スイッチには、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、またはフィニッシャーを右へ動かして本体と分離したときには、安全スイッチが働いて、機械は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、機械は作動状態になり、ケガの原因となることがあります。

電源を切るときの注意

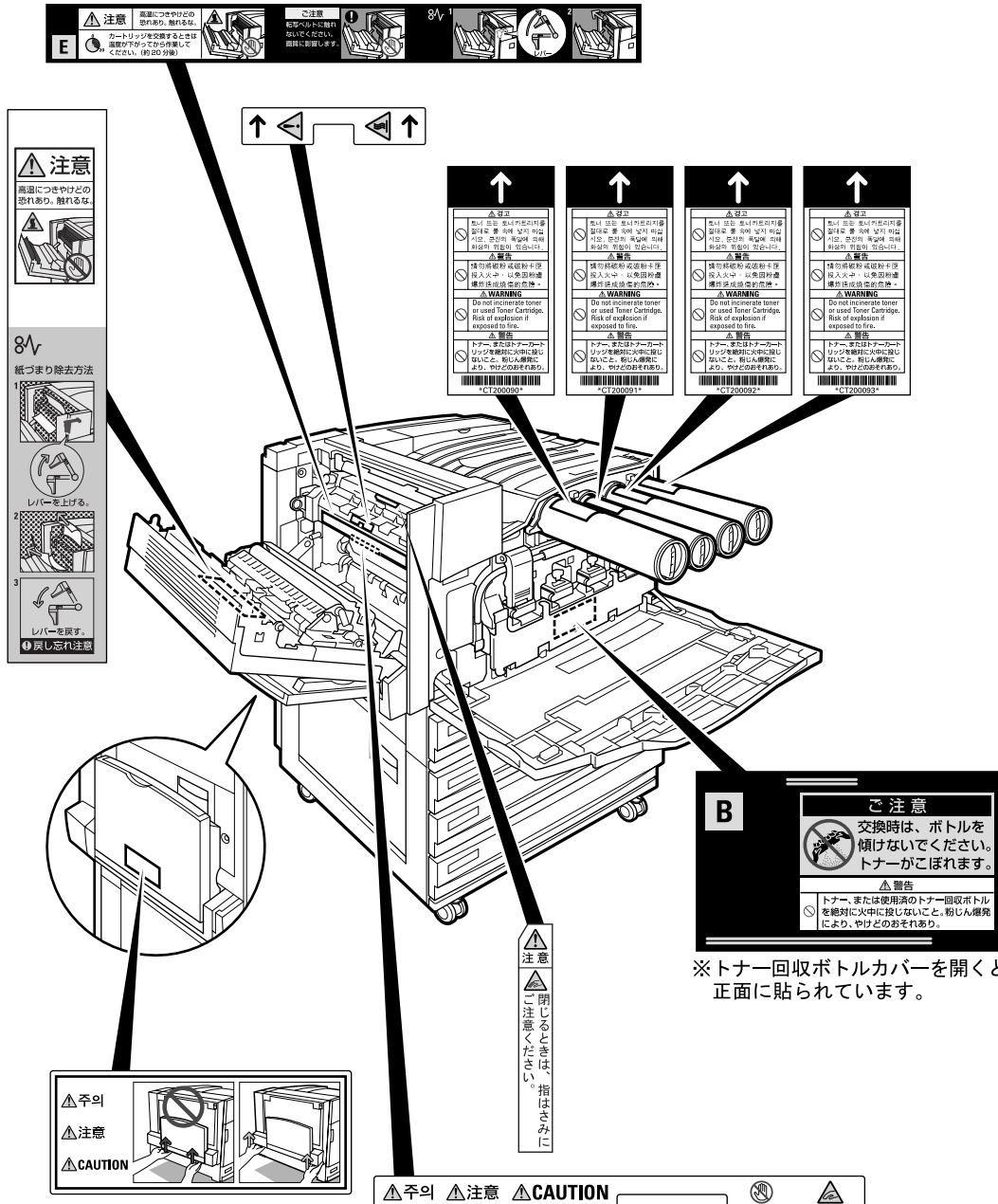
その他

● 電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。
通常の操作時に電源を切るときは、操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】が表示されていることを確認してから、電源を切ってください。

● メモリーカードリーダー（推奨品）装着時は、本機の電源を切るまえに、メディアプリントキットの電源が切れていることを確認してください。

■警告および注意ラベルの貼り付け位置

本機には安全にお使いいただくために以下のような警告ラベルおよび注意ラベルが機械内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。

※トナー回収ボトルカバーを開くと正面に貼られています。

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的にしています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

節電モードについて（スリープモード）

本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能をもっています。工場出荷時の設定では 30 分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に定着部の電力を止めて、消費電力を節約するようになっています。
この設定は、15 ～ 240 分の間で 1 分刻みに設定できます。操作の詳細については、本書の「5.7　節電機能（スリープモード）を利用する」(P.166) を参照してください。

法律上の注意事項

1． 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。

- ❏ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
  これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
- ❏ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2． 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

- ❏ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
- ❏ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
- ❏ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
- ❏ 役所または公務員の印影、署名、記名。
- ❏ 私人の印影または署名。

3． 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

(1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

(2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

(3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

権利者の許諾なく、複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

- ❏ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
- ❏ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
- ❏ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
- ❏ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
  ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
- ❏ 学校教科書への掲載。
  ただし、権利者への補償金が必要です。
- ❏ 学校その他教育機関における複製。
  ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
- ❏ 試験問題としての複製。
  ただし、権利者への補償金が必要です。

プリンター環境の設定

1 章

1.1 使用できる環境について

本機を使用できる環境について説明します。
本機をコンピューターに直接接続すると、ローカルプリンターとして使用できます。
本機をネットワークに接続すると、ネットワークプリンターとして使用できます。本機はマルチプロトコルに対応しているので、異なったネットワーク環境でも、1 台のプリンターを共有できます。

ローカル

本機とコンピューターを、パラレルケーブル、または USB ケーブルで接続して印刷します。

■パラレルケーブル接続の場合

参照

「2.2　プリンタードライバーのインストールについて」(P.25)

注記

パラレルケーブルは、弊社別売りのものを使用してください。弊社取り扱い以外のパラレルケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。

■USB ケーブル接続の場合

Windows® 98 Second Edition/Windows® Me/Windows® 2000/Windows® XP の各 OS プレインストールモデルのコンピューターを使用している場合は、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続して印刷できます。

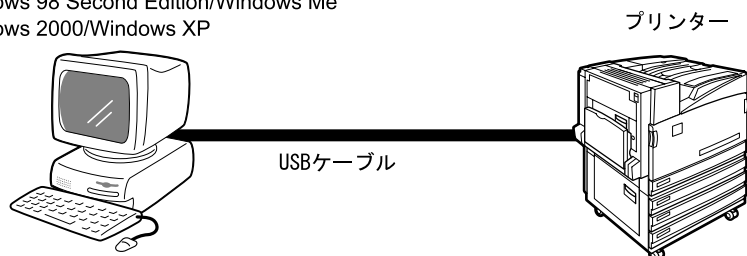
注記

USB ケーブルは、コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてから接続してください。

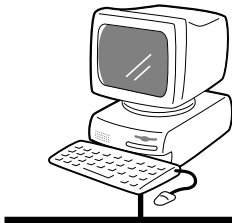
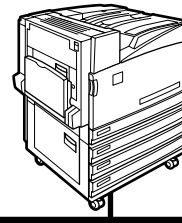
補足

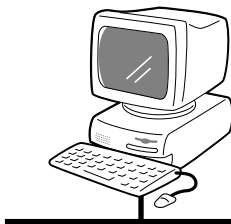
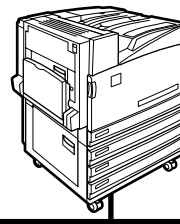
本機は、USB1.1 が標準で使用できます。USB2.0 を使用する場合は、オプションの USB2.0 キットが必要です。

参照

「2.2　プリンタードライバーのインストールについて」(P.25)

Windows® ネットワーク (SMB)

SMB (Server Message Block) とは、Windows® 95/Windows 98/Windows Me/Windows NT® 4.0/Windows 2000/Windows XP上でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルです。SMB を使用すると同一ネットワーク（Ethernet インターフェイス）上のプリンターに、サーバーなどを経由しないで、印刷データを直接送信し、印刷できます。
SMB のトランスポートプロトコルは、NetBEUI、または TCP/IP が使用できます。ただし、Windows XP では、NetBEUI はサポートされていません。

参照
「2.2　プリンタードライバーのインストールについて」(P.25)

TCP/IP(Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP)

本機は、TCP/IP(LPD) をサポートしているので、Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP から、lpr で印刷データを直接送信して印刷できます。この場合は、本機と Windows コンピューターに IP アドレスの設定が必要です。
また、Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP 上に登録したプリンターを共有に設定することで、Windows 95/Windows 98/Windows Me からも、この共有プリンターを介して印刷できます。

参照
「2.2.1　ネットワーク上のプリンターに直接印刷する場合（TCP/IP 環境（LPR/LPD）の場合）」(P.26)

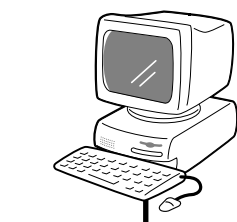
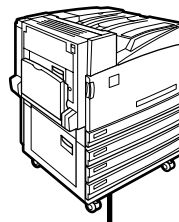
■ Windows 2000/Windows XP では、次のような印刷もできます。

- **本機は、Port9100 をサポートしているため、設定したポートに印刷データを直接送信して印刷できます。**
- **本機は、IPP をサポートしているため、プリンターのポートに、プリンターの URL を指定してインターネット印刷ができます。**

TCP/IP(Windows 95/Windows 98/Windows Me)

TCP/IP 環境で、Windows 95/Windows 98/Windows Me から印刷する場合は、TCP/IP Direct Print Utility を使用します。
TCP/IP Direct Print Utility とは、Windows 95/Windows 98/Windows Me から、同一ネットワーク（Ethernet インターフェイス）上のプリンターに、サーバーなどを経由しないで、印刷データを直接送信して印刷するための弊社製ソフトウエアです。この場合、本機と Windows 95/Windows 98/Windows Me には、IP アドレスの設定が必要です。
TCP/IP Direct Print Utility のプロトコルは、LPD が使用できます。

参照

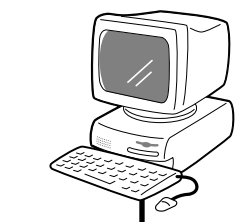
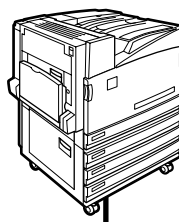
「2.2.1　ネットワーク上のプリンターに直接印刷する場合（TCP/IP 環境（LPR/LPD）の場合）」（P.26）

■Windows Me では、次のような印刷もできます

本機は、IPP をサポートしているため、プリンターのポートに、プリンターの URL を指定してインターネット印刷ができます。

TCP/IP(UNIX)

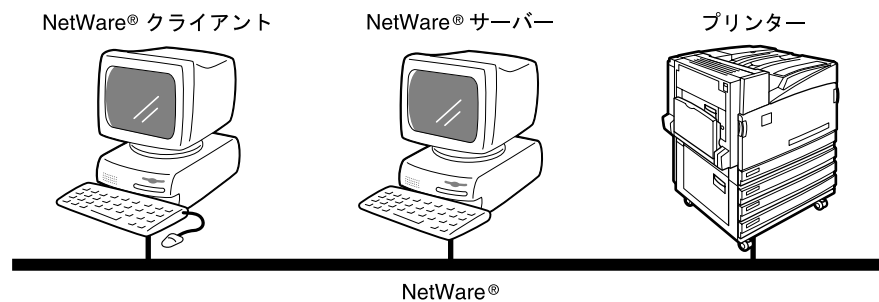
本機は、TCP/IP プロトコルをサポートしているので、UNIX マシンから印刷できます。本機と UNIX マシンには、IP アドレスの設定が必要です。

参照

UNIX マシンから印刷する方法については、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

NetWare®

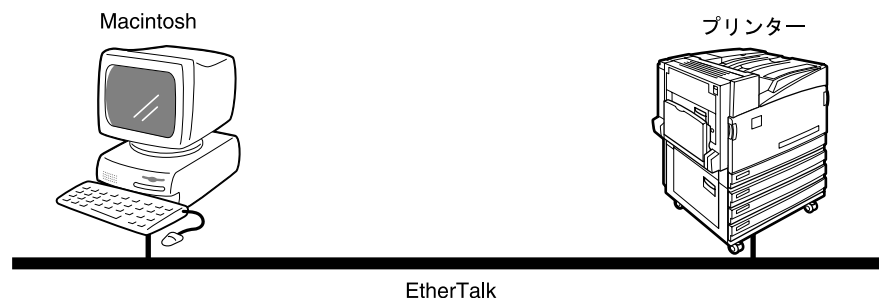
本機は、ネットワークOSとして、Novell社製のNetWare 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1までの各バージョンに対応し、バインダリおよびNDS（4.11J以上）でプリントサーバー（PServer）モードだけをサポートしています。
プリントサーバーモードでは、プリンター自身がプリントサーバーとして動作し、プリントキューにあるジョブを取り出して印刷します。本機は、ファイルサーバーのユーザーライセンスを1つ消費します。
また、NetWareのプロトコルは、TCP/IPとIPX/SPXが使用できます。

注記
リモートプリンター（RPrinter）モードはサポートしていません。

参照
NetWareを使用して印刷する場合は、本機に同梱されているCD-ROM内のマニュアルを参照してください。

AppleTalk

本機は、AppleTalkプロトコルをサポートしているので、Macintoshから、EtherTalkを使用して印刷できます。

補足
EtherTalkを使用して印刷するには、オプションのPostScriptソフトウエアキットが必要です。

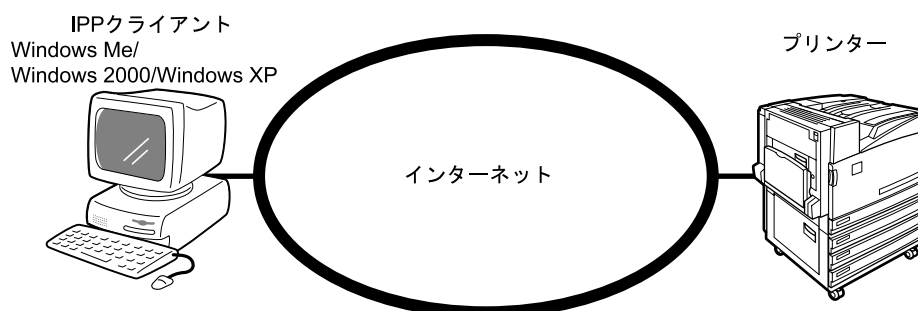
参照
使用方法については、PostScriptソフトウエアキットに同梱されているCD-ROM内のマニュアルを参照してください。

インターネット印刷（IPP）

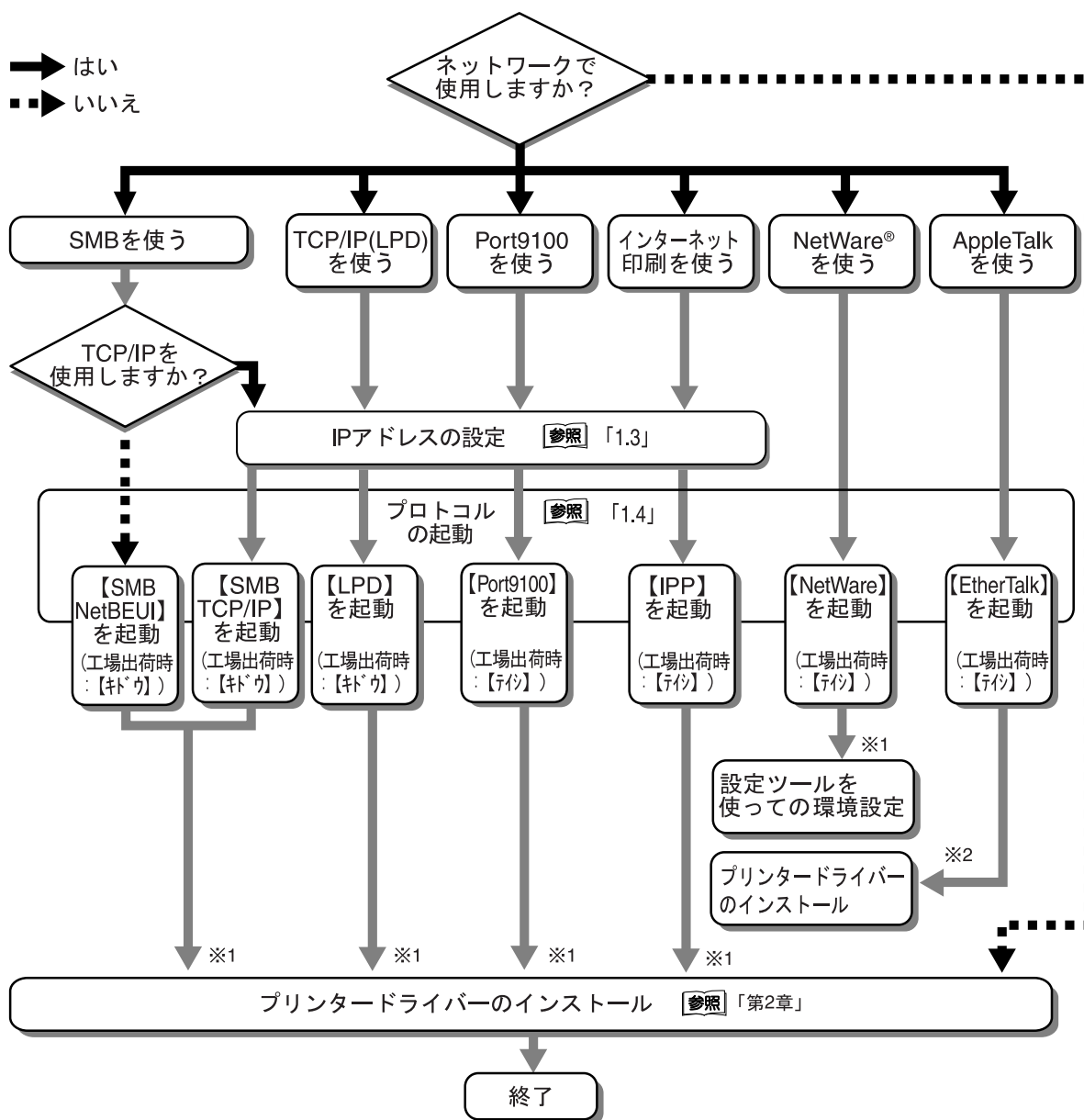
本機は、IPP(Internet Printing Protocol) をサポートしているので、Windows Me/Windows 2000/Windows XP からインターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンターに印刷できます。また、Windows 2000/Windows XP は IPP プリンターに印刷するためのクライアントソフト（IPP ポートモニタ）を装備しているので、［プリンタの追加］ウィザードから、IPP 対応プリンターを指定できます。
トランスポートプロトコルは、TCP/IP を使用します。

補足

Windows Me でインターネット印刷をする場合は、IPP ポートをインストールする必要があります。IPP ポートのインストール方法については、Windows Me に付属の説明書を参照してください。

参照

IPP を使用して印刷する場合は、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

1.2 プリンター環境の設定の流れ

プリンターの環境を設定する流れについて説明します。
下図を参照して、それぞれのプリンター環境に必要な設定を確認してください。

※１　詳細については、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。
※２　オプションの PostScript ソフトウエアキットを装着している場合の、プリンタードライバーのインストール方法については、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

1.3 IP アドレスを設定する

ここでは、IP アドレスの設定方法について説明します。
IP アドレスの設定方法には、以下の 2 通りがあります。

- **プリンター用操作パネルから設定する**
- **同梱されている CD-ROM 内の「IP アドレス設定ツール」を使用する**

ここでは、プリンター用操作パネルから設定する方法を説明します。CD-ROM から IP アドレスを設定する場合は、CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

補足

IP アドレスを変更する場合は、CentreWare Internet Services から操作できます。CentreWare Internet Services については、「5.1　コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services)」(P.98) を参照してください。
ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上に、DHCP、BOOTP、または RARP 環境がある場合、本機はこれらのアドレス情報を各サーバーから取得できます。
工場出荷時の設定では、これらのアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するようになっています。

注記

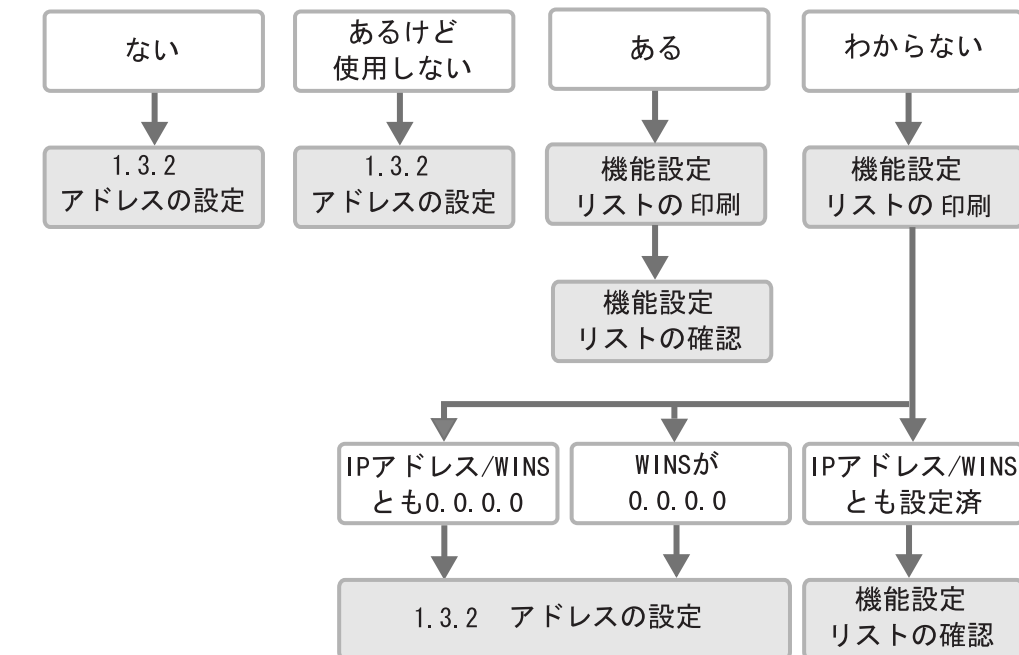
- DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS(Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。
- BOOTP サーバーまたは RARP サーバーを使用する場合は、プリンター用操作パネルで、「IP アドレス取得方法」の項目を【BOOTP】または【RARP】に変更してください。また、BOOTP や RARP 環境について不明な場合は、システム管理者に確認してください。

参照

各項目の詳細や設定方法については、「第 7 章　共通メニューの設定」(P.235) を参照してください。

1.3.1 設定の流れ

DHCP サーバーがあるかどうかわからないときは、ここで説明する操作手順に従って、DHCP サーバーの有無を確認します。DHCP サーバーがある場合は、IP アドレスは自動的に設定されるので、IP アドレスの入力は不要です。DHCP サーバーがない場合は、「1.3.2　アドレスの設定」(P.11) を参照し、IP アドレスを設定してください。

DHCP サーバーの確認

補足
DHCP 環境について不明な場合は、システム管理者に確認してください。

設定リストの印刷

操作手順

1 「5.5　レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照して、「機能設定リスト」を印刷します。

2 「機能設定リスト」の［コミュニケーション設定］項目の、「TCP/IP：IP アドレス」、「TCP/IP：サブネットマスク」、「TCP/IP：ゲートウェイアドレス」、「WINS：プライマリー WINS サーバー」、「WINS：セカンダリー WINS サーバー」のアドレスを確認します。「機能設定リスト」の確認方法については、次の「設定リストの確認」を参照してください。

設定リストの確認

■TCP/IP、WINS ともにアドレスが取得されていない場合

DHCP サーバーと WINS サーバーは存在しません。「1.3.2　アドレスの設定」(P.11) を参照し、IP アドレスを設定してください。

■TCP/IPにアドレスは取得されているが、WINSにアドレスが取得されていない場合

WINS サーバーは存在しません。本機に割り当てられている IP アドレスが変更になった場合に印刷できなくなる可能性があるので、DHCP 環境を使用しないでください。「1.3.2　アドレスの設定」(P.11) を参照し、手動で本機の IP アドレスを設定してください。

■TCP/IP、WINS 共にアドレスが取得されている場合

DHCP サーバーと WINS サーバーが稼動しています。DHCP 環境を使用することをお勧めします。本機の IP アドレスは DHCP サーバーが設定します。WINS サーバーには、「機能設定リスト」の［SMB］項目の「ホスト名」に記載された名前（FXxxxxxx）が登録されます。

1.3.2　アドレスの設定

ここでは、操作パネルで IP アドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。
なお、IP アドレスの設定の初期表示が違う場合があります。最初に、【IP アドレスノシュトクニシッパイシマシタ】と表示された場合は、〈メニュー〉ボタンを押して、はじめから操作してください。

IP アドレスの設定

サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定

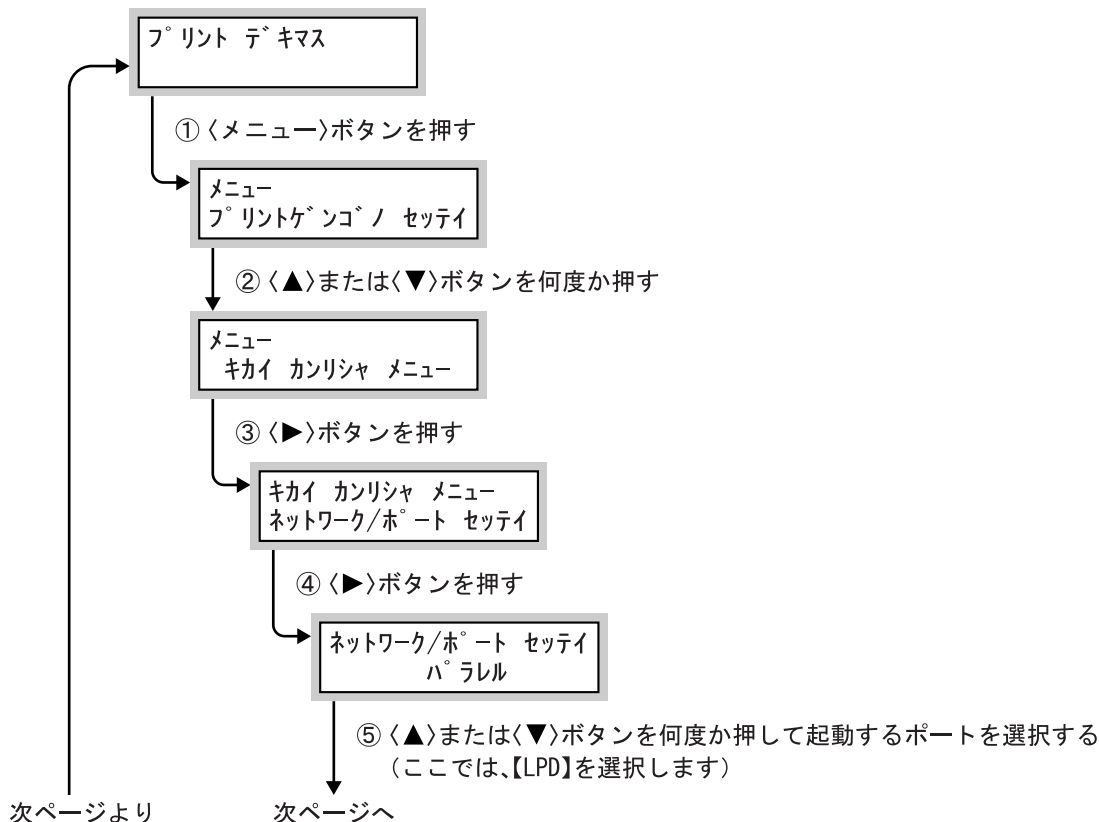
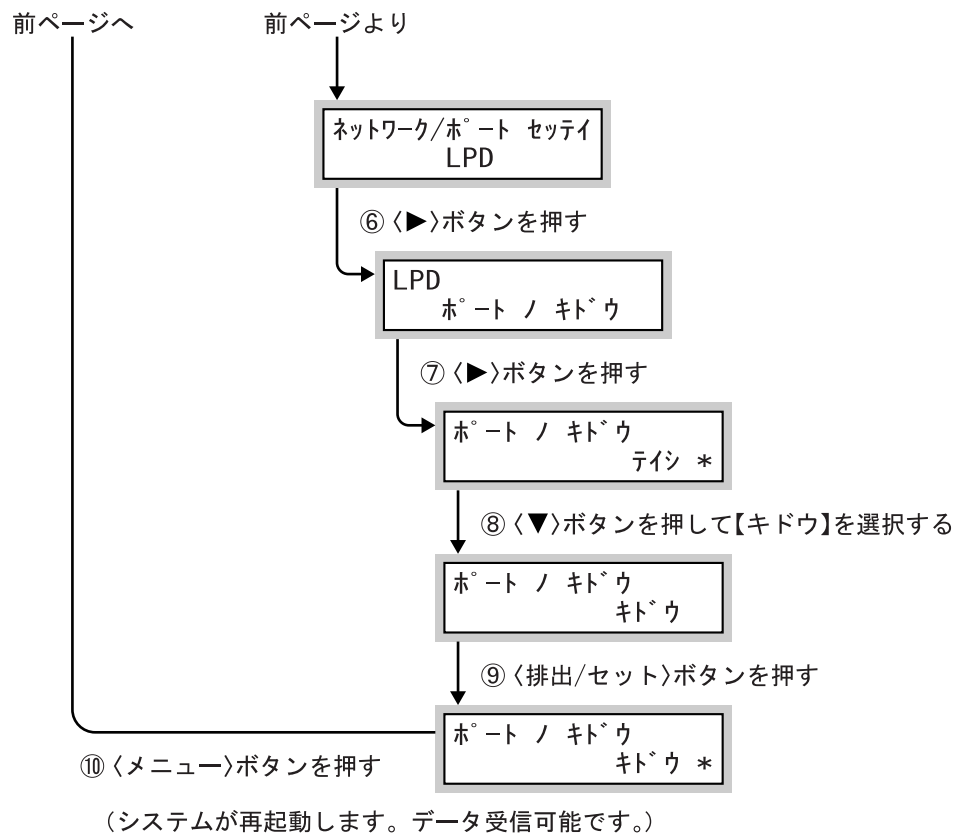
前ページへ
前ページより
TCP/IP ｾｯﾃｲ
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
⑧〈▶〉ボタンを押す
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
000.000.000.000*
⑨〈▲〉〈▼〉〈▶〉〈◀〉ボタンでサブネットマスクを入力する
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
XXX.XXX.XXX.XXX
⑩〈排出/セット〉ボタンを押す
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
XXX.XXX.XXX.XXX*
⑪〈◀〉ボタンを何度か押す
TCP/IP ｾｯﾃｲ
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
⑫〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押す
TCP/IP ｾｯﾃｲ
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
⑬〈▶〉ボタンを押す
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000*
⑭〈▲〉〈▼〉〈▶〉〈◀〉ボタンでゲートウェイアドレスを入力する
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX
⑮〈排出/セット〉ボタンを押す
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX*
⑯〈メニュー〉ボタンを押す
（システムが再起動します。データ受信可能です。）

1.4 ポートを設定する

IP アドレスの設定、または設定を確認したあと、使用するポートの起動と、必要に応じてトランスポートプロトコルの設定をします。
ここでは、ポートを「起動」に設定する手順、SNMP エージェント（工場出荷時：起動）を「起動」に設定する手順、SMB ポート（工場出荷時：起動）およびトランスポートプロトコルを設定する手順について説明します。
SNMP エージェントは、CentreWare などのプリンターをリモートで管理するソフトウエアを使うときに起動します。
SMB ポートは、Windows ネットワーク (SMB) 環境で本機を使用するときに起動します。
また、CentreWare Internet Services からもポートを設定できます。詳しくは、「5.1 コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services）」(P.98) を参照してください。

参照
EtherTalk ポートを使用する場合は、オプションの PostScript ソフトウエアキットが必要です。

1.4.1 ポートを起動する

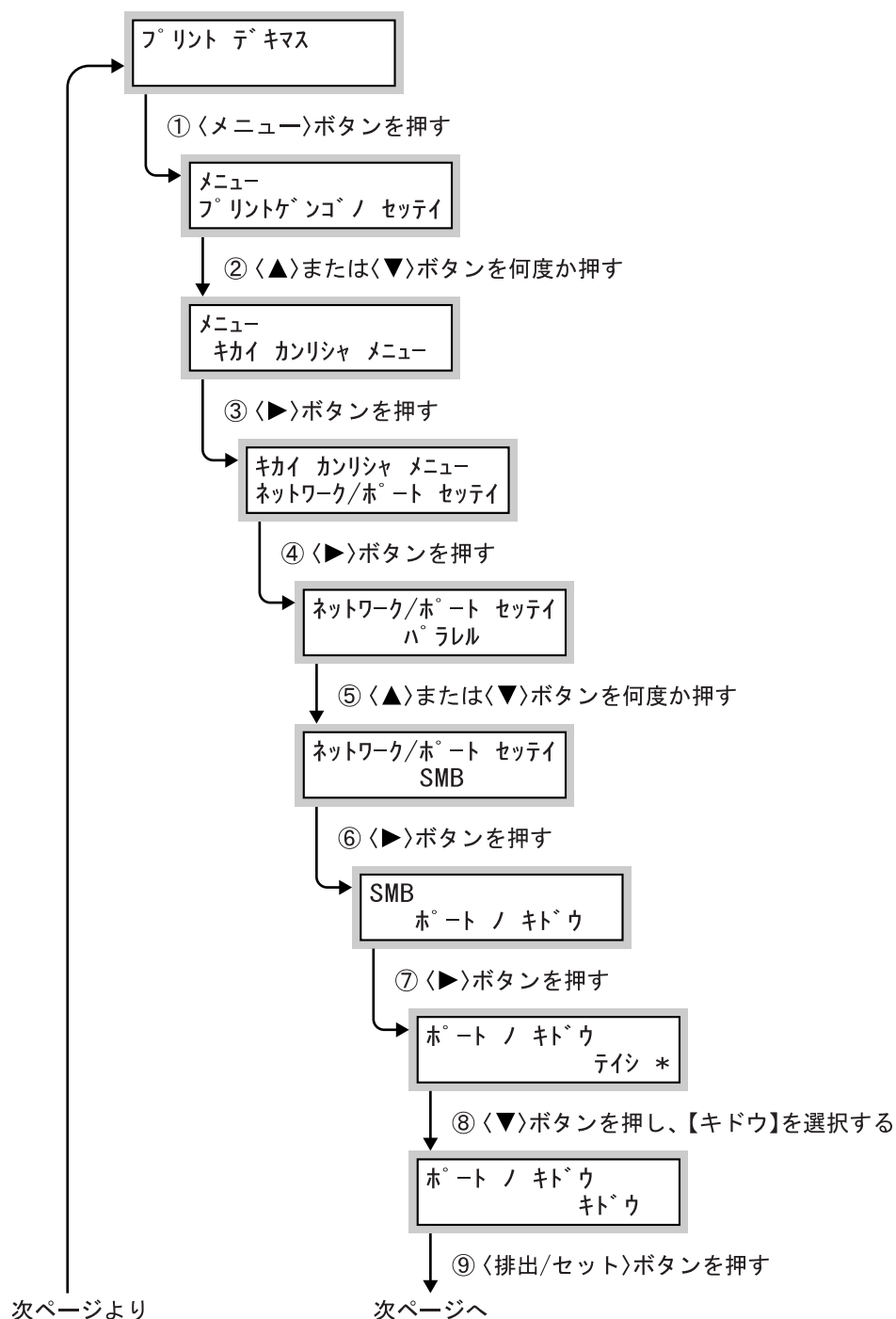
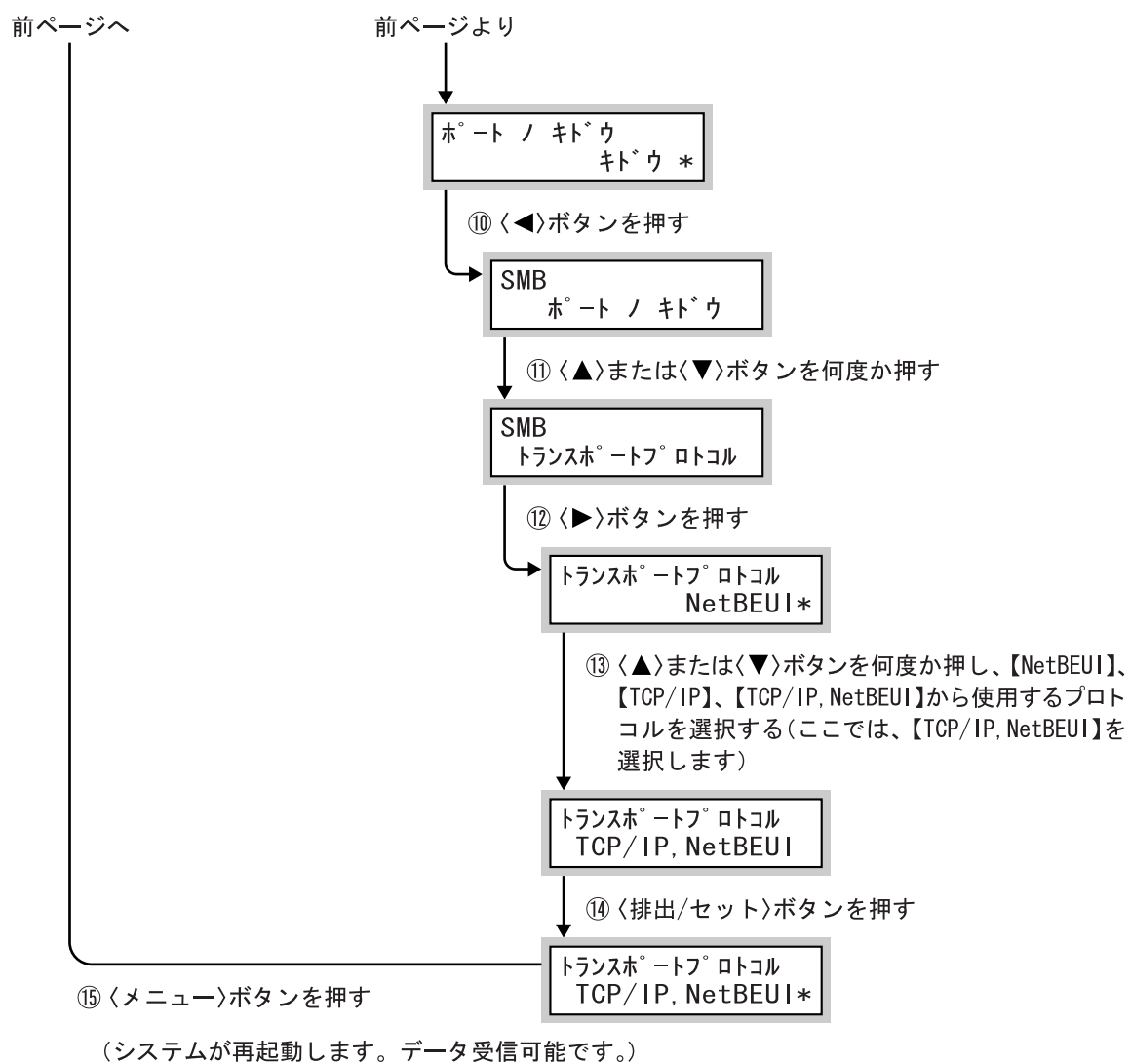
ここでは、LPD ポートを起動状態にする手順を例に説明します。

1.4.2 SNMP エージェントを起動する

SNMP エージェントを起動し、トランスポートプロトコルを【IPX】、【UDP】、または【IPX,UDP】から選択します。

前ページへ
前ページより
ネットワーク/ポート セッテイ
パラレル
⑤〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押す
ネットワーク/ポート セッテイ
SNMP セッテイ
⑥〈▶〉ボタンを押す
SNMP セッテイ
ポート ノ キドウ
⑦〈▶〉ボタンを押す
ポート ノ キドウ
テイシ ＊
⑧〈▼〉ボタンを押す
ポート ノ キドウ
キドウ
⑨〈排出/セット〉ボタンを押す
ポート ノ キドウ
キドウ ＊
⑩〈◀〉ボタンを押す
SNMP セッテイ
ポート ノ キドウ
⑪〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押す
SNMP セッテイ
トランスポート プロトコル
⑫〈▶〉ボタンを押す
トランスポート プロトコル
IPX ＊
⑬〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して【UDP】、
または【IPX,UDP】を選択する（ここでは、【UDP】を
選択します）
トランスポート プロトコル
UDP
⑭〈排出/セット〉ボタンを押す
トランスポート プロトコル
UDP ＊
⑮〈メニュー〉ボタンを押す
（システムが再起動します。データ受信可能です。）

1.4.3　SMB のポート、プロトコルを起動する

SMB ポートを起動し、トランスポートプロトコルを設定します。ここでは、トランスポートプロトコルを【TCP/IP,NetBEUI】に設定する手順を例に説明します。

（システムが再起動します。データ受信可能です。）

1.5 メモリーの割り当てについて

ここでは、メモリーの割り当てについて説明します。
本機では、下表の用途にメモリーが割り当てられます。なお、オプションの装着状態によって、割り当てられるメモリーの種類が異なります。

メモリーの種類	標準	ART IV	PS(HP-GL)
プリントページバッファ	○	○	○
ART EX フォームメモリー	△	△	△
ART IVフォームメモリー	×	△	×
ART IVユーザ定義メモリー	×	○	×
HPGL オートレイアウトメモリー	×	△	△
PS 使用メモリー	×	×	○
受信バッファ容量	○	○	○

○ ：設定可
× ：設定不可
△ ：内蔵増設ハードディスク装着時は設定不可
ART IV ：ART IV / エミュレーションキット
PS(HP-GL)：PostScript ソフトウエアキット

補足
オプションの内蔵増設ハードディスクを装着すると、LPD、SMB、IPP の受信バッファ容量の［ハードディスクスプール］を選択できるようになります。必要に応じて、［ハードディスクスプール］に設定してください。

メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Services で設定できます。メモリーの割り当ての設定は、電源を切って入れ直したとき（または、システムリセット時）に変更されます。

参照
- 各メモリーの容量、スプールの初期値などの詳細や操作パネルでの設定については、「7.2 共通メニュー項目の説明」(P.238) を参照してください。
- CentreWare Internet Services の操作については、「5.1 コンピューターからプリンターを設定する (CentreWare Internet Services)」(P.98) を参照してください。

プリントページバッファ

実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。したがって、プリントページバッファの容量を直接変更することはできません。実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、「機能設定リスト」の［メモリー］項目で確認できます。
解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように、使用しない項目のメモリー容量を減らしてください。

参照
- 「機能設定リスト」の印刷方法については、「5.5 レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照してください。
- プリントページバッファの容量は、CentreWare Internet Services を使っても確認できます。CentreWare Internet Services については、「5.1 コンピューターからプリンターを設定する (CentreWare Internet Services)」(P.98) を参照してください。

ART EX フォームメモリー

ART EX フォームで使うメモリー容量を指定します。

ART IVフォームメモリー

ART IVフォームで使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションの ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

ART IVユーザー定義メモリー

ART IVユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションの ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

HPGL オートレイアウトメモリー

HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションの PostScript ソフトウエアキット、または ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

PS 使用メモリー

PostScript の使用メモリー容量を指定します。この項目は、オプションの PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。

受信バッファ容量

コンピューターからの受信データを一時的に蓄積するための領域です。複数のポートからのデータを同時に受信するために、ポートごとに受信バッファを用意しています。受信バッファには、次の種類があります。

- パラレル用受信バッファ
- LPD 用受信バッファ
- NetWare 用受信バッファ
- SMB 用受信バッファ
- IPP 用受信バッファ
- EtherTalk 用受信バッファ
- USB 用受信バッファ
- Port9100 用受信バッファ

受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなることがあります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。また、使用していないポートは、ポート状態を停止にして、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。
LPD/SMB/IPP では、スプール処理を指定できます。工場出荷時は【スプールシナイ】に設定されています。スプールには、【メモリースプール】と【ハードディスクスプール】があります。【メモリースプール】を指定した場合、設定した容量を超えるデータは受信できません。容量の大きいデータの場合は、オプションの内蔵増設ハードディスクを装着し、【ハードディスクスプール】を指定してください。

補足
- EtherTalk を設定するには、オプションの PostScript® ソフトウエアキットが必要です。
- IPP は、【メモリースプール】の設定はできません。

スプールには、スプールモードとノンスプールモードがあります。

スプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、一時的に本機側のスプールファイルに格納して印刷処理をするモードです。スプールファイルの格納先は、本機内のメモリーを使った RAM ディスク、または本機に接続されたハードディスクから選択できます。印刷データのスプール後の処理はすべて本機側で行われるので、コンピューターのアプリケーションが早く解放されます。複数のコンピューターからの要求を同時に処理できます。

ノンスプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、本機側で受信しながら印刷処理を行うモードです。本機がコンピューターからの印刷要求を処理している場合、ほかのコンピューターからの印刷要求は受け付けません。

プリンタードライバーのインストール

2.1 概要

コンピューターから印刷するために、プリンタードライバーをインストールします。プリンタードライバーとは、コンピューターからの印刷データや印刷指示を、本機が解釈できるデータに変換するソフトウエアです。
ここでは、本機の機能を使って印刷するために必要な、ART EX プリンタードライバーを、同梱されている CD-ROM を使ってインストールするために必要な環境について説明します。

2.1.1 対象 OS とシステム環境

- **サポートしている OS 環境**
  Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版 *
  *ServicePack 1 以上、または Microsoft Internet Explorer4.0 以上が必要です。
  Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
  Microsoft® Windows® Me Operating System 日本語版
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
  Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版
  Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版
  Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版
  Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版
- **必要なシステム環境**
  必要なシステム環境については、本機に同梱されている CD-ROM の補助説明書を参照してください。

補足

- 対象 OS の最新情報については、CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。
- ［プリンタの追加］からもプリンタードライバーをインストールできます。本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルおよび製品情報を参照して、本機とお使いの OS に合ったフォルダーを選択してください。

2.1.2 ネットワーク環境

ネットワークサーバーを介して印刷したり、「プリンターネームサービス」を動作させるためには、以下の環境が必要です。

- **サポートしているネットワークサーバー (OS) 環境**
  Novell NetWare 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1
  Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
  Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
  Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  Microsoft Windows XP Professional 日本語版
- **必要なシステム環境**
  必要なシステム環境については、本機に同梱されている CD-ROM の補助説明書を参照してください。

参照

プリンタネームサービス、ネットワークサービス補助ツール（プリンタネームサービス）については、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

2.2 プリンタードライバーのインストールについて

プリンタードライバーのインストール方法は、使用する環境によって異なります。該当する項を参照して、プリンタードライバーをインストールしてください。

■TCP/IP ネットワーク上にあるプリンターに、lpr を使用して直接印刷する場合

参照
「2.2.1　ネットワーク上のプリンターに直接印刷する場合（TCP/IP 環境（LPR/LPD）の場合）」(P.26)

以下の環境の場合は、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してプリンタードライバーをインストールしてください。

■SMB を使用して、プリンターに直接印刷する場合

■NetWare サーバーや、Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP などのネットワーク上の共有プリンターを経由して印刷する場合

■インターネット印刷（IPP）する場合

■Port9100 を使用して、プリンターに直接印刷する場合

■コンピューターとプリンターをパラレルケーブルで接続し、ローカルプリンターとして使用する場合

■コンピューターとプリンターを USB ケーブルで接続し、ローカルプリンターとして使用する場合

注記
USB ケーブルは、コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてから接続してください。

2.2.1 ネットワーク上のプリンターに直接印刷する場合（TCP/IP 環境（LPR/LPD）の場合）

TCP/IP ネットワーク上のプリンターにコンピューターからサーバーを介さずに直接印刷するための、プリンタードライバーのインストール手順を説明します。

補足
- Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合、同時に弊社製 TCP/IP Direct Print Utility もインストールされます。
- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の場合、OS 標準の LPR ポートを使用します。

インストールをはじめる前に

コンピューターに TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合、プリンタードライバーのインストール中に、TCP/IP プロトコルについてのエラーメッセージが表示されることがあります。プリンタードライバーをインストールする前に、次のことを確認してください。

■Windows 95/Windows 98/Windows Me

LPD ポートを使用して印刷する場合、コンピューター側では弊社製「TCP/IP Direct Print Utility(TCP/IP プロトコル)」を使用します。TCP/IP Direct Print Utility は、プリンタードライバーと同時にインストールされます。TCP/IP Direct Print Utility をインストールする前に、コンピューターに「TCP/IP プロトコル」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows 95/Windows 98/Windows Me に付属の説明書を参照してインストールしてください。

■Windows NT 4.0

LPD ポートを使用して印刷する場合、コンピューターに「TCP/IP プロトコル」と「Microsoft TCP/IP 印刷」がインストールされていることを確認します。

インストールされていない場合は、Windows NT 4.0 に付属の説明書を参照してインストールしてください。

■Windows 2000/Windows XP

LPD ポートを使用して印刷する場合、コンピューターに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」がインストールされていることを確認します。

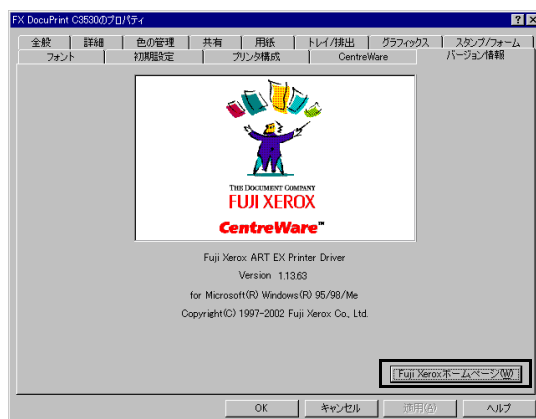
インストールされていない場合は、Windows 2000/Windows XP に付属の説明書を参照してインストールしてください。

2.3 最新プリンタードライバーの入手方法

最新プリンタードライバーの入手方法について説明します。

操作手順

1 **プリンターのプロパティ画面の［バージョン情報］タブをクリックします。**

2 **［Fuji Xerox ホームページ］をクリックします。**

補足
CentreWare EasyOperator をインストールしている場合には、右側の画面が表示されます。

ブラウザーが起動して、ホームページが表示されます。

3 **指示に従って、該当するプリンタードライバーをダウンロードします。**

補足

- 本機に同梱されているCD-ROMを使って弊社のホームページを参照し、最新プリンタードライバーのダウンロードができます。インストールメニューの［ホームページへ］をクリックすると、ブラウザーが起動してホームページが表示されます。指示に従って、プリンタードライバーをダウンロードしてください。
- 弊社のダウンロードサービスページのアドレス（URL）は、次のとおりです。

  http://download.fujixerox.co.jp/
- 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。
- 最新のプリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのオンラインヘルプをごらんください。
- CentreWare EasyOperatorのドライバーインストールツールを使用すると、弊社ホームページからダウンロードできるプリンタードライバーがお使いのプリンタードライバーより新しい場合、新しいプリンタードライバーを自動でダウンロードできます。更新方法の詳細については、本機に同梱されているCD-ROM内のマニュアルを参照してください。

2.4 アンインストールについて

プリンタードライバーのアンインストールについて

Windows 用のプリンタードライバーは、本機に同梱されている CD-ROM 内のプリンタードライバーアンインストールツールを使ってアンインストールできます。

参照

詳しくは、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

TCP/IP Direct Print Utility のアンインストールについて

Windows 95/Windows 98/Windows Me にインストールした TCP/IP Direct Print Utilityは、本機に同梱されているCD-ROM内の製品情報からTCP/IP Direct Print Utility の「readme.txt」を参照してアンインストールしてください。

USB Print Utility のアンインストールについて

Windows 98/Windows Me にインストールした USB Print Utility は、本機に同梱されている CD-ROM 内の CD-ROM 内の製品情報から USB Print Utility の「readme.txt」を参照してアンインストールしてください。

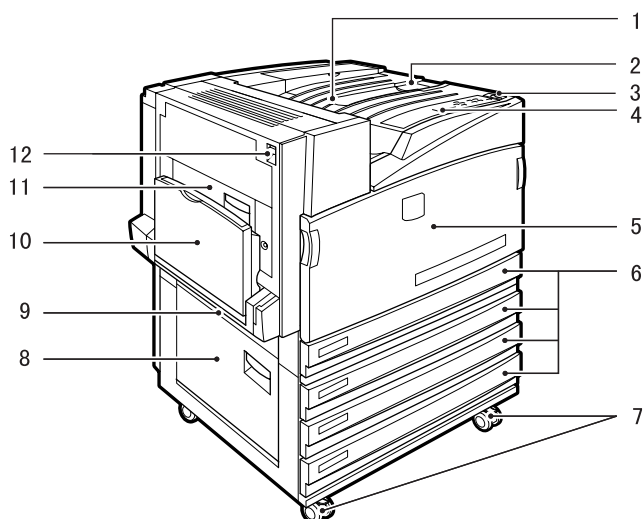
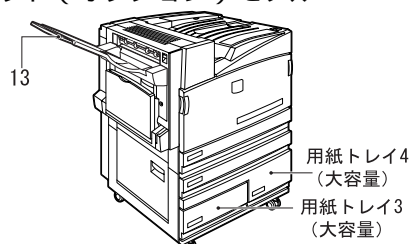
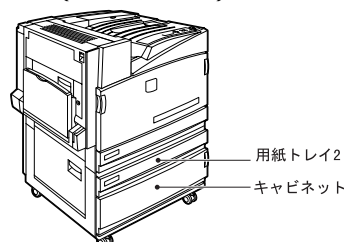
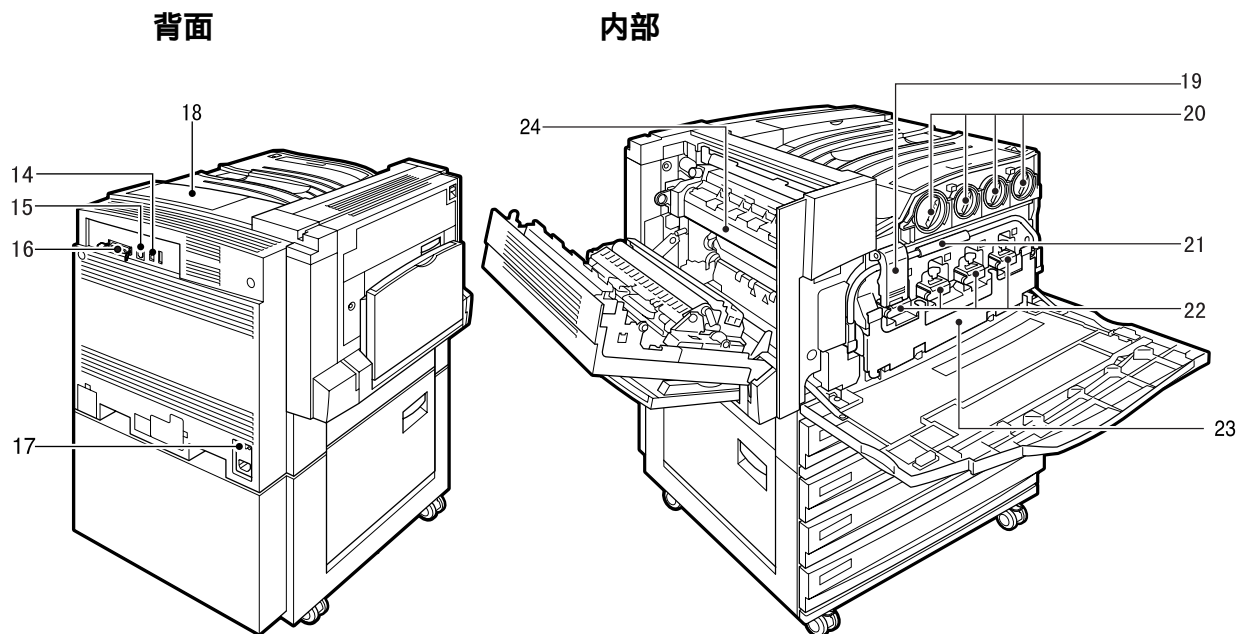
プリンターの基本操作

3章

3.1 各部の名称と働き

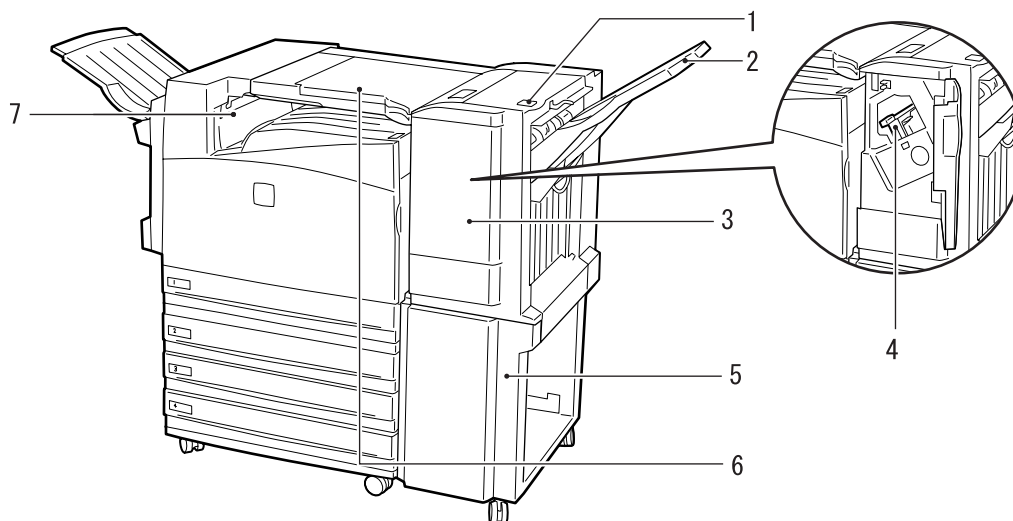
本体

前面

**標準（両面機能付き）＋
3 トレイキャビネット（オプション）モデル**

標準（両面機能なし）＋大容量給紙キャビネット（オプション）モデル

標準（両面機能付き）＋ 1 トレイキャビネット（オプション）モデル

番号	名　称	働　き
1	排出トレイ	印刷されたものが印刷面を下にして、ここに排出されます。
2	用紙止め	印刷するときに立てて使用します。
3	電源スイッチ	機械の電源を入 / 切するスイッチです。
4	操作パネル	ボタン操作部、および機械の部位の番号が記された表示部があります。
5	フロントカバー	消耗品を交換するときに開けます。
6	用紙トレイ 1、2、3、4	ここに用紙をセットします。トレイの段数は、モデルによって異なります。
7	キャスター	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。
8	R1 カバー	2 段以上のトレイがある場合で、紙づまりを処置するときに開けます。
9	R2 カバー	紙づまりを処置するときに開けます。
10	用紙トレイ 5（手差し）	用紙トレイ 1、2、3、4 にセットできない用紙を印刷するときに使用します。
11	R3 カバー	両面機能付きの場合、紙づまりを処置するときに開けます。
12	R4 カバー	紙づまりや、消耗品の交換時に開けます。
13	サイドトレイ	印刷されたものが印刷面を上にして、ここに排出されます。サイドトレイは、オプションです。

番号	名　称	働　き
14	USB コネクター	USB ケーブルを接続します。
15	10Base-T/100Base-TX コネクター	10Base-T/100Base-TX Ethernet インターフェイスケーブルを接続します。
16	パラレルインターフェイスコネクター	セントロニクス準拠インターフェイスケーブルを接続し、コンピューターと接続します。
17	ブレーカースイッチ	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。
18	プリンターオプション用カバー	オプションの内蔵増設ハードディスクや増設メモリーを装着するときに、開けます。
19	ストッパー	ハンドルを固定します。
20	トナーカートリッジ	ブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) の 4 色のトナー（画像形成剤）が入っています。
21	ハンドル	ドラムカートリッジを交換するときに、ストッパーを解除しておろします。
22	ドラムカートリッジ (A1 、A2 、A3 、A4)	感光体がセットされています。 プリンターに向かって左から、A1、A2、A3、A4 です。
23	トナー回収ボトルカバー	使用済みのトナーを回収するトナー回収ボトル(B)が奥に入っています。トナー回収ボトルを交換するときに開けます。
24	フューザーカートリッジ (E)	トナーを用紙に定着させる部分です。高温なので触れないように注意してください。

⚠注意

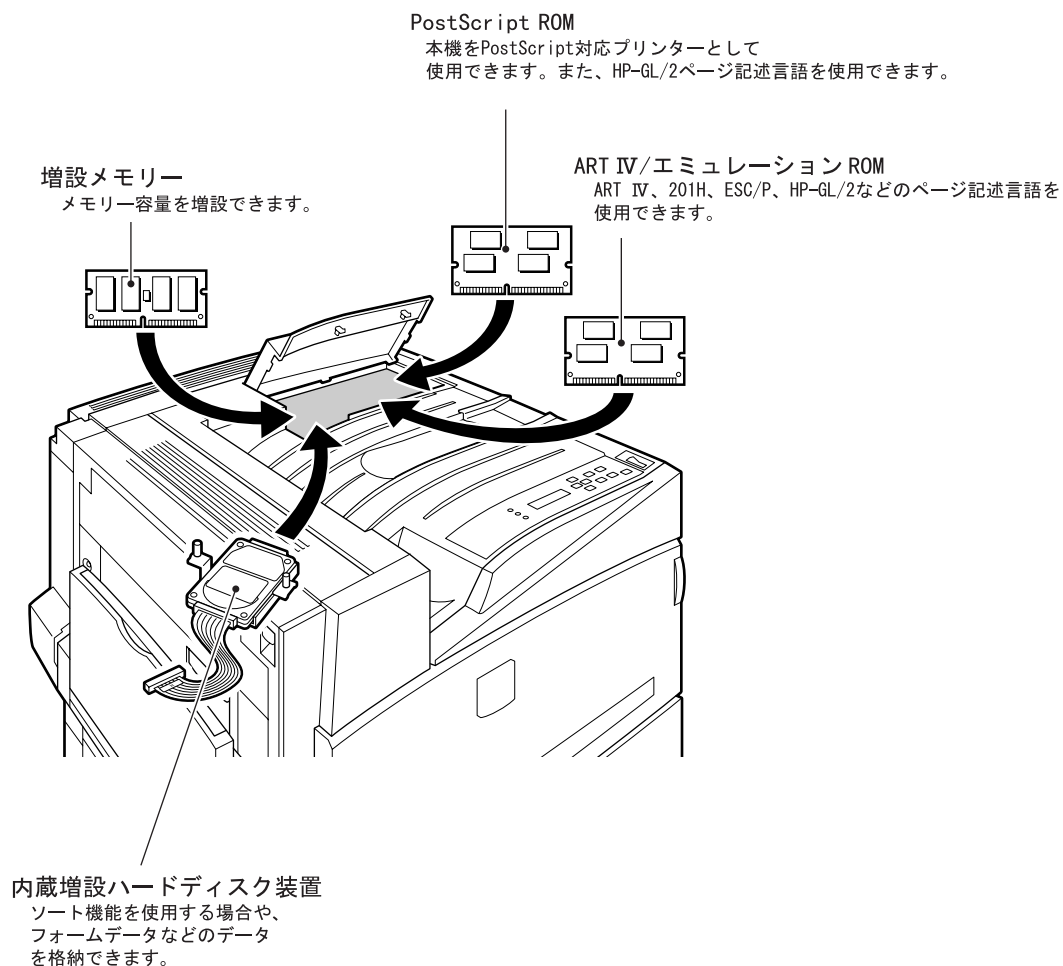
「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

ライトステープルフィニッシャー

番号	名　称	働　き
1	フィニッシャー上面カバーボタン	紙づまりの処置のときに、このボタンを押すと、フィニッシャーの上面カバーが開きます。
2	フィニッシャートレイ	ホチキス留めされた用紙が排出されます。
3	フィニッシャーフロントカバー	ホチキス針の交換、針づまりの処置のときに、開けます。
4	ホチキスカートリッジ	ホチキスカートリッジが内蔵されています。ホチキス針の交換、針づまりの処置のときに取り出します。
5	スタンド	本体とフィニッシャー部を接続している台です。
6	フィニッシャー接続部上面カバー	紙づまりの処置のときに、このカバーを開けます。このカバーを開ける場合は、必ずフィニッシャーを右側に移動してください。
7	センタートレイ排出口カバー	紙づまりの処置のときに、このカバーを開けます。

補足

- ライトステープルフィニッシャー（以降、フィニッシャーと記載します）はオプションです。
- フィニッシャーを装着する場合は、内蔵増設ハードディスク、256MB 以上のメモリーが必要です。

その他のオプション製品

補足

- PostScript® ソフトウエアキットとARTⅣ/エミュレーションソフトウエアキットは、同時に装着できません。
- 内蔵増設ハードディスク、PostScript ソフトウエアキット、またはARTⅣ/エミュレーションソフトウエアキットを装着する場合は、256MB 以上のメモリーが必要です。

操作パネル

操作パネルについて説明します。

参照

ディスプレイの表示については､｢ディスプレイの表示について｣(P.35)を参照してください。

番号	名　称	働　き
1	**表示部**	**エラーが発生した場合に、メッセージに表示されるカバーや用紙トレイの位置を、ここで確認します。**
2	**トナー交換ランプ**	**トナーが残り少なくなると、ランプが点灯します。新しいトナーを準備してください。** 注記 トナーがなくなるとエラーランプが点灯し、印刷できなくなります。
3	**プリント可ランプ**	**点灯中は、コンピューターからのデータを受信できる状態です。**
4	**ディスプレイ**	**設定項目、本機の状態、メッセージなどを表示します。**
5	**上下左右ボタン**	**メニュー、項目、候補値間を移行します。本書では、〈◀〉〈▶〉〈▲〉〈▼〉ボタンで表します。また、メディアプリント、セキュリティー / サンプルプリントをするときは、〈◀〉ボタンを押します。** 補足 • 〈▲〉〈▼〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押しつづけると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▲〉ボタンと〈▼〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。 • メディアプリントをする場合は、メモリーカードリーダーが必要です。推奨品を用意していますので、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。 • セキュリティー/ サンプルプリントをするには､内蔵増設ハードディスクと 256MB 以上のメモリーが必要です。
6	**メニューボタン**	**メニュー操作に移行します。本書では､〈メニュー〉ボタンで表します。**
7	**排出 / セットボタン**	**メニューの候補値の設定を行います。レポート / リストを印刷するときにも使用します。本書中では〈排出 / セット〉ボタンで表します。**
8	**エラーランプ**	**ランプで本機の異常を表します。**
9	**オンラインボタン**	**オンラインボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、データの受信、印刷処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（コンピューターからのデータ受信が可能な状態）に移行します。本書では､〈オンライン〉ボタンで表します。**

番号	名　称	働　き
10	プリント中止	印刷を中止します。
11	節電ボタン	節電中に緑色に点灯します。節電中に押すと節電状態を解除し、節電していないときに押すと節電モードに移行します。本書では〈節電〉ボタンで表します。

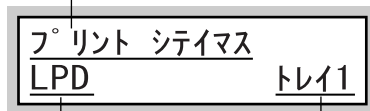
ディスプレイの表示について

本機の状態や設定状態を表すメッセージが、ディスプレイに表示されます。

補足

オプションの装着の有無、設定の状態、モデルの違いによって表示されるメッセージは異なります。

プリント画面

印刷しているときやデータを待っている状態では、ディスプレイはプリント画面になっています。プリント画面では、本機の状態や、実行中のデータの処理状態が確認できます。
本機が LPD ポートから印刷データを受信し、用紙トレイ 1 の用紙に印刷しているときには、ディスプレイには次のようなメッセージが表示されます。

プリンター状態

本機の状態を表します。
【オマチクダサイ】/【プリントシテイマス】/【プリントデキマス】/【チュウシシテイマス】/【ハイシュツシテイマス】/【データマチデス】/【チクセキシテイマス】といったメッセージが表示されます。

参照

メッセージについては、「6.5　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.212) を参照してください。

入力ポート

データを受信しているポートが表示されます。

トレイ

印刷に使用する用紙が入ったトレイを表します。

メニュー画面

メニュー項目を設定する画面です。メニュー画面を表示するには、〈メニュー〉ボタンを押します。

補足

ネットワーク / ポート設定の画面は、次のように表示されます。

```
キカイ カンリシャ メニュー
ネットワーク/ホ゜ート セッテイ
```

参照

メニュー画面については、「第 7 章　共通メニューの設定」(P.235) を参照してください。

3.2 電源を入れる / 切る

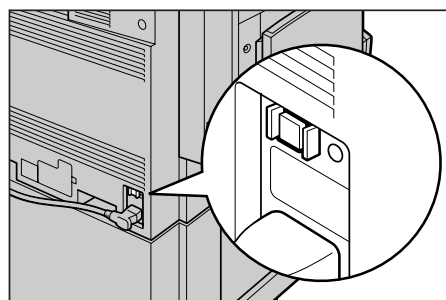
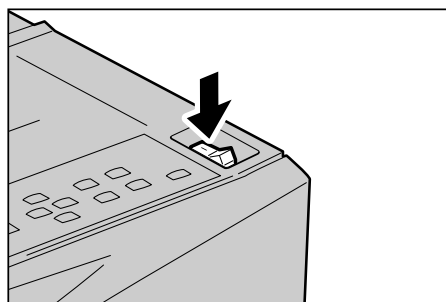
本機を使用するときは、電源を入れます。電源スイッチを入れてから約 40 秒後に印刷できる状態になります。
なお、1 日の印刷作業の終わりや長期間プリンターを使用しないときには、電源を切ってください。

注記
電源を切ると、本機内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

3.2.1 電源を入れる

次の手順に従って、電源を入れます。

操作手順

1 **ブレーカースイッチがリセット状態（ボタンが押し込まれている）になっていることを確認します。**

2 **上面右側の電源スイッチ［ | ］の側を押して電源を入れます。**

3 **電源を入れると、操作パネルのディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されます。この表示が【プリントデキマス】になることを確認します。**

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

補足
【オマチクダサイ】の表示になっているときは、本機がウオームアップ中です。この間は、印刷できません。約 40 秒後に印刷できる状態になり、表示が【プリントデキマス】に変わります。

注記
エラーメッセージが表示された場合には、「6.5　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.212) を参照して対処をしてください。

3.2.2　電源を切る

次の手順に従って、電源を切ります。

注記

- 電源を切ると、本機内に残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。
- メモリーカードリーダー（推奨品）装着時は、本機の電源を切るまえに、メディアが入っていないことを確認してください。

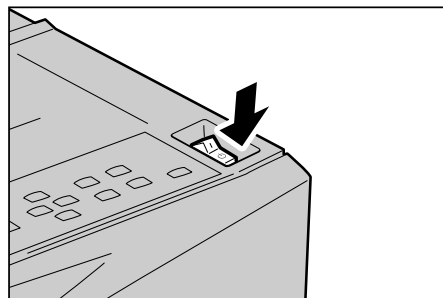
操作手順

1　操作パネルのディスプレイ表示などで、印刷ジョブの処理中でないことを確認します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
```

2　上面右側にある電源スイッチの [⏻] の側を押し、電源を切ります。

注記

エラーメッセージが表示された場合には、「6.5 ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.212) を参照して対処をしてください。

3.2.3　ブレーカーについて

本機には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。
通常は入っている状態（「|」の状態）にしておきます。1ヶ月に 1 度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電ブレーカーが働かなくなり感電の原因となるおそれがあります。
漏電ブレーカーの確認手順は、以下の通りです。異常などがある場合は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店までご連絡ください。

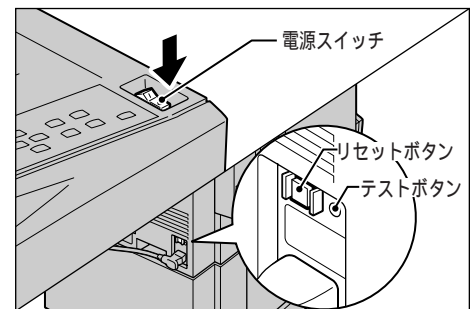
操作手順

1 **上面右側にある電源スイッチの [⏻] の側を押し、電源を切ります。**

2 **ブレーカーのリセットボタンを押し込みます。このとき、リセットボタンから手を離しても、リセットボタンは押し込まれたままの状態となります。**

3 **ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていたリセットボタンが解除され、突き出ます。**

これで確認は終了です。

4 **再度、リセットボタンを押して、リセットボタンが押し込まれた状態に戻します。**

3.3 印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する

印刷を中止するには、まずコンピューター側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンター側で印刷を取り消します。
また、印刷を指示したジョブの処理状況をコンピューター側で確認できます。

3.3.1 コンピューター側で印刷を中止する

コンピューター側で印刷の指示を取り消す手順について説明します。

Windows での取り消し方法

Windows® をお使いの場合の印刷指示の取り消し方法について説明します。

操作手順

1. ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。
2. 該当するプリンターアイコンをダブルクリックします。
3. 表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、削除します（〈Delete〉キーを押す）。

CentreWare Internet Services を使った取り消しについて

CentreWare Internet Services を使用して、プリンターに指示した印刷を中止することもできます。
CentreWare Internet Services については、「5.1　コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services）」（P.98）を参照してください。

3.3.2 プリンター側で印刷を中止する

処理中の印刷ジョブを中止する

プリンター側で、処理中のジョブの印刷を中止するには、プリンターの操作パネルの〈プリント中止〉ボタンを押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

プリンター内のすべての印刷ジョブを中止する

プリンターに受信されているすべてのジョブに対して、印刷を中止する方法を説明します。この操作によって、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。

補足

バッファとは、コンピューターから送信されたデータを蓄えておく場所のことです。

参照

本機内のすべてのジョブを実行して印刷する方法もあります。詳しくは、「3.4　印刷データを強制的に排出させる」(P.43) を参照してください。

操作手順

1 右記のディスプレイ状態で、〈オンライン〉ボタンを押します。

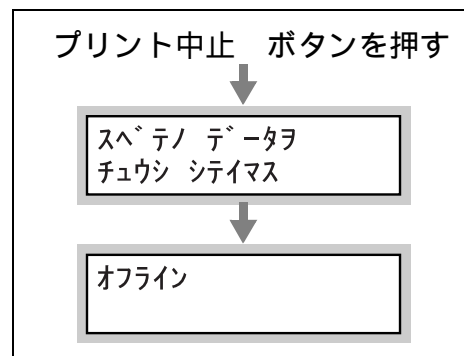
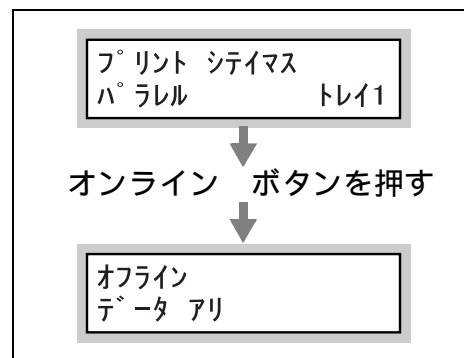
オフライン状態になります。

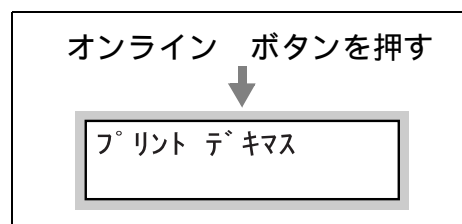
補足

〈オンライン〉ボタンを押すと、本機は自動的にデータの受信ができないオフライン状態になります。

2 右記のディスプレイ状態で、〈プリント中止〉ボタンを押します。

中止の処理が行われます。

処理が終了すると、【オフライン】の表示になります。

3 **〈オンライン〉ボタンを押します。**

【プリントデキマス】の表示になります。

操作はこれで完了です。

3.3.3 印刷指示したジョブの状態を確認する

Windows での確認方法

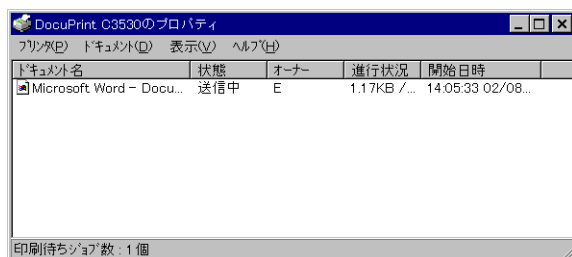
Windows® をお使いの場合の印刷指示したジョブの確認方法について説明します。

操作手順

1 **[スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックします。**

注記

Windows XP では、[スタート]メニューから[プリンタと FAX]をクリックします。

2 **該当するプリンターアイコンの[状態]を確認します。**

CentreWare Internet Services を使った確認方法について

CentreWare Internet Services を使用して、プリンターに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。
CentreWare Internet Services については、「5.1 コンピューターからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」(P.98) を参照してください。

3.4 印刷データを強制的に排出させる

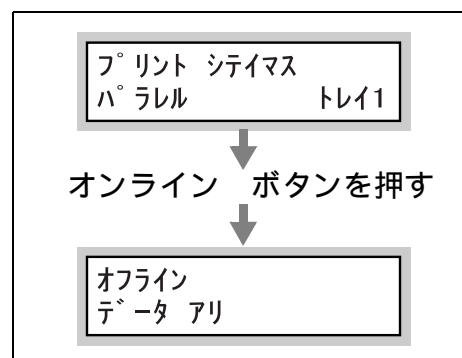
本機が受信しているすべてのジョブを実行して印刷します。
この操作によって、印刷データの受信を中断し、受信バッファを空の状態にできます。

参照
本機が受信したすべてのジョブを消去する方法もあります。消去する方法については、「3.3　印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.40) を参照してください。

操作手順

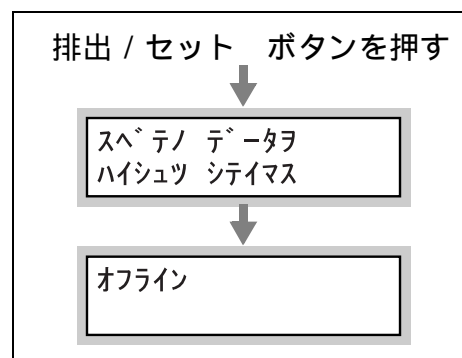
1　右記のディスプレイ状態で〈オンライン〉ボタンを押します。

オフライン状態になります。

補足
〈オンライン〉ボタンを押すと、本機は自動的にデータの受信ができないオフライン状態になります。

2　〈排出 / セット〉ボタンを押します。

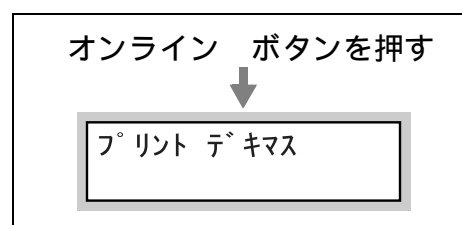
印刷が開始されます。

すべてのジョブを実行して印刷すると、【オフライン】の表示になります。

補足
パラレルインターフェイス、USB インターフェイスを使用している場合、手順 ***1*** の〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降の印刷データは〈排出 / セット〉ボタンを押したあとに、新しい印刷ジョブとして認識され、手順 ***3*** のオフライン解除後、新しい印刷ジョブとして処理されます。

3　〈オンライン〉ボタンを押します。

【プリントデキマス】の表示になります。

補足
パラレルインターフェイス、USB インターフェイスを使用している場合、ここでのオフライン解除後、新しいジョブとして処理されるデータは、正常に印刷されないことがあります。

補足
プリントモード指定については、「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238) を参照してください。

3.5 オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する

本機をネットワークプリンターとして使用している場合は、本機のオプション構成や操作パネルで設定したトレイに対する用紙種類や用紙サイズなどを、プリンタードライバーに読み込むことができます。この設定は、［プリンタ構成］タブで行います。

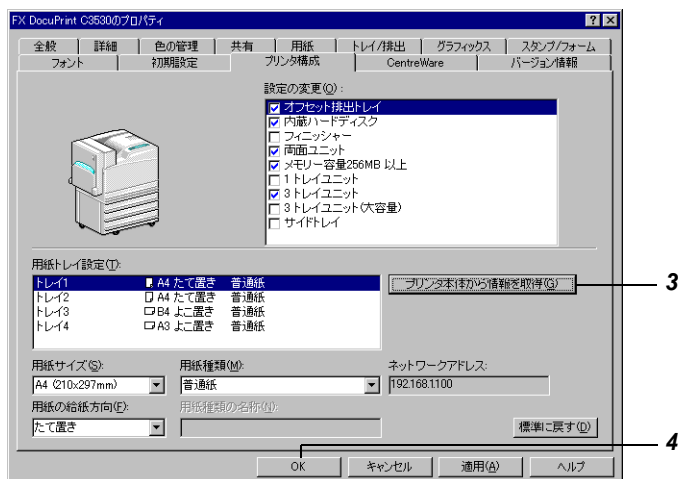
注記

本機をローカルプリンターとして使用している場合は、この機能は使用できません。プリンタードライバーの該当項目を手動で設定してください。手動で設定する場合は、印刷を正しく行うために、プリンター本体の情報と合わせてください。

操作手順

1 **［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。**

2 **［プリンタ構成］タブをクリックし、［プリンタ本体から情報を取得］をクリックします。**

本機の情報が、プリンタードライバーに読み込まれます。

3 **［OK］をクリックします。**

本機から取得した情報にしたがって、［プリンタ構成］タブの内容が更新されます。

補足

- ［用紙トレイ設定］の用紙サイズと向きは、自動検知されたサイズが読み込まれます。
- ［用紙トレイ設定］の用紙種類は、操作パネルで設定されている用紙種類が読み込まれます。操作パネルで用紙種類の設定を変更していない場合は、普通紙と判断されます。

印刷する

4.1 印刷の流れ（Windows）

Windows® 環境から印刷する場合の基本的な流れを説明します。
（ご使用になるコンピューターやシステム構成によって、異なる場合があります。）

コンピューター側で使用するアプリケーションソフトウエアを起動する

操作については、アプリケーションソフトウエアの説明書を参照してください。

必要に応じて **メニュー操作をする**

コンピューターから印刷するデータを送信する前に、次のことを確認してください。
① 共通メニューのネットワークポート設定で、使用するポート状態を確認する
② 共通メニューのネットワークポート設定メニューのプリントモード指定で、使用するポートのプリントモードを確認する

参照
操作については、「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238) を参照してください。

アプリケーションなどから印刷を指示する

操作については、アプリケーションソフトウエアの説明書を参照してください。

必要に応じて **印刷を中止する**

参照
操作については、「3.3　印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.40) を参照してください。

必要に応じて **強制排出する**

参照
操作については、「3.4　印刷データを強制的に排出させる」(P.43) を参照してください。

終　了

4.2 印刷機能の設定について

4.2.1 印刷機能を設定する

ほとんどの印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示するプリンタードライバーのプロパティ画面や、お使いのコンピューターにインストールしたプリンターアイコンのプロパティ画面で、各タブを切り替えて設定します。プリンタードライバーの設定項目の説明や設定方法などについては、ART EX プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

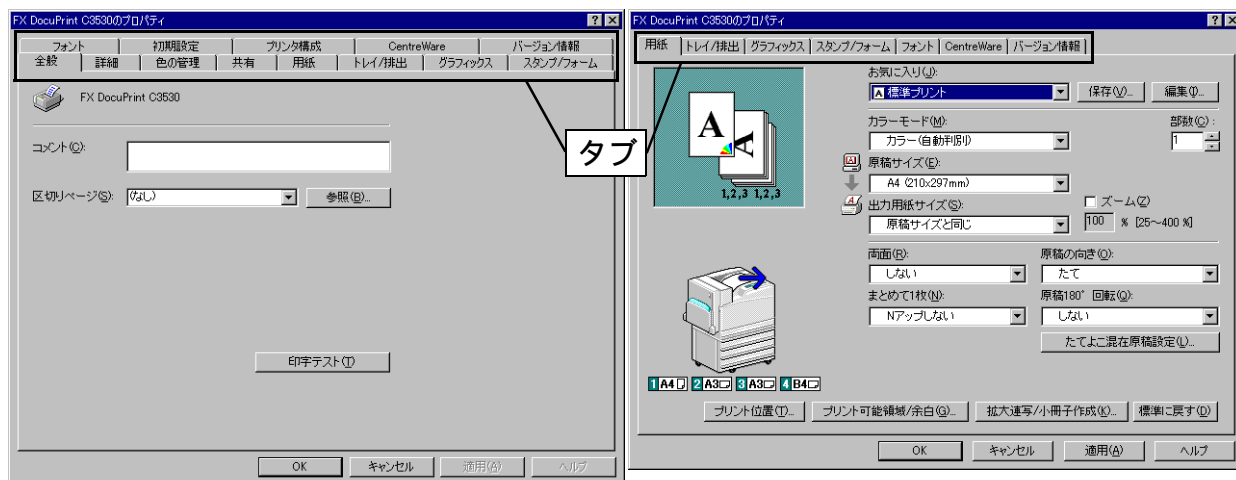
参照

- オンラインヘルプの使い方については、「4.2.2 オンラインヘルプの使い方」(P.48)を参照してください。
- ［プリンタの構成］タブで、装着しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能は、グレー表示され設定できません。

プロパティ画面

例：Windows 98 の場合

■［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］をクリックし、使用するプリンターのプロパティ画面を表示した場合

■アプリケーションからの印刷設定で、プリンターのプロパティ画面を表示した場合

補足

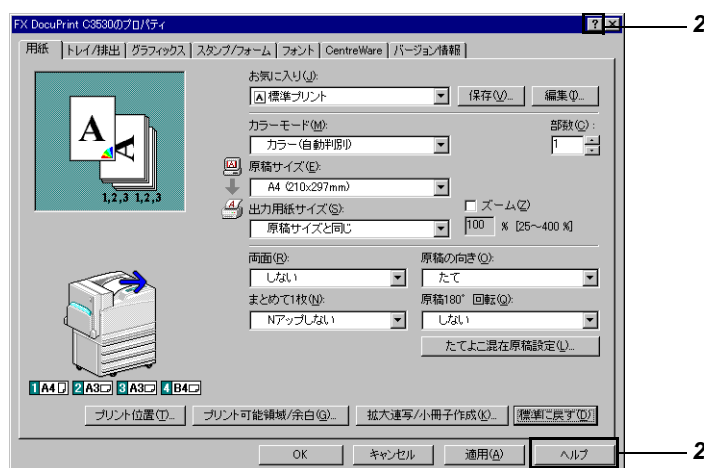
- Windows NT® 4.0 の場合は、「プリンタ」ウィンドウの［ファイル］メニューで、［ドキュメントの既定値］を選択して表示されるタブと、［プロパティ］を選択して表示されるタブは異なります。
- Windows® 2000 の場合は、「プリンタ」ウィンドウの［ファイル］メニューで、［印刷設定］を選択して表示されるタブと、［プロパティ］を選択して表示されるタブは異なります。
- Windows® XP の場合は、「プリンタと FAX」ウィンドウの［ファイル］メニューで、［印刷設定］を選択して表示されるタブと、［プロパティ］を選択して表示されるタブは異なります。
- Windows® 98/Windows® Me/Windows 2000/Windows XP では、［色の管理］タブも表示されます。
- ［CentreWare］タブは、CentreWare EasyOperator がインストールされている場合に表示されます。

4.2.2 オンラインヘルプの使い方

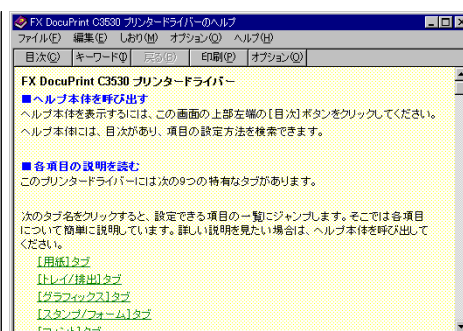
オンラインヘルプを使って、プリンタードライバー画面に表示されている項目の説明や、各機能の設定方法を確認できます。
オンラインヘルプの表示方法は、次のとおりです。ここでは、Windows 98 を例に説明します。

操作手順

1 [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。

2 使用する機能によって、各タブを選択し、[?] をクリックして知りたい機能の項目をクリックするか、右下の [ヘルプ] をクリックします。

3 ヘルプが表示されます。

■ [?] を使用した場合

■ [ヘルプ] をクリックした場合

4.3 特殊用紙に印刷する

本機では、以下の特殊用紙に印刷できます。

- **上質紙**
- **再生紙**
- **うす紙（55 ～ 63g/㎡）**
- **厚紙 F（99 ～ 128g/㎡）**
- **厚紙 1（99 ～ 169g/㎡）**
- **厚紙 1（99 ～ 169g/㎡）うら面**
- **厚紙 2（170 ～ 220g/㎡）**
- **厚紙 2（170 ～ 220g/㎡）うら面**
- **OHP フィルム**
- **ラベル紙**
- **コート紙 F（99 ～ 128g/㎡）**
- **コート紙 1（99 ～ 169g/㎡）**
- **コート紙 1 うら面（99 ～ 169g/㎡）**
- **コート紙 2（170 ～ 220g/㎡）**
- **コート紙 2 うら面（170 ～ 220g/㎡）**
- **ユーザー定義用紙 1 ～ 5**

補足

- 厚紙 1（99 ～ 169g/㎡）、コート紙 1（99 ～ 169g/㎡）の用紙をフィニッシャーに排出する場合は、厚紙 F（99 ～ 128g/㎡）、コート紙 F（99 ～ 128g/㎡）を選択してください。
- 用紙トレイにセットできる用紙は、169g/㎡ までです。
- コート紙は、用紙トレイ 5（手差し）にセットすることをお勧めします。
- フィニッシャー（オプション）に排出できる用紙は 128g/㎡ までです。
- OHP フィルムは、フィニッシャー（オプション）に排出できません。

給紙トレイの指定は、［トレイ / 排出］タブを表示して行います。
ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

4.3.1 用紙トレイ 5（手差し）を使用して特殊用紙に印刷する

補足

本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

参照

- 用紙トレイ 5（手差し）の使い方については、「5.3　用紙をセットする」(P.109) を参照してください。
- 用紙トレイ1～4を使用して特殊用紙に印刷する場合は、「4.3.2　用紙トレイ1～4を使用して特殊用紙に印刷する」(P.50) を参照してください。

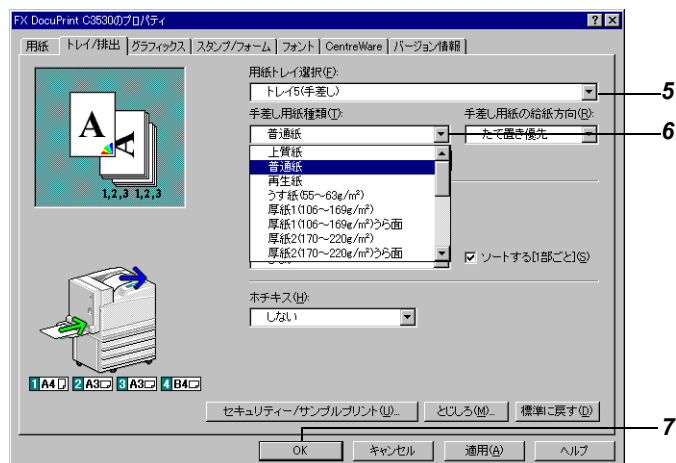
操作手順

1 **手差しトレイに、特殊用紙をセットします。**

2 **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

3 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

4 ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

5 ［用紙トレイ選択］から、［トレイ 5（手差し）］を指定します。

6 ［手差し用紙種類］から、用紙の種類を選択します。

7 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

4.3.2 用紙トレイ 1 ～ 4 を使用して特殊用紙に印刷する

用紙トレイ 1 ～ 4 に特殊用紙をセットして印刷する場合は、操作パネルでトレイに対する用紙種類の設定が必要です。
「② 用紙種類の設定をする」(P.118) を参照して、設定を行ってください。

補足

本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

参照

- 用紙トレイ 1 ～ 4 の使い方については､「5.3　用紙をセットする」(P.109) を参照してください。
- 用紙トレイ 5（手差し）を使用して特殊用紙に印刷する場合は､「4.3.1　用紙トレイ 5（手差し）を使用して特殊用紙に印刷する」(P.49) を参照してください。

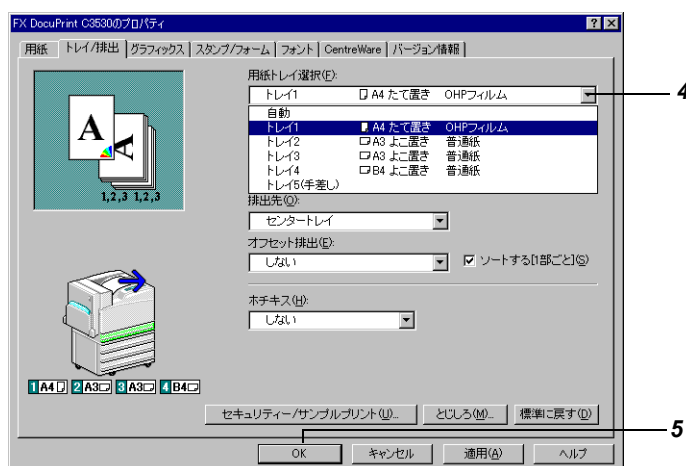
ここでは、用紙トレイ 1 にセットされている、A4 サイズの OHP フィルムに印刷する場合を例に説明します。

操作手順

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2 ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［トレイ / 排出］タブをクリックします。

4 ［用紙トレイ選択］からトレイ 1 をクリックします。

5 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

4.4 はがき / 封筒に印刷する

官製はがき、封筒（定型長 3 号封筒）に印刷する方法を説明します。

補足

用紙トレイ 5（手差し）の使い方については、「5.3　用紙をセットする」(P.109) を参照してください。

4.4.1 はがき / 封筒のセット方法

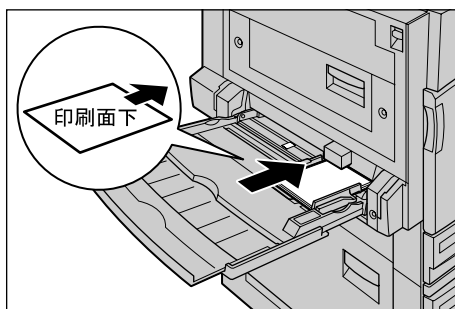
用紙トレイ 5（手差し）に、官製はがき、または封筒（定型長 3 号封筒）をセットします。

操作手順

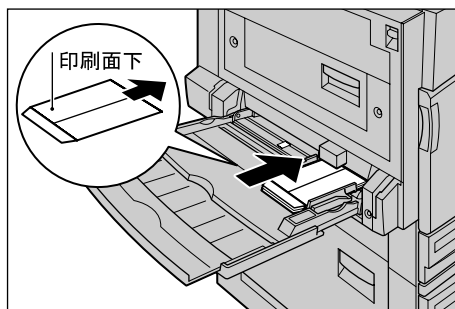
1 **はがきや封筒の印刷する面を下に向けます。**

2 **はがきをセットする場合は、郵便番号枠側を差し込み口に向けてセットします。**

注記

- 紙づまりの原因となるので、はがきをセットする場合は、はがきの端面すべての紙粉を布などでふきとってからセットしてください。
- はがきが機械に送られないときは、はがきの先端を上向きにカールさせてからセットしてください。

封筒をセットする場合は、開封部の反対側（底の部分）を差し込み口に向けてセットします。

補足

- 用紙上限線を越えて、セットしないでください。
- 封筒をセットする向きは、官製はがきと天地が反対になりますが、画像を自動的に 180 度回転して印刷します。

4.4.2　印刷設定

印刷の設定は、［トレイ / 排出］タブと［用紙］タブを表示して行います。ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

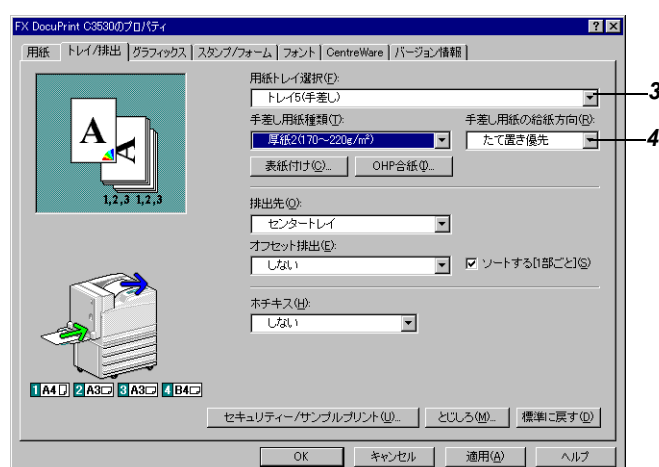
補足

本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

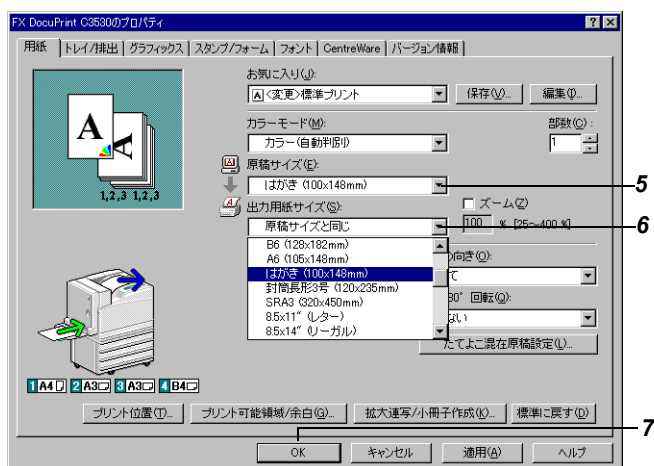
1　**［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

2　**［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

3　**［トレイ / 排出］タブをクリックし、［用紙トレイ選択］から、［トレイ 5（手差し）］を指定します。**

4　**はがき、封筒の場合は、［手差し用紙種類］から、［厚紙 2(170 ～ 220g/m^2)］または［厚紙 2(170 ～ 220g/m^2）うら面］を指定します。**

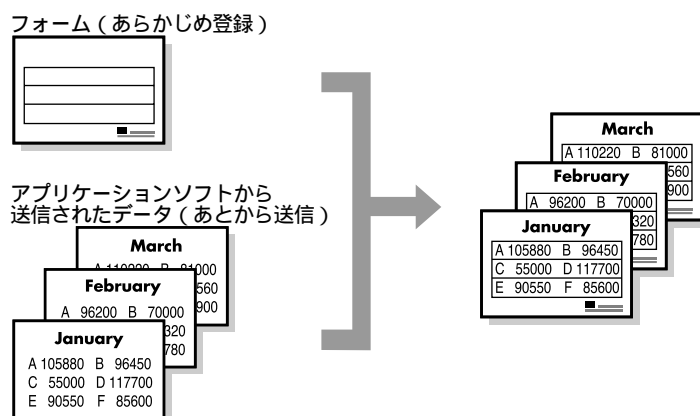
補足

はがき、封筒で両面に印刷する場合は、最初の印刷面は［厚紙 2(170 ～ 220g/m^2)］を選択し、そのうら面を印刷するときは、［厚紙 2(170 ～ 220g/m^2）うら面］を選択してください。

5 ［用紙］タブをクリックし、［原稿サイズ］から、任意の原稿サイズを選択します。

6 ［出力用紙サイズ］から、はがきの場合は［はがき（100 × 148㎜）］を、封筒の場合は［封筒長形 3 号（120 × 235㎜）］を指定します。

7 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

4.5 登録したフォームに印刷する（オーバーレイ印字）

あらかじめ作成しておいたフォームに、原稿を重ね合せて印刷することができます。この機能を「オーバーレイ印字」といいます。複数ページの原稿にも、すべてのページにフォームを重ねて印刷します。
オーバーレイ印字をする場合は、あらかじめフォームデータファイルを作成 / 登録する必要があります。

オーバーレイ印字の指定は、［スタンプ / フォーム］タブを表示して行います。
ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足
- 本機のプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- フォームは、64 ファイルまで登録できます。内蔵増設ハードディスクが装着されている場合は、2048 ファイルまで登録できます。
- 印刷されるカラーモードは、オーバーレイ印字を指定するときのカラーモードにより決定されます。オーバーレイ印字を白黒で指定すると、白黒で印刷されます。オーバーレイ印字を自動で指定した場合は、フォームデータファイルを登録したときのカラーモードと、オーバーレイ印字を指定したときのカラーモードによって、印字されるカラーモードが自動的に決定されます。

4.5.1 フォームデータファイルを作成 / 登録する

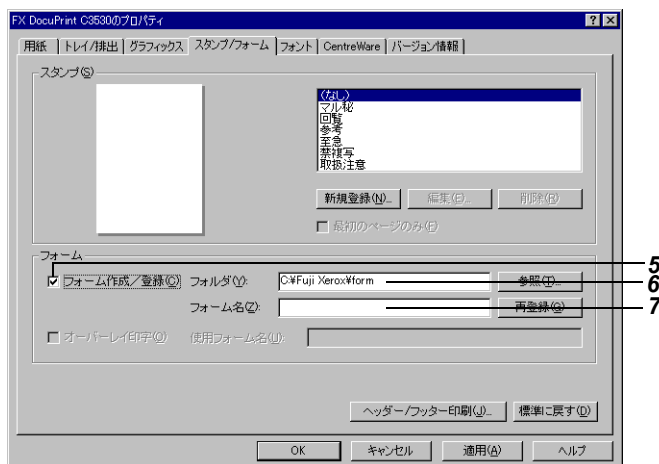
操作手順

1 **アプリケーションソフトでフォームデータファイルの原稿を作成します。**

2 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

3 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

4 **［スタンプ / フォーム］タブをクリックします。**

5 ［フォーム作成 / 登録］チェックボックスをオンにします。

6 ［フォルダ］にバックアップデータを保存するフォルダー名を、127 バイト以内で指定します。

7 ［フォーム名］にフォーム名を、半角英数、半角カタカナを使って、8 文字以内で指定します。

補足

以前作成したフォームを再登録する場合は、［参照 ...］ボタンをクリックして、バックアップされているフォームを指定し、［再登録］ボタンをクリックします。

8 ［OK］をクリックし、印刷を指示します。

プリンターからは何も印刷されませんが、この時点で、本機にアプリケーションソフトで作成した原稿はフォームファイルとして登録されます。

補足

登録したフォームは、ART EX フォーム登録リストで確認できます。ART EX フォーム登録リストについては、「5.5　レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照してください。

4.5.2　フォームを使用して印刷する

操作手順

1. アプリケーションソフトで、フォームに重ねる原稿を作成します。
2. ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。
3. ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。
4. ［スタンプ / フォーム］タブをクリックします。
5. ［オーバーレイ印字］チェックボックスをオンにします。

6. ［使用フォーム名］に、本機に登録されているフォーム名と同じ名前を、半角英数、半角カタカナを使って、8 文字以内で指定します。
7. ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

4.6 非定形用紙 / 長尺用紙に印刷する

長尺サイズなどの非定形サイズの用紙に印刷する方法について説明します。
本機で設定できる用紙サイズは、次のとおりです。

補足
- オプションの用紙トレイ 3（大容量）、用紙トレイ 4（大容量）には、非定形サイズの用紙はセットできません。
- 長尺サイズ（長さ：432.1 〜 1200㎜）の用紙に印刷するためには、256MB 以上のメモリーが必要です。
- 長尺サイズの用紙は、フィニッシャー（オプション）、サイドトレイ（オプション）には排出できません。

4.6.1 非定形サイズの用紙をセットする

非定形サイズの用紙のセット方法について説明します。

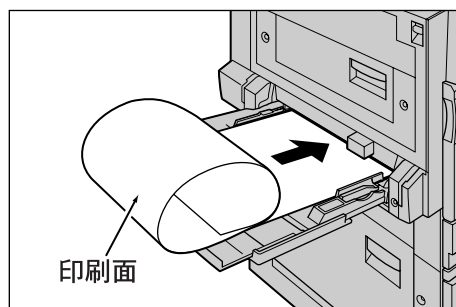
用紙トレイ 5（手差し）の場合

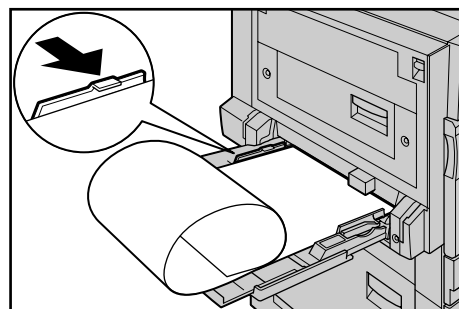
用紙トレイ 5（手差し）に、長尺サイズの用紙をセットする例で説明します。

補足
- 長尺サイズ以外の非定形サイズの用紙をセットする場合は、「5.3.4 用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする」(P.121) を参照してください。
- 長尺用紙セットガイド（オプション）を用紙トレイ 5（手差し）に取り付けると、長辺 1200㎜ までの用紙を 10 枚までセットできます。詳しくは、長尺用紙セットガイドに付属の取扱説明書をごらんください。
- 長尺サイズの用紙の場合、[印刷モード] の [高精細] では印刷できません。
- 長尺サイズの用紙で設定できる［用紙の種類］は［厚紙 1］だけです。

操作手順

1 **長尺サイズの用紙の印刷する面を下に向けて、図のように後端をまるめて、手差しトレイにセットします。**

注記
- 長尺サイズ用紙の後端は、用紙の差込口からできるだけ離れた位置で、まるめてください。差込口に近いと、まるめた用紙の後端が引き込まれるなど、用紙が折れたりしわの原因になることがあります。
- 用紙は、1 枚ずつセットしてください。

2 **用紙サイズ合わせガイドを、長尺の用紙のサイズに合わせます。**

補足
長尺サイズの用紙は長いので、排出された用紙が床に落ちないように、必ず１枚ずつ取り除いてください。

用紙トレイ１～４の場合

用紙トレイ 1 ～ 4 に非定形サイズの用紙をセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。「5.3.2　用紙トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする」(P.115) を参照してセットしてください。

4.6.2　非定形サイズを設定する

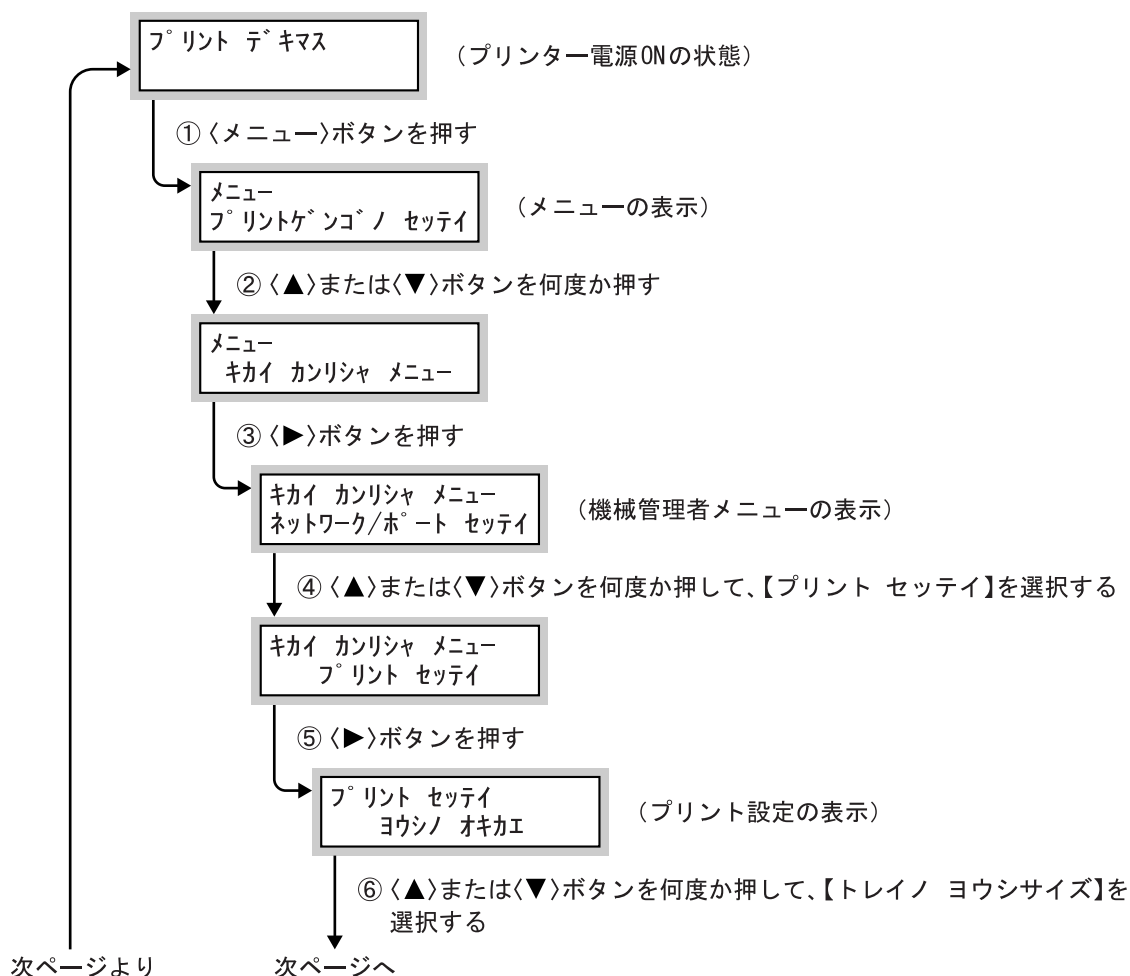
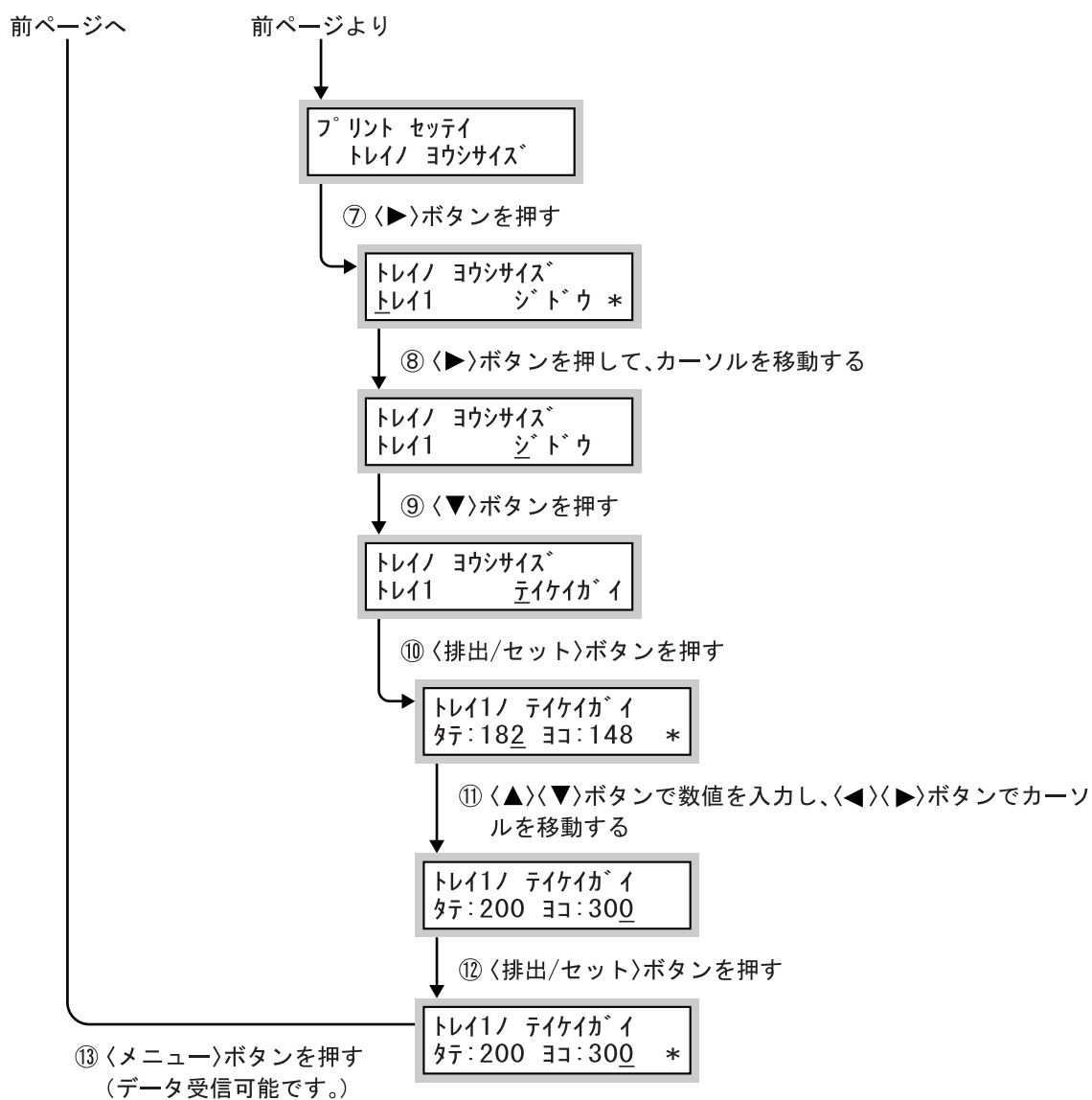
非定形サイズを登録します。
非定形サイズの用紙を用紙トレイ 1 ～ 4 にセットして印刷する場合は、操作パネルでの設定も必要です。

補足
オプションの用紙トレイ 3（大容量）、用紙トレイ 4（大容量）には、非定形サイズの用紙はセットできません。

操作パネルでの設定

用紙トレイ 1 に、たて：200㎜、よこ：300㎜ の用紙を設定する例で説明します。

補足
- 非定形サイズの用紙を用紙トレイ 5（手差し）にセットする場合は、操作パネルでの設定は必要ありません。
- 用紙トレイ 1～4 の用紙種類の設定を変更する場合は、「5.3.2　用紙トレイ 1～4 に用紙をセットする」(P.115) を参照してください。

前ページへ
前ページより
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
⑦〈▶〉ボタンを押す
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ1 ｼﾞﾄﾞｳ ＊
⑧〈▶〉ボタンを押して、カーソルを移動する
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ1 ｼﾞﾄﾞｳ
⑨〈▼〉ボタンを押す
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
ﾄﾚｲ1 ﾃｲｹｲｶﾞｲ
⑩〈排出/セット〉ボタンを押す
ﾄﾚｲ1ﾉ ﾃｲｹｲｶﾞｲ
ﾀﾃ:182 ﾖｺ:148 ＊
⑪〈▲〉〈▼〉ボタンで数値を入力し、〈◀〉〈▶〉ボタンでカーソルを移動する
ﾄﾚｲ1ﾉ ﾃｲｹｲｶﾞｲ
ﾀﾃ:200 ﾖｺ:300
⑫〈排出/セット〉ボタンを押す
ﾄﾚｲ1ﾉ ﾃｲｹｲｶﾞｲ
ﾀﾃ:200 ﾖｺ:300 ＊
⑬〈メニュー〉ボタンを押す
（データ受信可能です。）

プリンタードライバーでの設定

非定形サイズの用紙の登録は、[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスで行います。
非定形サイズをユーザー定義サイズとして登録すると、[用紙] タブの [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] から、それぞれ非定形サイズ（ユーザー定義サイズ）が選択できるようになります。
用紙サイズは 5 種類まで登録でき、用紙名を付けることができます。用紙サイズは、ミリ単位の場合は、短辺 100 ～ 305.0mm、長辺 140 ～ 1200mm の範囲で 0.1mm 刻みに、インチ単位の場合は、短辺 3.94 ～ 12.01 インチ、長辺 5.51 ～ 47.24 インチの範囲で 0.01 インチ刻みに指定できます。

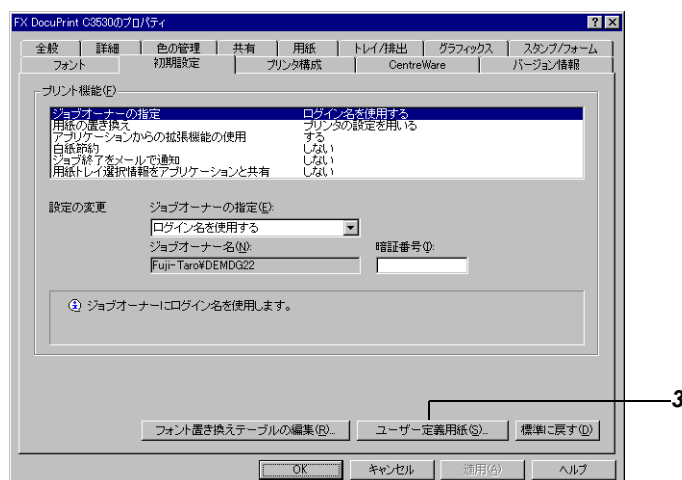
補足

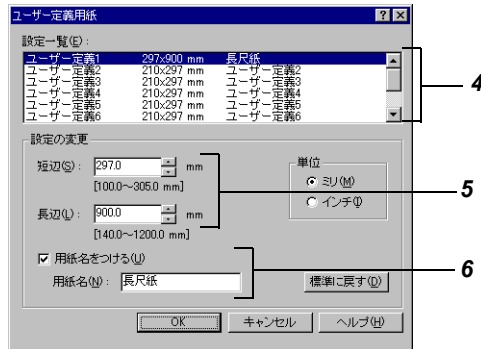
- Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP では、「Administrator」の権利があるユーザーの場合にだけ、設定を変更できます。権利がない場合は、内容の確認だけできます。
- [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの設定は、Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の場合、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、コンピューター上のほかのプリンターの設定には影響しません。ネットワーク共有プリンターでも、プリンターアイコンごとに定義した用紙サイズが設定されるため、ほかのコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターの設定には影響しません。

操作手順

1 **[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。**

2 **[初期設定] タブをクリックします。**

3 **[ユーザー定義用紙] をクリックします。**

[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスが表示されます。

4 **[設定一覧] リストボックスから、設定するユーザー定義を選択します。**

5 **[設定の変更] で、短辺と長辺の長さを指定します。**

キー入力、または［▲］［▼］ボタンで指定します。

短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

6 **用紙名をつける場合は、[用紙名をつける] チェックボックスをオンにして、[用紙名] に入力します。**

用紙名の最大文字数は半角で 14 文字、全角で 7 文字です。

7 **必要に応じて、手順 4 ～ 6 を繰り返して、用紙サイズを定義します。**

8 **[OK] をクリックします。**

9 **[初期設定] タブで、[適用] をクリックします。**

10 **本機をネットワークプリンターとして使用している場合で、用紙トレイ 1 ～ 4 に対し、操作パネルで非定形サイズを設定したときは、[プリンタ構成] タブで [プリンタ本体から情報を取得] をクリックします。**

本機の設定が、プリンタードライバーに読み込まれます。

注記

本機をローカルプリンターとして使用している場合は、この機能は使用できません。プリンタードライバーの該当項目を手動で設定してください。手動で設定する場合は、印刷を正しく行うために、プリンター本体の情報と合わせてください。

参照

「3.5　オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する」(P.44)

11 **[OK] をクリックします。**
[初期設定] タブで、[OK] をクリックします。

4.6.3 印刷の仕方

非定形サイズの用紙に印刷する方法を説明します。

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

3 **［トレイ / 排出］タブをクリックします。**

4 **［用紙トレイ選択］から、使用する用紙トレイを選択します。**

5 **用紙トレイ 5（手差し）を使用する場合は、［手差し用紙種類］から、用紙の種類を選択します。**

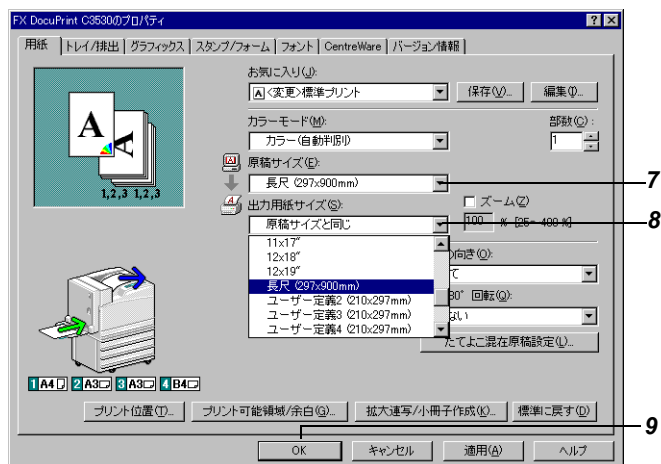
注記

長尺紙の場合は、［厚紙 1］を選択してください。

6 **［用紙］タブをクリックします。**

印刷する

4

7 ［原稿サイズ］から、原稿のサイズを選択します。

8 ［出力用紙サイズ］から、登録した非定形サイズの用紙を選択します。

9 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

4.7 TrueType フォントの印刷方法を設定する

ここでは、TrueType フォントの置き換えをフォントごとに設定できる TrueType フォント置き換えテーブルの編集方法と、TrueType フォントの置き換え方法について説明します。

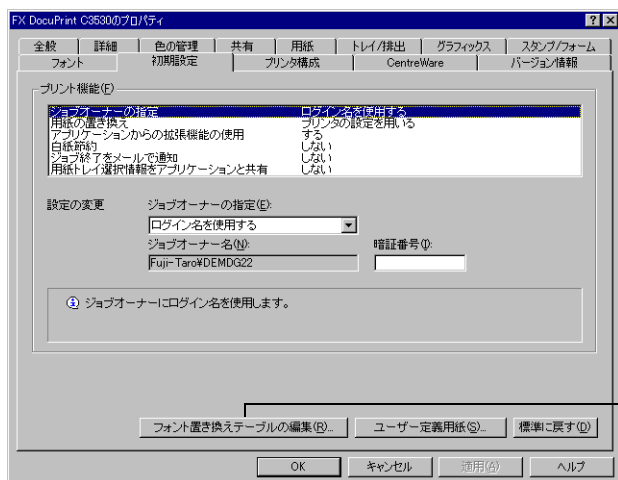
4.7.1 TrueTypeフォント置き換えテーブルを編集する

フォント置き換えテーブルで、TrueType フォントの置き換えをフォントごとに設定できます。フォント置き換えテーブルの編集は、［フォント置き換えテーブルの編集］ダイアログボックスで行います。

操作手順

1 **［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。**

2 **［初期設定］タブをクリックします。**

3 **［フォント置き換えテーブルの編集］をクリックします。**

［フォント置き換えテーブルの編集］ダイアログボックスが表示されます。

［TrueType フォント］列には、システムにインストールされているすべての TrueType フォント（Windows 95/Windows 98/Windows Me ではフォントのファミリー名、Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP ではフォントのフェイス名）が表示されます。

［プリンタフォント］列には、TrueType フォントに対して、実際に印刷に使用されるフォントが表示されます。［ソフトフォント］と表示されているフォントは、印刷時に TrueType フォントをプリンターにダウンロードして使用します。

4 **［TrueType フォント］列から、設定を変更するフォントを選択します。**

5 **［置き換えるプリンタフォント］から、使用するプリンタフォントを選択します。［ソフトフォント］を選択すると、印刷時に TrueType フォントをプリンターにダウンロードして使用します。**

6 **必要に応じて、手順 3、4 を繰り返して、置き換えるフォントを指定します。**

7 **［OK］をクリックします。**

8 **［初期設定］タブで、［OK］をクリックします。**

4.7.2 TrueType フォントの印刷方法を設定する

TrueType フォントの置き換え方法を指定して印刷できます。
選択できる項目は、次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
常にプリンタフォントを使う	すべての TrueType フォントを、プリンターフォントに置き換えて印刷します。文書内で使用されている TrueType フォントにいちばん近いプリンターフォントが自動的に選択され、これに置き換えて印刷します。印刷は速くなりますが、画面表示とプリント結果が一致しないことがあります。
常に TrueType フォントを使う	すべての TrueType フォントをプリンターにダウンロードして印刷します。文書内で使用されている TrueType フォントを、プリンターフォントに置き換えません。印刷は遅くなることがありますが、画面表示とプリント結果は一致します。
TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える	フォント置き換えテーブルの設定に従って、TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えて印刷します。フォント置き換えテーブルでは、プリンターフォントに置き換えるものと、プリンターにダウンロードするものの 2 種類の設定があります。Windows® 環境にインストールされているフォントに対して、フォントファミリーごと（Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合）、またはフォントフェイスごと（Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の場合）に設定できます。

参照

フォント置き換えテーブルの編集方法については、「4.7.1　TrueType フォント置き換えテーブルを編集する」（P.66）を参照してください。

TrueType フォントの置き換えの指定は、［フォント］タブを表示して行います。ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足

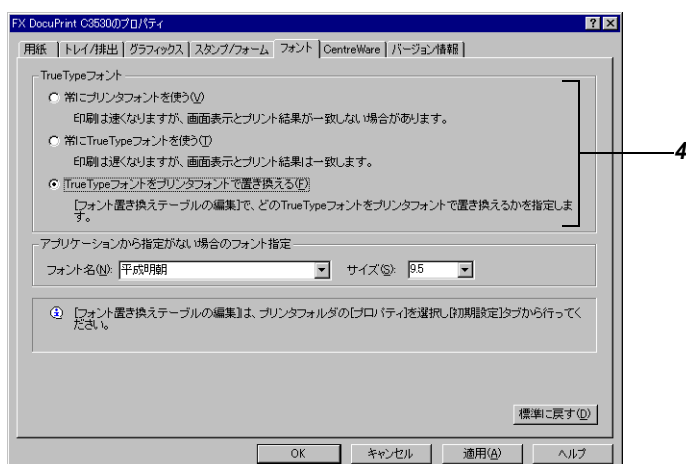
プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［フォント］タブをクリックします。

4 設定する内容のラジオボタンをクリックします。

5 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

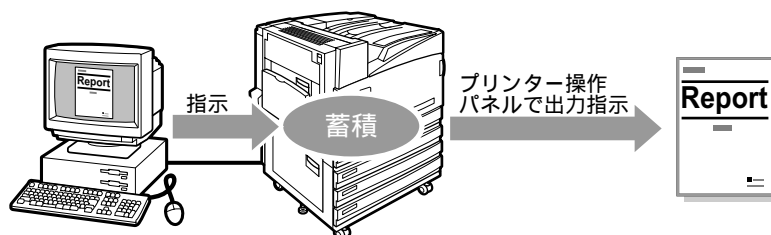
4.8 機密文書を印刷する / 出力結果を確認してから印刷する（セキュリティー / サンプルプリント）

本機に、オプションの内蔵増設ハードディスクと 256MB 以上のメモリーが装着されている場合は、「セキュリティープリント」（機密文書）や「サンプルプリント」（出力結果を確認してから、残りの部数を印刷する）機能が使用できます。

注記

内蔵増設ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、バックアップを取ることをお勧めします。

セキュリティープリント

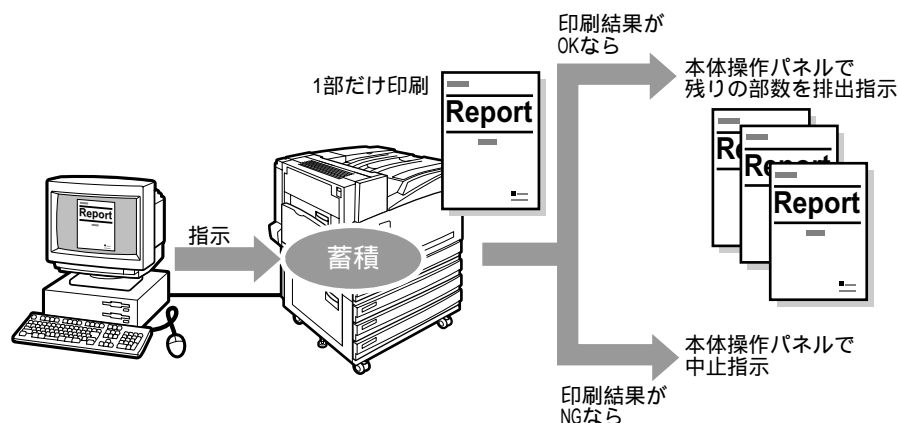
コンピューター上で、印刷データにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて本機に印刷を指示し、印刷データをプリンター内に一時的に蓄積させたあと、プリンターの操作パネルで印刷を開始できます。この機能を「セキュリティープリント」といいます。また、セキュリティーをかけないで印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をプリンターに蓄積しておけば、コンピューターから何度も印刷を指示することなく、本機側での指示だけで印刷させることができます。

補足

操作パネルの［セキュリティプリント操作］が［無効］に設定されている場合は、セキュリティープリントを出力できません。

参照

「セキュリティープリント操作」（P.253）

サンプルプリント

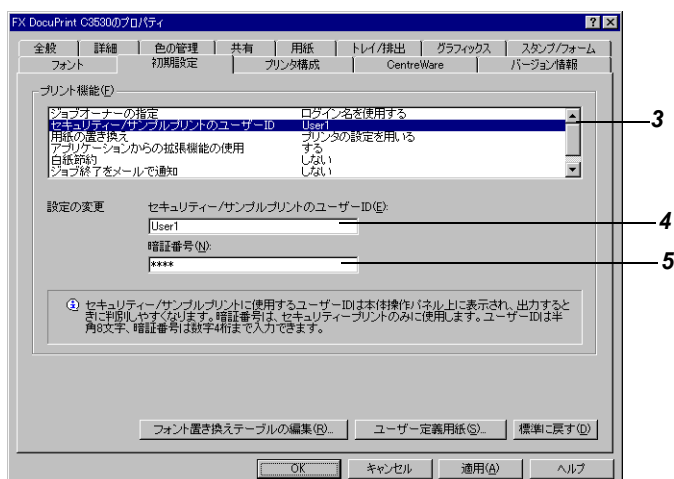
複数部数を印刷する場合、まず 1 部だけ印刷し、残りの部数は印刷結果を確認してから、操作パネルで印刷を開始できます。この機能を、「サンプルプリント」といいます。

4.8.1　セキュリティー/サンプルプリントの登録をする

セキュリティー / サンプルプリント機能を使用するには、あらかじめユーザーIDと暗証番号（セキュリティープリントのみ）を設定しておく必要があります。

操作手順

1 **［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。**

2 **［初期設定］タブをクリックします。**

3 **［プリント機能］リストボックスから、［セキュリティ / サンプルプリントのユーザー ID］を選択します。**

4 **［セキュリティ / サンプルプリントのユーザー ID］に、半角英数字を使って 8 文字以内でユーザー名を指定します。**

5 **暗証番号を付ける場合は、［暗証番号］に、暗証番号を入力します。**

半角数字で 4 文字まで入力できます。

6 **［OK］をクリックします。**

印刷する

4

4.8.2　セキュリティー / サンプルプリントをする

セキュリティー / サンプルプリントをする方法を説明します。
まず、セキュリティー / サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足

プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

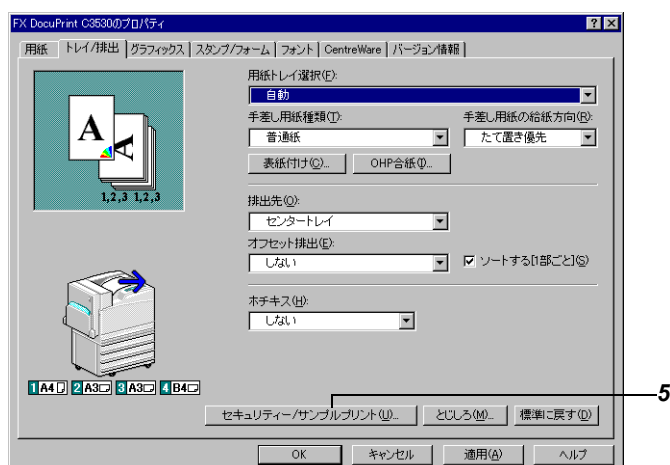
操作手順

1　**［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2　**［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

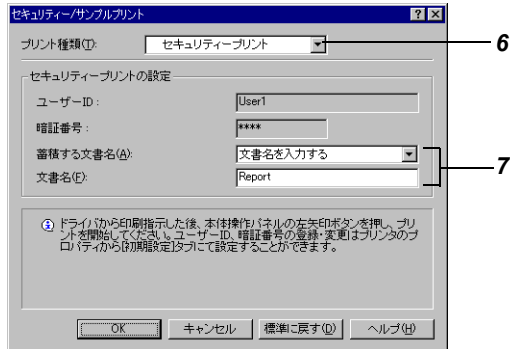
3　**サンプルプリントの場合は、［用紙］タブをクリックし、［部数］を 2 部以上に設定します。**

4　**［トレイ / 排出］タブをクリックます。**

5　**［セキュリティ / サンプルプリント］をクリックします。**

［セキュリティ / サンプルプリント］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［プリント種類］で、［セキュリティプリント］、または［サンプルプリント］をクリックします。

補足

- 印刷部数を 2 部以上に設定しないと、［サンプルプリント］は表示されません。
- ［サンプルプリント］を選択した場合は、［暗証番号］は表示されません。

7 ［セキュリティ / サンプルプリントの設定］の［蓄積する文書名］から、［文書名を入力する］、または［自動取得］を選択します。

［文書名を入力する］を選択した場合は、［文書名］に文書の名前を入力します。入力できる文字は、半角英数、半角カタカナで 12 バイトまでです。

［自動取得］を選択した場合、ドキュメント名などが、蓄積する文書名になります。ドキュメント名などが 12 バイトを超える場合、および全角文字が含まれている場合は、文書名が日付などに置き換わります。

8 ［OK］をクリックします。

9 ［トレイ排出］タブで［OK］をクリックし、印刷を実行します。

操作パネルでの操作

セキュリティー / サンプルプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを排出する手順について説明します。

前ページから（セキュリティープリント）

```
ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚ◀
[ｾｯﾄ]ｦ ｵｽ[_   ]⬍
```

⑤〈▶〉ボタンでカーソルを移動し、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号（4桁以内）を入力する

```
ｱﾝｼｮｳﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ｲﾚ◀
[ｾｯﾄ]ｦ ｵｽ[1111]⬍
```

⑥〈排出/セット〉ボタンを押す

```
ﾌﾞﾝｼｮ ｦ ｾﾝﾀｸ  ◀▶
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾌﾞﾝｼｮ  ⬍
```

⑦〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押し、文書を選択する

```
ﾌﾞﾝｼｮ ｦ ｾﾝﾀｸ  ◀▶
1. Report     ⬍
```

⑧〈▶〉ボタンを押す

```
1. Report     ◀▶
 ﾌﾟﾘﾝﾄｺﾞｻｸｼﾞｮｽﾙ⬍
```

（印刷後、本機に蓄積したデータを削除する場合は、〈▶〉ボタンを押し、〈排出/セット〉ボタンを押します）

⑨〈▼〉ボタンを押す

```
1. Report     ◀▶
 ﾌﾟﾘﾝﾄｺﾞﾎｿﾞﾝｽﾙ ⬍
```

⑩〈▶〉ボタンを押す

```
1. Report      ◀
[ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

⑪〈排出/セット〉ボタンを押す

```
1. Report
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ*
```

（プリント開始）

```
1. Report      ◀
[ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

（プリント終了）

⑫〈メニュー〉ボタンを押す
（電源ONの状態に戻ります。）

前ページから（サンプルプリント）

```
ﾕｰｻﾞｰID ｦ ｾﾝﾀｸ ◀▶
User1         ⬍
```

⑤〈▶〉ボタンを押す

```
ﾌﾞﾝｼｮ ｦ ｾﾝﾀｸ  ◀▶
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾌﾞﾝｼｮ  ⬍
```

⑥〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押し、文書を選択する

```
ﾌﾞﾝｼｮ ｦ ｾﾝﾀｸ  ◀▶
1. 08/21 19:24 ⬍
```

⑦〈▶〉ボタンを押す

```
1. 08/21 19:24 ◀▶
      ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ  ⬍
```

（蓄積したサンプルプリントを削除する場合は、〈▲〉〈▼〉ボタンを押して【サクジョ スル】を選択します）

⑧〈▶〉ボタンを押す

```
1. 08/21 19:24 ◀
[ｾｯﾄ]ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｼ
```

⑨〈排出/セット〉ボタンを押す

```
1. 08/21 19:24
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ*
```

（プリント開始）

```
ﾌﾞﾝｼｮ ｦ ｾﾝﾀｸ  ◀▶
1. 08/21 19:24 ⬍
```

（プリント終了）

⑩〈メニュー〉ボタンを押す
（電源ONの状態に戻ります。）

補足

- ユーザーIDは、ART EXプリンタードライバーの［初期設定］タブで設定した［セキュリティ / サンプルプリントのユーザー名］が表示されます（8文字まで）。
- パスワードは、ART EXプリンタードライバーの［初期設定］タブで設定したセキュリティープリントの［暗証番号］を入力します。［暗証番号］を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。
- ドキュメントの名前は、ART EXプリンタードライバーの［セキュリティ / サンプルプリント］ダイアログボックスの［蓄積する文書名］で設定した名前が表示されます（12バイトまで）。

4.9 印刷モードを設定する

カラーで印刷する場合の詳細な設定をすることができます。
設定は、[グラフィックス]タブを表示して行います。ここでは、[グラフィックス]タブで設定できる画質などの印刷モードについて説明します。

[カラーモード]について

[カラーモード]は、[カラー(自動判別)]、[白黒]から選択します。

選　択　肢	内　　　容
カラー(自動判別)	原稿のページごとにカラーか白黒かが自動的に判断されます。白黒以外の色が使われている場合はカラーで印刷され、白黒だけが使われている場合は白黒で印刷されます。
白黒	白黒で印刷されます。

また、[自動モードのあいまい判定]をオンにすると、[カラー(自動判別)]を選択しているときに、カラーと白黒の判定の基準をゆるめます。有彩色を含む色も、ある程度無彩色と判定し、白黒モードで出力します。

[印刷モード]について

[印刷モード]は、[標準]、[高画質]、[高精細]から選択します。

選　択　肢	内　　　容
標準	画質と速度のバランスを保ちながら、速く印刷します。
高画質	高画質で印刷したい場合に選択します。
高精細	細かい線画などを、より高い解像度で印刷したい場合に選択します。

補足

- [高画質]、[高精細]を選択した場合は、[標準]を選択した場合よりも印刷時間が長くなることがあります。
- 印刷に時間がかかる場合は、[詳細設定]で[ページ印刷モード]をオンにして印刷をお試しください。印刷時間が短縮される場合があります。
- [高画質]、[高精細]を選択して印刷する場合は、256MB 以上のメモリーが必要です。

[画質調整モード]について

[画質調整モード]は、[おすすめ]、[ICM 調整(システム)]、[CMS 調整(アプリケーション)]、[色変換しない]から選択します。
[おすすめ]を選択した場合は、[おすすめ画質タイプ]から、画質タイプを選択します。

[おすすめ]

弊社独自の方式で、画質調整を行います。
画質タイプは以下のとおりです。選択するときは、ART EX プリンタードライバー画面の左上に表示される画質イメージを参考にしてください。
選択できる項目は次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
標準	文字やグラフ、写真などが混在した文書を印刷します。
写真	写真やグラデーションをより美しく再現できます。sRGB で表現される画像の印刷に適しています。
プレゼンテーション	色を鮮やかに調整して印刷します。プレゼンテーション資料に適しています。
Web ページ	Web ページなどディスプレイ表示を再現したい場合に効果的です。
POP	POP のように鮮やかな色を使用した原稿を印刷したい場合に効果的です。

[ICM 調整（システム）]

Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP の ICM 機能を使用して色変換を行います。[ICM 調整（システム）] は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP の場合に表示されます。
[ICM 調整（システム）] を選択した場合は、[インテント] から色の変換方式を選択します。

補足

本機用の ICC プロファイルを使用するには、ICC プロファイルを、Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP の場合は「x（ドライブ名）:\ [Windows システムディレクトリ] \color\」に、Windows NT 4.0 の場合は「x（ドライブ名）:\ [Windows インストールディレクトリ] \」にコピーします。

選択できる項目は次のとおりです。

選　択　肢	内　　　容
鮮やかさ（Saturation）	プレゼンテーションなどのグラフィックスの再現性がよくなるように色変換します。
コントラスト（Perceptual）	写真などのイメージの再現性がよくなるように色変換します。
カラーメトリック（Colorimetric）	プリンターで再現できるな色だけを適切に再現し、再現範囲外の色は他の色に変換します。

[CMS 調整（アプリケーション）]

プリンタードライバーは色変換しません。独自の CMS（カラーマネージメントシステム）を持つアプリケーションから印刷する場合は、プリンターの特性に合わせて色変換された色データをプリンタードライバーに指示します。この場合、プリンタードライバーで二重に色変換をしないように、この項目を選択します。

補足

印刷するときに、アプリケーションに通知する解像度を指定できます。目的に応じて、[グラフィックス] タブの [詳細設定] をクリックし、[詳細設定] タブの [解像度] で、[自動] [600dpi]、[300dpi]、[200dpi] から選択します。本機の解像度は 600dpi ですが、[300dpi]、または [200dpi] を選択すると、600dpi で正常に印刷できないアプリケーションに対して、300dpi、または 200dpi として通知できます。[300dpi]、または [200dpi] を選択して印刷した場合、文字や色などの印刷結果に違いが現れることがあります。また、フォントをプリンターにダウンロードする際にドットが粗くなることがあります。

[画質自動補正]について

印刷する原稿の特長に合わせて、印刷方法を指定します。ページ内の写真などのイメージデータを、指定した画質タイプの特性に応じて、自動で補正します。

補足

- [グラフィックス]タブ、または[用紙]タブの[カラーモード]が[白黒]の場合と、[画質調整モード]が[ICM 調整(システム)]、または[CMS 調整(アプリケーション)]の場合には、ここでの設定は選択できません。
- [ICM 調整(システム)]は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP で表示されます。

操作手順

1 **[ファイル]メニューから、[印刷]を選択します。**

2 **[プリンタ名]を確認し、[プロパティ]をクリックします。**

3 **[グラフィックス]タブをクリックします。**

4 **[カラーモード]から、[カラー(自動判別)]または[白黒]を選択します。**

変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

5 **[印刷モード]から、[標準]、[高画質]、[高精細]のどれかを選択します。**

6 **[画質調整モード]から、モードを選択します。**

変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

印刷する
4

7 ［画質調整モード］で［おすすめ］を選択した場合は、［おすすめ画質タイプ］から、画質タイプを選択します。［ICM 調整（システム）］を選択した場合は、［インテント］から、色の変換方式を選択します。

［おすすめ画質タイプ］の変更の結果は、左上の画質イメージで確認できます。

補足

［ICM 調整（システム）］は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP の場合に表示されます。

8 ［画質自動補正］で、原稿の特長に合わせて印刷方法を選択します。

9 ［OK］をクリックし、印刷を実行します。

4.10 画質を調整して印刷する

画質について詳細な設定をして印刷できます。
設定は、グラフィックスプロパティを表示して行います。グラフィックスプロパティには 4 つのタブがあります。それぞれのタブで設定できる項目は次のとおりです。

タ ブ 名	内 容
画質調整タブ	明度 / 彩度 / コントラストを原稿全体、または文字、図 / 表 / グラフ、写真の原稿要素ごとに調整できます。
カラーバランスタブ	ブラック / シアン / マゼンタ / イエローのトナー濃度を微調整できます。それぞれ低濃度、中濃度、高濃度の設定ができます。
プロファイル指定タブ	原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニター、スキャナーなど）の特性に合わせた、色温度 / ガンマ指定の設定や、ICC プロファイルの指定ができます。
詳細設定タブ	文字、図 / 表 / グラフ、写真の原稿要素ごと、および原稿全体に対して、詳細な画質の設定ができます。

4.10.1 明度 / 彩度 / コントラストを調整する

明度 / 彩度 / コントラストは、原稿全体、または［文字］、［図 / 表 / グラフ］、［写真］の原稿要素ごとに調整できます。
明度 / 彩度 / コントラストは、それぞれ -100 ～ 100 の範囲で、1 刻みに指定できます。原稿要素ごとに設定した場合は、印刷するページ内の要素を自動的に判断し、それぞれの設定値を適用します。

項 目 名	内 容
明度	色の明暗の度合いを表します。明度が高いほど白に近く見えます。
コントラスト	白から黒までの明暗の変化の度合いを表します。コントラストが高いほど明暗の変化がはっきりします。
彩度	色の鮮やかさの度合いです。彩度が高いほど色が鮮やかです。

調整は、［画質調整］タブを表示して行います。
ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足

- ［グラフィックス］タブの［画質調整］モードが［ICM 調整（システム）］、または［CMS 調整（アプリケーション）］の場合は、明度 / 彩度 / コントラストは調整できません。［ICM 調整（システム）］は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP の場合に表示されます。
- ［グラフィックス］タブの［カラーモード］が［白黒］の場合は、彩度は調整できません。
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［グラフィックス］タブをクリックし、［画質調整］をクリックします。

グラフィックスプロパティが開き、［画質調整］タブが表示されます。

4 ［原稿全体を設定する］、または［原稿要素ごとに設定する］をクリックします。

5 ［原稿要素ごとに設定する］を選択した場合は、右のリストボックスから原稿要素を選択します。

6 明度 / 彩度 / コントラストを調整します。

キー入力、またはスライドバーで、-100 ～ 100 の範囲で、1 刻みに調整します。変更の結果は、左側の画質イメージで確認できます。

7 ［OK］をクリックします。

4.10.2 カラーバランスを調整する

CMYK（シアン / マゼンタ / イエロー / ブラック）のトナー濃度を調整して印刷できます。
各色とも低濃度 / 中濃度 / 高濃度に対して、それぞれ -3 ～ +3 の範囲で、7 段階の調整ができます。

参照

階調補正については、「5.8　階調を補正する」(P.169) を参照してください。

調整は、［カラーバランス］タブを表示して行います。
ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- ［グラフィックス］タブの［カラーモード］が［白黒］の場合は、ブラックだけ調整できます。

操作手順

1 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

3 **［グラフィックス］タブをクリックし、［カラーバランス］をクリックします。**

グラフィックスプロパティが開き、［カラーバランス］タブが表示されます。

4 **［カラーバランスを調整する］チェックボックスをオンにします。**

5 **右のリストボックスから、調整する色を選択します。**

6 **濃度を調整します。**

低濃度 / 中濃度 / 高濃度のグラフの下の［▲］［▼］ボタンで、-3 ～ +3 の範囲で、7 段階の調整ができます。変更の結果は、グラフに表示されます。

7 **［OK］をクリックします。**

4.10.3 デバイス（モニター、スキャナーなど）の特性の違いを補正する

原稿画像を忠実に再現するために、デバイス（モニター、スキャナーなど）の特性に合わせた補正を行って印刷できます。
補正方法には［色温度 / ガンマ指定］と、［ICC プロファイル指定］があります。
［色温度 / ガンマ指定］は、すべての原稿要素に適応する［色温度］と［ガンマ補正］が指定できます。

項　目　名	内　　容
色温度	使用しているモニターの設定に合わせて、すべての原稿要素の色あいを変化させます。モニターの特性に最も近いものを選択してください。 ［5000K（D50）］、［6500K（D65）］、［9300K］から選択できます。
ガンマ補正	すべての原稿要素の明るさを変化させます。 ［1.0］、［1.4］、［1.8］、［2.2］、［2.6］から選択できます。

［ICC プロファイル指定］は、［モニター］と［入力画像］に対して ICC プロファイルを指定できます。ICC プロファイルとは、デバイスの色に関する特性を記述したファイルです。選択できる ICC プロファイルは、モニターと RGB スキャナーのものに限ります。

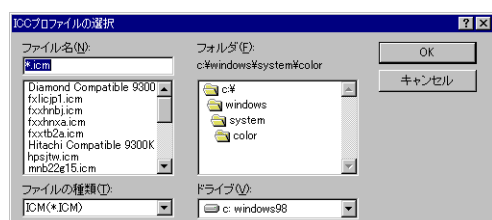
項　目　名	内　　容
モニター	文字、図、表、グラフに適応する ICC プロファイルを指定します。［しない］、または「最後に選択された有効なプロファイル名」を選択します。通常は、使用しているモニターの ICC プロファイルを選択します。
入力画像	イメージデータに適応する ICC プロファイルを指定します。［しない］、［モニターと同じ］、「最後に選択された有効なプロファイル名」から選択します。通常は、イメージを入力した RGB スキャナーの ICC プロファイルを選択します。

補足

「最後に選択された有効なプロファイル名」は、以前に ICC プロファイルを指定したことがある場合に表示されます。

また、[モニター]、[入力画像]ともに、ICC プロファイルを任意のフォルダーから読み込むことができます。[ICC プロファイルの選択]ダイアログボックスでは、ICC プロファイル拡張子の「.icm」を持つファイルだけが表示されます。指定できるファイル名は、フルパスで半角 128 文字です。
[ICC プロファイルの選択]ダイアログボックスを開くときのデフォルトディレクトリーは、次のとおりです。
Windows 95/98/Me/2000/XP　：x:\［Windows システムディレクトリ］\color
Windows NT 4.0　　　　　 ：x:\［Windows インストールディレクトリ］

補足
「x」は、システムが入っているドライブ名を表しています。

Windows 98 の例を示します。

調整は、[プロファイル指定]タブを表示して行います。
ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

補足
- [グラフィックス]タブの[画質調整]モードが[ICM 調整(システム)]、または[CMS 調整(アプリケーション)]の場合は、補正できません。[ICM 調整(システム)]は、Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP の場合に表示されます。
- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［グラフィックス］タブをクリックし、［プロファイル指定］をクリックします。

グラフィックスプロパティが開き、［プロファイル指定］タブが表示されます。

4 ［色温度 / ガンマ指定］、または［ICC プロファイル指定］をクリックして、補正方法を選択します。

5 選択した補正方法の詳細を指定します。

6 ［OK］をクリックします。

4.11 よく使う設定を登録して印刷する（お気に入り）

よく使う印刷設定を［お気に入り］に登録して、印刷できます。

4.11.1 ［お気に入り］に設定を登録する

ここでは、A4 サイズで複数ページの原稿を、2 アップで A4 サイズの用紙に、［高画質］で印刷する設定を例に説明します。

操作手順

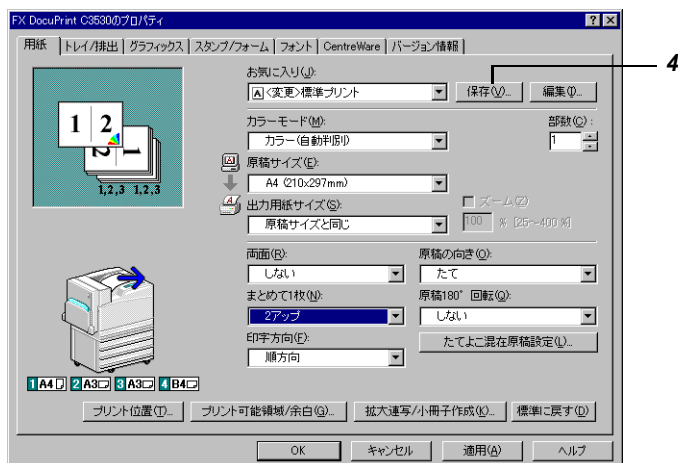
1 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

3 **各タブで、登録したい設定をします。**

例として、［グラフィックス］タブの［印刷モード］で［高画質］を選択し、［用紙］タブの［原稿サイズ］、［出力用紙サイズ］で A4 を、［まとめて 1 枚］で［2 アップ］を選択します。

4 **［用紙］タブで、［お気に入り］の横の［保存］をクリックします。**

［お気に入りの保存］ダイアログボックスが表示されます。

5 **［名前］に登録する設定の名前を入力し、［コメント］に覚え書きを入力します。**

印刷する

4

6 **［お気に入りの保存］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

参照
［お気に入り］に登録した設定を変更、削除したいときは、［お気に入り］の横の［編集］をクリックします。詳しくは、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

7 **［適用］をクリックします。**

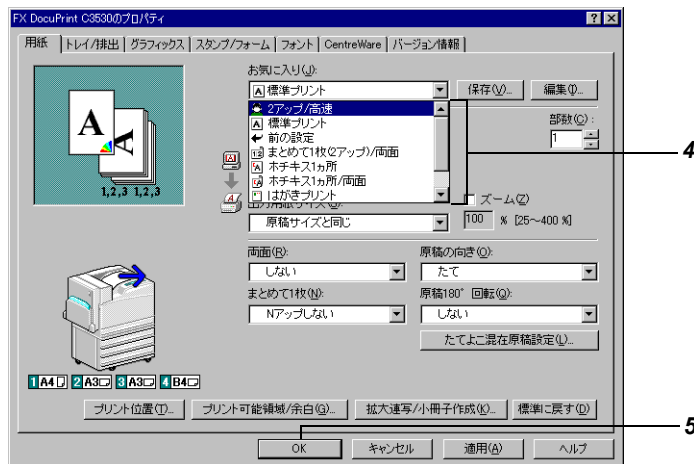
4.11.2 登録した設定を使って印刷する

操作手順

1 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

3 **［用紙］タブをクリックします。**

4 **［お気に入り］で、登録した設定を選択します。**

5 **［OK］をクリックし、印刷を実行します。**

4.12 PDF を直接印刷する（コンテンツブリッジ）

本機では、コンテンツブリッジを搭載しているので、PDF ファイルをプリンタードライバーを使用しないで直接プリンターに送信して印刷できます。印刷データが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単で高速に印刷されます。PDF ファイルを直接印刷する方法には、次の 2 種類があります。

■コンテンツブリッジを使用する

コンテンツブリッジを使用して PDF ファイルを印刷するには、弊社ソフトウエアの Contents Bridge Utility を使用する方法と、lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信して印刷する方法があります。

補足

Contents Bridge Utility を使用する場合は、「4.12.1　Contents Bridge Utility を使用して PDF ファイルを印刷する」(P.87) を参照してください。lpr コマンドなどを使用する場合は、「4.12.2　Contents Bridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する」(P.91) を参照してください。

■PostScript の機能を使用する

PostScript ソフトウエアキット（オプション）を装着している場合は、PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷できます。

補足

PostScript の機能を使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、「 7.2.1　プリント言語の設定 」(P.238) を参照して操作パネルで［PDF］の［プリント処理モード］を【PS】に設定してから、「4.12.2 Contents Bridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する」(P.91) を参照して印刷してください。

注記

USB、パラレルポートを使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、Contents Bridge Utility を使用してください。

補足

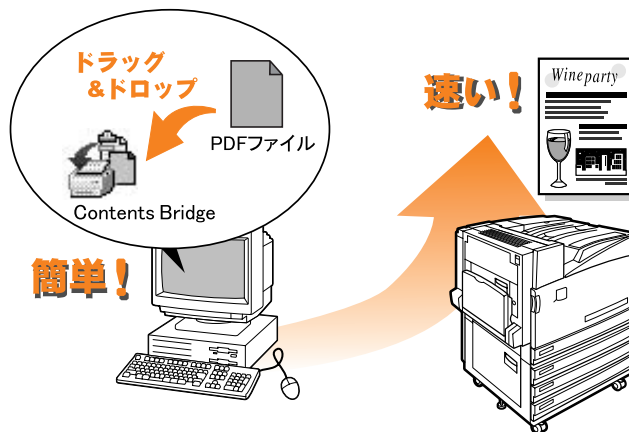
PDF ダイレクトプリント機能を使って正しく印刷するためには、メモリー容量が 256MB 以上であることをお勧めします。

印刷できる PDF ファイル

印刷できる PDF ファイルは、Adobe Acrobat 4、および Adobe Acrobat 5（PDF1.4 で追加された一部機能は除く）です。また、LZW 圧縮を使用したオブジェクトを含む PDF ファイルを印刷するには、コンテンツブリッジ拡張キット（オプション）が必要です。

補足

- LZW は、米国特許番号 4,558,302 でライセンス許可を受けた LZW アルゴリズムを採用しています。
- PDF ファイルの作成方法によって、プリンターに直接印刷できないことがあります。その場合は、PDF ファイルを開きプリンタードライバーを使って印刷してください。

4.12.1 Contents Bridge Utility を使用して PDF ファイルを印刷する

Contents Bridge Utility の動作環境

- **対象 OS**
  Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/
  Windows XP

Contents Bridge Utility をインストールする

コンピューターの任意のフォルダーまたはデスクトップに、CentreWare の CD-ROM から Contents Bridge.exe をコピーします。

補足
Contents Bridge.exe が格納されているフォルダーなどについては、CentreWare の CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

Contents Bridge Utility で設定できる項目

印刷範囲

印刷するページを指定します。

印刷部数

■部数
印刷する部数を、1 ～ 999 部の間で設定します。

■部単位で印刷
複数部数を、1 部ごとにソート（1、2、3...1、2、3...）して印刷するかどうかを指定します。

プリンタ設定

■カラーモード

［カラー（自動）］	原稿のページごとにカラーか白黒かが自動的に判断されます。
［白黒］	白黒で印刷されます。

■印刷モード

高速に印刷したい場合は［高速］を、よりきれいに印刷したい場合は［高画質］を選択します。速度、画質ともに標準的な印刷をしたい場合は［標準］を選択します。

■用紙サイズ

［A4］　A4 サイズの用紙に印刷されます。
［自動］　印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。

■用紙種類

［標準］　普通紙に印刷されます。
［プリンタ設定］　用紙トレイ 5（手差し）にセットされている用紙に印刷されます。用紙種類は、操作パネルの共通メニューで用紙トレイ 5（手差し）に設定されている値が有効になります。

■両面

両面印刷を行うかどうかと、行う場合は、とじ方を指定します。

■レイアウト

［自動倍率］　用紙サイズに合わせて、原稿サイズが自動的に拡大縮小されます。
［100%］　原稿サイズを等倍で印刷します。用紙サイズは、A4 固定です。
［カタログ(小冊子)］　印刷結果がカタログのようにページ割り付けされて両面印刷されます。

補足

PDF ファイルのページ構成によっては、カタログ（小冊子）は使用できません。この場合には、［両面］を［長辺とじ］に、［レイアウト］を［自動倍率］に設定して印刷すると、正しい結果が得られることがあります。

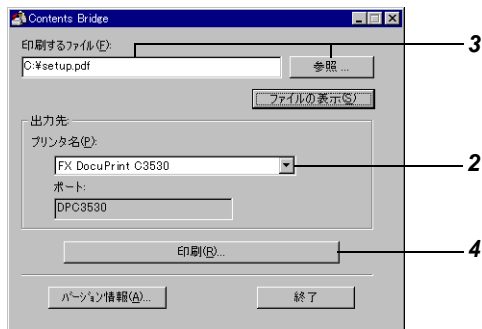
［2 アップ］　1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷されます。用紙サイズは A4 固定です。
［4 アップ］　1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷されます。用紙サイズは A4 固定です。

PDF ファイルを印刷する

操作手順

1 **[Contents Bridge.exe] アイコンをダブルクリックして、起動します。**

［Contents Bridge］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［プリンタ名］を本機に設定します。**

3 **［印刷するファイル］に印刷する PDF ファイルのパスを入力するか、［参照］をクリックして対象のファイルを指定します。**

4 **［印刷］をクリックします。**

［PDF 印刷］ダイアログボックスが表示されます。

5 **各項目を設定します。**

6 **［PDF 印刷］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

印刷データがプリンターに送信されます。

このとき、PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、ダイアログボックスが表示されます。PDF ファイルに設定されているパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

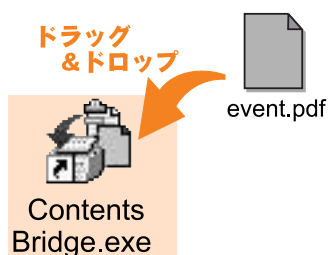
7 **［Contents Bridge］ダイアログボックスの［終了］をクリックします。**

PDF ファイルを、簡単な手順で印刷する

本機を通常使うプリンターに設定し、[Contents Bridge.exe] のショートカットアイコンをデスクトップ上に作成すると、PDF ファイルを簡単な手順で印刷できます。

操作手順

1 **印刷する PDF ファイルを、Contents Bridge.exe のショートカットアイコン上にドラッグ & ドロップします。**

［印刷確認］ダイアログボックスが表示されます。

2 **[PDF 印刷] ダイアログボックスで印刷形式を設定する場合は、[印刷設定] ボタンをクリックします（①）。**

印刷形式を設定する必要がない場合は、［印刷確認] ダイアログボックスの ［OK］ボタンをクリックします（②）。

印刷データがプリンターに送信されます。

補足

チェックを解除する場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックして起動してください。次にドラッグ & ドロップしたときには、再び［印刷確認］ダイアログボックスが表示されます。

印刷する
4

4.12.2 Contents Bridge Utility を使用しないで PDF ファイルを印刷する

Contents Bridge Utility を使用しないで、PDF ファイルを直接 lpr コマンドなどを使ってプリンターに送信し印刷します。この場合、次の項目は操作パネルの設定に従って印刷されます。

- **プリント処理モード**
- **部数**
- **両面**
- **印刷モード**
- **パスワード**
- **ソート**
- **用紙サイズ**
- **レイアウト**

参照

項目について、詳しくは「7.2.1　プリント言語の設定」(P.238) を参照してください。

補足

- ［プリント処理モード］は、オプションの PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。
- ［レイアウト］は、［プリント処理モード］で［PDF Bridge］が選択されている場合に表示されます。
- lpr コマンドを使って印刷する場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの［部数］の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合は、操作パネルまたは CentreWare Internet Services を使って、プリンター側の LPD プロトコルを起動しておく必要があります。

参照

「1.4.1　ポートを起動する」(P.14)

対象 OS

Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP

PDF ファイルを印刷する

lpr コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合の、コンピューター側の指定例は、次のとおりです。

補足

空白（スペース）は、△で表します。

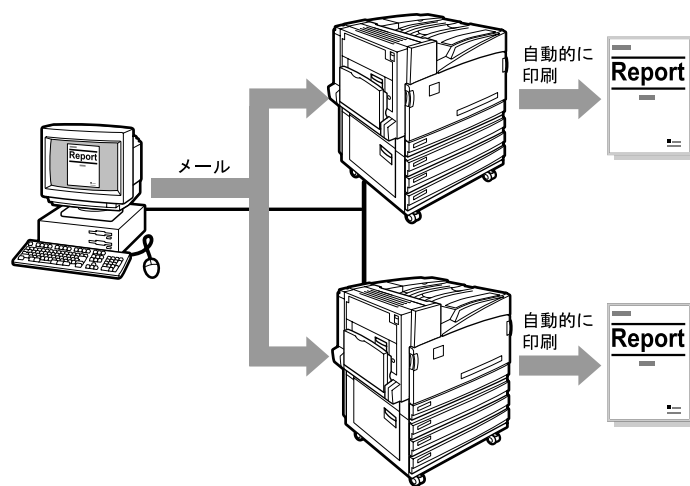
例：プリンターの IP アドレスが 192.168.1.100 で、event.pdf ファイルを印刷する

```
C:\>lpr△-P△lp△-S△192.168.1.100△event.pdf
```

〈Enter〉キー

4.13 文書をメールでプリンターに送る（メールプリント）

プリンターがネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの送受信ができる環境がある場合は、コンピューターからプリンターあてにメール送信できます。
コンピューターから送信されたメールの本文、およびメールに添付された TIFF 形式、PDF 形式の文書が、プリンターから印刷されます。
この機能を「メールプリント」といいます。

補足
メールプリント機能を使用するには、オプションの内蔵ハードディスクが装着されている必要があります。

4.13.1 メールプリントをするための環境設定

メールプリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー（SMTP サーバーや POP3 サーバーなど）にも設定が必要です。

補足
メール環境の設定については、ネットワーク管理者にご相談ください。

ネットワーク環境の設定

- **ユーザーアカウントの登録**

CentreWare Internet Services での設定

CentreWare Internet Services を使用して、ポート起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどを設定します。

メール環境に合わせて、プロパティ画面の次の項目を設定します。

補足

設定後は、必ず［新しい設定を適用］をクリックし、本機を再起動してください。

＊：工場出荷時の初期値

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
本体説明	管理者メールアドレス	インターネットサービスの管理者メールアドレスを設定します。	メールアドレスとして登録可能な文字で、128 バイト以内	○	○
	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスが、メールの［From］欄に表示されます。			
ポート起動	メール受信	オンに設定します。	-	○	○
プロトコル設定→TCP/IP	ホスト名	本機のホスト名を設定します。	任意の文字で、32 バイト以内	○	○
	DNS サーバーアドレス取得方法	オンにすると、DHCP サーバーから自動的に DNS サーバーアドレスを取得します。	• オフ：手動＊ • オン：DHCP	○	-
	DNSサーバーアドレス1～3	DNS サーバーアドレスを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx	○	-
	DNSドメイン名	DNS ドメイン名を設定します。	英数字と「．」、「-」、で、255 バイト以内	○	-
	SMTPサーバーアドレス取得方法	オンにすると、DHCP サーバーから自動的に SMTP サーバーアドレスを取得します。	• オフ：手動＊ • オン：DHCP	○	-
	SMTP サーバーアドレス	メール受信用のSMTPサーバーアドレスを設定します。	英数字と「.」、「-」で、128 バイト以内	○	-
プロトコル設定→メール	受信プロトコル	メールの受信方法を設定します。	• SMTP＊ • POP3	○	○
	ヘッダー本文の印刷	受信したメールの添付文書（TIFF、PDF）共に、電子メールのヘッダーを印刷する場合の設定します。電子メールの受信経路などを印刷したいときは［全ヘッダーとコメント］に設定します。	• しない（添付文書のみ印刷） • 基本的なヘッダーと本文（本文がある時のみ） • 基本的なヘッダーと本文＊ • すべてのヘッダーと本文	○	○
	POP3 サーバーアドレス	メール受信用のPOP3サーバーアドレスを設定します。	英数字と「.」、「-」で、128 バイト以内	-	○
	POP3 サーバー確認間隔	POP3サーバーにメールを確認する間隔を設定します。	1 ～ 120 分 10 分＊	-	○
	POP ユーザー	POP3サーバーに接続するためのユーザー名を設定します。1 ユーザーだけ設定できます。	メールアドレスとして登録可能な文字で、64 バイト以内	-	○
	POPユーザーパスワード	POP ユーザー名に対するパスワードを設定し、［POP ユーザーパスワードの確認入力］にもう一度パスワードを入力します。	英数字で、64 バイト以内	-	○

4.13.2 メールを送信する

送信できる添付ファイル

添付文書として送信できるのは、次のファイルです。

- **PDF ファイル**
- **Tiff ファイル**

ここでは、Outlook Express を例にコンピューターから各プリンターにメールを送信する方法を説明します。

操作手順

1 お使いのメールソフトウエアで本文を作成し、TIFF または、PDF ファイルの添付文書がある場合は添付します。

注記

メールの本文は、テキスト形式だけ使用できます。お使いのメールソフトウエアの設定で、メール本文の形式をテキスト形式にしてください。

補足

- 添付ファイルの拡張子が、「.tif」、または「.pdf」以外の場合は、正しく印刷されないことがあります。
- 最大 31 文書まで添付できます。

2 あて先に本機のメールアドレスを入力します。

3 メールを送信します。

本機でメールを受信後、自動的に印刷されます。

補足

メール本文、および添付文書は、受信プリンター側の以下の設定で印刷されます。なお、どの場合も、オフセット排出機能の指定は無効になります。

- メール本文：
  コンピューターにインストールされている、本機用の ART EX プリンタードライバーの初期値
- TIFF ファイルの添付文書：
  CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある [TIFF] の [使用するメモリー設定] で設定されている論理プリンターの初期値
- PDF ファイルの添付文書：
  操作パネルの共通メニューの [PDF] で設定されている値

4.13.3 メールによる文書送信時のご注意

セキュリティーに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりしないよう、セキュリティーに関しての注意が必要です。
したがって、重要情報はセキュリティーが確保されているほかの方法を利用することをお勧めします。また、不用メールの受信を防止するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

受信許可ドメインの設定

本機では、特定のドメインからだけのメールを受信するように設定できます。
受信許可ドメインの設定方法については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

日常管理

5.1 コンピューターからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)

5.1.1 CentreWare Internet Servicesの概要

CentreWare Internet Servicesは、TCP/IP環境が使用できる場合に、Webブラウザーを介して、プリンターの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。
プリンターの設定では、操作パネルで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。

補足
本機をローカルプリンターとして使用している場合は、CentreWare Internet Servicesは使用できません。

CentreWare Internet Servicesを利用できる環境、コンピューター、およびブラウザーは、以下のとおりです。

参照
CentreWare Internet Servicesを利用できる環境の最新情報については、CD-ROM内のマニュアルを参照してください。

使用できる環境

CentreWare Internet Servicesを利用するには、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク環境と、プリンター側でインターネットサービスを【キドウ】(工場出荷時：起動)にする必要があります。

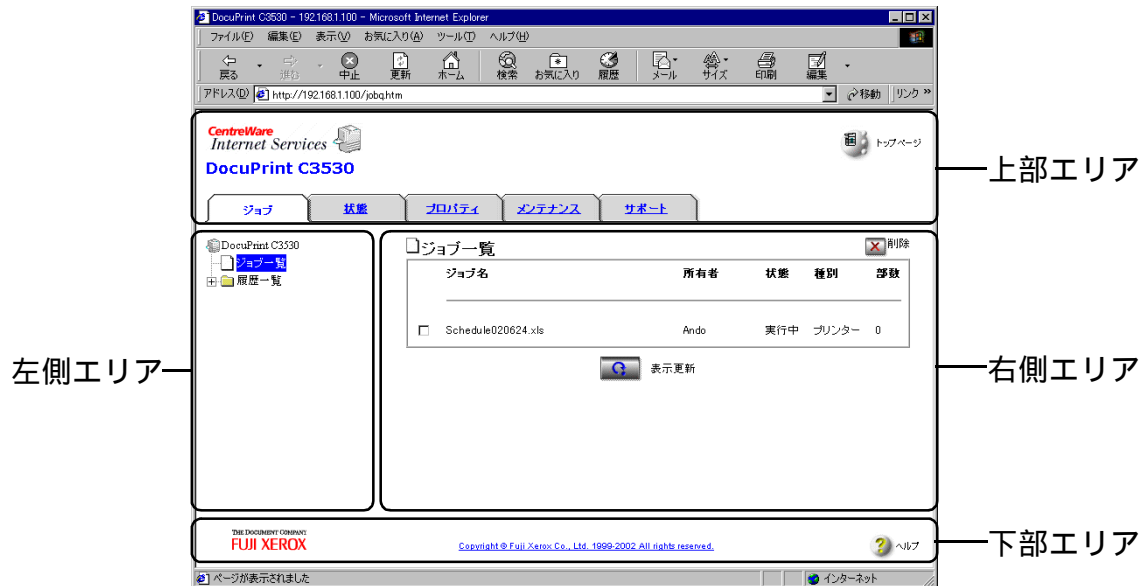
コンピューター

- Microsoft® Windows® 95 Operating System日本語版(ServicePack 1以上)
- Microsoft® Windows® 98 Operating System日本語版
- Microsoft® Windows® Me Operating System日本語版
- Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版(ServicePack 4以上)
- Microsoft® Windows NT® Server 4.0日本語版(ServicePack 4以上)
- Microsoft® Windows® 2000 Professional日本語版
- Microsoft® Windows® 2000 Server日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional日本語版
- Microsoft® Windows® XP Home Edition日本語版
- MacOS 8.0以降

ブラウザー

- Windows用Netscape Communicator 4.78、Netscape 6.2日本語版
- Windows用Internet Explorer ver5.0、5.5、6.0日本語版
- Macintosh用Netscape Communicator ver4.7日本語版
- Macintosh用Internet Explorer ver5.1.4(MacOS 8.X/9.X)、5.2(MacOS X)日本語版

5.1.2 CentreWare Internet Services の画面構成

CentreWare Internet Services の画面構成について説明します。

上部エリア

ウィンドウの上部に表示されるエリアです。初期状態（トップページ表示）では、ロゴマーク、機種名が表示されています。各カテゴリーのページでは、ロゴマークと機種名に加えて、トップページへのリンクと、各カテゴリーに移動するためのタブ（リンク）が表示されます。

下部エリア

常に弊社のホームページへのリンク、Copyright 画面へのリンク、ヘルプへのリンクが表示されています。下部エリアは、どのページにも同じ内容が表示されます。

右側エリア、左側エリア

右側エリアと左側エリアの表示内容は、各カテゴリーの機能を選択するたびに大きく変化します。

5.1.3 ブラウザーの設定

本サービスを利用する前に、使用する Web ブラウザーで以下の設定を確認してください。

Netscape Communicator での確認

操作手順

1. ［編集］メニューの［設定 ...］を選択します。
2. ［カテゴリ］で［詳細］を選択します。
3. ［JavaScript を有効にする］がオンになっていることを確認します。
4. ［カテゴリ］の［詳細］の左にある［+］を選択します。
5. ［詳細］の下の［キャッシュ］を選択します。
6. ［キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較］で、［セッション毎］または［毎回］を選択します。
7. ［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

Internet Explorer での確認

操作手順

1. バージョン 4.x では、［表示］メニューから［インターネットオプション ...］を、5.x では［ツール］メニューから［インターネットオプション ...］を選択します。
2. ［全般］タブにある、［インターネット一時ファイル］の［設定 ...］をクリックします。
3. ［設定］ダイアログボックスの［保存しているページの新しいバージョンの確認：］で、［ページを表示するごとに確認する］または［Internet Explorer を起動するごとに確認する］を選択します。
4. ［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5.1.4 プロキシサーバーとポート番号について

本サービスを利用する場合の、プロキシサーバーの設定とポート番号について説明します。

プロキシサーバーの設定

本サービスを使用する場合には、プロキシサーバーを経由しないで直接接続することをお勧めします。

補足

プロキシサーバーを経由する場合は、ブラウザーで本機の IP アドレスを指定すると応答が遅くなり、画面が表示されない場合があります。その場合は、ブラウザー側で本機の IP アドレスを、プロキシサーバーを経由しない設定にします。設定方法については、お使いのブラウザーの説明書を参照してください。

ポート番号の設定

本サービスのポート番号は、工場出荷時は「80」に設定されています。ポート番号はプロパティ画面の［プロトコル設定］の［HTTP］で変更することもできます。設定できるポート番号は 80、8000 ～ 9999 です。
なお、ポート番号を変更した場合には、ブラウザーから接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。
たとえば、ポート番号を 8080 にした場合には、以下のように指定します。

- **入力例 1：IP アドレスが「192.168.1.100」、ポート番号が「8080」の場合「http://192.168.1.100:8080」と入力します。**
- **入力例 2：URL が「dpc.aaa.bbb.fujixerox.co.jp」、ポート番号が「8080」の場合「http://dpc.aaa.bbb.fujixerox.co.jp:8080」と入力します。**

補足

ポート番号は、機能設定リストで確認できます。機能設定リストについては、「5.5.1　レポート / リストの種類」(P.141) を参照してください。

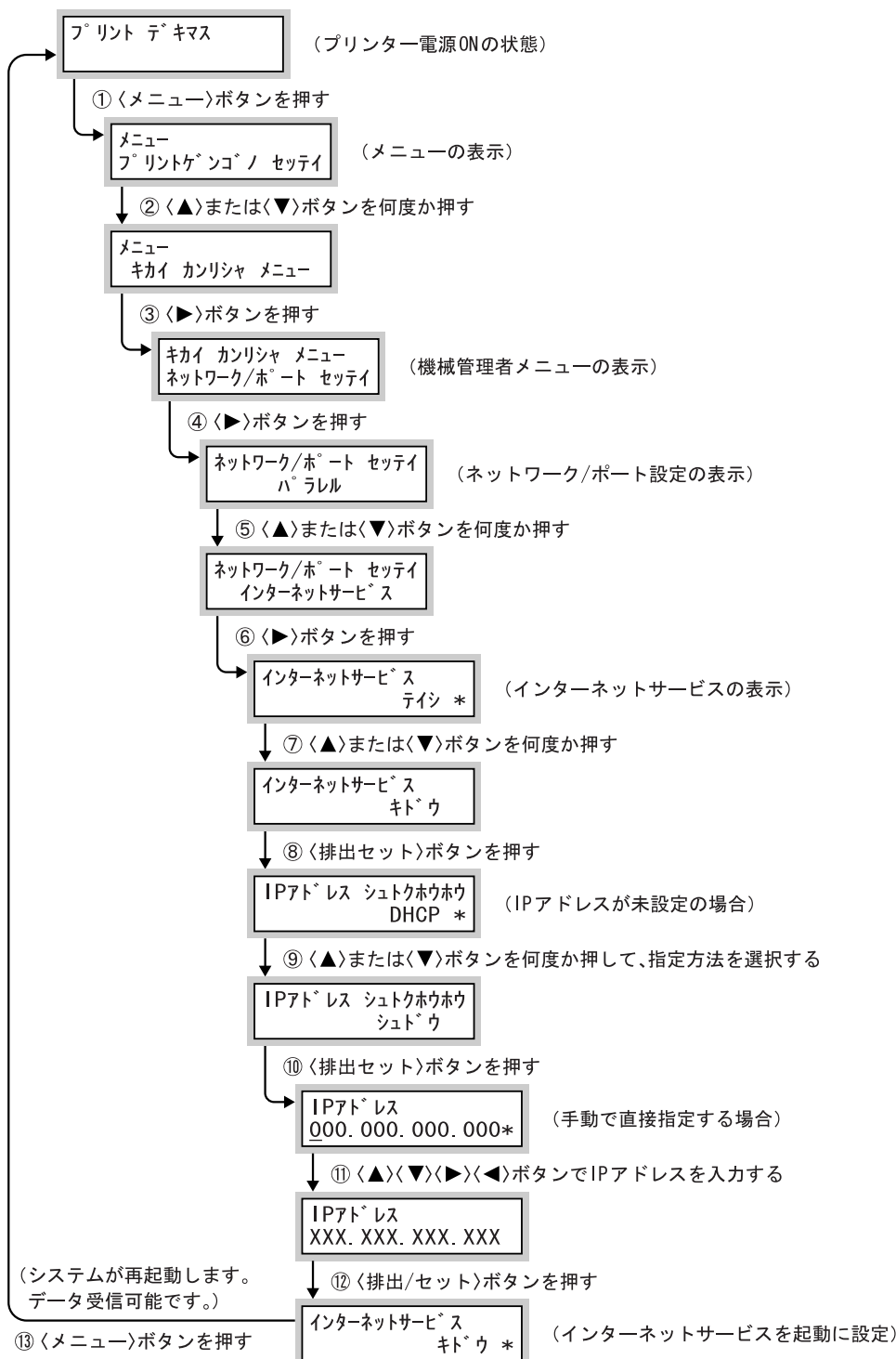
日常管理

5

5.1.5 プリンター側の設定

インターネットサービスを停止している場合は、操作パネルで、次の手順に従って起動します。

注記

IP アドレスが無効の場合は、インターネットサービスを起動したあとに、IP アドレスの設定を行います。表示に従って IP アドレスを設定してください。

5.1.6 CentreWare Internet Services について設定できる項目

本体側でインターネットサービスを起動したあと、CentreWare Internet Service に関する以下の項目を設定できます。

［プロパティ］画面の［Internet Services 設定］で設定できる項目

- 表示更新時間　（工場出荷時：【120 秒】）
- 管理者モード　（工場出荷時：【有効】）
- 管理者名　（工場出荷時：【admin】）
- 管理者パスワード　（工場出荷時：【admin】）
- 管理者メールアドレス

［プロパティ］画面の［プロトコル設定］の［HTTP］で設定できる項目

- ポート番号　（工場出荷時：【80】）
- 最大セッション数　（工場出荷時：【5】）
- タイムアウト　（工場出荷時：【30 秒】）

5.1.7 CentreWare Internet Services を使用する

本サービスを使用する場合は、次の手順でブラウザーを起動します。

操作手順

1 コンピューターを起動し、ブラウザーを起動します。

2 ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

- 入力例 1：IP アドレスが「192.168.1.100」の場合

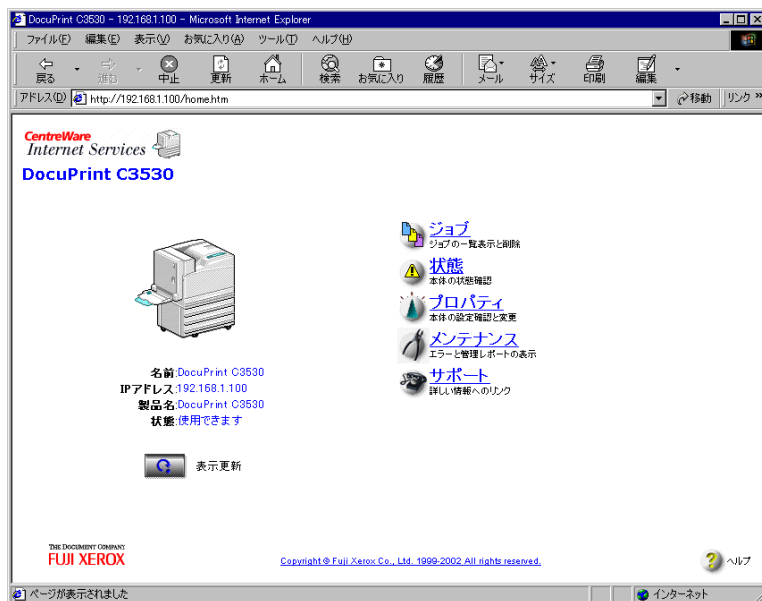
  「http://192.168.1.100/」と入力します。

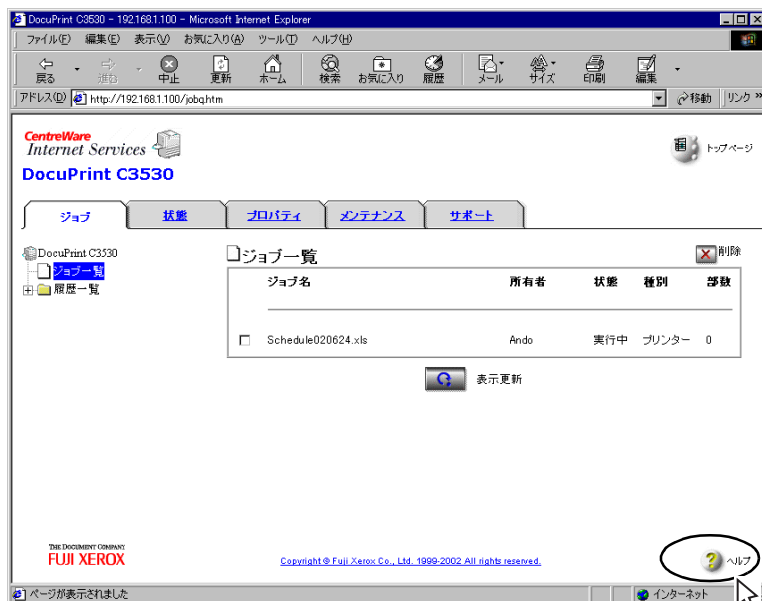
- 入力例 2：URL が「dpc35.aaa.bbb.fujixerox.co.jp(ホスト名：dpc35、ドメイン名：aaa.bbb.fujixerox.co.jp)」の場合

  「http://dpc35.aaa.bbb.fujixerox.co.jp/」と入力します。

補足

ポート番号を指定する場合には、アドレスの後ろに「:」、続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。

CentreWare Internet Services の画面が表示されます。

オンラインヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、ヘルプボタンを押して、オンラインヘルプをごらんください。

ジョブ

「ジョブ」画面では、各プロトコル、またはプリンターの操作パネルで指示した印刷ジョブに関する状態が表示されます。

状態

「状態」画面では、本機の用紙トレイ、排出トレイ、および消耗品の状態が表示されます。

プロパティ

「プロパティ」画面では、本機のシステム、インターフェイス、エミュレーションに関する項目が表示され、設定内容の確認と設定変更ができます。

メンテナンス

「メンテナンス」画面では、エラー履歴が確認できます。

サポート

「サポート」画面には、弊社のアクセス先などのリンクが表示されます。

5.2 メール通知サービスについて

本機が接続されているネットワークに、メールの送受信ができる環境がある場合には、コンピューターから印刷を指示したジョブの終了をメールで知らせたり、本機で発生したエラーの状況や本機が印刷 / メール受信の要求を拒否した履歴などを、指定したメールアドレスに通知するように設定できます。
この機能を、「メール通知サービス」といいます。

5.2.1 メール通知サービスで通知される情報

メール通知サービスで通知される情報には、次のようなものがあります。

情報の種類	説明
ジョブの完了	コンピューターから印刷が指示されたジョブの結果（正常終了、警告、強制終了、異常終了、シャットダウン、不明）を通知します（ART EX プリンタードライバー使用時のみ）。
定期通知	ユーザーによって、何らかの対処が必要なエラーが発生した場合に、その状況を通知します。
IPアドレス拒否の通知	IP アドレスによるアクセス制御をしているときに、許可されていない IP アドレスを持つユーザーからの要求が、設定回数に達したときに通知します。 要求を拒否したクライアントの IP アドレスとクライアント別に、拒否した回数と最後に拒否した時間を通知します。
メール拒否の通知	メールを受信するドメインを制限しているときに、許可されていないドメインからのメール受信が、設定回数に達したときに通知します。 メールの受信を拒否したユーザー（送信者）のメールアドレスとユーザー別に、拒否した回数と最後に拒否した時間を通知します。
通知登録完了	メール通知サービスに関する各種設定（メールを通知する条件や通知先アドレスなど）が変更された場合に、その内容を通知します。

5.2.2 メール通知サービスを使用するための設定

メール通知サービスを使用するためには、CentreWare Internet Services とプリンタードライバーのプロパティで、次の項目を設定しておく必要があります。
設定がすんでいるかどうか、システム管理者やネットワーク管理者に確認してください。

CentreWare Internet Services での設定

■メール通知ポートの起動

プロパティ画面の［ポート起動］で［メール通知］を［起動］に設定します。

■本体メールアドレスの設定

プロパティ画面の［本体説明 - 本体メールアドレス］で、本機のメールアドレスを設定します。

■送信プロトコル（SMTP サーバーアドレス）の設定

プロパティ画面の［プロトコル設定 -TCP/IP］で、SMTP サーバーアドレスを設定します。

■通知する曜日や通知時刻、通知先などの設定

メール通知について、通知する曜日や、通知先などを設定できます。
必要に応じて設定してください。
これらの項目は、メール通知ポートを起動すると表示される、プロパティ画面の［メール通知設定］で設定できます。

参照

設定する各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

メール通知環境の設定

CentreWare Internet Services を使用して、メール通知機能を使用するための設定をします。

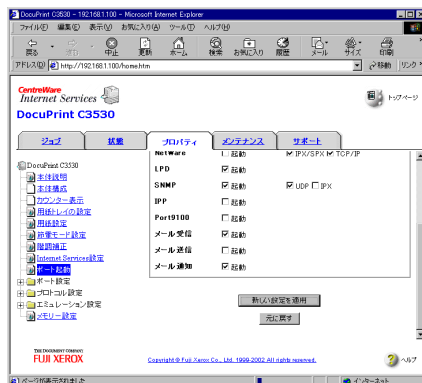
操作手順

1 CentreWare Internet Services を起動し、［プロパティ］をクリックします。

参照

CentreWare Internet Services の起動については「5.1.7 CentreWare Internet Services を使用する」(P.103) を参照してください。

2 表示された画面の左側フレームから、［ポート起動］を選択します。

3 [メール通知] の [起動] をオンにします。

4 [新しい設定を適用] をクリックします。

ユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し［OK］をクリックしてください。本機の再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。

5 **本機を再起動した場合は、起動を確認し、左側のフレームから［ メール通知設定 ］を選択し、必要に応じて各項目を設定します。**

6 **フレームをスクロールして［ 新しい設定を適用 ］をクリックします。**

ユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し［OK］をクリックしてください。本機の再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。

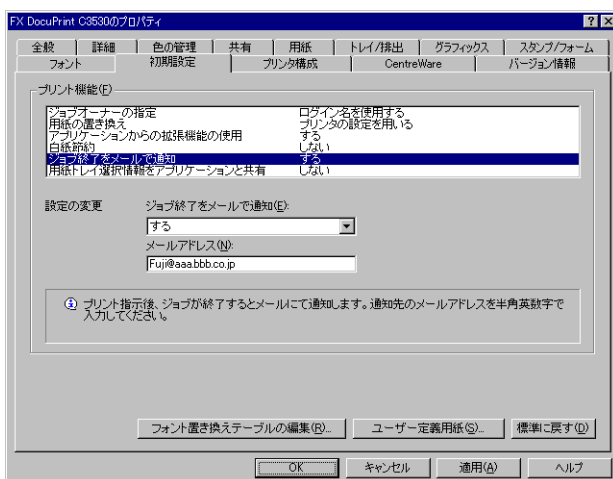
プリンタードライバーのプロパティでの設定

印刷を指示したジョブの結果をメールで受け取るためには、ART EX プリンタードライバーのプロパティで以下の設定をします。

操作手順

1 **［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。**

2 **本機のプリンターアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

3 **［初期設定］タブの［プリント機能］で、［ジョブ終了をメールで通知］を［する］に設定し、［メールアドレス］に通知先のアドレスを入力します。**

5.3 用紙をセットする

用紙についてと用紙のセット方法を説明します。

5.3.1 用紙について

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機の性能を効果的に使用するために、ここで紹介する用紙を使用することをお勧めします。
なお、推奨の用紙以外を使用するときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

注記

- 用紙トレイにセットする用紙種類を変更したときは、操作パネルでトレイに対する用紙種類を該当するものに設定してください。詳しくは、「② 用紙種類の設定をする」(P.118) を参照してください。
- 水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

参照

各用紙トレイにセットできる用紙サイズについては、「付録 A.1　製品の仕様」の「用紙サイズ」(P.273) を参照してください。

用紙の種類

■普通紙（一般紙）

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は、規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、次項で紹介する標準紙の使用をお勧めします。

用紙トレイ	規格（メートル坪量 / 連量）	セット可能枚数
用紙トレイ 1 ～ 4	55 ～ 169g/m² 連量：47 ～ 145kg	560 枚（P 紙）
用紙トレイ 3（大容量）	55 ～ 169g/m² 連量：47 ～ 145kg	980 枚（P 紙）
用紙トレイ 4（大容量）	55 ～ 169g/m² 連量：47 ～ 145kg	1280 枚（P 紙）
用紙トレイ 5（手差し）	55 ～ 220g/m² 連量：47 ～ 145kg	10㎜まで 100 枚（P 紙）

注記

- コート紙は、用紙トレイ 5（手差し）にセットすることをお勧めします。
- 両面印刷機能を使用できる用紙は、64 ～ 169g/m² です。ただし、129g/m² 以上の用紙を使用して両面印刷を行うと、うら面の印字位置がずれることがあります。129g/m² 以上の用紙の両面に印刷する場合は、用紙トレイ 5（手差し）を使用して手動で用紙の両面に印刷することをお勧めします。
- プリンタードライバーで選択した用紙サイズや用紙種類と異なる用紙で印刷したり、適応していない用紙トレイにセットして印刷したりすると、紙づまりの原因になります。適正な印刷をするために、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択してください。

補足

- メートル坪量とは、1m² の用紙 1 枚の質量をいいます。連量とは、四六判（788 × 1,091㎜）の用紙 1,000 枚の質量をいいます。

- 非定形サイズの用紙に印刷する場合は、ユーザー定義サイズとして用紙を登録する必要があります。登録の仕方については、「4.6.2 非定形サイズを設定する」(P.60) を参照してください。
- 用紙トレイ 5(手差し)で、12 × 18 インチ、12.6 × 17.7(SRA3) インチの用紙に印刷するときは、用紙ガイドを移動してからセットします。

■標準紙

DocuPrint C3530 の標準紙は、次のとおりです。

用紙名	メートル坪量	用紙の特長と使用上の注意
P 紙	64g/m^2	社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙
4024DP 20lb	64g/m^2	社内配布資料や一般のオフィス用の中厚口用紙
WR100 紙	67g/m^2	古紙パルプ 100%で、上質紙と同等の白色度の高い再生紙
C^2（シーツー）紙	70g/m^2	一般のオフィス用で、白黒 / カラーのどちらにも適している裏写りの少ない用紙
C^{2}r（シーツーアール）紙	70g/m^2	古紙パルプ 70%配合で、白黒 / カラーのどちらにも使用できる再生紙
OHP フィルム (V516)	-	枠なしの OHP フィルム 注記 • 故障の原因となりますので、カラー用の OHP フィルム（V556）（V558）は、使用しないでください。 • OHP フィルムは、フィニッシャー（オプション）に排出できません。 補足 OHP フィルムを使用する場合は、用紙種類の設定を変更してください。 • 用紙トレイ 5（手差し）にセットした場合は、［手差し用紙種類］で［OHP フィルム］を選択して印刷してください。 • 用紙トレイにセットした場合は、操作パネルでトレイに対する用紙種類を変更してください。

■使用可能紙

用紙名	メートル坪量（単位：g/m^2）と用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
Green100 紙	67：再生紙	C	古紙パルプ 100%で必要最小限の白色度の再生紙（エコマーク付）
マルチエース	64：普通紙	B	インクジェットプリンターや熱転写式のプリンターでも使用できる用紙
L 紙	64：普通紙	B	一般オフィス用に幅広く活用できる用紙
S 紙	56：薄紙	ー	ファイリングやエアメールに適した薄口用紙 補足 用紙トレイ 5（手差し）にセットし、［手差し用紙種類］で［うす紙（55 〜 63g/m^2)］を選択して印刷してください。

日常管理 5

用紙名	メートル坪量（単位：g/m^2）と用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
J 紙	82：上質紙	A	白色度が高く発色性に優れ、カラー印刷に幅広く活用できる用紙
JD 紙	98：上質紙	A	カラー印刷を、両面ともに再現するのに適した用紙
JD コート 104	104：コート紙 1	ー	両面印刷が可能な光沢紙。 リーフレット、カタログ、パンフレットなどの印刷に適した用紙です。 補足 用紙は、用紙トレイ 5（手差し）に 1 枚ずつセットすることをお勧めします。
JD コート 127	127：コート紙 1	ー	
JD コート 157	157：コート紙 1	ー	
Ncolor104	104：厚紙 1	A	J 紙、JD 紙よりも高白色のカラー用紙。 植林木 100% で環境に配慮した用紙です。
Ncolor157	157：厚紙 1	A	
Ncolor209	209：厚紙 2	A	
ecoloe081	70/81.4/100 ：普通紙	D	新聞古紙を主原料にした、再生パルプを 100% 使用した用紙。グリーン購入法にも適合した環境配慮型の用紙です。
P（厚口）	78：普通紙	B	裏写りが少なく両面印刷に適した厚口用紙
Color Copy	90：普通紙 100：普通紙	S S	高白色、高平滑な上質紙。
OK プリンス上質	104：厚紙 1 127.9：厚紙 1 157：厚紙 1 209：厚紙 2	A A A A	適度な白色度と不透明度がある上質紙。
R 紙	67：再生紙 70：再生紙	C C	古紙パルプ 70%以上の再生紙（エコマーク付）
WR 紙	67：再生紙 70：再生紙 80：再生紙	C C C	古紙パルプ 70%以上の再生紙で、白色度の高い用紙
リサイクルカラーペーパー100	67：再生紙 100：再生紙	C C	古紙パルプ 100%のカラーペーパー再生紙 表紙、合紙、インデックスに適する用紙で、8 色あります。
DR 紙	70：再生紙 76：再生紙 80：再生紙	C C C	古紙パルプ 70%配合のカラー用再生紙（エコマーク付）

参照

- 表に記載されていない使用可能紙については、本機に同梱されているアイデアプリンティング（カラーマテリアルカタログ）・機種別用紙対応表を参照してください。
- 画質の処理については、「7.2.2　機械管理者メニュー」の「用紙の画質処理」(P.256) を参照してください。

■特殊用紙

用紙トレイ 5（手差し）を使用すると、次の用紙にも印刷できます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。使用できる主な特殊紙は、次のとおりです。

用紙名	用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
官製はがき	**厚紙 2**	**A**	**官製はがき** 補足 用紙トレイ 5（手差し）にセットし、［出力用紙サイズ］で［はがき（100 × 148㎜）］を、［手差し用紙種類］で［厚紙2（170～220g/m²）］を選択して印刷してください。
官製はがき 4 連	**厚紙 2**	**A**	**ミシン目入りの官製はがき用紙（A4 にハガキ 4 枚分）**
官製往復はがき	**厚紙 2**	**A**	**官製往復はがき** 補足 用紙トレイ 5（手差し）にセットし、［手差し用紙種類］で［厚紙 2（170 ～ 220g/m²）］を選択して印刷してください。
FX はがき用紙 4 連（V423）	**厚紙 1**	**A**	**郵便番号欄がプレ印刷された、ミシン目入りのはがき用の用紙（A4 にハガキ 4 枚分）** 補足 • 用紙トレイ 5（手差し）にセットし、［手差し用紙種類］で［厚紙 1（99 ～ 169g/m²）］を選択して印刷してください。 • 用紙は、たて置きにセットしてください。
FX はがき用紙往復（V424）	**厚紙 1**	**A**	**郵便番号欄がプレ印刷された、ミシン目入りの往復はがき用の用紙（A4 に往復ハガキ 2 枚分）** 補足 用紙トレイ 5（手差し）にセットし、［手差し用紙種類］で［厚紙 1（99 ～ 169g/m²）］を選択して印刷してください。
定型長 3 号封筒（120 × 235㎜）	**厚紙 2**	**A**	**市販の封筒** 注記 定型長 3 号封筒を使用する場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。 補足 用紙トレイ 5（手差し）にセットし、［出力用紙サイズ］で［封筒長形 3 号（120 × 235㎜）］、［手差し用紙種類］で［厚紙 2（170 ～ 220g/m²）］を選択して印刷してください。
再生名刺用紙再生ホワイト / 再生クリーム	**厚紙 2**	**A**	**古紙 100% のリサイクル名刺用紙** 補足 用紙トレイ 5（手差し）にセットし、［手差し用紙種類］で［厚紙 2（170 ～ 220g/m²）］を選択して印刷してください。

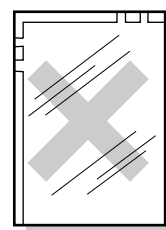
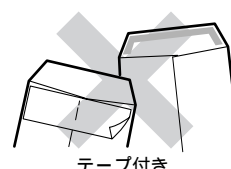
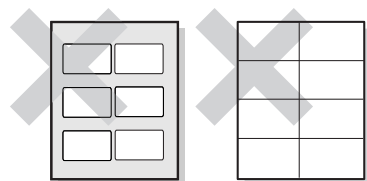
用紙名	用紙の種類	画質の処理	用紙の特長と使用上の注意
ラベル用紙（V860）（V862）	**ラベル紙**	**－**	**シール用紙。1面のタイプと20面（A4）の2種類あります。** 補足 ラベル用紙を使用する場合は、プリンタードライバーのプロパティで、用紙種類の設定を変更してください。 • 用紙トレイ5（手差し）にセットした場合は、［手差し用紙種類］で［ラベル紙］を選択して印刷してください。 • 用紙トレイにセットした場合は、［プリンタ構成］タブで、トレイに対する用紙種類を変更してください。 参照 「用紙トレイ1～4にセットする用紙種類と用紙サイズの設定について」（P.116）
OS メール	**厚紙 1**	**A**	**専用の圧着機を用いて作成する全面疑似圧着タイプの見開きはがき用紙** 補足 用紙トレイ5（手差し）にセットし、［手差し用紙種類］で［厚紙1（99～169g/m²）］を選択して印刷してください。
圧着はがき用紙 V 折り（ポステックス）	**厚紙 1**	**A**	
圧着はがき用紙 Z 折り（ポステックス）	**厚紙 1**	**A**	**専用の圧着機を用いて作成する部分圧着タイプの三つ折りはがき用紙**
カラーレーザー用紙 8 面はがき	**厚紙 1**	**A**	**郵便番号欄が印刷された A3 サイズ 8 面付けミシン目入りのはがき用紙** 補足 用紙トレイ5（手差し）にセットし、［手差し用紙種類］で［厚紙1（99～169g/m²）］を選択して印刷してください。
A3 オープンはがきセット	**厚紙 1**	**A**	**ラミネーターを用いて作成する見開きはがきタイプのはがき用紙** 補足 用紙トレイ 5（手差し）に 1 枚ずつセットすることをお勧めします。
L 紙（2 穴、4 穴）	**普通紙**	**B**	**穴あき用紙**
長尺用紙（例：GAAA1481）	**厚紙 1**	**A**	**幅：100 ～ 305㎜、長さ：483.1 ～ 1200㎜ の長尺サイズの用紙に印刷できます。** 補足 • 長尺サイズの用紙は、用紙トレイ5（手差し）にセットし、ユーザー定義でサイズを登録してから印刷します。［手差し用紙種類］で［厚紙1（99～169g/m²）］を選択して印刷してください。 • 長尺サイズの用紙は、自動両面印刷できません。 • 長尺サイズの用紙は、フィニッシャー（オプション）、サイドトレイ（オプション）に排出できません。 参照 「4.6　非定形用紙 / 長尺用紙に印刷する」（P.58）

補足

- 表に記載されていない特殊用紙（富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社で販売している用紙）については、本機に同梱されているアイデアプリンティング（カラーマテリアルカタログ）・機種別用紙対応表を参照してください。
- 表に記載されてない厚紙などの特殊用紙については、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 画質の処理については、「7.2.2　機械管理者メニュー」の「用紙の画質処理」（P.256）を参照してください。

■使用できない用紙

以下の用紙は、使用しないでください。

- FUJI XEROX フルカラー OHP フィルムのように白い枠付きの OHP フィルム
- デジタルコート紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 布地転写紙
- 水転写紙
- 電飾紙
- 黒い紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- インクジェット専用紙
- タックフィルム（透明 / 無色）
- 凹凸や留め金のある封筒
- シワや折れ、破れのある用紙
- 他のプリンターやコピー機で一度印刷した用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 静電気で密着している用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 表面に特殊コーティングされた用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 張り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 155 ℃の熱で変質するインクを使った用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- のり付け部分がのりでベタついている封筒
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは中性紙に替えてください。
- 台紙全体がラベルなどで覆われてないものや、カットされているラベル用紙

フルカラー用 OHPフィルム

テープ付き

台紙全体がラベルに覆われていない　カットされている

日常管理 5

用紙の保管と取り扱い

用紙を保管するときは、以下のことに気を付けてください。

- 用紙はキャビネットの中や、湿気が少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、用紙づまりや画質不良の原因になります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。このとき、防湿剤を入れることをお勧めします。
- 用紙は、折れや曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。

用紙をトレイにセットする前に以下の事項を守ってください。

- バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- 折りめ、シワが入った用紙は使用しないでください。
- 波をうったような用紙や、カールした用紙は、使用しないでください。
- サイズが異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHP フィルムやラベル用紙は、紙づまりを起こしたり複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

5.3.2　用紙トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする

用紙トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする

用紙トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする方法を説明します。印刷中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的に印刷が再開されます。

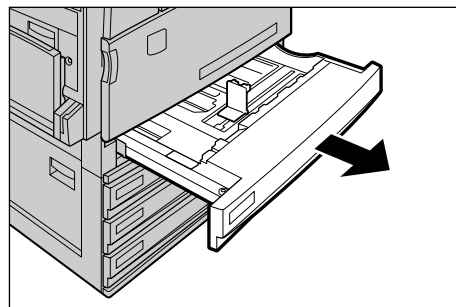
参照

用紙サイズや向きを変更する場合は、「5.3.3　用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズを変更する」(P.119) を参照してください。

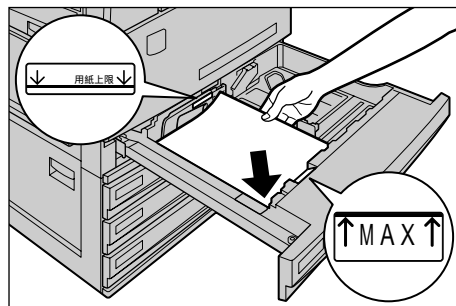
操作手順

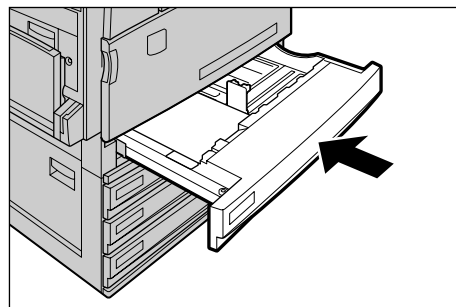
1　用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。

⚠注意

用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

2　印刷する面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

3　奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

正しく用紙がセットがされると、自動的に印刷が再開されます。

4　セットした用紙の用紙種類を操作パネルで設定します。

設定方法は、次項「用紙トレイ 1 ～ 4 にセットする用紙種類の設定について」を参照してください。

用紙トレイ 1 ～ 4 にセットする用紙種類と用紙サイズの設定について

用紙トレイ 1 ～ 4 に特殊用紙をセットする場合は、セットする用紙の種類を、操作パネルで設定しておきます。本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。

注記

用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、正しく画質の処理がされません。その場合、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が悪くなることがあります。

補足

用紙トレイ 1 ～ 4 にセットした用紙のサイズと向きは、本機が自動的に検知します。

用紙種類の設定の流れ

①セットした用紙が設定変更を必要とするかを確認する
②必要に応じて用紙種類と用紙サイズの設定をする

①セットした用紙が設定変更を必要とするかを確認する

トレイにセットした用紙が、どの用紙の種類に該当するのかを、下表左側の「弊社の主な商品名」や「用紙の目安」から確認してください。次に、表の右側で、用紙種類と設定変更の作業が必要かどうかを確認し、作業をしてください。

セットした用紙の種類			設定する項目	
弊社の主な商品名	用紙の目安 上段：重さ 下段：500 枚の厚さ		トレイにセットする [用紙種類]	設定変更の作業
P 紙、C^2 紙など	64 ～ 80g/m^2 43.5mm（P 紙） 44mm （C^2 紙）	⇨	[普通紙]	不要
J 紙、JD 紙など	81 ～ 98g/m^2	⇨	[上質紙]	必要 ②用紙種類と用紙サイズの設定をする
WR100、Green 100 など	64 ～ 70g/m^2 47.5mm （WR 紙） 49mm（Green100）	⇨	[再生紙]	必要 ②用紙種類と用紙サイズの設定をする
S 紙	55 ～ 63g/m^2	⇨	[うす紙（55 ～ 63g/m^2）]	必要 ②用紙種類と用紙サイズの設定をする
OK プリンス上質	99 ～ 169g/m^2	⇨	[厚紙 1（99 ～ 169g/m^2）]	必要 ②用紙種類と用紙サイズの設定をする
OHP フィルム（V516）など	-	⇨	[OHP フィルム]	必要 ②用紙種類と用紙サイズの設定をする

セットした用紙の種類			設定する項目	
弊社の主な商品名	用紙の目安 上段：重さ 下段：500 枚の厚さ		トレイにセットする［用紙種類］	設定変更の作業
ラベル用紙 V862	99 ～ 169g/㎡	⇒	［ラベル紙］	必要 ②用紙種類と用紙サイズの設定をする
地合いの悪い普通紙	64 ～ 98g/㎡	⇒	［ユーザー定義用紙 1 ～ 5］	必要 参照 「5.3.5　地合いの悪い普通紙の設定をする」(P.123)

補足

地合の悪い用紙は、用紙種類の設定では、最適にならない場合があります。そのときは、操作パネルで「用紙の画質処理」の設定を変更してください。

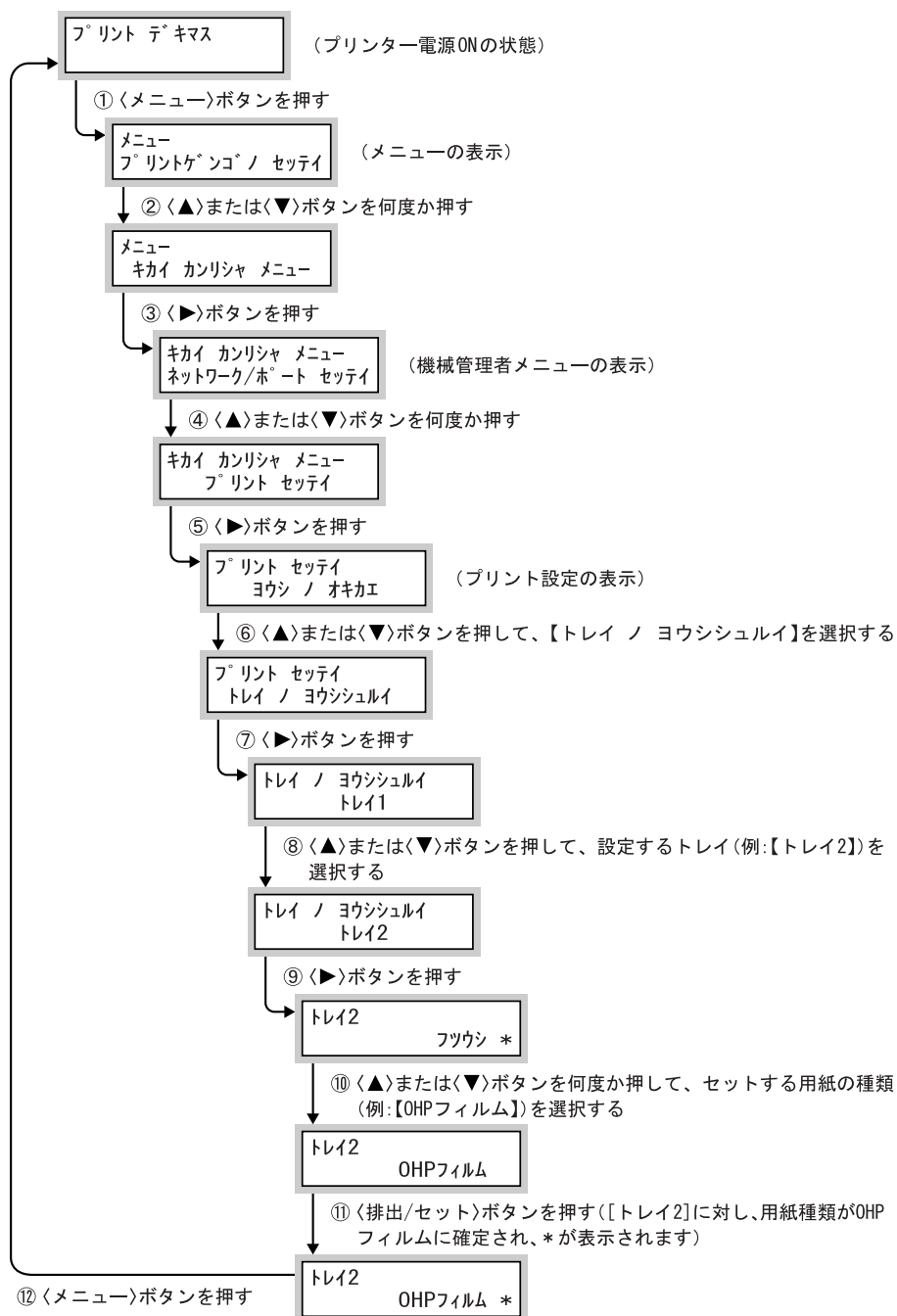
参照

画質については、「用紙の画質処理」(P.256) を参照してください。設定方法については、「5.3.5　地合いの悪い普通紙の設定をする」(P.123)、「5.3.6　特殊な厚紙の設定をする」(P.124) を参照してください。

②用紙種類の設定をする

用紙トレイ 1 〜 4 の用紙種類の設定は、操作パネルで行います。

参照

用紙トレイ 5（手差し）を使用して特殊用紙に印刷する場合は、「4.3.1　用紙トレイ 5（手差し）を使用して特殊用紙に印刷する」(P.49) を参照してください。

注記

操作パネルで設定が終了したら、プリンタードライバーで本機の構成情報を取得してください。

参照

本機の構成情報の取得方法については、「3.5　オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する」(P.44) を参照してください。

5.3.3　用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズを変更する

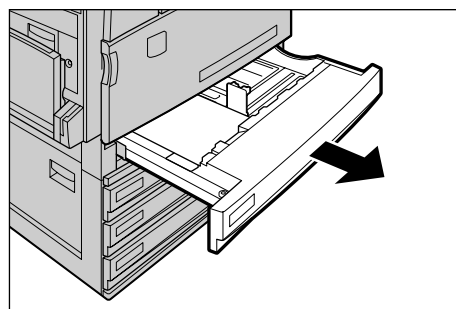
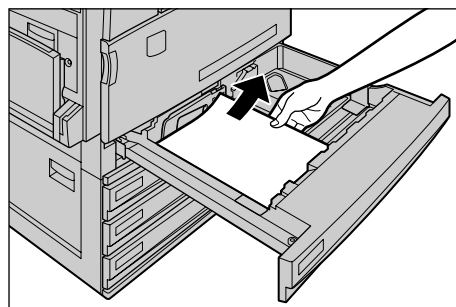
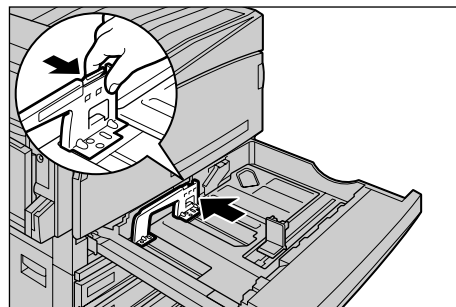
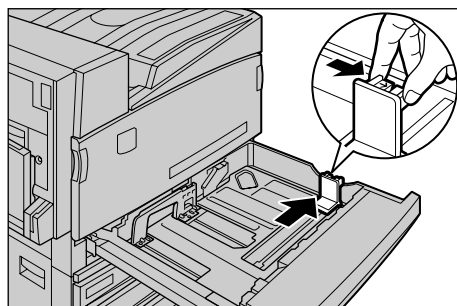
用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズを変更する方法を説明します。

参照

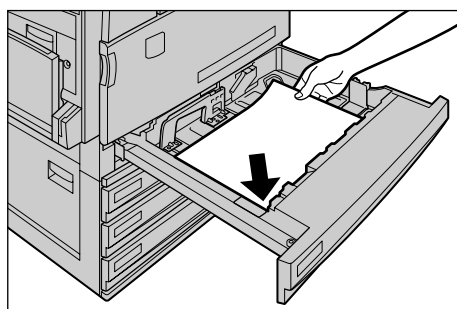
- 用紙トレイ１～４には、用紙の種類が設定されています。トレイの用紙種類は、工場出荷時は、「普通紙」に設定されています。用紙種類は、印字品質を保つため、セットする用紙に合わせて、設定を変更してください。用紙種類の設定については、「7.2.2　機械管理者メニュー」の「トレイの用紙種類」(P.255) を参照してください。
- 非定形サイズの用紙をセットする場合は、用紙サイズの登録が必要です。詳しくは「4.6.2　非定形サイズを設定する」(P.60) を参照してください。
- 非定形サイズの用紙に印刷する方法は、「4.6.3　印刷の仕方」(P.64) を参照してください。

操作手順

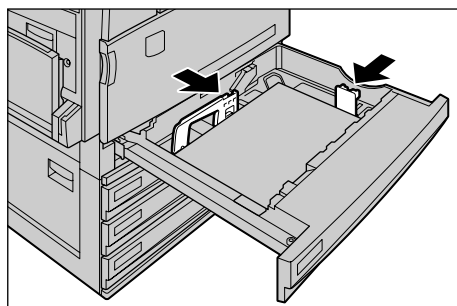
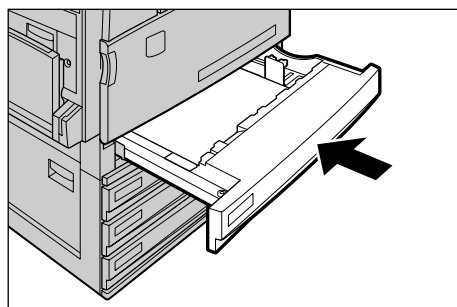
1 **用紙トレイを、手前に止まるところまで引き出します。**

⚠注意
用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

2 **用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。**

3 **トレイ内の奥にある、用紙ガイドレバーのクリップをつまみながら、ガイドを奥まで移動します。**

4 **トレイ内の右にある、用紙ガイドレバーのクリップをつまみながら、ガイドを右側へ移動します。**

5 **印刷する面を上にして、用紙の先端を左手前にそろえてセットします。**

注記

- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。

6 **2か所の用紙ガイドレバーを、用紙に軽く当てるように合わせます。**

注記

- 用紙ガイドレバーを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因になります。
- 非定形用紙をセットする場合は、用紙ガイドレバーが、目盛りの穴にはまらない場合があります。

7 **奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。**

8 **用紙の種類を変更した場合は、用紙トレイに、用紙種類（普通紙、上質紙、再生紙など）の設定をします。**

参照

用紙種類の設定方法については、「② 用紙種類の設定をする」(P.118) を参照してください。

5.3.4 用紙トレイ 5（手差し）に用紙をセットする

用紙トレイ 1 ～ 4 にセットできない、はがき、封筒、または非定形サイズの用紙に印刷する場合は、用紙トレイ 5（手差し）を使用します。ここでは、用紙トレイ 5（手差し）への用紙のセット方法について説明します。
詳細な印刷の指示は、プリンタードライバーの［トレイ / 排出］タブで指定します。そのとき、セットする用紙の種類も指定します。指定できる用紙の種類は、次のとおりです。用紙に合わせて選択してください。

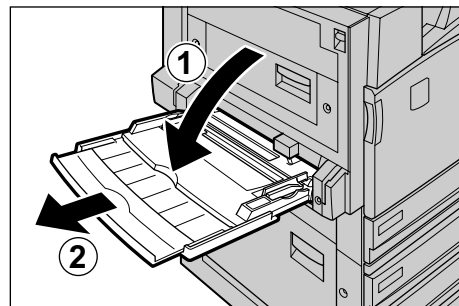
- **普通紙（64 ～ 98g/㎡）**
- **上質紙（64 ～ 98g/㎡）**
- **再生紙（64 ～ 98g/㎡）**
- **厚紙 1/ 厚紙 1 うら面（99 ～ 169g/㎡）**
- **厚紙 2/ 厚紙 2 うら面（170 ～ 220g/㎡）**
- **OHP フィルム**
- **うす紙（55 ～ 63g/㎡）**
- **ラベル紙（99 ～ 169g/㎡）**
- **ユーザー定義用紙 1 ～ 5**
- **コート紙 1/ コート紙 1 うら面（99 ～ 169g/㎡）**
- **コート紙 2/ コート紙 2 うら面（170 ～ 220g/㎡）**

参照

特殊用紙に印刷する場合は、「4.3　特殊用紙に印刷する」(P.49)、「4.4　はがき / 封筒に印刷する」(P.52)、「4.6　非定形用紙 / 長尺用紙に印刷する」(P.58) を参照してください。

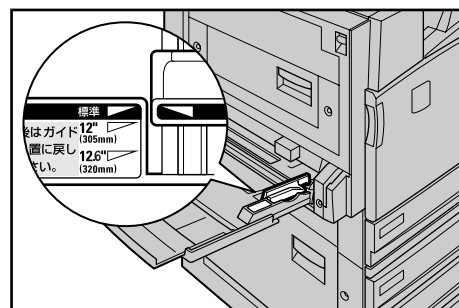
操作手順

1 用紙トレイ 5（手差し）を開きます。

必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは、2 段階に引き出せます。

2 用紙トレイ 5（手差し）の手前にある用紙ガイドの位置を確認します。

通常は、用紙ガイドを「標準」の位置にします。

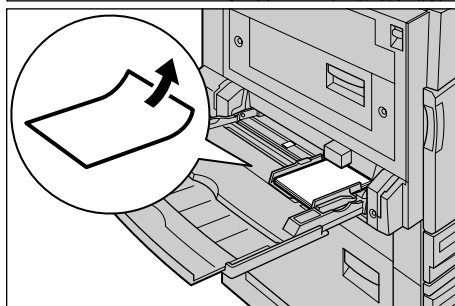
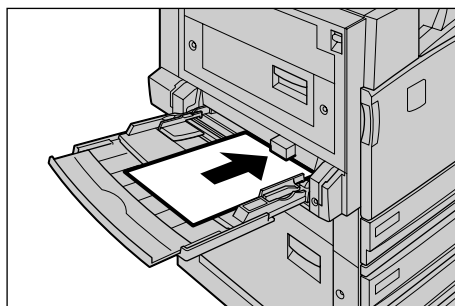
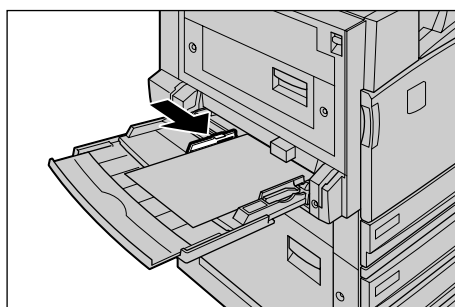
補足

用紙ガイドが「12"(305㎜)」、「12.6"(320㎜)」の位置にある場合は、「標準」の位置に戻してください。12 × 18 インチ、12.6 × 17.7(SRA3) インチのような、幅が A3（297㎜）を超える用紙に印刷する場合は、用紙ガイドを移動します。用紙ガイドの移動の仕方は、次項の「用紙ガイドの位置を移動する」(P.122) を参照してください。

3 印刷する面を下に向けて、用紙を手前の用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。

注記

- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- はがきなどの厚い紙に印刷する場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折れ目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。
- はがき、封筒、長尺サイズの用紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。「4.4　はがき / 封筒に印刷する」(P.52) を参照してください。

補足

異なるサイズの用紙を混在してセットできません。

4 用紙サイズ合わせガイドを、セットする用紙サイズに合わせます。

5 印刷を指示します。

［トレイ / 排出］タブの［用紙トレイ選択］で［トレイ 5（手差し）］を選択し、［手差し用紙種類］から用紙の種類を選択してください。

用紙ガイドの位置を移動する

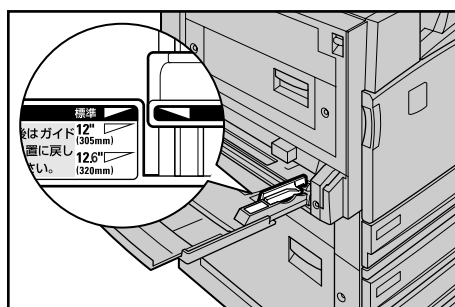
12 × 18 インチ、12.6 × 17.7 インチのような幅が A3（297㎜）を超える用紙に印刷するときは、用紙ガイドを「12"(305㎜)」、「12.6"(320㎜)」に移動してください。

注記

印刷が終了したら、必ず用紙ガイドを「標準」の位置に戻してください。

操作手順

1 用紙トレイ 5（手差し）の手前にある用紙ガイドを「12"(305㎜)」または「12.6"(320㎜)」にスライドさせます。

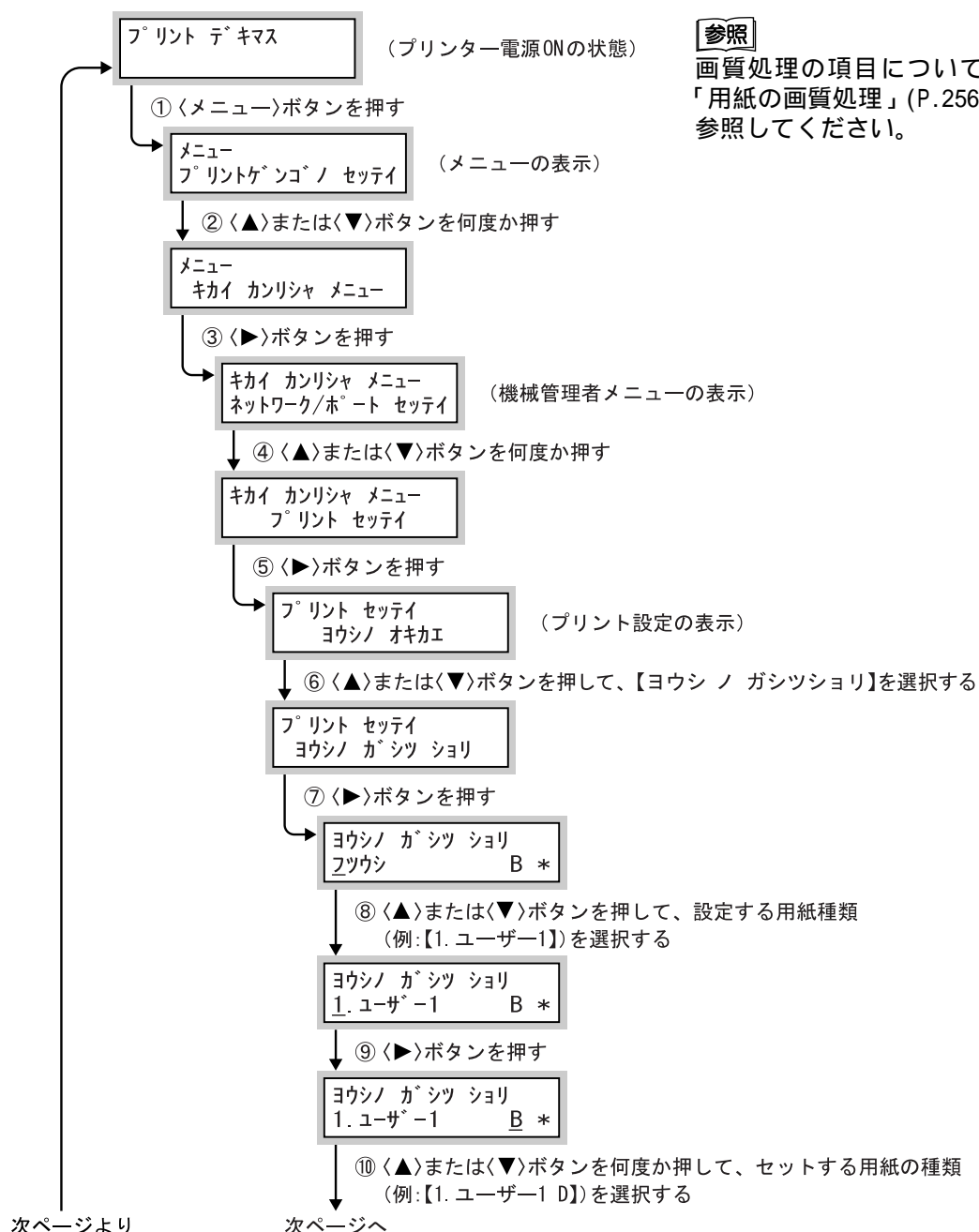
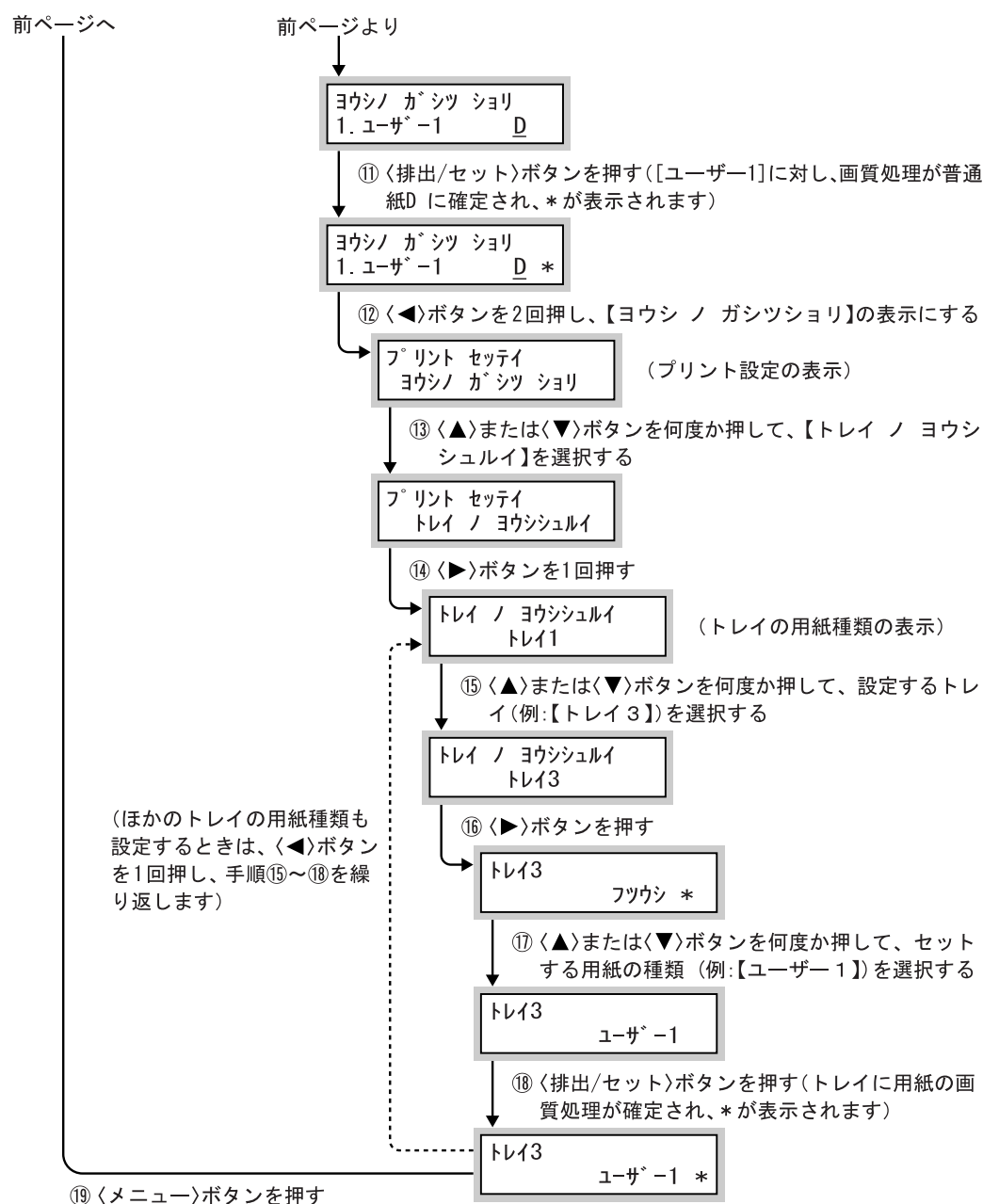
日常管理
5

5.3.5　地合いの悪い普通紙の設定をする

地合いの悪い用紙（普通紙）とは、光に透かして見たときに表面のムラが目立つ用紙です。地合いの悪い用紙を使用する場合は、操作パネルで［画質処理］の設定を［D］～［G］に変更してから、［用紙種類］の設定をします。用紙種類には［ユーザー 1 ～ 4］のどれかを選んでください。ここでは、トレイ 3 に、［用紙種類］を［ユーザー 1］、［画質処理］を［D］に設定する手順を説明します。

補足

【ユーザー 1】～【ユーザー 4】は、工場出荷時には、すべて【B】に設定されています。

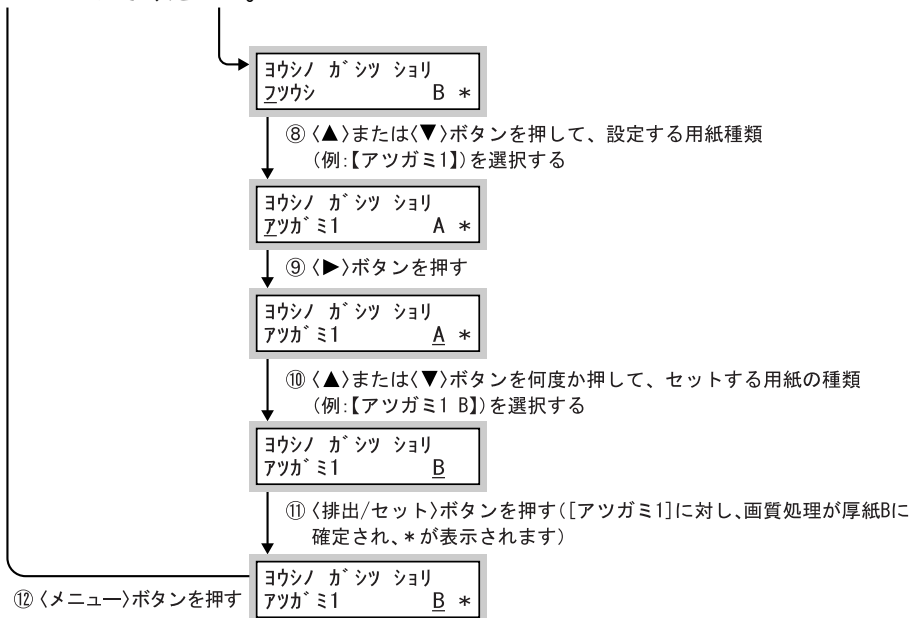
日常管理

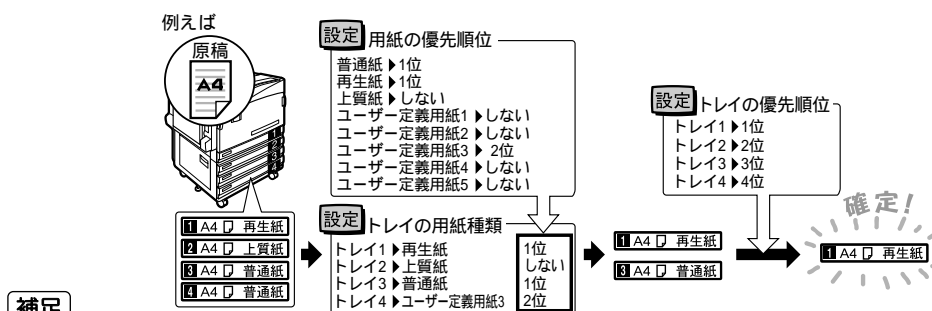
5

5.3.6 特殊な厚紙の設定をする

薬袋や名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、操作パネルの [画質処理] の設定を変更します。設定手順の 1 〜 7 までは、「5.3.5　地合いの悪い普通紙の設定をする」(P.123) の手順を参照してください。手順 8 以降については、次ページを参照してください。

参照

- 画質処理の項目については、「7.2.2　機械管理者メニュー」の「用紙の画質処理」(P.256) を参照してください。
- 用紙トレイにセットする用紙の種類を設定する場合は「7.2.2　機械管理者メニュー」の「トレイの用紙種類」(P.255) を参照してください。

参照 手順１～７までは、「5.3.5　地合いの悪い普通紙の設定をする」(P.123) を参照してください。

5.3.7　自動トレイ選択について

ART EX プリンタードライバーのプロパティ画面で、[トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にして印刷を指示すると、印刷する原稿のサイズと向きから、該当する用紙トレイを選択します。これを、自動トレイ選択と呼びます。この自動トレイ選択で、該当する用紙トレイが複数ある場合は、[トレイの用紙種類] に設定している、[用紙の優先順位] が高いトレイを選択します。このとき、[用紙の優先順位] の設定を [しない] に設定しているトレイは、[自動トレイ選択] の対象にはなりません。また、[用紙の優先順位] がまったく同じ場合は、[トレイの優先順位] で決定されます。

補足

- 自動トレイ選択で該当する用紙トレイがなかったときは、用紙補給を促がすメッセージが表示されます。ただし、このメッセージを出さないで、原稿サイズに近いサイズの用紙か、大きい用紙に印刷するよう設定することもできます。（用紙の置き換え機能）
- 印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、印刷を続けます（自動トレイ切り替え機能）。このとき、[用紙の優先順位] を [しない] に設定している種類の用紙が入ったトレイは、選択しません。

参照

[トレイの用紙種類]、[用紙の優先順位]、[トレイの優先順位]、[用紙の置き替え] については、「プリント設定」(P.254) を参照してください。また、CentreWare Internet Services からも一部の設定ができます。

5.4 消耗品を交換する

5.4.1 消耗品について

消耗品の種類と取り扱いについて説明します。本製品には、以下のような消耗品があります。

注記
弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、本機の本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

消耗品の種類

消耗品の種類	商品コード	形態
トナーカートリッジ［K］	CT200247	1 個 /1 箱
トナーカートリッジ［C］	CT200248	1 個 /1 箱
トナーカートリッジ［M］	CT200249	1 個 /1 箱
トナーカートリッジ［Y］	CT200250	1 個 /1 箱
ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］	CT350187	1 個 /1 箱
トナー回収ボトル［B］	CWAA0361	1 個 /1 箱
ホチキスカートリッジ［F］	CWAA0455	5000 針× 3 セット /1 箱

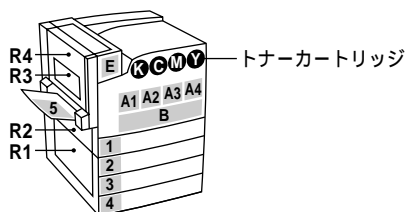
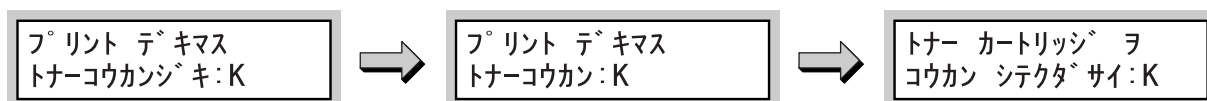
補足
トナーカートリッジは、予備を置いておくことをお勧めします。

消耗品の取り扱いについて

- **消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。**
- **消耗品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。**
  - **高温多湿の場所**
  - **火気がある場所**
  - **直射日光が当たる場所**
  - **ほこりが多い場所**
- **消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。**
- **消耗品は、予備を置くことをお勧めします。**
- **消耗品を発注するときは、商品コードを確認のうえ、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご注文ください。**

5.4.2 トナーカートリッジを交換する

本機には、ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の4色のトナーカートリッジがセットされています。各カートリッジにはそれぞれの色のトナー（画像形成剤）が入っており、トナーは印刷するたびに少しずつ減少します。トナーカートリッジの交換時期が近づくと、ディスプレイ【プリント デキマス トナーコウカンジキ：x】というメッセージが表示されます。メッセージが表示されてからも、Kの場合は約3,500ページ、C、M、Yの場合は約2,500ページは通常どおり印刷できます。この期間にトナーカートリッジの在庫を確認してください。
トナーカートリッジは、Kの場合は約26,000ページ、C、M、Yの場合は約15,000ページ印刷すると本機は停止し、印刷できなくなります。操作パネルの左にある表示部で、該当するトナーカートリッジの位置を確認し、メッセージの色のトナーカートリッジを交換してください。

補足
- 印刷ページ数は原稿によって異なります。
- ディスプレイには、トナーカートリッジの色は、K、C、M、Yと表示されます。Kはブラック、Cはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエローです。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
ﾄﾅｰｺｳｶﾝｼﾞｷ:K

→

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
ﾄﾅｰｺｳｶﾝ:K

→

ﾄﾅｰ ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｦ
ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ:K

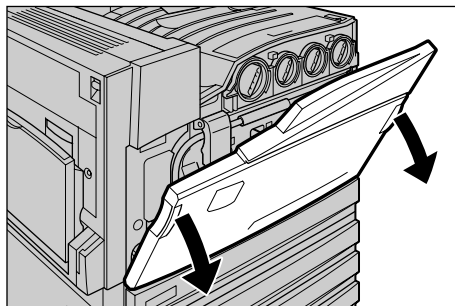
⚠警告
- **トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。トナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**
- **トナー、トナー回収ボトル、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

注記
- 使用済みのトナーカートリッジは、処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。
- トナー残量が少なくなってきている場合、交換時期が近いというメッセージが表示されないまま、印刷中に本機が停止してトナーカートリッジ交換のメッセージが表示されることがあります。その場合は、表示されている色のトナーカートリッジを交換すると、印刷は継続されます。
- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

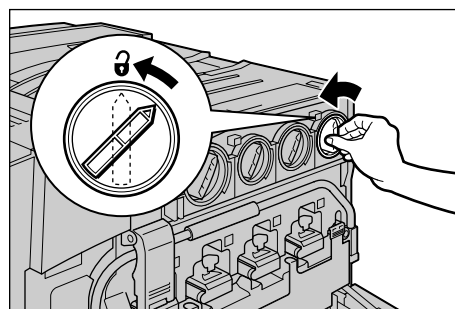
補足

トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

操作手順

1 **本機がプリント中でないことを確認し、フロントカバーを開けます。**

2 **メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを、鍵印（開）の位置まで左方向に回します。**

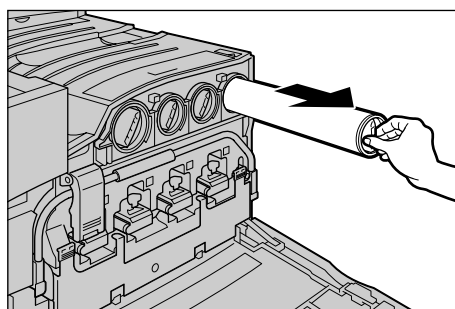
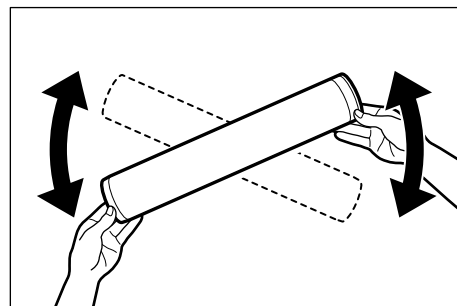
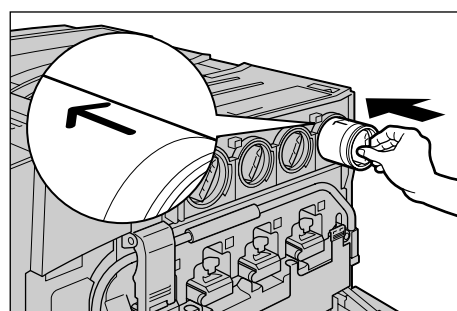
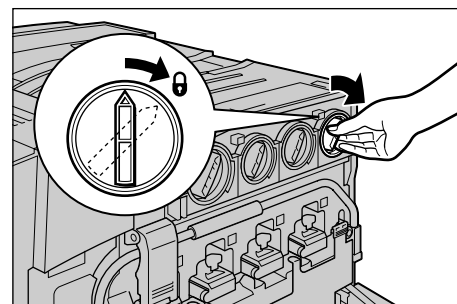
補足

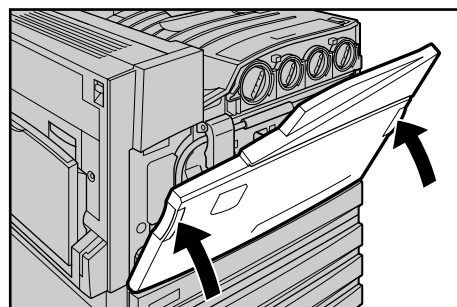
KはブラックCはシアン、Mはマゼンタ、Yはイエローです。

3 **トナーカートリッジを手前に静かに引いて、取り出します。**

⚠警告

トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。トナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

注記

- トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

4 **取り出したトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを用意し、図のように、軽く 3、4 回上下左右によく振ります。**

5 **トナーカートリッジの矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込みます。**

6 **トナーカートリッジを、鍵印（閉）まで右方向に回します。**

7 **フロントカバーを閉じます。**

【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

5.4.3 ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する

本機には、4 本のドラムカートリッジがセットされています。ドラムカートリッジは、印刷画像を形成するための感光体ユニットです。ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、ディスプレイに【プリント デキマス ドラムコウカンジキ：xx】というメッセージが表示されます。メッセージが表示されてからも、約 2,500 ページは通常どおり印刷できます。この期間に、ドラムカートリッジの在庫を確認してください。
ドラムカートリッジは、約 30,000 ページ印刷すると交換時期になります。工場出荷時の設定では、メッセージが【ドラム xx コウカン シテクダサイ】に変わると、新しいドラムカートリッジと交換するまで印刷が停止されます。

補足
- 印刷できるページ数は、原稿によって異なります。
- 交換時期になっても、印刷を停止しないこともできます。この場合は、【プリント デキマス ドラムコウカン：xx】のまま、メッセージは移行しません。設定については、「7.2.2 機械管理者メニュー」の「ドラム寿命動作」(P.254) を参照してください。
- ドラムカートリッジの寿命を過ぎても交換しないで印刷を続けると、印刷画質など本機の性能に影響が出ることがあります。新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

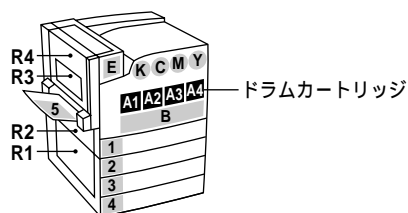
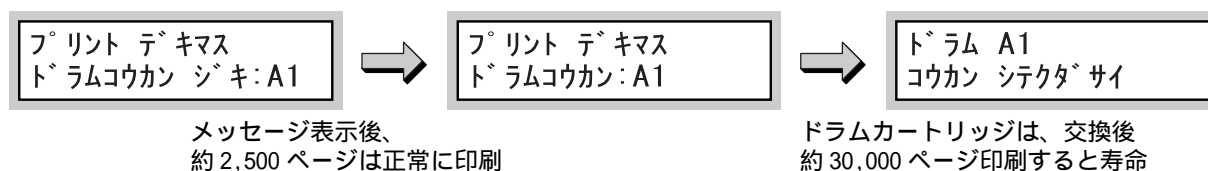
例：ドラムカートリッジ（K）の場合のメッセージ

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｷ:A1

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ:A1

ﾄﾞﾗﾑ A1
ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

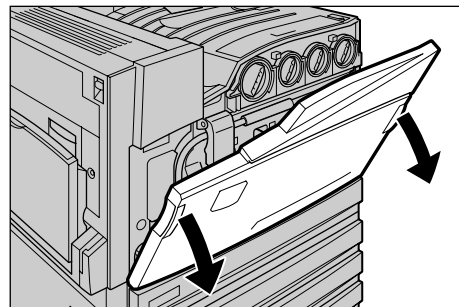
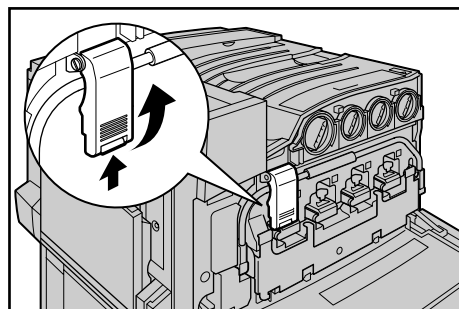
メッセージ表示後、約 2,500 ページは正常に印刷

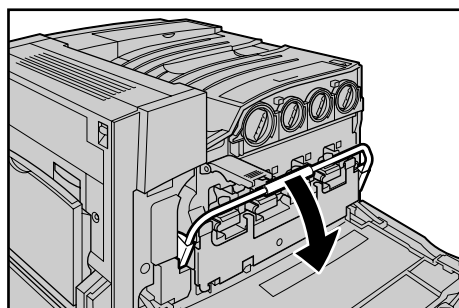
ドラムカートリッジは、交換後約 30,000 ページ印刷すると寿命

操作パネルの左にある表示部で、該当するドラムカートリッジの位置（［A1］、［A2］、［A3］、［A4］）を確認してから、交換してください。

注記
- ドラムカートリッジを、直射日光や室内蛍光灯の強い光に当てないでください。
- ドラムの表面に触れたり、傷を付けたりしないでください。きれいな印刷ができなくなることがあります。
- 使用済みのドラムカートリッジは、処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。
- ドラムカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

日常管理
5

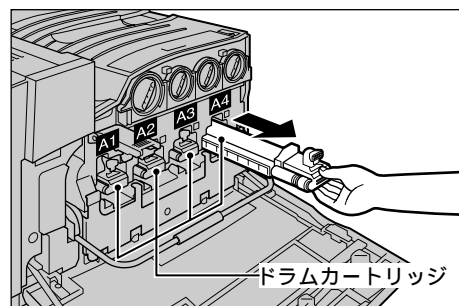
操作手順

1 本機がプリント中でないことを確認し、フロントカバーを開けます。

2 正面左側にあるストッパーの下部を上に押しながら、持ち上げます。

3 ハンドルを下ろします。

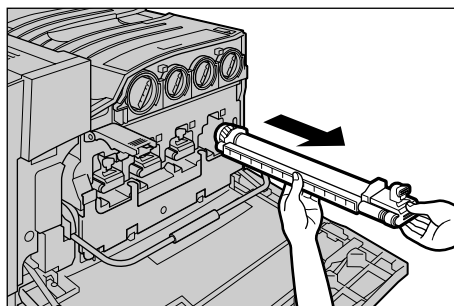
ドラムカートリッジのロックが解除され、4 本のドラムカートリッジが持ち上がります。

4 メッセージに表示されている、ドラムカートリッジ（A1、A2、A3、A4）の取っ手をつかみ、静かに引き出します。

ここでは、A4 を例に説明します。

注記

ドラムカートリッジを引き出すとき、床に落とさないように注意してください。

5 **図のように、左手を添えて、ドラムカートリッジを引き抜きます。**

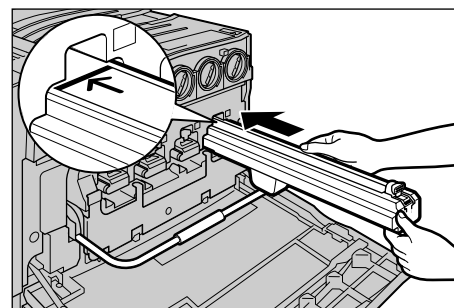
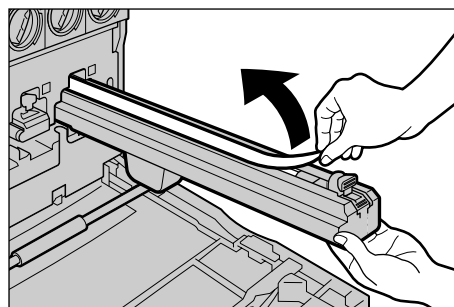
注記

ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。

6 **新しいドラムカートリッジを箱から取り出し、同梱されているポリ袋に使用済みドラムカートリッジを入れて、その箱にしまいます。**

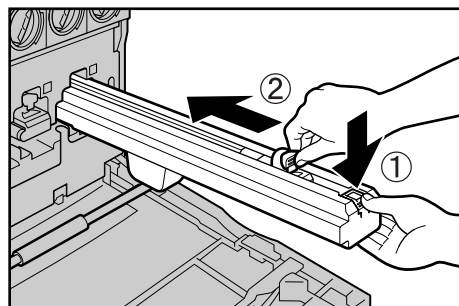
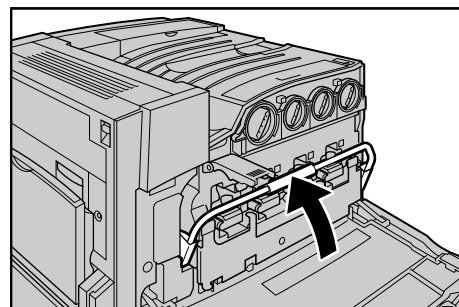
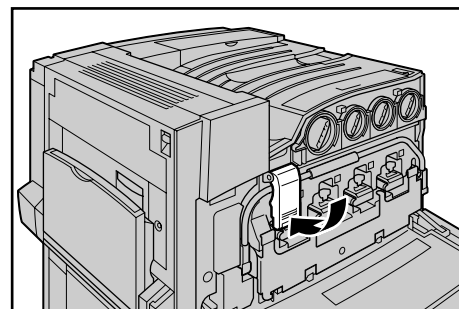
注記

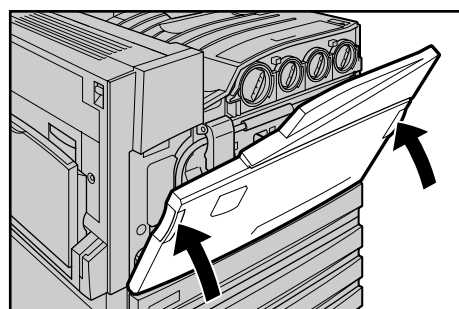
- ドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。
- 使用済みのドラムカートリッジは、弊社または販売店にお渡しください。

7 **新しいドラムカートリッジ（保護カバー付き）を、ハンドルの上に載せて、先端を機械の中に差し込みます。**

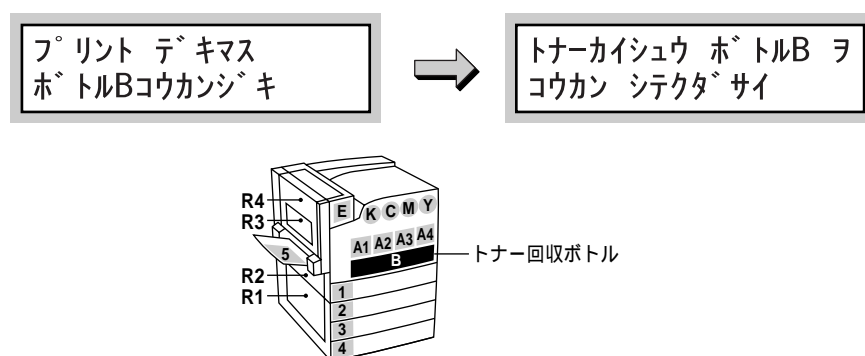
右図のように、矢印のところまで差し込んでください。

8 **先端を差し込んだ状態で、上面のシールをはがします。**

9 **保護カバーの手前部分を押し(①)、上部のオレンジ色のつまみを前方にスライドさせて、ドラムカートリッジが、奥に突き当たるまで押し込みます(②)。**

補足

保護カバーは、そのまま空箱に入れてください。

10 **ハンドルを上に戻します。**

11 **ハンドルのストッパーを下ろして、ロックします。**

12 **フロントカバーを閉じます。**

【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

5.4.4 トナー回収ボトル［B］を交換する

印刷後のドラムに残ったトナーは、集められてトナー回収ボトルにたまります。トナー回収ボトルの交換時期が近づくと、【プリント デキマス ボトル B コウカンジキ】というメッセージが表示されます。メッセージが表示されてからも約 900 ページは通常どおり印刷できます。この期間に新しいトナー回収ボトルの在庫を確認してください。
トナー回収ボトルは、約 27,000 ページ印刷すると交換時期になり、新しいトナー回収ボトルと交換するまで印刷が停止します。操作パネルの左にある表示部で、トナー回収ボトルの位置を確認して、交換してください。

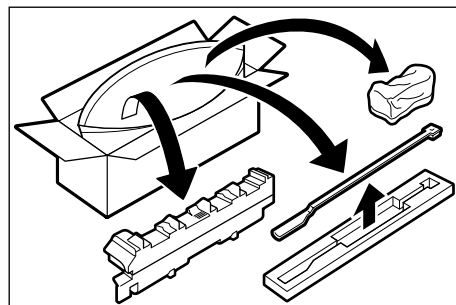
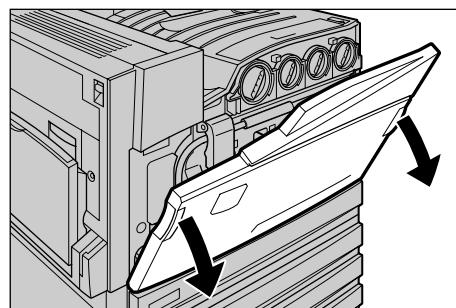
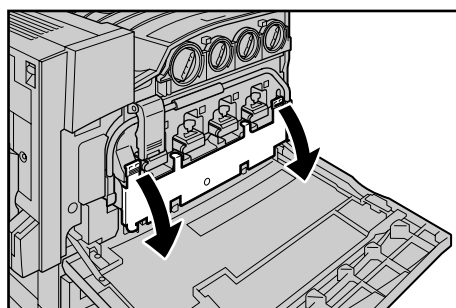
補足
- 印刷ページ数は原稿によって異なります。
- トナー回収ボトルを交換するときは、印刷に濃度ムラや色ムラが発生するのを防ぐため、回収ボトルが入った箱に同梱されている清掃棒を使用して、回収ボトルの奥にあるレーザースキャナー部（D1、D2、D3、D4）を清掃してください。

⚠警告
トナー、トナー回収ボトル、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

注記
- 使用済みのトナー回収ボトルは、処理が必要になるので、弊社または販売店にお渡しください。
- トナー回収ボトルを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、プリンター内に残っている印刷データや、プリンターのメモリー上に蓄えられた情報が消去されます。

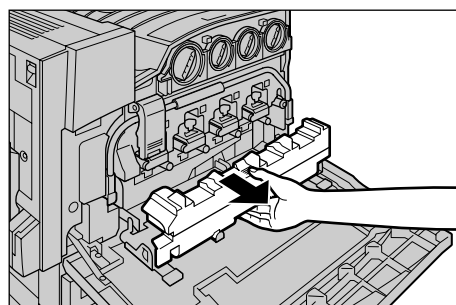
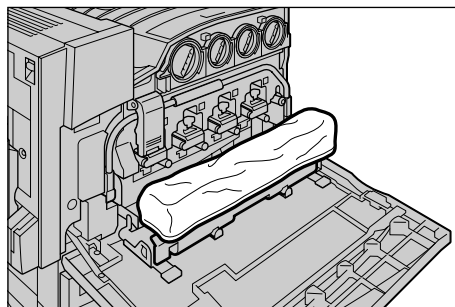
補足
トナー回収ボトルを交換するとき、回収されたトナーがこぼれて床面を汚すことがあります。あらかじめ床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

操作手順

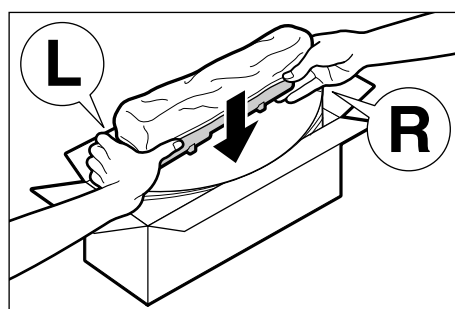
1 **新しいトナー回収ボトルを準備します。**

箱から新しいボトル、オレンジ色のビニールキャップ、清掃棒を取り出しておきます。

2 **本機がプリント中でないことを確認し、フロントカバーを開けます。**

3 **本体正面（B）の黒いボトルのカバーを、オレンジ色の左右のつまみを持って、下に開けます。**

4 **トナー回収ボトルの中央部分を持ち、止まる位置まで手前に引き出します。**

補足

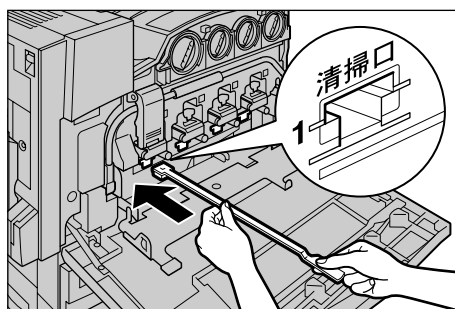
トナー回収ボトルは、開いた黒いカバーの上に、いったん置いてください。このとき、トナー回収ボトルを傾けると、トナーがこぼれますので注意してください。

5 トナーがこぼれないように、付属のオレンジ色のビニールキャップを上からかぶせます。

6 使用済みのトナー回収ボトルは、両手でしっかり持って、空箱に収納します。

補足

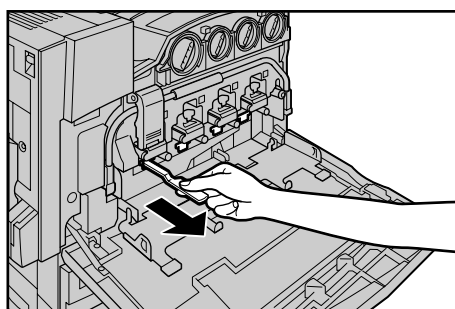
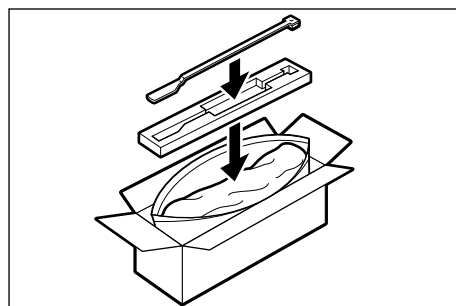
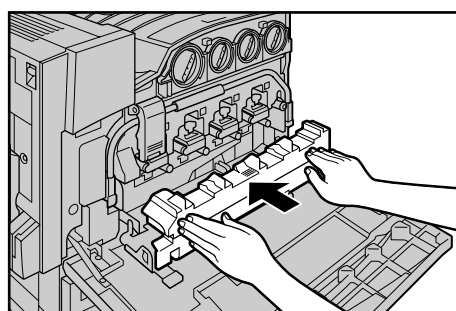
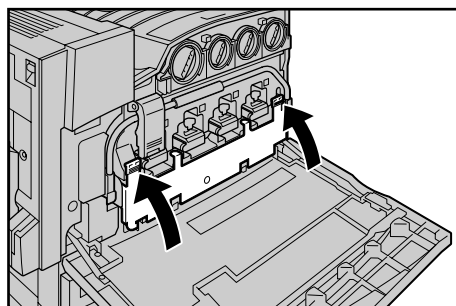
空箱の〔L〕が左手側、〔R〕が右手側です。反対にすると収納できません。

> ⚠警告
>
> **トナー、トナー回収ボトル、またはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

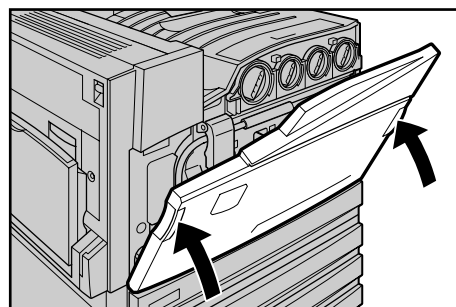
注記

使用済みのトナー回収ボトルは、弊社または販売店にお渡しください。

7 付属の清掃棒を取り出します。D の 1 ～ 4 の清掃口（四角い穴）に、清掃棒のパッド部を下に向けて、ゆっくりと差し込みます。

8 清掃棒が奥に突き当たったら、手前にゆっくり引き戻します。4 か所を、すべて 1 度ずつ清掃してください。

補足

- 清掃棒は、本機の奥に確実に突き当たるまで差し込んでください。
- パッドに付く汚れは、ほとんど見えません。

9 **使用済みの清掃棒を、使用済みのトナー回収ボトルと一緒に収納します。**

10 **新しいトナー回収ボトルの中央部を持ち、中央の位置を合わせ、奥に押し込みます。**

11 **左右のオレンジ色のつまみを持って、黒いボトルのカバーを閉じます。**

12 **フロントカバーを閉じます。**

【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

5.4.5 ホチキスカートリッジを交換する

フィニッシャー（オプション）を装着している場合、ホチキスカートリッジの交換時期になると、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、新しいホチキスカートリッジと交換してください。

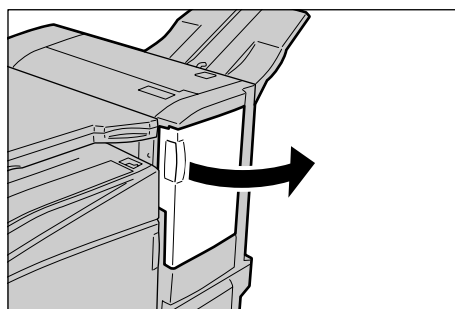
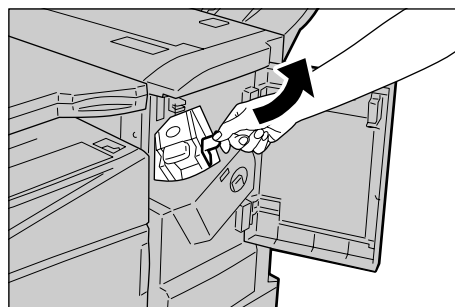
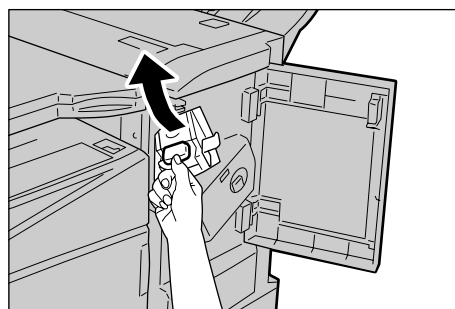
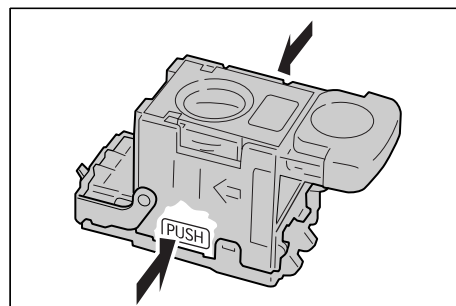
注記

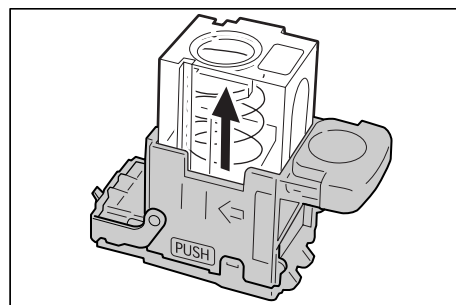
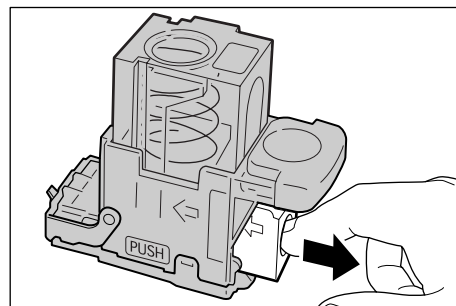
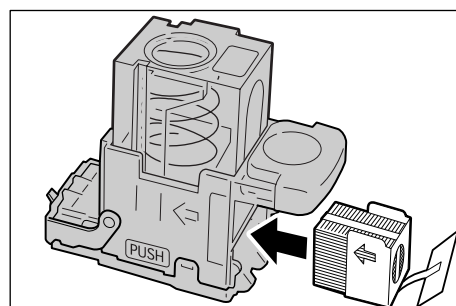
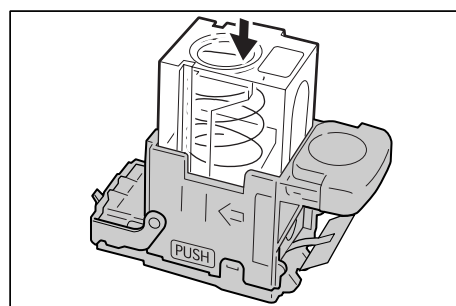
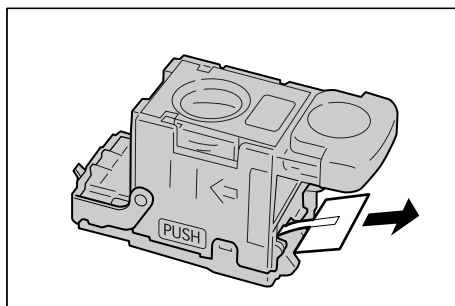
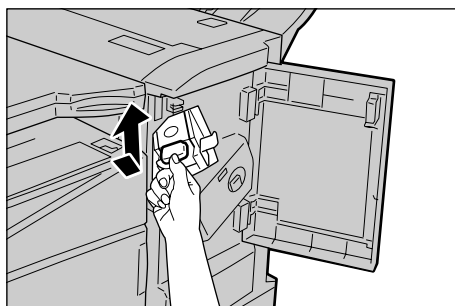
弊社が推奨していないホチキスカートリッジを使用された場合、本機の本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨するホチキスカートリッジをご使用ください。

補足

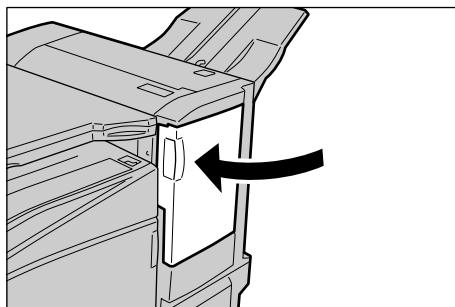
ホチキスカートリッジを注文するときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。

操作手順

1 **本機がプリント中でないことを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。**

2 **図のようにレバーを握って、ホチキスカートリッジを右方向（手前）へ引き寄せます。**

3 **上方向へ引き上げ、ホチキスカートリッジを取り出します。**

4 **「Push」と書いてある所を、両側から押します。**

中に入っているホチキス針ケースが、取り出せるようになります。

注記
中にホチキス針がある場合、「Push」と書いてある所を押しても、ケースは上がりません。

5 **カートリッジの丸い位置に指を入れて、ホチキス針ケースを取り出します。**

6 **新しいホチキス針ケースを、ホチキスカートリッジに押し込みます。**

7 **ホチキスカートリッジの上部を、図のように、下側に押し込みます。**

8 **新しい針ケースに付いているシールを図のように引き抜いて取り除きます。**

9 **ホチキスカートリッジを、元の位置に、「カチッ」と音がするまで押し込みます。**

10 **フィニッシャーの正面カバーを閉じます。**

補足

フィニッシャーの正面カバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

5.5 レポート / リストを印刷する

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法について説明します。

5.5.1 レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

- 機能設定リスト
- エラー履歴レポート
- ジョブ履歴レポート
- プリンター集計レポート
- フォントリスト
- ART EX フォーム登録リスト
- TIFF 設定リスト
- TIFF 論理プリンター登録リスト
- PDF 設定リスト

以下は、オプションを装着したときに印刷できるレポート / リストです。
＜ PostScript® ソフトウエアキット装着時＞
- PostScript フォントリスト
- PostScript 論理プリンター登録リスト
- HP-GL/2 設定リスト
- HP-GL/2 論理プリンター･メモリー登録リスト
- HP-GL/2 パレットリスト

＜ ART Ⅳ / エミュレーションキット装着時＞
- ART Ⅳ,ESC/P ユーザー定義リスト
- 201H 設定リスト
- ESC/P 設定リスト
- HP-GL/2 設定リスト
- HP-GL/2 論理プリンター･メモリー登録リスト
- HP-GL/2 パレットリスト

＜内蔵増設ハードディスク装置装着時＞
- 蓄積文書リスト

参照
- レポートやリストの印刷は、操作パネルから指示します。操作方法については、「5.5.2 レポート / リストを印刷する」（P.161）を参照してください。
- 「ART Ⅳ, ESC/P ユーザー定義リスト」「ESC/P 設定リスト」「HP-GL/2 設定リスト」「HP-GL/2 論理プリンター･メモリー登録リスト」「HP-GL/2 パレットリスト」については、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

機能設定リスト

機能設定リストについて説明します。

補足
本機の設定によっては、表示されない項目があります。

■機能設定リストとは

本機のハードウエア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。詳細な項目と、印刷結果を以下に説明します。

■印刷結果について

システム設定

項目	内容
機械情報	製品名、機械のシリアル番号、機種コードが印刷されます。
ROM	装着されているＲＯＭと、そのバージョンが印刷されます。PostScript ソフトウエアキットや ART Ⅳ / エミュレーションキットを装着している場合は、[標準 + ××× ROM]（×××はオプションの名称）と印刷されます。
機械構成	内蔵増設ハードディスクや用紙トレイ、出力装置、両面ユニットなど、装着されているオプションが印刷されます。
メンテナンス	ジョブ履歴レポート自動プリント、異常警告音、日付 / 時刻指定、言葉切り替え、節電モード、オフライン自動解除、プリント可能領域、ID 印字機能、ドラム寿命時の動作、最初のプリント速度、セキュリティープリントの出力操作の設定状況が印刷されます。また、両面印刷機能付きの場合は、レポートの両面プリントの設定状況も印刷されます。

プリント設定

項目	内容
全体	プリントページ数、ページ記述言語、搭載フォントの状況が印刷されます。プリントページ数には、現在までに印刷したカラーと白黒の印刷ページ数と総ページ数が印刷されます。ページ記述言語には、使用できるプリント言語が印刷されます。搭載フォントには、現在搭載されている和文、欧文フォントの書体数が印刷されます。
メモリー	メモリーの総容量と、プリントページバッファ、ART EX フォームメモリー、各ポートの受信バッファメモリーの設定値が印刷されます。オプションの PostScript ソフトウエアキットや、ART Ⅳ / エミュレーションキットを装着している場合は、その使用メモリーも印刷されます。
給紙設定	用紙トレイにセットされている用紙のサイズと向き、用紙トレイに設定されている用紙の種類、用紙トレイの優先順位の設定が印刷されます。
排紙設定	用紙置き換えの設定と、オフセットの排出方法の設定が印刷されます。
用紙設定	ユーザー定義の用紙の名称と、用紙種類の優先順位、用紙種類別の画質種類の設定状況が印刷されます。
バナーシート	バナーシートを出力するかどうかの設定が印刷されます。

■コミュニケーション設定

各ポートが起動しているか、停止しているかが印刷されます。起動しているときは、次の項目と設定値が印刷されます。

Ethernet 設定	接続タイプと、MAC アドレスが印刷されます。
TCP/IP	IP アドレスの取得方法、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、受付 IP アドレス制限、ステータス情報が印刷されます。
IPX/SPX	IPX/SPX の動作フレームタイプが印刷されます。
WINS	DHCP からのアドレスの取得の設定、プライマリー WINS サーバー、セカンダリー WINS サーバーの設定が印刷されます。
DNS	DHCP からのアドレスの取得、DNS 優先サーバーアドレス、DNS 代替サーバーアドレス 1、DNS 代替サーバーアドレス 2、ドメイン名、DNS の動的更新、ステータス情報が印刷されます。
SNMP	ポート状態と、トランスポートプロトコルが印刷されます。
CentreWare Internet Services	ポート状態が印刷されます。
パラレル	ポート状態、プリントモード指定、PJL、Adobe 通信プロトコル、自動排出時間、双方向通信、インプットプライムの設定が印刷されます。
USB	ポート状態、プリントモード指定、PJL、Adobe 通信プロトコル、自動排出時間が印刷されます。
NetWare	ポート状態、プリントモード指定、PJL、トランスポートプロトコル、TBCP フィルター、動作モード、装置名、ネットワークアドレス、ツリー名（ディレクトリーモード時のみ）、コンテキスト名（ディレクトリーモード時のみ）、ファイルサーバー名（バインダリーモード時のみ）、通知言語、キュー探索間隔、検索回数、ステータス情報が印刷されます。
LPD	ポート状態、プリントモード指定、PJL、TBCP フィルター、コネクションタイムアウト、ポート番号が印刷されます。
SMB	ポート状態、プリントモード指定、PJL、トランスポートプロトコル、TBCP フィルター、ワークグループ名、ホスト名、自動ドライバロード、自動マスターモード、パスワード暗号化、最大セッション数、Unicode サポート、管理者名、ステータス情報が印刷されます。
EtherTalk	ポート状態、プリントモード指定、PJL、プリンター名、EtherTalk ゾーンが印刷されます。
IPP	ポート状態、プリントモード指定、PJL、TBCP フィルター、アクセス権制御、DNS 使用、ポート番号、追加ポート番号、タイムアウトが印刷されます。
Port9100	ポート状態、プリントモード指定、PJL、TBCP フィルター、コネクションタイムアウト、ポート番号が印刷されます。
BMLinkS	プリントサービス、ディスカバリーが印刷されます。 プリントサービスには、ポート起動、ポート番号、タイムアウトが印刷され、ディスカバリーには、ポート番号、会社名 / 組織名、部門名、ビル名、階数、ブロック名が印刷されます。
SSDP	アドバタイズ間隔、最大 TTL が印刷されます。

メール通知サービス	ポート状態が印刷されます。
メール	メール送信、メール受信のポート状態、受信プロトコル、POP3 サーバーアドレス、POP ユーザー名、POP3 サーバー確認間隔、SMTP サーバーアドレス、本体メールアドレス、ヘッダー本文の印刷、受信ドメインの制限が印刷されます。

補足

パラレル、USB の「Adobe 通信プロトコル」、NetWare、LPD、SMB、IPP、Port9100 の「TBCP フィルター」と、EtherTalk は、オプションの PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C3530
機能設定リスト

日時 : 2003/02/18 11:33 AM
ページ : 2(最終)

厚紙1 A
厚紙F A
厚紙1(うら面) A
厚紙2
厚紙2(うら面)

バナーシート
バナーシート出力

コミュニケーション設定
Ethernet設定
接続タイプ
MACアドレス

TCP/IP
IPアドレス取得方法
IPアドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス
受付IPアドレス制限
ステータス情報

WINS
DHCPからのアドレス取得
プライマリーWINSサーバー
セカンダリーWINSサーバー

DNS
DHCPからのアドレス取得
DNS優先サーバーアドレス
DNS代替サーバーアドレス1
DNS代替サーバーアドレス2
ドメイン名
DNSの動的更新

SNMP
ポート起動
トランスポートプロトコル

CentreWare Internet Services
ポート起動

パラレル
ポート起動
プリントモード指定
PJL
自動排出時間
双方向通信

USB
ポート起動

NetWare®
ポート起動

LPD
ポート起動
プリントモード指定

PJL 有効
コネクションタイムアウト 16秒
ポート番号 515

DocuPrint C3530
機能設定リスト

日時 : 2003/02/18 11:33 AM
ページ : 1

システム設定
機械情報
製品名 DocuPrint C3530
シリアル番号 650042
機種コード NC100081

ROM
標準ROM Ver 0.1.4
出力ROM Ver 4.0.0

機械構成
内蔵ハードディスク
総容量 19045.08MB
ユーザー領域 4095.56MB
親展ボックス 4095.56MB
用紙トレイ トレイ1
トレイ2
トレイ3
トレイ4
トレイ5(手差し)
出力装置 センタートレイ
オフセット排出ユニット
両面ユニット

メンテナンス
ジョブ履歴レポート自動プリント しない
レポートの両面プリント 片面
異常警告音 鳴らさない
日付/時刻設定
日付表示形式 yyyy/mm/dd
時刻表示形式 12時間制
タイムゾーン GMT +9.0
サマータイム設定 しない
ことば切り替え 日本語
節電モード 有効(30分)
オフライン自動解除 しない
プリント可能領域 標準
ID印字機能 しない
ドラム寿命時の動作 プリント停止する
最初のプリント速度 カラー優先
セキュリティープリントの出力操作 有効

プリント設定
全体
プリントページ数
カラー 154ページ
白黒 297ページ
総ページ数 451ページ
ページ記述言語(PDL) ART EX Ver 20.2
TIFF
PDF
搭載フォント TrueType和文 2書体
TrueType欧文 15書体

メモリー
総容量 768.00MB
プリントページバッファ 682.85MB

受信バッファ
パラレル 64KB
LPD スプールしない:1024KB
SMB スプールしない:256KB

給紙設定
トレイの用紙、向き
トレイ1 A4 たて置き
トレイ2 A4 たて置き
トレイ3 B4 よこ置き
トレイ4 A3 よこ置き
トレイの用紙種類
トレイ1 普通紙
トレイ2 普通紙
トレイ3 普通紙
トレイ4 普通紙
トレイ5(手差し) 普通紙
用紙トレイの優先順位
トレイ1 1番目
トレイ2 2番目
トレイ3 3番目
トレイ4 4番目

排紙設定
用紙の置き換え 用紙補給を表示
オフセット排出(センタートレイ) セット単位

用紙設定
ユーザー用紙の名称設定
ユーザー定義用紙種類1 "ﾕｰｻﾞｰ1 "
ユーザー定義用紙種類2 "ﾕｰｻﾞｰ2 "
ユーザー定義用紙種類3 "ﾕｰｻﾞｰ3 "
ユーザー定義用紙種類4 "ﾕｰｻﾞｰ4 "
ユーザー定義用紙種類5 "ﾕｰｻﾞｰ5 "
用紙種類の優先順位
上質紙 3番目
普通紙 1番目
再生紙 2番目
ユーザー定義用紙種類1 自動選択しない
ユーザー定義用紙種類2 自動選択しない
ユーザー定義用紙種類3 自動選択しない
ユーザー定義用紙種類4 自動選択しない
ユーザー定義用紙種類5 自動選択しない
厚紙F 自動選択しない
厚紙F(A) 自動選択しない
厚紙F(B) 自動選択しない
厚紙F(C) 自動選択しない
厚紙F(S) 自動選択しない
コート紙F 自動選択しない
用紙種類別画質処理
上質紙 A
普通紙 B
再生紙 C
ユーザー定義用紙種類1 B
ユーザー定義用紙種類2 B
ユーザー定義用紙種類3 B
ユーザー定義用紙種類4 B
ユーザー定義用紙種類5 S

エラー履歴レポート

エラー履歴レポートについて説明します。

■エラー履歴レポートとは

本機に発生したエラーに関する情報が印刷されます。

■印刷結果について

エラー履歴レポートには、最新の 50 件までのエラーについて、日付、時刻、エラーコード、エラー分類が印刷されています。

■印刷結果例

DocuPrint C3530

エラー履歴レポート

日時 : 2002/06/10 10:31 AM

日付	時刻	エラーコード	エラー分類
2002/05/29	04:17:27 PM	007-250	Tray Module Communication Error
2002/05/29	06:23:54 PM	007-105	Tray 1 Feed Out Sensor On Jam
2002/05/30	10:08:39 AM	007-291	TTM 3 Lift Up File
2002/06/03	03:14:05 PM	008-175	Regi Sensor On Jam (Tray 5 = SMH)

ジョブ履歴レポート

ジョブ履歴レポートについて説明します。

■ジョブ履歴レポートとは

コンピューターから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。ジョブ履歴レポートには、最新の 50 件までの印刷ジョブが印刷されます。
このジョブ履歴レポートは、50 件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、操作パネルで設定できます。

■印刷結果について

ジョブ履歴レポートには、最新の 50 件までの印刷ジョブについて、以下の項目を印刷します。
日付、完了時刻、入力（送信）元、出力（排出）先、ジョブ情報、ページ情報、ページ、枚数、ジョブ処理状態が印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C3530
ジョブ履歴レポート

日時 : 2002/06/11 16:31
ページ : 1(最終)

日付	完了時刻	入力(送信)元	出力(排出)先	ジョブ情報	ページ情報	ページ	枚数	ジョブ処理状態
2002/06/03	03:10:10 PM	パラレル	センタートレイ	片面:ART EX	カラー:A3:普通紙	1	1	正常終了
2002/06/04	06:22:46 PM	レポート/リスト	センタートレイ	片面	白黒:A4:普通紙	2	2	正常終了
2002/06/07	06:24:30 PM	パラレル		1up:PCL6			0	異常終了(016-749):JCLｺﾏﾝﾄﾞｴﾗｰ
2002/06/11	04:00:52 PM	LPD:e2mc09:User:C:¥std4dup.prn	センタートレイ	1up:両面:ART EX	カラー:A4:普通紙	2	1	正常終了

■ジョブのエラー終了について

「ジョブ処理状態」に、次のエラー終了の内容が記載されることがあります。

印字内容	原因と処置
プリントパラメータ異常	【原因】 非定形サイズを指定して、[用紙トレイ選択] を [自動] に設定しているなど、プリントパラメーターの組み合わせが不正です。 【処置】 印刷データを確認してください。上記の場合は、用紙トレイ 5（手差し）を選択してください。
ART EX 使用メモリー不足	【原因】 メモリーが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。 【処置】 [印刷モード] が [高精細] の場合は [高画質] にして、もう一度印刷を指示してください。それでも状態が改善されない場合は、[標準] にして印刷を指示してください。 参照 「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)
プリントページバッファ不足	【原因】 プリントページバッファが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • [印刷モード] が [高精細] の場合は [高画質] にする 状態が改善されない場合は、[標準] にする • ページ印刷モードを利用する • プリントページバッファを増やす • メモリーを増設する 参照 [印刷モード] については「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)、ページ印刷モードについてはプリンタードライバーのオンラインヘルプ、プリントページバッファについては「1.5　メモリーの割り当てについて」(P.19) を参照してください。
予期しないエラー	【原因】 印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 ①共通メニューの [プリント設定] の [用紙の優先順位] がすべての用紙で【シナイ】に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している ②ESC/P（オプション）のコマンドエラー 【処置】 ①については、自動トレイ選択で印刷をする場合は、[用紙の優先順位] で、用紙のどれかを【シナイ】以外に設定してください。 ②については、印刷データを確認してください。 参照 「用紙の優先順位」(P.255)

印字内容	原因と処置
プリント言語自動判定エラー	【原因】 プリントモード指定が【ジドウ】の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。 次の原因が考えられます。 ①PostScript ソフトウエアキットが装着されていない状態で、PostScript データを送信した ②PostScript ソフトウエアキットが装着されていて、内蔵増設ハードディスクが装着されていない状態で、LPR などを使って、PDF ファイルを本機に直接送信した ③ART IV / エミュレーションキットが装着されていない場合に、プリントモード指定を【ジドウ】で、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2 のデータを送信した 【処置】 ①については、PostScript ソフトウエアキットの装着が必要です。 ②については、内蔵増設ハードディスクと 256MB 以上のメモリーの装着が必要です。 ③については、ART IV / エミュレーションキットの装着が必要です。
ART IVコマンドエラー	【原因】 サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
ハードディスクの領域不足	【原因】 ハードディスクの領域が不足しているため、印刷できません。 【処置】 印刷データを分割する、複数部印刷している場合は 1 部ずつ印刷するなどで、印刷データのページ数を少なくしてください。
PostScript エラー	【原因】 PostScript の処理中にエラーが発生しました。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • ［印刷モード］を［高画質］にする • プリントページバッファを増やす • PS 使用メモリーを増やす 参照 ［印刷モード］については「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)、プリントページバッファ、PS 使用メモリーについては「1.5　メモリーの割り当てについて」(P.19)
画像伸長エラー	【原因】 イメージ処理中エラーが発生しました。 【処置】 ［印刷モード］を［高画質］にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、ページ印刷モードで印刷してください。 参照 ［印刷モード］については「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)、ページ印刷モードについてはプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

印字内容	原因と処置
プリント言語非搭載	【原因】 実装されていないプリント言語が指定されました。次の原因が考えられます。 ①ART IV / エミュレーションキットが装着されていない状態で、ART IV、201H、ESC/P、HP-GL/2データを送信した 【処置】 ① ART IV / エミュレーションキットの装着が必要です。
PJL コマンドエラー	【原因】 PJL コマンドの構文エラーが発生しました。 【処置】 印刷設定を確認するか、PJL コマンドを訂正してください。
フォーム登録不能 （領域不足）	【原因】 ART EX フォームメモリーが不足して、フォームが登録できませんでした。 【処置】 ART EXフォームメモリーの領域を増やしてください。 参照 「ART EX フォームメモリー」（P.258）
ペーパーマージン値不正	【原因】 HP-GL/2（オプション）の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が多すぎます。 【処置】 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度印刷を指示してください。
指定のフォームは未登録	【原因】 指定したART EX用フォームは登録されていません。 【処置】 「ART EX フォーム登録リスト」を印刷して、フォームの登録状態とフォーム名を確認してください。 参照 「5.5　レポート / リストを印刷する」（P.141）
指定のフォームは未登録	【原因】 指定した ART IV（オプション）用フォームは登録されていません。 【処置】 「ART IV ,ESC/P ユーザー定義リスト」を印刷して、フォームの登録状態とフォーム名を確認してください。 参照 「5.5　レポート / リストを印刷する」（P.141）
HP-GL/2 メモリー オーバーフロー	【原因】 受信データが HP-GL/2（オプション）スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 【処置】 蓄積されている印刷データの処理が終わるまで待って、もう一度印刷を指示してください。
フォームと用紙の サイズ / 方向不一致	【原因】 指定した ART EX、または ART IV（オプション）フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 【処置】 用紙のサイズと向きを、指定した ART EX、または ART IVフォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。

印字内容	原因と処置
ページ内に描画データなし	【原因】 HP-GL/2（オプション）の印刷データに描画データがありません。 【処置】 印刷データを確認してください。
メモリー不足により両面印刷不能	【原因】 メモリーが不足したため、両面印刷ができませんでした。 【処置】 プリントページバッファを増やして、もう一度印刷を指示してください。 参照 「1.5　メモリーの割り当てについて」(P.19)
PostScript 言語解釈エラー	【原因】 PostScript(オプション)でエラーが発生しました。 【処置】 印刷データを確認するか、プリンタードライバーの［詳細］タブの［スプールの設定］をクリックして、双方向通信をオフにしてください。
代替フォントにより印刷	【原因】 代替フォントで印刷されました。 【処置】 印刷データを確認してください。
フォーム登録不能（登録上限数超過）	【原因】 ART EX、または ART IV（オプション）フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 【処置】 不要なフォームを削除してください。各フォームの登録上限数は、64 です。内蔵増設ハードディスクを装着している場合は、2048 です。 参照 「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238)
ユーザーデータ登録不能（領域不足）	【原因】 ART IV（オプション）ユーザー定義メモリーが不足して、ユーザー定義データが登録できませんでした。 【処置】 ART IVユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。 参照 「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238)
ロゴ登録不能（登録上限数超過）	【原因】 ART IV（オプション）ロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できませんでした。 【処置】 不要なロゴデータを削除してください。
数値演算エラー	【原因】 数値演算エラーが発生しました。 【処置】 印刷データを確認してください。
HP-GL/2 コマンドエラー	【原因】 HP-GL/2（オプション）コマンドエラーが発生しました。 【処置】 印刷データを確認してください。
ART IVコマンドエラー	【原因】 ART IV（オプション）コマンドエラーが発生しました。 【処置】 印刷データを確認してください。

印字内容	原因と処置
フォーム / ロゴ登録不能（領域不足）	【原因】 ART IV（オプション）用のメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できませんでした。 【処置】 メモリーの領域を増やしてください。 参照 「7.2　共通メニュー項目の説明」（P.238）
セキュリティープリント文書登録エラー	【原因】 内蔵増設ハードディスクが装着されていないので、セキュリティープリント文書が登録できませんでした。 【処置】 セキュリティープリント機能を使用するには、内蔵増設ハードディスクと256MB以上のメモリーが必要です。 参照 「4.8　機密文書を印刷する / 出力結果を確認してから印刷する（セキュリティー / サンプルプリント）」（P.69）
116-701	【原因】 メモリーが不足したため、両面印刷ができません。 【処置】 メモリーを増設することをお勧めします。
116-702	【原因】 代替フォントで印刷されました。 【処置】 印刷データを確認してください。
116-703	【原因】 PostScript（オプション（DocuPrint C2426 のみ））でエラーが発生しました。 【処置】 印刷データを確認するか、プリンタードライバーの［詳細］タブのスプールの設定で、双方向通信をオフにしてください。
116-710	【原因】 受信データが HP-GL、HP-GL/2（オプション）スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 【処置】 HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やすか、内蔵増設ハードディスクを取り付けることをお勧めします。
116-711	【原因】 指定した ART EX フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 【処置】 用紙サイズと向きを、指定した AER EX フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-712	【原因】 ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 【処置】 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-714	【原因】 HP-GL、HP-GL/2（オプション）コマンドエラーが発生しました。 【処置】 印刷データを確認してください。

印字内容	原因と処置
116-715	【原因】 ART EXフォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 【処置】 不要なフォームを削除してください。
116-718	【原因】 指定したART EX用フォームは登録されていません。 【処置】 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、「ART EX フォーム登録リスト」で確認できます。 参照 「5.5　レポート / リストを印刷する」(P.141)
116-737	【原因】 ART IV（オプション）ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 【処置】 不要なデータを削除するか、ART IVユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	【原因】 指定した ART IV（オプション）フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていません。 【処置】 用紙のサイズと向きを、指定した ART IVフォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-739	【原因】 ART IVフォームメモリー、またはハードディスクの容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 【処置】 不要なデータを削除するか、ART IVフォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	【原因】 印刷データにプリンターの制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 【処置】 印刷データを確認してください。
116-741	【原因】 ART IV（オプション）フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 【処置】 不要なフォームを削除してください。
116-742	【原因】 ART IV（オプション）ロゴデータの登録上限数に達したので、ロゴデータが登録できません。 【処置】 不要なロゴデータを削除してください。
116-743	【原因】 ART IVフォームメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 【処置】 メモリーの容量を増やすか、内蔵増設ハードディスクを取り付けることをお勧めします。
116-745	【原因】 ART IV（オプション）コマンドエラーが発生しました。 【処置】 印刷データを確認してください。

印字内容	原因と処置
116-746	【原因】 指定した ART Ⅳ（オプション）用フォームは登録されていません。 【処置】 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。 フォームの登録状態は、「ART Ⅳ ,201H,ESC/P ユーザー定義リスト」で確認できます。
116-747	【原因】 HP-GL、HP-GL/2（オプション）の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が大きすぎます。 【処置】 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度印刷を指示してください。
116-748	【原因】 HP-GL、HP-GL/2（オプション）の印刷データに描画データがありません。 【処置】 印刷データを確認してください。
116-750	【原因】 バナーシートの給紙トレイが故障しています。 【処置】 バナーシートの給紙トレイを、正常な状態にしてください。または、操作パネルでバナーシートの給紙トレイを変更してください。
116-780	【原因】 本機が受信したメールの添付文書に問題があります。 【処置】 添付文書を確認してください。 参照 「4.13.2　メールを送信する」(P.94)

プリンター集計レポート

プリンター集計レポートについて説明します。

■プリンター集計レポートとは

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。印刷枚数は、カラーと白黒別にカウントされています。プリンター集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。

参照

- プリンター集計レポートの詳細については、「5.6.2　プリンター集計レポートで総印刷枚数を確認する」(P.163) を参照してください。
- プリンター集計レポートのデータを初期化できます。詳細については、「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238) を参照してください。

■印刷結果例

DocuPrint C3530
プリンター集計レポート

初期化日時　2002/06/01　12:04 AM

レポート印刷日時 : 2002/06/10　10:31 AM
ページ : 1(最終)

ジョブオーナー名	ページ数								枚数		
	カラー						白黒		カラー	白黒	
	サイズ										
	A3	A4	B4	B5	その他	カラー 総ページ数	白黒 総ページ数	総ページ数	カラー 総枚数	白黒 総枚数	総枚数
Administrator¥CYGNUS	0	1	0	0	0	1	2	3	1	2	3
hinoue¥SAKURAGICHO	0	3	0	0	0	3	0	3	3	0	3
hinoue¥YOKOHAMA	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
kobayashi¥KODOMONOKUNI	0	4	0	0	0	4	0	4	4	0	4
kobayashi¥PEARL	0	3	0	0	0	3	0	3	3	0	3
shimizu¥INADAZUTSUMI	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
Unkownser	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Report/List	0	0	0	0	0	0	28	28	0	21	21
総合計	0	12	0	0	0	12	32	44	12	23	35

※「ページ数」は印刷された用紙の片面を一つとして、「枚数」は使用した用紙を一つとして集計したものです。
2ページ構成のドキュメントを両面印刷した場合、「ページ数」は「2」、「枚数」は「1」と数えられます。

フォントリスト

フォントリストについて説明します。

■フォントリストとは

ART EX で使用できるフォントの一覧が印刷されます。また、オプションの ART IV / エミュレーションキットを装着している場合は、201H、ESC/P、HP-GL/2 で使用できるフォントも印刷されます。

補足

オプションの PostScript ソフトウエアキットが装着されていて、[プリント処理モード] で [PDF Bridge] が選択されている場合は、PDF Bridge で使用できるフォントも印刷されます。

■印刷結果について

フォントリストには、標準の ART EX と、オプションのエミュレーションモードで使用できるフォントの名称とサンプル文字列が印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C3530
フォントリスト

ART EXで使用できる書体		印字見本
和文	平成明朝	ドキュメントの訴求力を求める美しい書体と色彩
	平成角ゴシック	ドキュメントの訴求力を求める美しい書体と色彩
欧文	Enhanced Classic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Enhanced Modern	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Times Bold Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Regular	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Triumvirate Bold Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Courier Bold Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	CS Symbol	ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚαβχδεφγηιφκ0123456789

ART EX フォーム登録リスト

ART EX フォーム登録リストについて説明します。

■ART EX フォーム登録リストとは

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。

参照

オーバーレイ印字機能については、「4.5　登録したフォームに印刷する（オーバーレイ印字)」(P.55) を参照してください。

■印刷結果について

ART EX フォーム登録リストには、トータル登録フォームサイズ制限、登録されているフォームの登録番号、登録フォーム名、バイト数が印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C3530
ART EXフォーム登録リスト

トータル登録フォームサイズ制限　1953.13MB

日時 : 2002/06/10　10:36 AM
ページ : 1(最終)

ART EXフォーム一覧

登録番号	登録フォーム名	バイト数
No.1	"ｽﾎﾟｰﾂ"	7560
No.2	"ﾄﾞｳﾌﾞﾂ"	163405
No.3	"ﾊﾅﾋﾞ"	165085
No.4	"ﾌﾗﾜｰ"	4067
No.5	"ﾎｼ"	331018

TIFF 設定リスト

TIFF プリントモードでの各設定が印刷されます。

■印刷結果について

TIFF 設定リストには、次の項目が印刷されます。

書式設定	原稿サイズ、用紙サイズ、用紙トレイ、原点位置、原稿の向き、まとめて 1 枚（N アップ）、N アップ印字方向、位置補正、カラーモードの設定が印刷されます
オプション設定	排出先、ソート（1 部ごと）、両面、ホチキスの設定が印刷されます。
倍率選択情報	倍率モード、縦倍率、横倍率の設定が印刷されます。
印字制御	トレイ 5（手差し）の給紙確認待ち、イメージエンハンス、プリント部数の優先指定、プリント部数、ペーパーマージンの設定が印刷されます。
メモリー登録一覧	工場出荷時の設定、論理プリンターを示す No.1 〜 20 の設定が印刷されます。

TIFF 論理プリンター登録リスト

TIFF プリントモードで作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。

■印刷結果について

TIFF 論理プリンター登録リストには、登録されている 1 〜 20 までの論理プリンターの設定が印刷されます。

PDF 設定リスト

PDF ダイレクトプリントの操作パネルでの設定が印刷されます。

■印刷結果について

PDF 設定リストには、次の項目が印刷されます。

プリント処理モード、部数、両面、印刷モード、ソート（1 部ごと）、用紙サイズ、レイアウト、カラーモード

PostScript フォントリスト

PostScript フォントリストについて説明します。

■PostScript フォントリストとは

PostScript ソフトウエアキットを装着している場合に、PostScript で使用できるフォントが印刷されます。

■印刷結果について

PostScript フォントリストには、装着されている PostScript ROM に含まれている書体と書体サンプルが印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C3530

PostScript® フォントリスト

日時：2002/06/19 04:36
ページ：1

使用できる書体		書体サンプル
和文	リュウミンL-KL	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩
	中ゴシックBBB	ドキュメントの訴求力を高める、美しい書体と色彩
欧文	Albertus	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Albertus Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Albertus Light	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Antique Olive Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Antique Olive Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Antique Olive Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Antique Olive Compact	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789
	Apple Chancery	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Arial	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Arial Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Arial Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Arial Bold Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Avant Garde Gothic Book	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Avant Garde Gothic Demi	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Bold Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Poster	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Bodoni Poster Compressed	[illegible]
	ITC Bookman Light	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Bookman Light Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Bookman Demi	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	ITC Bookman Demi Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Carta	[illegible]
	Chicago	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Clarendon Roman	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Clarendon Bold	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Clarendon Light	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Cooper Black	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Cooper Black Italic	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Copperplate Gothic 32BC	ABCDEFGHIJKABCDEFGHIJK0123456789!@#$%^&*+?
	Copperplate Gothic 33BC	ABCDEFGHIJKABCDEFGHIJK0123456789!@#$%^&*+?
	Coronet	[illegible]
	Courier	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?
	Courier Oblique	ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789!@#$%^&*+?

PostScript 論理プリンター登録リスト

PostScript 論理プリンター登録リストについて説明します。

参照

PostScript 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

■PostScript 論理プリンター登録リストとは

PostScript ソフトウエアキットを装着している場合に、PostScript で作成した論理プリンターの一覧が印刷されます。登録されている 1 ～ 20 までの論理プリンターの設定が確認できます。

■印刷結果について

PostScript 論理プリンター登録リストに印刷される項目は、以下のとおりです。

登録番号	論理プリンターの登録番号が印刷されます。
書式設定	用紙サイズ、用紙トレイ、用紙種類、カラーモードの設定が印刷されます。
オプション	両面、排出先の設定が印刷されます。
印字制御	オフセット排出、トレイ 5（手差し）の給紙確認待ち、ソート（1 部ごと）、スクリーンタイプ、イメージエンハンス、印刷モード、プリント部数の優先順位、プリント部数の設定が印刷されます。

■印刷結果例

DocuPrint C3530

PostScript®論理プリンター登録リスト

日時 ： 2002/08/21　11:06

ページ ： 1

登録番号	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5
書式設定					
用紙サイズ	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
用紙トレイ	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
用紙種類	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
カラーモード	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
オプション					
両面	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
排出先	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
印字制御					
オフセット排出	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
トレイ5(手差し)の給紙確認待ち	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
ソート(1部ごと)	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
スクリーンタイプ	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
イメージエンハンス	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
印刷モード	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
プリント部数の優先指定	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし
プリント部数	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし	指定なし

蓄積文書リスト

蓄積文書リストについて説明します。

■蓄積文書リストとは

セキュリティー / サンプルプリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧が印刷されます。

参照

セキュリティー / サンプルプリントについては、「4.8　機密文書を印刷する / 出力結果を確認してから印刷する（セキュリティー / サンプルプリント）」(P.69) を参照してください。

■印刷結果例

DocuPrint C3530
蓄積文書リスト

日時 : 2002/08/21　11:07
ページ : 1(最終)

親展ボックス容量

使用容量	0.9MB
空き容量	3982.4MB

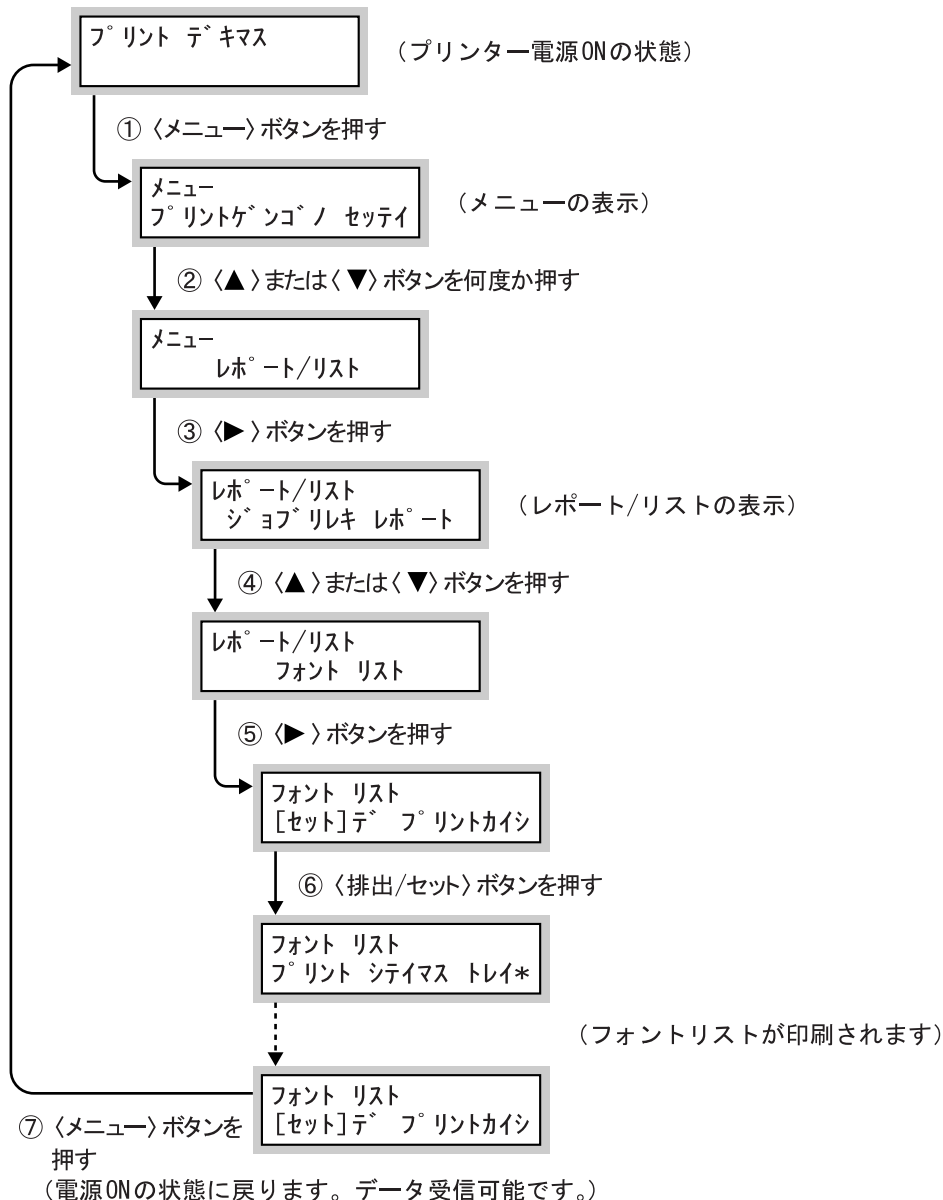
セキュリティプリント

文書番号 ユーザーID	文書名	文書サイズ	登録日時	ページ数
No.70 endo	Sample	A4	2002/05/30 14:46	1
No.71 tanaka	Manual	A4	2002/05/31 18:02	1
No.72 suzuki	DE0123	B5	2002/06/07 09:53	1

サンプルプリント

文書番号 ユーザーID	文書名	文書サイズ	登録日時	ページ数
No.73 sato	ABCD	A4	2002/06/19 10:37	1
No.74 nakamura	UserGuide	A4	2002/07/01 13:11	1
No.75 yamada	Memo	B5	2002/07/15 20:08	1

5.5.2　レポート / リストを印刷する

レポート/リストは、操作パネルを操作して印刷します。ここでは、フォントリストを印刷する場合を例に説明します。ほかのレポート/リストも同様に印刷を指示してください。

5.6 総印刷枚数を確認する

印刷の総枚数の確認方法について説明します。
総印刷枚数のカウントの仕方には 2 種類あり、確認方法も異なります。1 つは、カラー印刷または白黒印刷など、印刷のカラーモードで区分されているメーター別に印刷総枚数を確認する方法と、もう 1 つは、コンピューター別に本機で印刷した総ページ数を確認する方法があります。

5.6.1 メーターで総印刷枚数を確認する

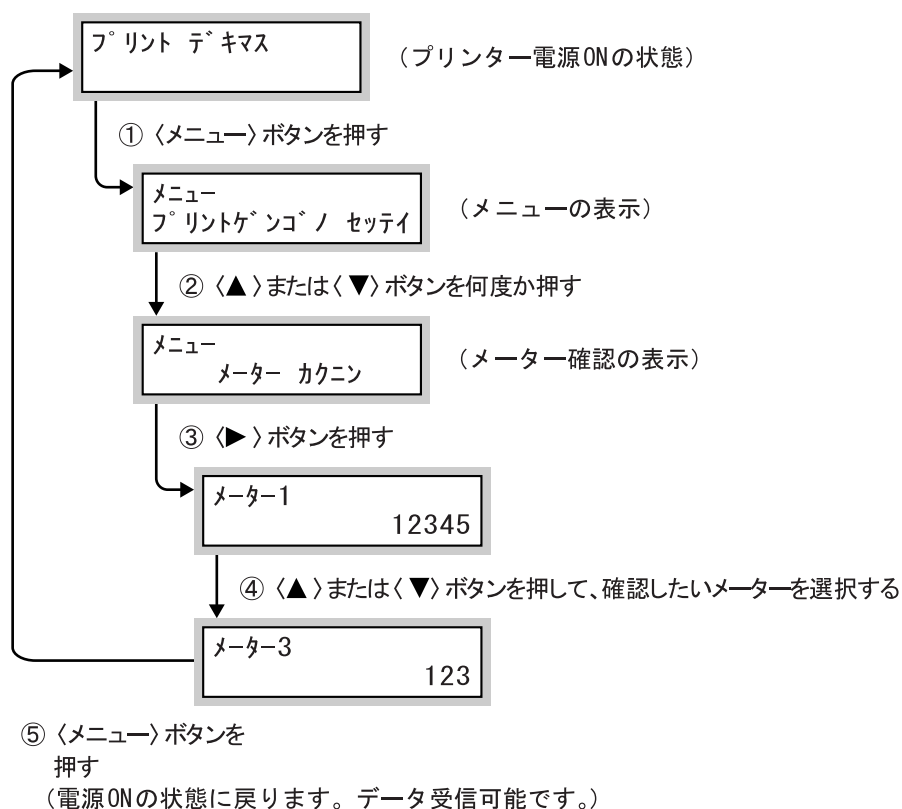
操作パネルのディスプレイの表示で、メーター別の総印刷枚数を確認できます。メーターは、カラーモードなどによって区分されています。

メーター 1	白黒印刷
メーター 2	通常は使用しません。
メーター 3	カラー印刷

補足

アプリケーション側で ICC プロファイルなどを使って色変換した印刷データを、［自動（カラー / 白黒）］で印刷した場合、モニター上で白黒に見える原稿でもカラーで印刷されます。また、その場合、メーターはメーター 3（カラー印刷）がカウントされます。

メーターの確認方法は、次のとおりです。

日常管理 5

5.6.2 プリンター集計レポートで総印刷枚数を確認する

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、「プリンター集計レポート」で確認できます。印刷枚数は、カラーと白黒別にカウントされています。プリンター集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。
プリンター集計レポートは、プリンターの操作パネルを操作して印刷します。

プリンター集計レポートの印刷結果について

プリンター集計レポートには、次の項目が印刷されます。

初期化日時	プリンター集計のデータを初期化した日時です。
レポート作成日時	プリンター集計レポートを印刷した日時です。

ジョブオーナーごとに、次の項目が印刷されます。

ジョブオーナー名	最大 200 ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。管理対象になるユーザー名はプリンタードライバーの［ジョブオーナーの指定］で設定します。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 201 人め以降のユーザーの印刷ジョブは、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
カラー A3 ページ数	A3 以上のサイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラー A4 ページ数	A4 サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラー B4 ページ数	B4 サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラー B5 ページ数	B5 サイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラーその他ページ数	B5 より小さなサイズの用紙に、カラーで印刷したページ数です。
カラー総ページ数	カラーで印刷した総ページ数です。
白黒総ページ数	白黒で印刷した総ページ数です。
総ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。
カラー枚数	カラーで印刷に使用した用紙の枚数です。
白黒枚数	白黒で印刷に使用した用紙の枚数です。
総枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1 印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

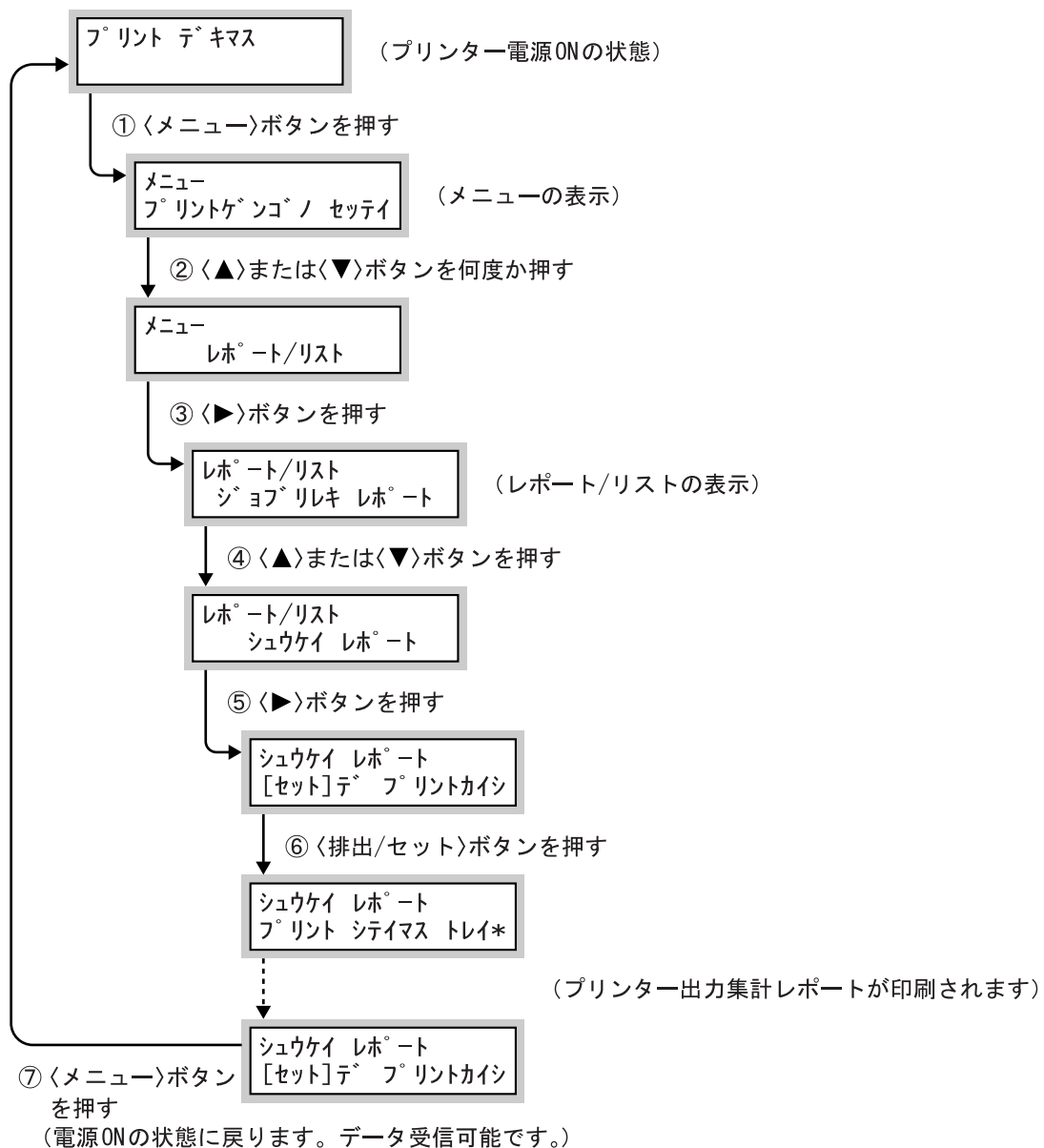
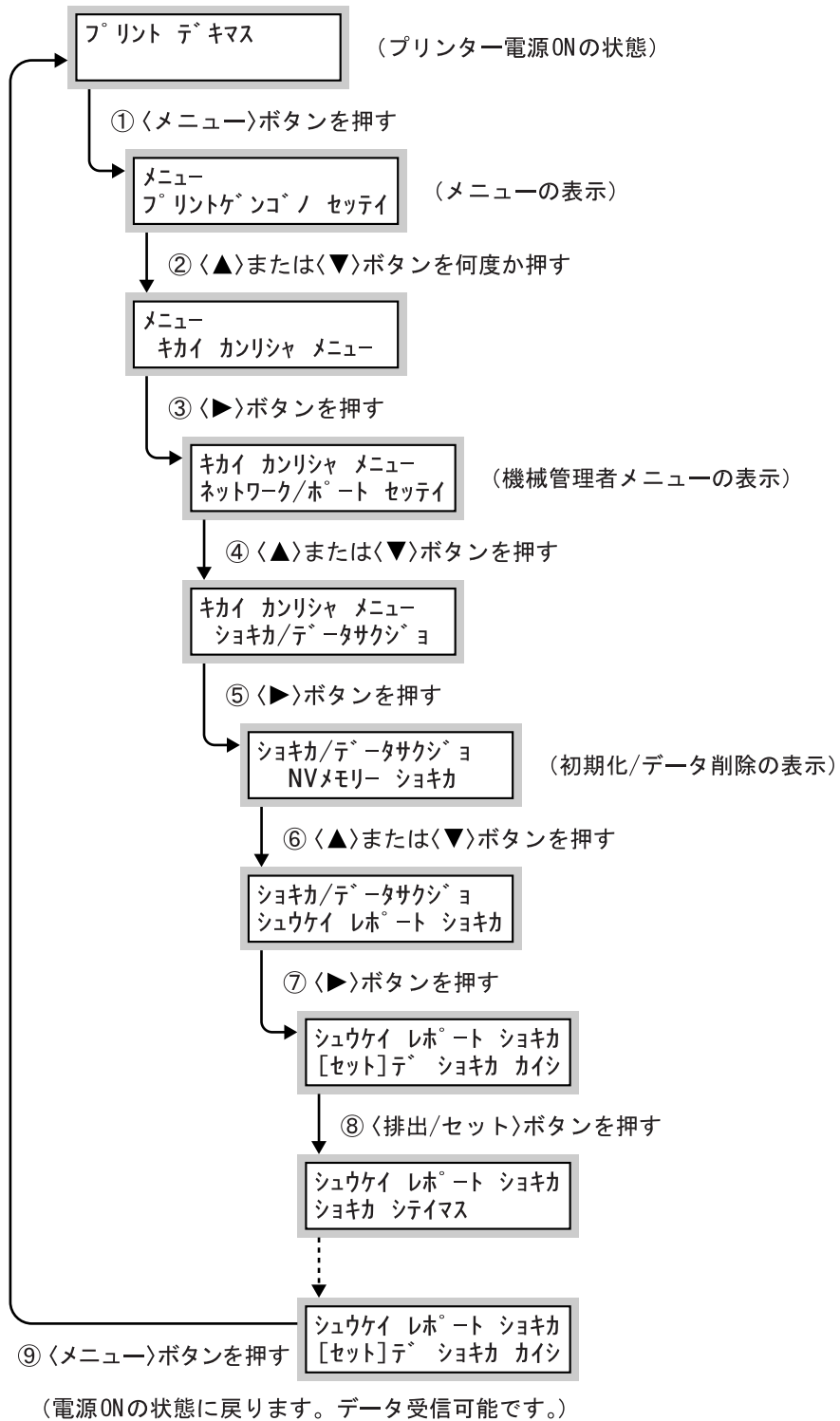
参照

プリンター集計レポートのデータを初期化できます。
- 詳しくは「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238) を参照してください。
- 操作手順については、「プリンター集計レポートの初期化」(P.165) を参照してください。

プリンター集計レポートの印刷の仕方

プリンター集計レポートの初期化

日常管理

5

5.7 節電機能（スリープモード）を利用する

本機は、待機しているときの電力の消費を抑えるために、一定時間印刷データを受信しないと、節電モード（スリープモード）に移行します。
スリープモードに移行するかどうか、移行する場合はスリープモードに切り替わるまでの時間を、15 ～ 240 分の間で設定できます。スリープモード時の消費電力は、8.5W 以下で、スリープモードから印刷できる状態になるまでの時間は、約 40 秒です。
スリープモード中に印刷データを送信すると、スリープモードが自動的に解除され、印刷処理を開始します。

注記
本機には、約 15 分間印刷データを受信しないと、自動的にフューザー部の温度を少し下げて電力を節約するモードもあります。このモードに入ると、スリープモードと同じように〈節電〉ボタンが緑色に点灯します。解除するには〈節電〉ボタンを押します。このモードの設定は変更できません。

補足
本機の操作パネルでは、スリープモードを「節電モード」と表示します。

5.7.1 節電機能を設定する

節電機能の設定や、スリープモードに入るまでの時間の変更は、操作パネルで設定するか、CentreWare Internet Services で設定します。
ここでは、プリンターの操作パネルで設定する手順を説明します。

参照
CentreWare Internet Services を使用する場合は､「5.1　コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services）」(P.98) を参照してください。

日常管理
5

前ページへ
前ページより
キカイ カンリシャ メニュー
システム セッテイ
⑤〈▶〉ボタンを1回押す
システム セッテイ
イシ゛ョウ ケイコクオン
（システム設定の表示）
⑥〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、【セツデン モード】を選択する
システム セッテイ
セツテ゛ンモート゛
⑦〈▶〉ボタンを1回押す
セツテ゛ンモート゛
ユウコウ ＊
（節電モードの表示）
⑧〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、節電モード機能を使用するかどうか（【ユウコウ】か【ムコウ】）を選択する
セツテ゛ンモート゛
ユウコウ
⑨〈排出/セット〉ボタンを押す（節電モードの設定が確定され、＊が表示されます）
セツテ゛ンモート゛
ユウコウ ＊
節電モードを【ユウコウ】に設定した場合は、節電モードへの移行時間を設定します。【ムコウ】に設定した場合は、手順⑮に進みます。
⑩〈◀〉ボタンを1回押す（【システム セッテイ】モードを表示させます）
システム セッテイ
セツテ゛ンモート゛
（システム設定の表示）
⑪〈▲〉または〈▼〉ボタンを何度か押して、【セツデンモード イコウジカン】を選択する
システム セッテイ
セツテ゛ンモート゛ イコウシ゛カン
⑫〈▶〉ボタンを1回押す。
セツテ゛ンモート゛ イコウシ゛カン
30フンコ゛ ＊
（節電モード移行時間の表示）
⑬〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、節電モードに移行する時間を選択する（15～240分の範囲で、1分単位に設定できます）
セツテ゛ンモート゛ イコウシ゛カン
60フンコ゛
⑭〈排出/セット〉ボタンを押す（節電モードに移行する時間が設定され、＊が表示されます）
（電源ONの状態に戻ります。
データ受信可能です。）
セツテ゛ンモート゛ イコウシ゛カン
60フンコ゛ ＊
⑮〈メニュー〉ボタンを押す

5.7.2　節電状態を解除する

節電状態は、コンピューターからのデータを受信すると、自動的に解除されます。また、操作パネルの〈節電〉ボタンを押すことによって、手動で節電状態を解除できます。

5.8 階調を補正する

5.8.1 階調補正とは

印刷画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正することができます。補正することによって、本機の印刷画質を一定の品質に保つことができます。
補正は、「階調補正チャート」を印刷して、本機に付属の「階調補正用色見本」と濃度を比較して濃度設定値を求め、プリンターに設定値を入力して行います。C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）各色の低濃度（L）/ 中濃度（M）/ 高濃度（H）を調整することができます。
階調補正をしたあと、濃度設定値を初期値（工場出荷時の値）に戻すときは、すべての値を「0」に設定してください。「0」にすると印刷時に階調補正は働きません。

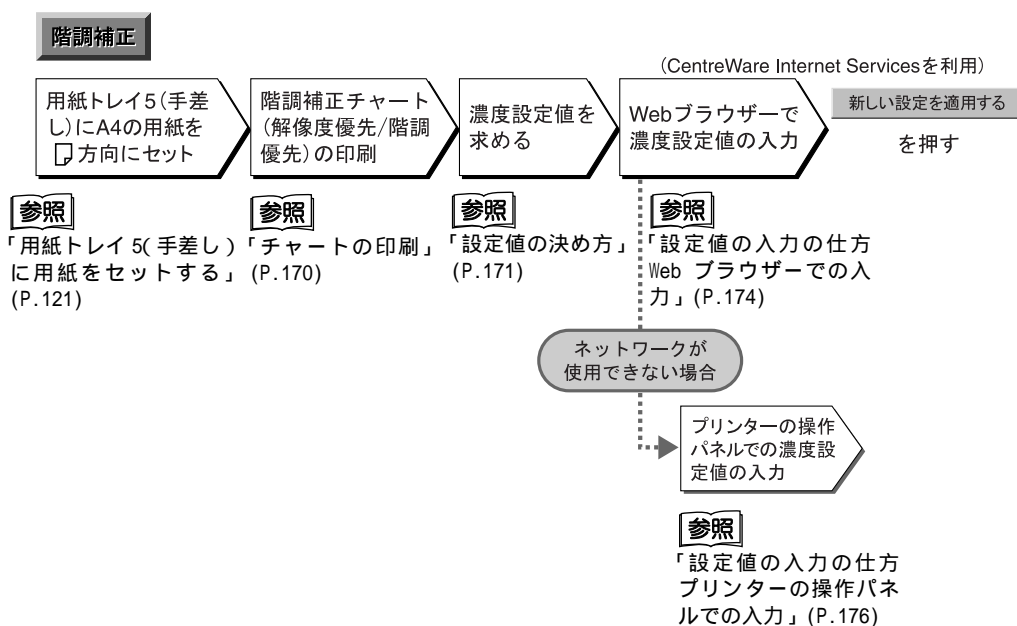
補足

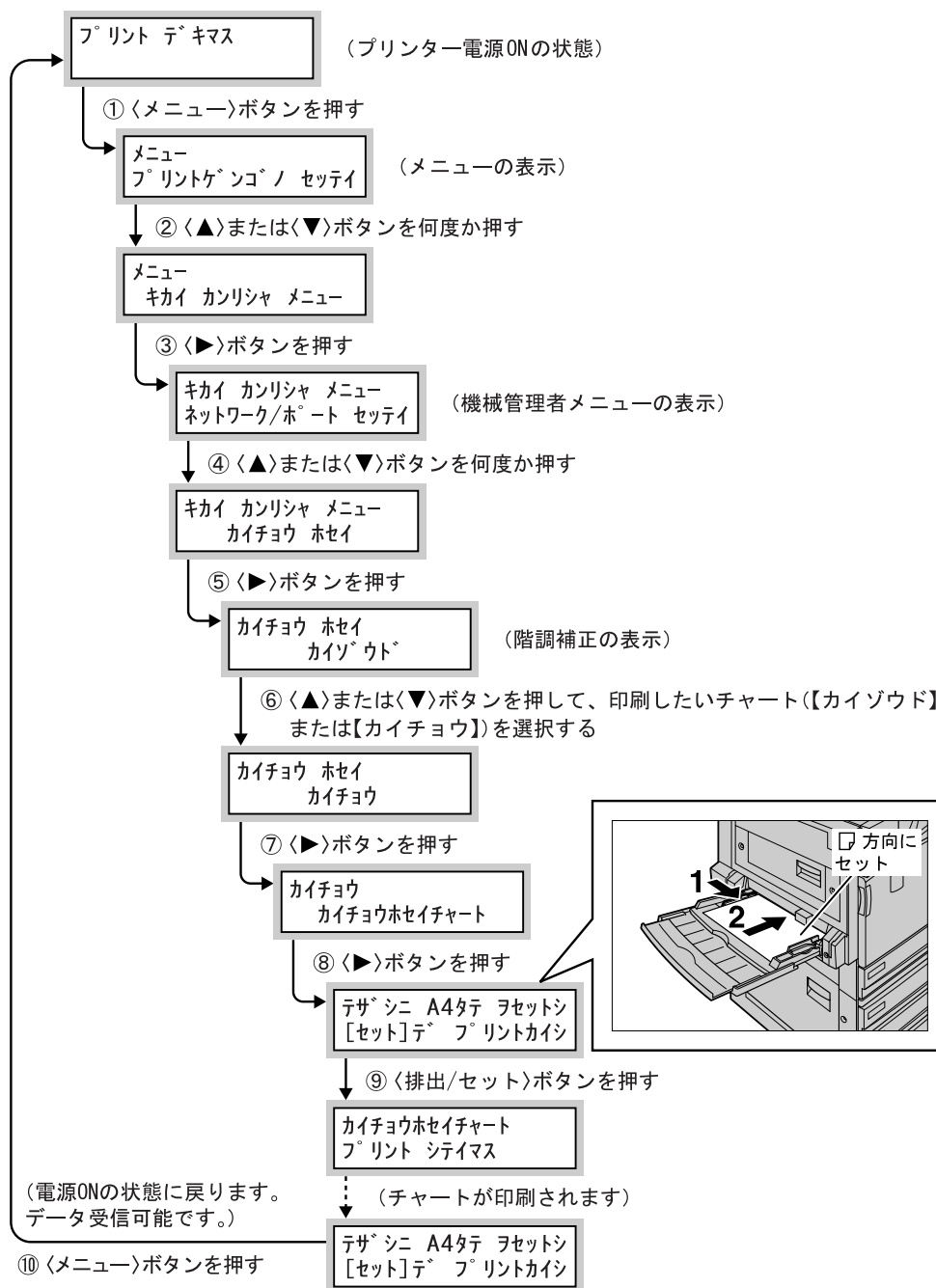
- 階調補正をしても色階調がたびたびずれるような場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。
- 濃度設定値を工場出荷時の値（すべて「0」）にしても、設置時の画質に戻るということではありません。お使いの期間が長くなると、プリンターの経時変化、環境変化、印刷枚数などの影響によって、設置時の画質とは異なります。

5.8.2 階調補正を実行する

階調補正実行の流れ

階調補正操作の流れは、次のとおりです。

日常管理 5

チャートの印刷

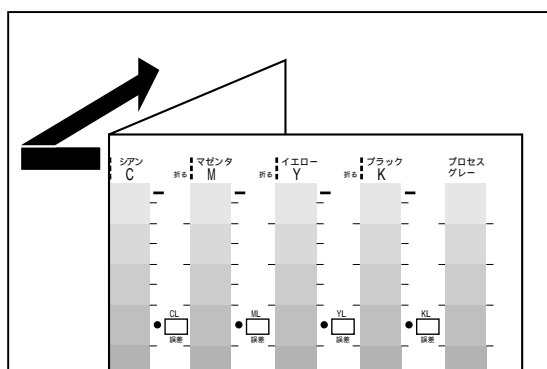
階調補正チャートには、解像度優先と階調優先の 2 種類があります。
解像度優先は、テキストのように精細度を重視する部分に対する補正をするためのシートです。階調優先は、グラデーションなどを含むグラフィックスや、写真イメージのように階調の滑らかさに対する補正をするためのシートです。
チャートは、用紙トレイ 5（手差し）を使用して A4□の用紙に印刷します。階調優先の階調補正チャートを例に印刷方法を説明します。

補足
解像度優先の階調補正チャートを印刷する場合は、フロー図の⑥で【カイゾウド】を選択してください。

設定値の決め方

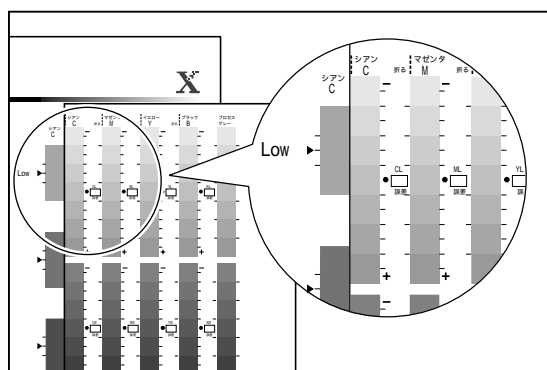
濃度設定値は、印刷した「階調補正チャート」と本機に付属の「階調補正用色見本」の濃度を比較して求めます。
階調補正チャートの補正パッチ 7 個とそれぞれの中間から、色見本の濃度に近いものを探します。設定範囲は、-6 ～ +6 の 13 段階です。
階調補正用色見本に記載されている手順も合わせてごらんください。

補足
工場出荷時の濃度設定値はすべて「0」です。

操作手順

1 **印刷した階調補正チャートを、補正する色の上下のガイド（点線）に沿って山折りにします。**

2 **チャートの補正する濃度を、色見本の同じ濃度の場所に合わせます。**

補足
低濃度（L）の補正をする場合は、Low と Low を合わせます。

日常管理
5

3 「•」印を起点にチャートを上下にずらして、色見本との誤差を目盛りから読み取ります。

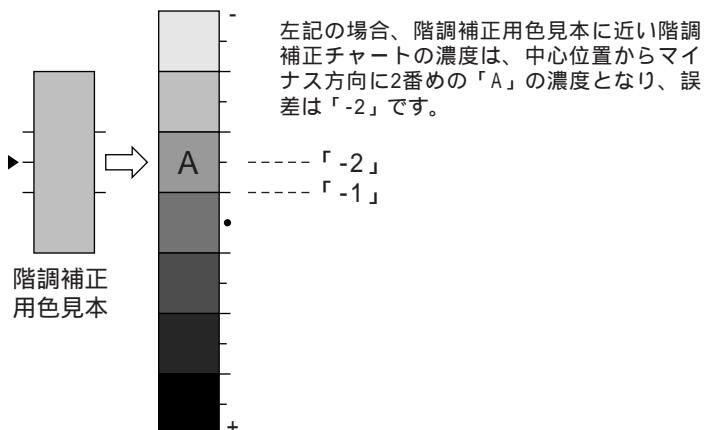
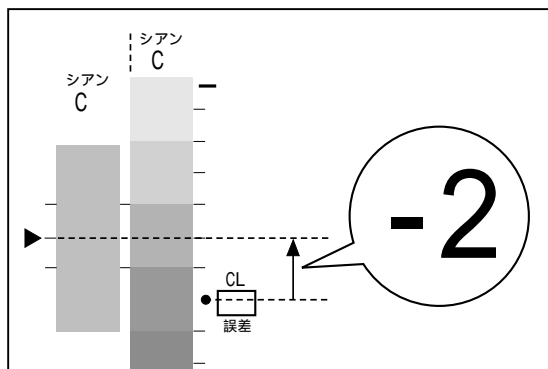
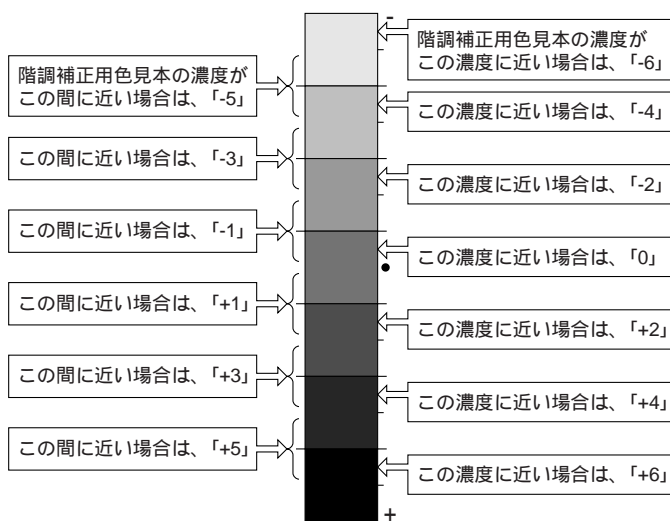
注記

マイナス（-）とプラス（+）の方向に注意して読み取ってください。

補足

誤差が設定範囲（-6 ～ +6）を超える場合、ここでは最大値を誤差として補正を行い、再度補正を行ってください。

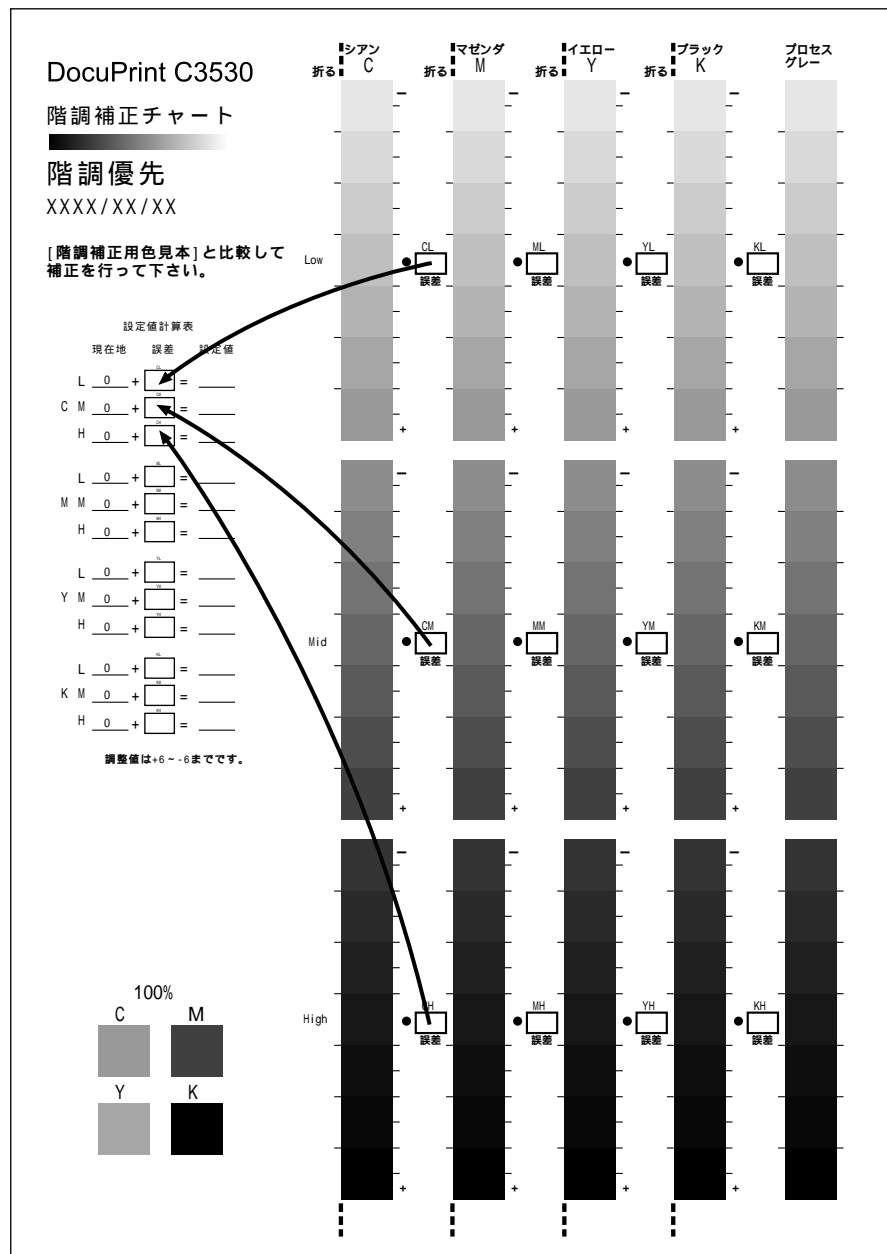
左記の場合、階調補正用色見本に近い階調補正チャートの濃度は、中心位置からマイナス方向に2番めの「A」の濃度となり、誤差は「-2」です。

日常管理 5

4 **該当する「誤差」ボックスに、誤差を記入します。**

5 **同じ色の、ほかの 2 つの濃度も、同様に誤差を読み取ります。**

6 **同様に CMYK の残りの色に対して手順 *1* 〜 *5* を繰り返して、誤差を読み取ります。**

7 **すべての色の濃度誤差を記入したら、チャートの左側にある「設定値計算表」の「誤差」の該当する箇所に書き写します。**

以下は、シアンの例です。

8 計算表の式に従って設定値を求め、「設定値」に記入します。

「現在値」には、前回の補正時に入力した値が表示されます。

設定値の入力の仕方

「階調補正チャート」の設定値計算表の「設定値」に記入した濃度設定値を、本機に設定します。
TCP/IP 環境が使用できる場合は、「CentreWare Internet Services」を使用して、Web ブラウザー上で入力します。TCP/IP 環境が使用できない場合は、プリンターの操作パネルで入力します。

参照

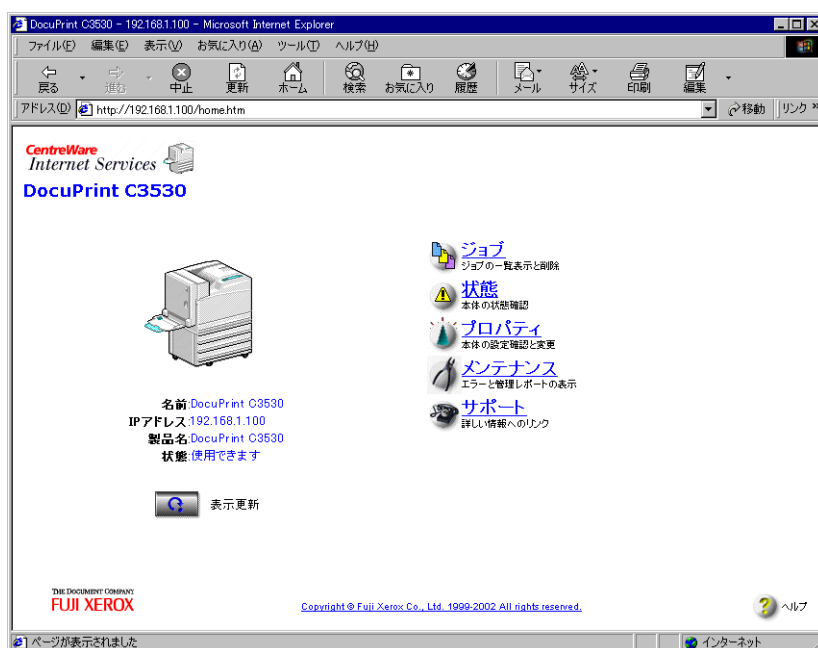
「CentreWare Internet Services」については、「5.1　コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services）」(P.98) を参照してください。

■Web ブラウザーでの入力

操作手順

1 コンピューター上で、ブラウザーを起動します。

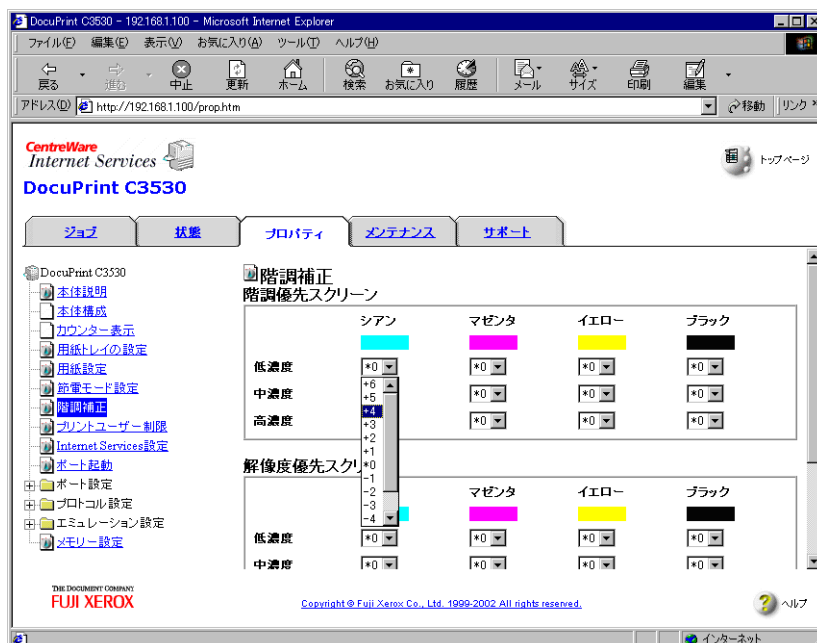
2 ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

CentreWare Internet Services の画面が表示されます。

3 ［プロパティ］をクリックします。

［プロパティ］タブが表示されます。

4 左側エリアの［階調補正］をクリックします。

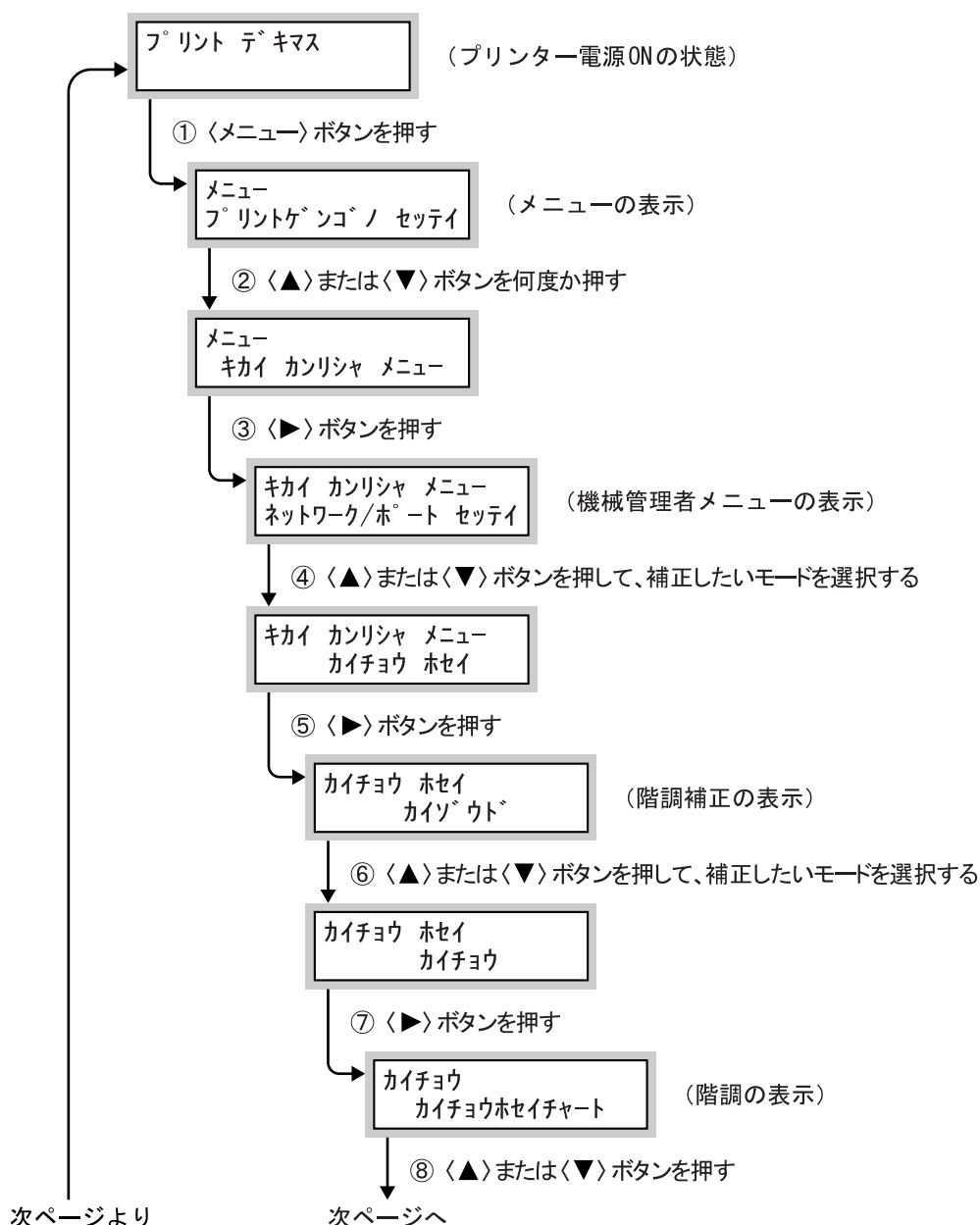
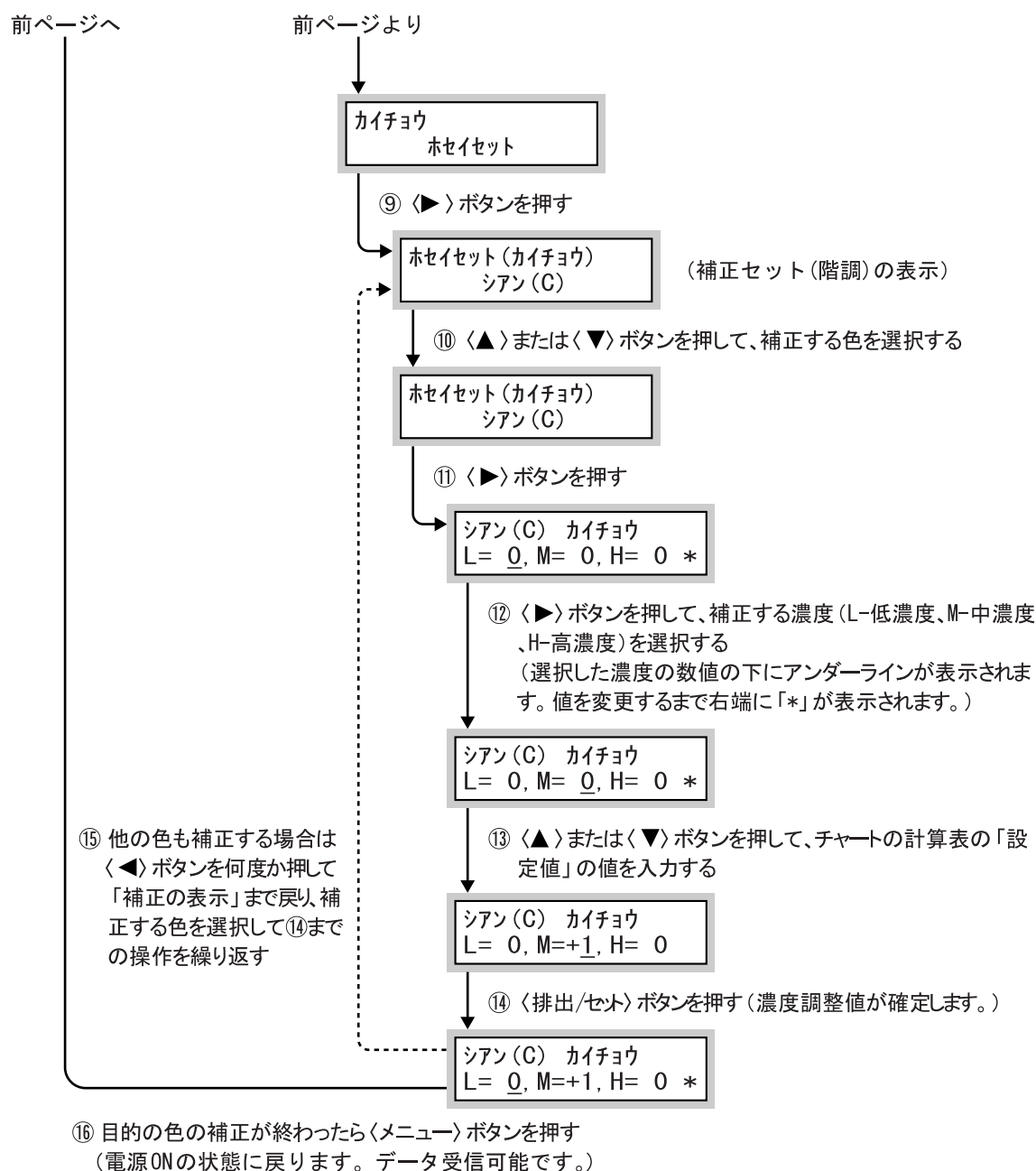
右側エリアに、以下の画面が表示されます。

5 該当する色の濃度のメニューから値を選択します。

6 同じ色のほかの 2 つの濃度も同様に、メニューから値を選択します。

7 CMYK の残りの色に対しても同様に、メニューから値を選択します。

8 すべての色の濃度設定値が入力できたら、[新しい設定を適用] をクリックします。

■プリンターの操作パネルでの入力

濃度設定値の入力方法は、次のとおりです。
ここでは、階調優先のシアンの中濃度（M）を例に説明します。

補正の結果を確認するには、「チャートの印刷」（P.170）を参照して、該当するチャートを印刷します。
チャートで CMYK それぞれの低 / 中 / 高濃度の「•」印の濃度が、該当する色見本の濃度に近いことを確認します。結果に満足できないときは、再度補正を行います。
また、「プロセスグレー」は、CMY を掛け合わせて作られているグレーです。補正が正常に行われると、このグレーがブラックと同様に色味がないグレーになります。プロセスグレーの中に、CMY のどれかの色が強く感じられる場合は、その色を再度補正します。

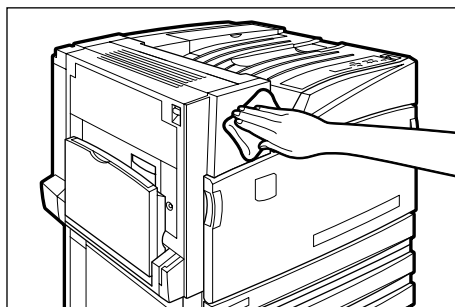
5.9 プリンターを清掃する

プリンター外部の清掃

注記
- 機械を清掃する場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械を清掃すると、感電の原因となるおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

1　本体の外側を、水でぬらして固く絞った柔らかい布でふきます。

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

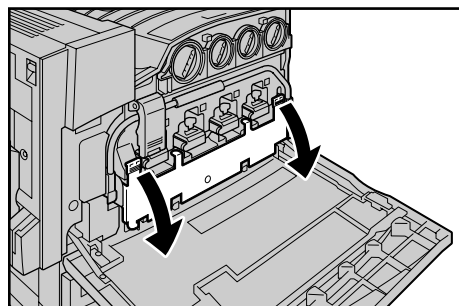
注記
水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

2　柔らかい布で、水分をふき取ります。

レーザースキャナー部（ROS:Raster Output Scanner）の清掃

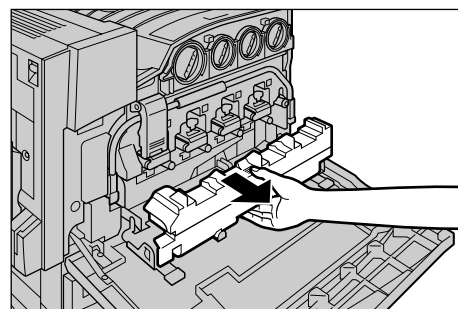
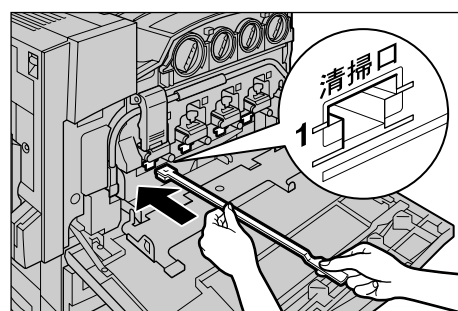
印刷に白筋がでる場合は、レーザースキャナー部を清掃してください。
レーザースキャナー部の清掃は、通常、トナー回収ボトルの交換時に行います。ただし、印刷に白筋がでるなど、画質に影響がある場合は、次の手順で、レーザースキャナー部を清掃してください。

注記
- 清掃棒は、フロントカバーの裏側にセットされています。
- レーザースキャナー部を清掃する場合は、トナー回収ボトルをいったん取り外します。そのとき、トナー回収ボトルを傾けるとトナーがこぼれますので、あらかじめ床に紙などを敷いて、その上に置くようにしてください。

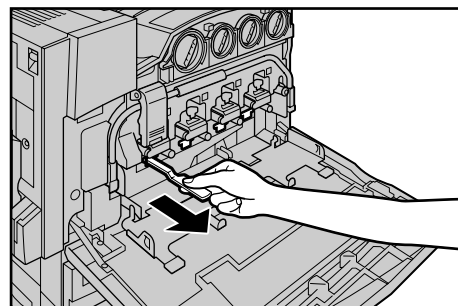
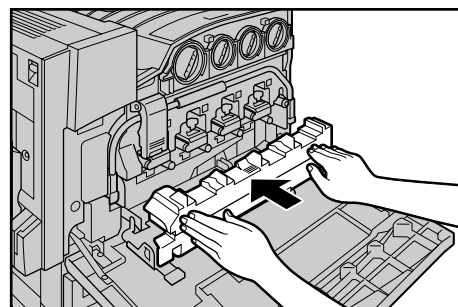
1　機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

2　本体正面（B）の黒いボトルのカバーを、オレンジ色の左右のつまみを持って、下に開けます。

3 **トナー回収ボトルの中央部分を持ち、止まる位置まで手前に引き出します。**

補足

トナー回収ボトルは、傾けてトナーをこぼさないように、いったん別の場所に待避させてください。そのとき、あらかじめ床に紙などを敷いて、その上に、置くようにしてください。

4 **フロントカバーの内側から清掃棒を取り出します。**
Dの1～4の清掃口（四角い穴）に、清掃棒のパッド部を下に向けて、ゆっくりと差し込みます。

5 **清掃棒が奥に突き当たったら、手前にゆっくり引き戻します。**
4か所を、すべて1度ずつ清掃してください。

補足

- 清掃棒は、本機の奥まで確実に差し込んでください。
- パッドに付く汚れは、ほとんど見えません。

6 **いったん取り出した、トナー回収ボトルの中央部を持ち、中央の位置を合わせ、奥に押し込みます。**

7 **左右のオレンジ色のつまみを持って、黒いボトルのカバーを閉じてからフロントカバーを閉じます。**

【プリントデキマス】とメッセージが表示されます。

トラブル対処方法

6章

6.1 トラブル対処の仕方

6.1.1 トラブル対処の流れ

トラブルが発生した場合の対処方法の流れは、次のとおりです。
以下の流れに従って、対処してください。

トラブル発生

「6.1.2　故障かなと思う前に」(P.183) を確認してください

印字品質が悪くありませんか？

「6.4　印字品質が悪いとき」(P.208)

操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていませんか？

「6.5　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.212)

お使いのネットワーク環境に対し、プリンター本体、お使いのコンピューター、サーバーなどは正しく設定されていますか？

各ネットワーク環境設定記載部分

TCP/IP 環境の場合は、「6.6　TCP/IP 環境使用時のトラブル」(P.231)、その他の環境は、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照し、システム管理者などのかたが、処置を行ってください。

本機の注意制限の場合があります

「付録 C　注意 / 制限事項について」(P.283)、および本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照し、確認してください。

補足

上記の流れに従って対処をしても、トラブルが処置できなかった場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

6.1.2　故障かなと思う前に

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。
それでも問題が解決しない場合は、「6.4　印字品質が悪いとき」(P.208)、および「6.5　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.212) へ進んで、適切な処置を行ってください。

⚠警告

- **本プリンターは精密部品、および高圧電源を使用しています。**
  ネジで固定されているパネルやカバーなどは取扱説明書で指示している箇所以外は、絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。オプションの着脱作業でネジで固定されているパネルやカバーを開ける場合には、必ず各取扱説明書の指示に従ってください。
- **プリンターを改造したり、部品を変更して使用したりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。**

補足

印刷処理が正しく行われなかったときの情報は、「ジョブ履歴レポート」に保存されます。印刷処理がされていない場合は、「ジョブ履歴レポート」を印刷して、印刷処理状況を確認してください。なお、正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。

参照

「ジョブ履歴レポート」の印刷方法については、「5.5　レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照してください。

症　　状	原　因	処　置
電源が入らない	**電源スイッチが切れていませんか？**	**電源スイッチを入れてください。** 参照 「3.2　電源を入れる / 切る」(P.37)
	電源コードが抜けていませんか？	**電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。そのあと、電源スイッチを入れてください。** 参照 「3.2　電源を入れる / 切る」(P.37)
	電源の電圧が適切ですか？	**電源が 100V（ボルト）、15A（アンペア）であることと、本機の最大消費電力（1200W）に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。** 参照 「安全にご利用いただくために」(P.xii)

症　状	原　因	処　置
印刷できない	〈プリント可〉ランプが消灯していませんか？	本機がオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっています。下記の表示状態に応じて処置してください。 • 【オフライン】 〈オンライン〉ボタンを押して、オフライン状態を解除します。 • その他 〈メニュー〉ボタンを押して、メニューを設定している状態を解除します。 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.30)
	操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。 参照 「6.5　ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧」(P.212)
	パラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、コンピューターが、双方向通信に対応していません。	工場出荷時、本機の双方向通信の設定は、【スル】になっています。双方向通信に対応していないと、印刷できません。この場合は、操作パネルで、双方向通信の設定を【シナイ】にしてから印刷してください。 参照 「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238)
	メモリー容量が不足していませんか？	次の方法で再印刷してみてください。 • ［印刷モード］を［高画質］にする • ［ページ印刷モード］を利用する • プリントページバッファを増やす またはオプションの増設メモリーを取り付けて、メモリーを増設してください。 参照 ［印刷モード］については「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)、ページ印刷モードについては「4.2　印刷機能の設定について」(P.47)、プリントページバッファについては「1.5　メモリーの割り当てについて」(P.19)

症　状	原　因	処　置
印刷を指示したのに〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない。	インターフェイスケーブルが抜けていませんか？	電源スイッチをいったん切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。
	使用するインターフェイスが設定されていますか？	インターフェイスのポート状態を確認してください。 参照 「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238)
	コンピューターの環境が正しく設定されていますか？	プリンタードライバーなどコンピューターの環境を確認してください。
用紙トレイ 5（手差し）に印刷を指示したのに印刷されない	印刷を指定したサイズの用紙がセットされていますか？	正しいサイズの用紙をセットして、再度、印刷を指示してください。 参照 「5.3.2　用紙トレイ1～4に用紙をセットする」(P.115)
印刷を指示していないのに、【プリントシテイマス】が表示される（パラレルインターフェイス使用時）	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れませんでしたか？	〈プリント中止〉ボタンを押して、印刷を中止します。 補足 本機の電源を入れるときには、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印字品質がよくない	画像トラブルが発生しているおそれがあります。	後述の「印字品質が悪いとき」を参照して処置してください。 参照 「6.4　印字品質が悪いとき」(P.208)
正しい文字が印字されない（文字化けが起こる）	本機に標準で搭載されていないフォントを使用して印刷しています。	アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定を確認してください。PostScript（オプション）を使用している場合は、オプションの内蔵増設ハードディスクを装着して、必要なフォントをダウンロードしてください。
〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。	印刷の中止、または残っているデータの強制排出をしてください。 参照 「3.3　印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.40) 「3.4　印刷データを強制的に排出させる」(P.43)

症　　状	原　因	処　置
用紙トレイの出し入れができない	印刷中にカバーを開けたり、電源を切ったりしませんでしたか？	無理に用紙トレイを出し入れしないで、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れてください。本機がデータを受信できる状態になったことを確認して、用紙トレイの出し入れを行ってください。

6.2 プリンターの紙づまりを処置する

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルのエラーランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙づまりの位置を操作パネルの左にある表示部で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。
用紙は破れないように、静かに取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも、紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。処置を終了しても、紙づまりのメッセージが表示されるときは、ほかの箇所でも用紙が詰まっています。メッセージに従って処置してください。
紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態から印刷が再開されます。

⚠注意

詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙が定着部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。

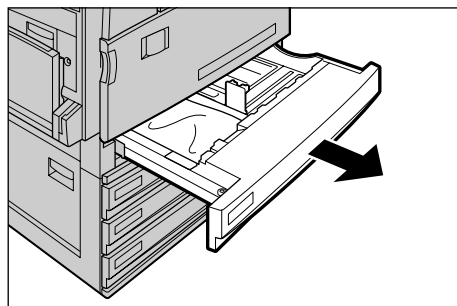
注記

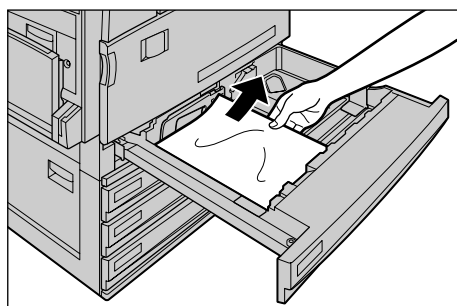
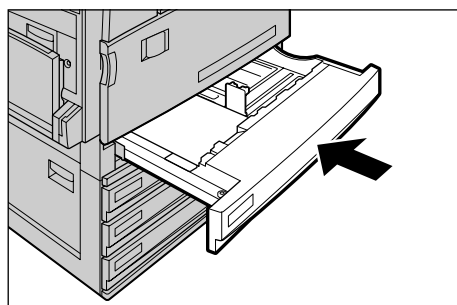
- 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないでに用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。電源を切ると、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリーに蓄えられた情報が消去されます。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

6.2.1　用紙トレイ1〜4で詰まっている用紙を取り除く

用紙トレイ 1 〜 4 での紙づまり処置方法を説明します。ディスプレイに表示された用紙トレイを操作パネルの左にある表示部で確認して、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。なお、トレイ 3、4 について、オプションの大容量給紙キャビネットを使用している場合は、「6.2.2　大容量トレイで詰まっている用紙を取り除く」(P.189) を参照してください。

処置手順

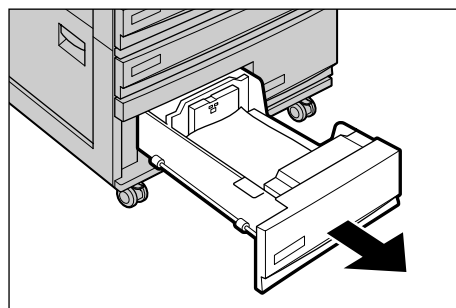
1　**ディスプレイに表示されている紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。**

2　**詰まっている用紙を取り除きます。**

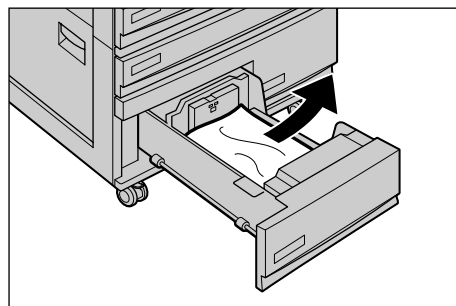
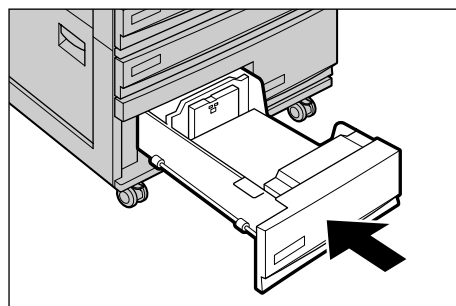
用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

3　**奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。**

6.2.2　大容量トレイで詰まっている用紙を取り除く

大容量給紙キャビネットでの紙づまりの処置方法について説明します。ディスプレイに表示された用紙トレイを確認して、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

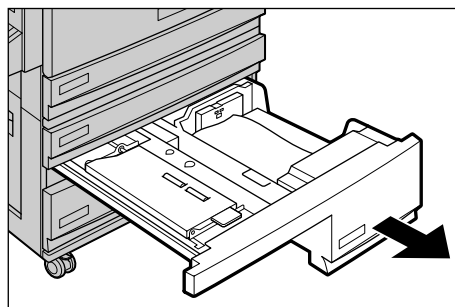
用紙トレイ 3（大容量）で詰まっている用紙を取り除く

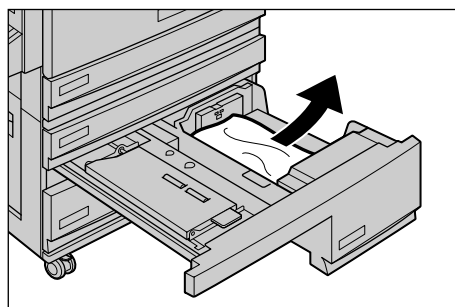
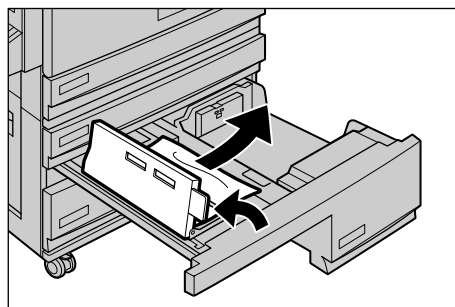
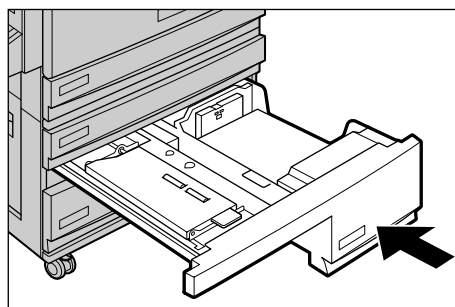
処置手順

1 **用紙トレイ 3（大容量）を引き出します。**

2 **詰まっている用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

3 **奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。**

用紙トレイ 4（大容量）で詰まっている用紙を取り除く

処置手順

1 **用紙トレイ 4(大容量)を引き出します。**

2 **詰まっている用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

3 **用紙搬送部に用紙が詰まっている場合は、中のカバーを開けて用紙を取り除きます。**

4 **奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。**

6.2.3　用紙トレイ 5（手差し）で詰まっている用紙を取り除く

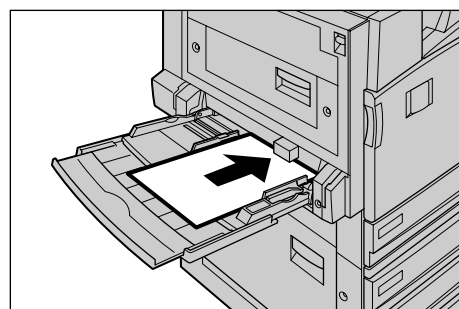
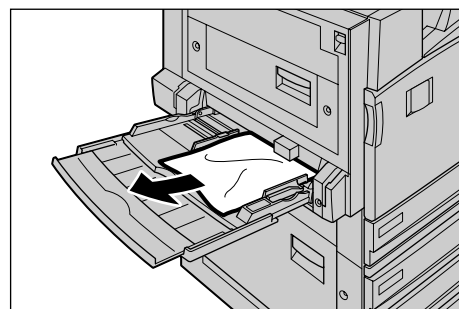
用紙トレイ 5（手差し）での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

処置手順

1　**用紙トレイ 5（手差し）の奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、詰まった用紙がある場合には取り除きます。**

注記

用紙を複数枚セットしていた場合は、いったんすべての用紙を取り出してください。

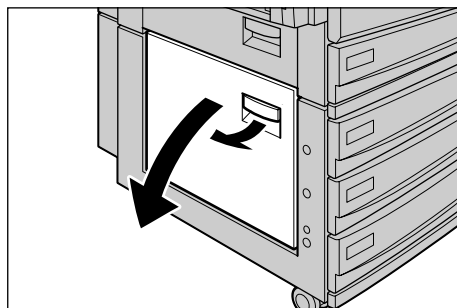
2　**取り出した用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。**

6.2.4 R1 カバー内で詰まっている用紙を取り除く

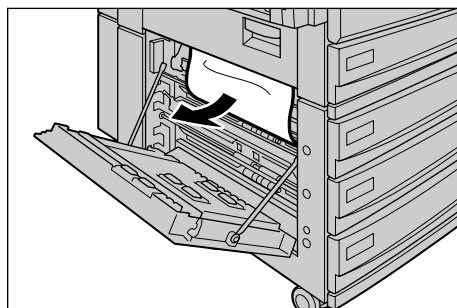
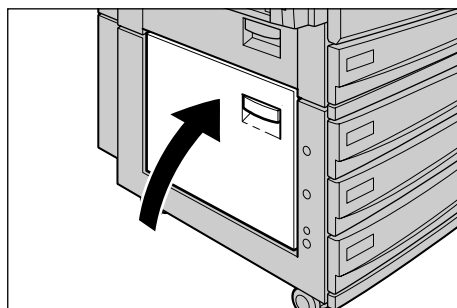
トレイキャビネットの左側の R1 カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

補足

R1 カバーでの紙づまりメッセージは、標準＋１トレイモデル、標準＋３トレイモデル、標準＋大容量給紙キャビネットモデルの場合に、ディスプレイに表示されます。

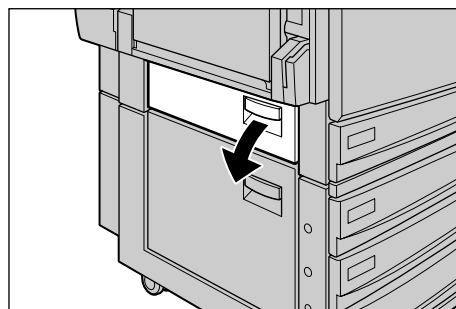
処置手順

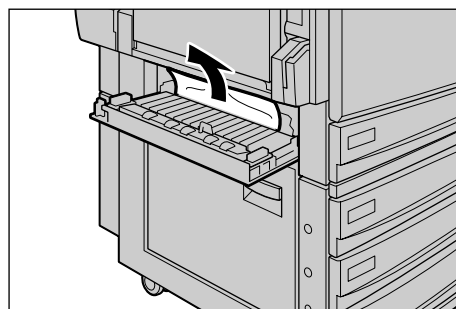
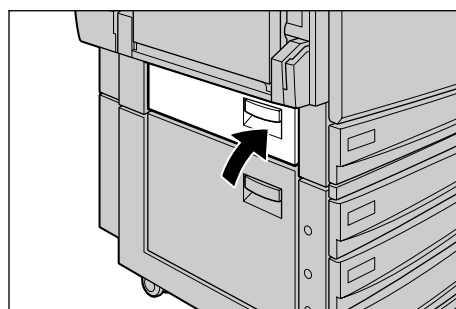
1 **リリースレバーを引きながら、R1 カバーをゆっくりと開きます。**

2 **詰まっている用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

3 **R1 カバーをゆっくりと閉じます。**

6.2.5 R2 カバー内で詰まっている用紙を取り除く

用紙トレイ 1 の左側の R2 カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

処置手順

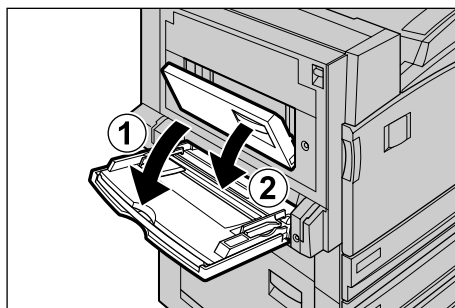
1 **リリースレバーを引きながら、R2 カバーをゆっくりと開きます。**

2 **詰まっている用紙を取り除きます。**

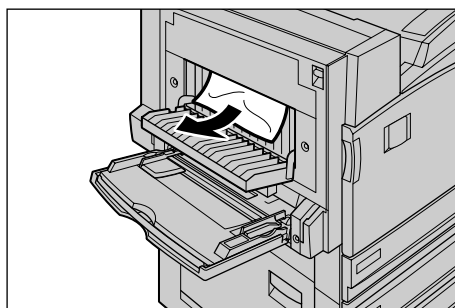
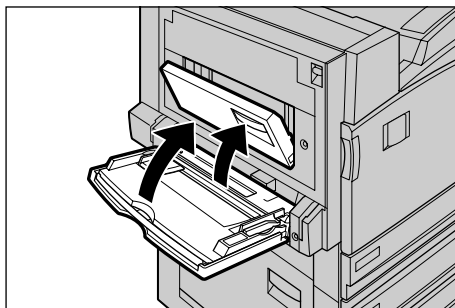
用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

3 **R2 カバーをゆっくりと閉じます。**

6.2.6 R3 カバー内で詰まっている用紙を取り除く

両面印刷機能付きの場合の R3 カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。

補足
R3 カバーでの紙づまりメッセージは、お使いのプリンターが両面印刷機能付きの場合に、ディスプレイに表示されます。

処置手順

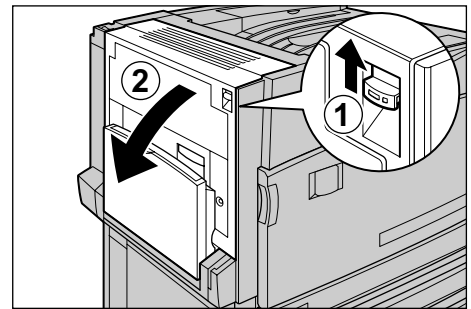
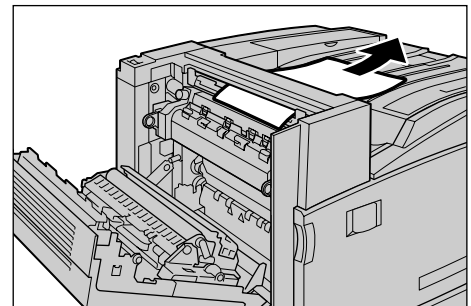
1 **手差しトレイを開き、R3 カバーをゆっくりと開きます。**

2 **詰まった用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

3 **R3 カバーを閉じ、用紙トレイ 5(手差し)を上げます。**

6.2.7　R4 カバー内で詰まっている用紙を取り除く

R4 カバー内での紙づまり処置方法を説明します。以下の手順に従って、用紙を取り除いてください。
なお、長尺サイズ用紙の紙づまりの場合は、用紙や機械の損傷、およびけがを防ぐため、「長尺サイズの用紙の場合」(P.197) の手順に従って、用紙を取り除いてください。

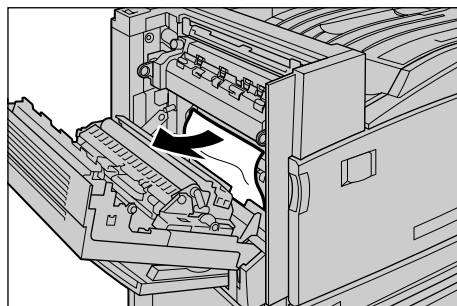
注記
R4 カバーの内部にある本体側の転写ベルト（黒いフィルム状のベルト）に画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、この転写ベルトには触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ベルトの損傷による交換が必要になることがあります。

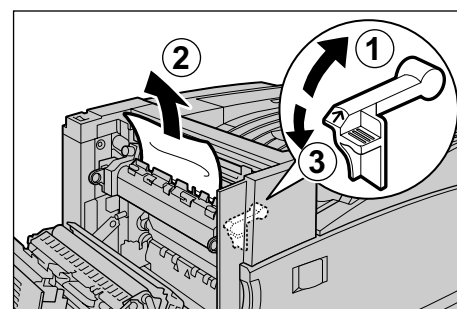
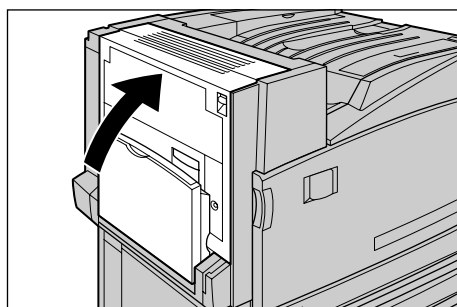
処置手順

1 **リリースレバーを上げながら（①）、R4 カバーをゆっくりと開きます（②）。**

2 **詰まっている用紙の先端が排出トレイの方向に出ている場合は、排出方向にまっすぐに引いて用紙を取り除きます。**

⚠注意
「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

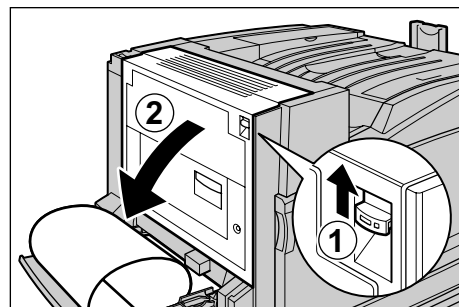
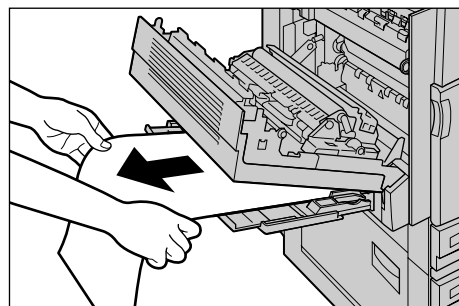
3 詰まっている用紙を取り除きます。

⚠注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

4 定着部（フューザーカートリッジ）に用紙が詰まって引き抜けない場合は、レバーを上げて（①）、用紙を取り除きます（②）。

用紙を取り除いたらレバーを戻してください（③）。

5 R4 カバーの中央部を押して R4 カバーをゆっくりと閉じ、用紙トレイ 5（手差し）を上げます。

長尺サイズの用紙の場合

処置手順

1 **リリースレバーを上げながら（①）、R4 カバーをゆっくりと開きます（②）。**

2 **R4 カバーを開けたときに、用紙の先端が見えない場合、または、用紙の先端をつかむことができない場合は、用紙を図のように矢印の方向へ引き抜きます。**

3 **用紙が定着部（フューザーカートリッジ）に送られていない場合は、矢印方向に、両手でまっすぐに引き抜きます。**

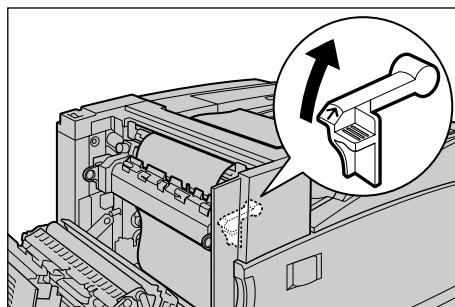
⚠注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

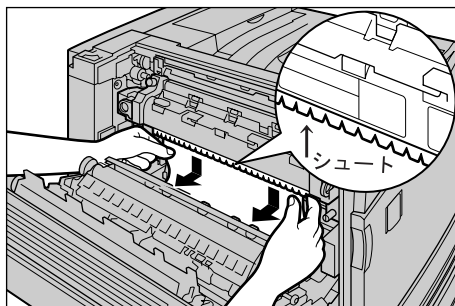
このとき、用紙を手差しトレイ側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。

4 **定着部（フューザーカートリッジ）に用紙が詰まっている場合は、レバーを上げます。**

⚠注意

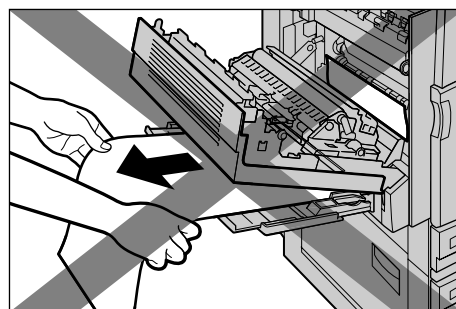
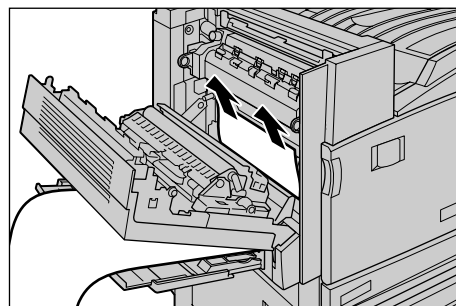
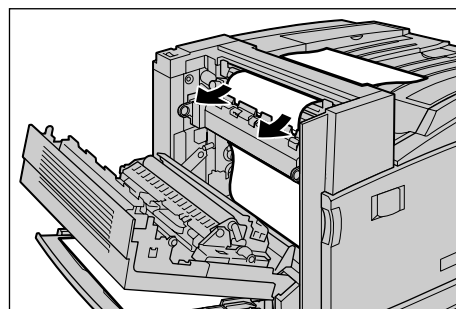
「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

5 **用紙の先端が定着部（フューザーカートリッジ）の中で止まっている場合は、用紙を両手で持ち、矢印方向に引いて、用紙の先端を引き出します。**

注記

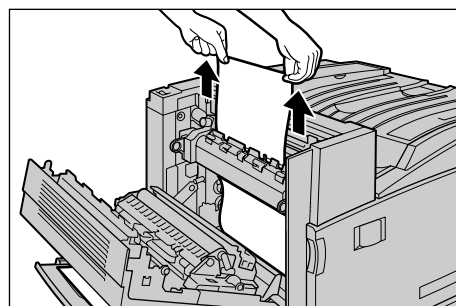
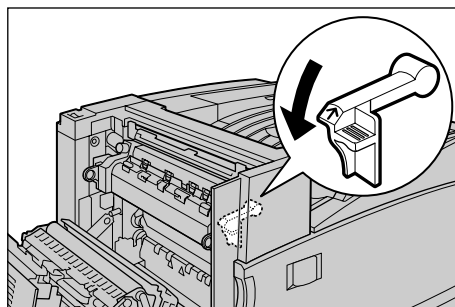
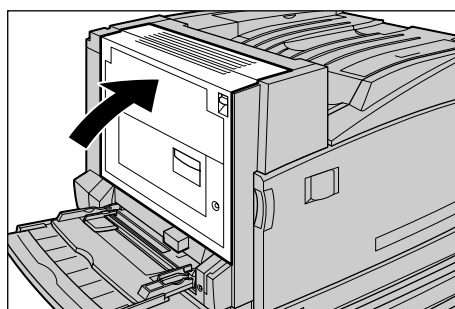
- 用紙は、シュートに当たらないように引き出してください。
- R4 カバーの内部にある本体側の転写ベルト（黒いフィルム状のベルト）に画像が付いていることがあります。用紙を取り除くときは、この転写ベルトには触れないでください。画質に影響を及ぼしたり、転写ベルトの損傷による交換が必要になることがあります。

6 手順 *5* で引き出した用紙を、矢印方向に、両手でまっすぐに引き抜きます。

> ⚠注意
>
> **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。**

注記

このとき、用紙を手差しトレイ側から引き抜かないでください。定着していないトナーがローラーに付いて、次の用紙を汚してしまうことがあります。

7 用紙の先端が排出トレイ側に出ている場合は、用紙の両端を両手で持ち、矢印方向にまっすぐに引いて、用紙の先端を引き出します。

8 手順 *7* で引き出した用紙を両手で真上（矢印方向）に、まっすぐに引き抜きます。

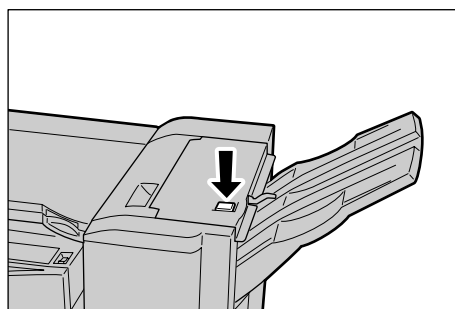
注記

- 引き抜くときに、少し重たく感じられることがあります。
- 矢印方向にまっすぐに引き抜かないと、用紙が途中で切れ、本機の中に残り、トラブルになる可能性があります。

9 レバーを下げます。

10 R4カバーの中央部を押してR4カバーをゆっくりと閉じます。

6.2.8 フィニッシャーでの紙づまり

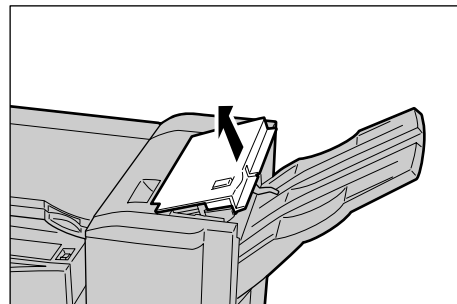
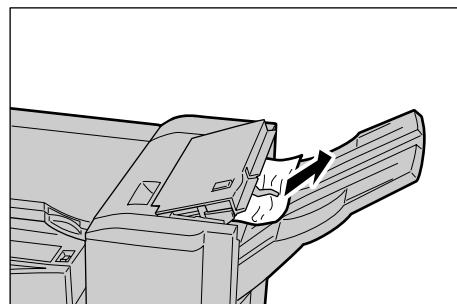
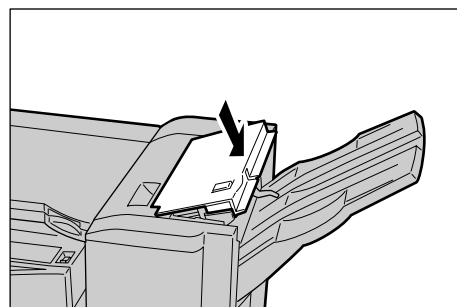
フィニッシャー（オプション）を装着している場合に、フィニッシャー内部で発生した紙づまりの処置について説明します。

フィニッシャーの上面カバーでの紙づまり

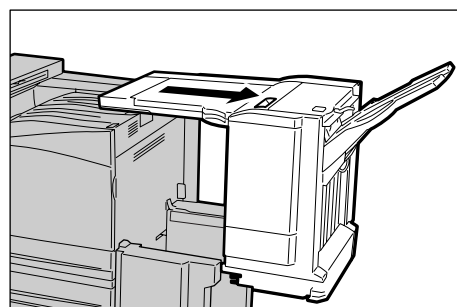
処置手順

1 フィニッシャーの上面カバーにあるボタンを押します。

フィニッシャーの上面カバーが開きます。

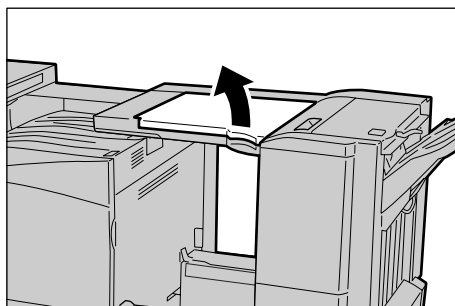
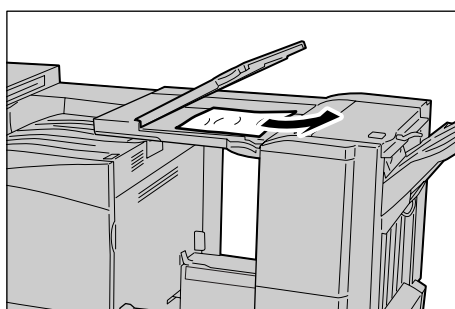
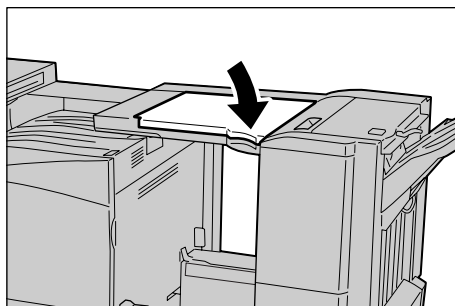
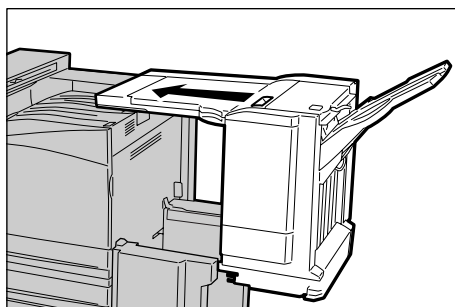
2 **詰まっている用紙を取り除きます。**

補足

用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3 **上面カバーを閉じます。**

フィニッシャー接続部での紙づまり

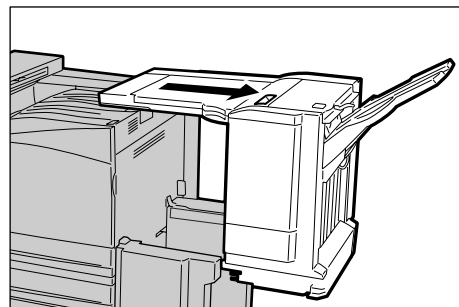
処置手順

1 **フィニッシャーを右に移動します。**

2 **フィニッシャー接続部の上面カバーを開けます。**

3 **詰まっている用紙を取り除きます。**

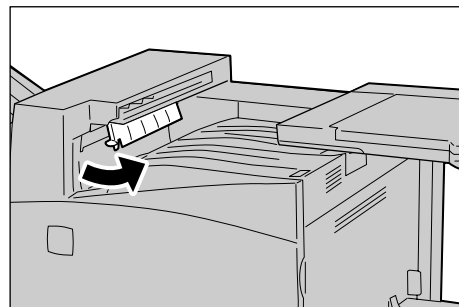
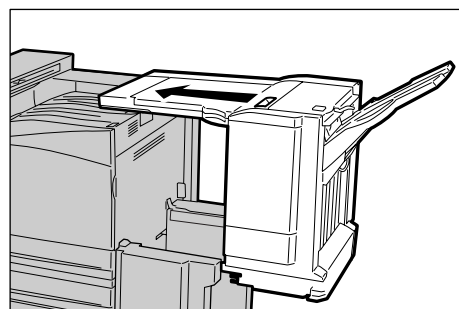
補足

用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

4 **接続部のカバーを閉じます。**

5 **フィニッシャーを戻します。**

センタートレイ排出口での紙づまり

処置手順

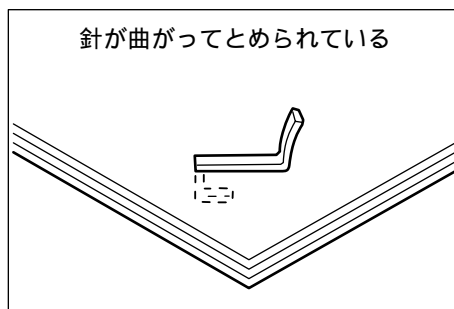
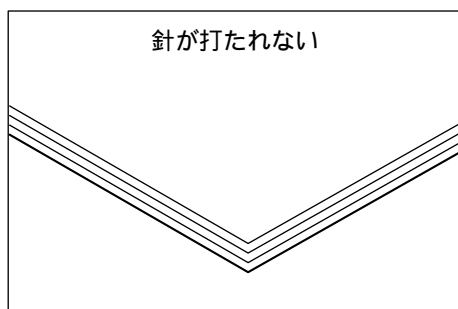
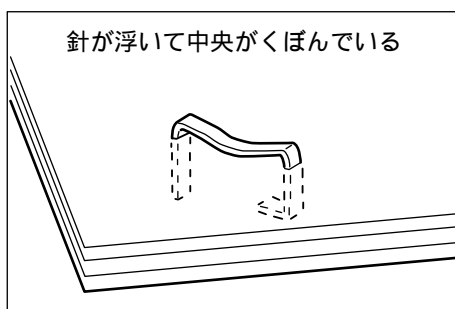
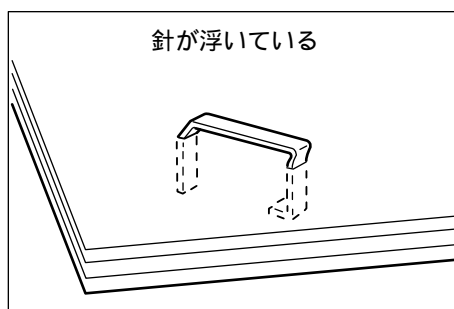
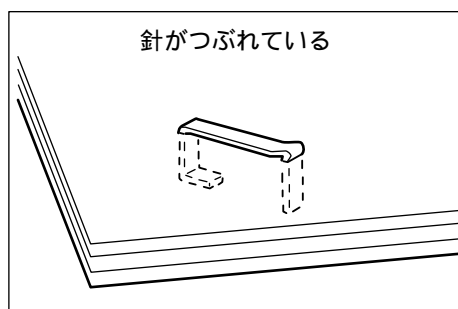
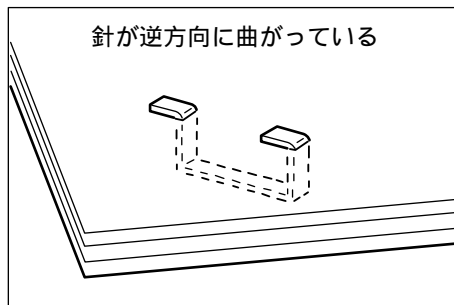
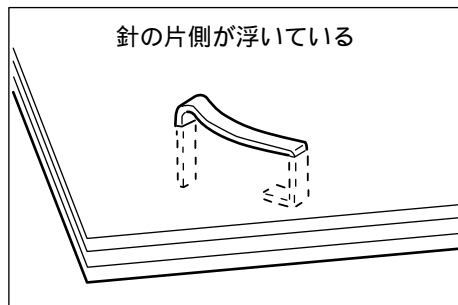
1 **フィニッシャーを右に移動します。**

2 **センタートレイに詰まっている用紙を取り除きます。**

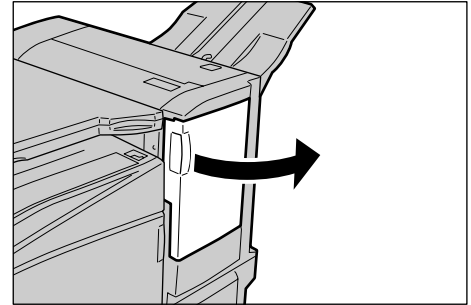
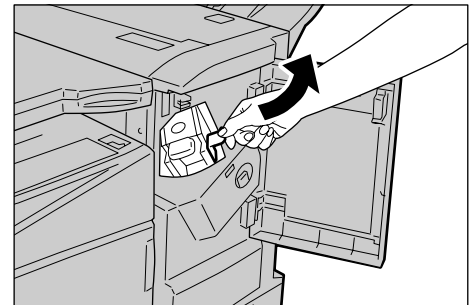
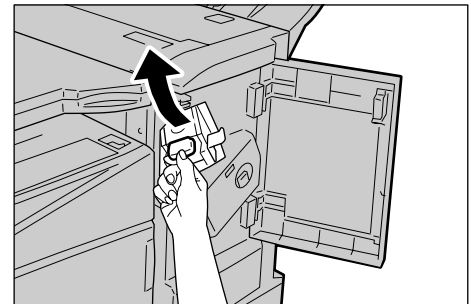
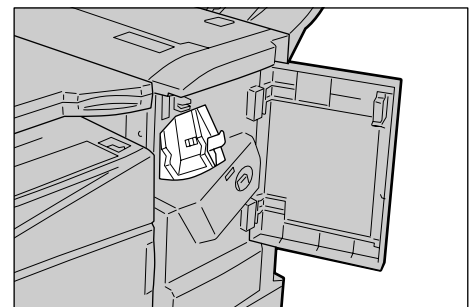
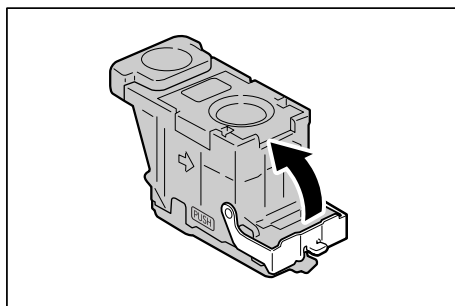
補足

用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3 **詰まっている用紙が見えないときは、排出口のカバーを開けて確認します。**

4 **フィニッシャーを戻します。**

6.3 ホチキス留めがうまくいかないとき

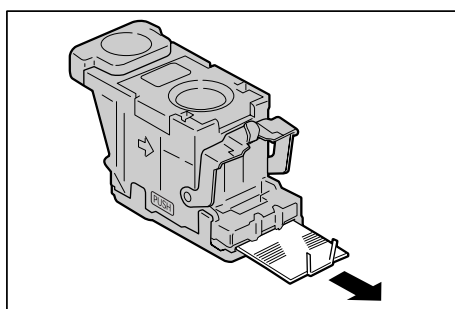
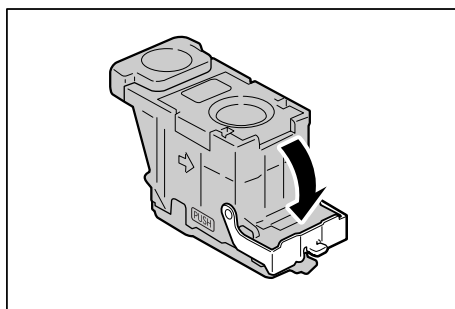
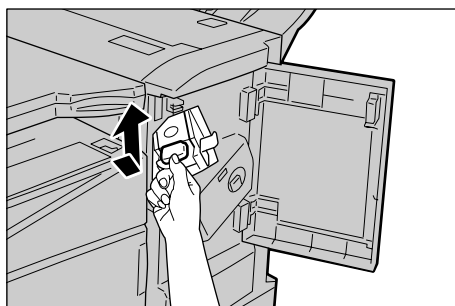
ホチキス留めをした場合のトラブルについて説明します。ホチキス針が打たれなかったり、針が曲がってとめられているときは、次のページの手順に従って処置してください。処置をしても正常に戻らないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

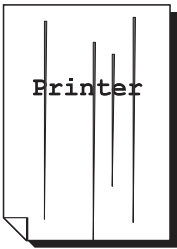
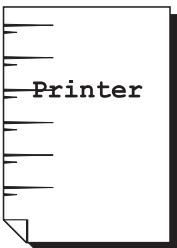
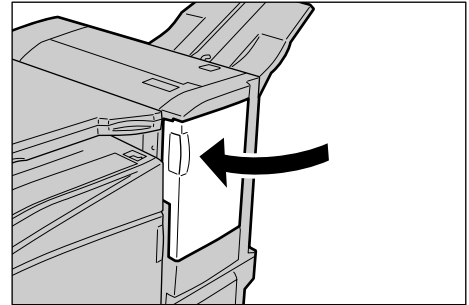
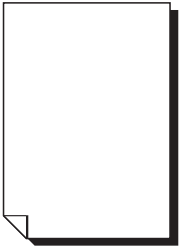
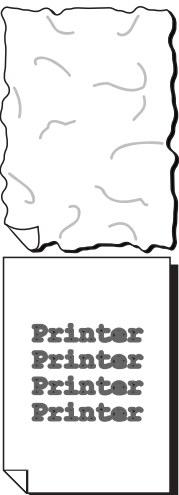
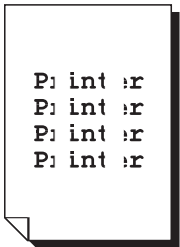
補足
ホチキス留めは、フィニッシャー（オプション）を装着し、内蔵ハードディスク、および 256MB 以上のメモリーを装着する必要があります。

下図のように針が打たれているときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

処置手順

1 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーの正面カバーを開けます。

2 図のようにレバーを握って、ホチキスカートリッジを右方向（手前）に引き寄せます。

3 上方向に引き上げ、ホチキスカートリッジを取り出します。

4 ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャー内部に針がないか確認します。

5 ホチキスカートリッジの、手前のレバーを引き上げます。

6 詰まっている針を、シートごと取り除きます。

詰まっている針を取り除く場合、シートごと取り除いてください。コの字型に曲がっている針だけを切り取らないでください。

⚠注意

詰まったホチキス針を取り除くときは、指などにケガをしないよう十分にご注意ください。

7 ホチキスカートリッジの、手前のレバーを「カチッ」と音がするまで閉じます。

8 取り出したホチキスカートリッジを元の位置に、「カチッ」と音がするまで戻します。

9 フィニッシャーの正面カバーを閉じます。

補足

- フィニッシャーの正面カバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され機械が作動しません。
- 以上の処置をしても針が取り除けないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

6.4 印字品質が悪いとき

印字品質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。
該当する処置をしても印字品質が改善されない場合は、弊社にご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
印刷がうすい（かすれる、不鮮明） Printer	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3]［A4］を交換する」(P.130)
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 参照 「5.4.2　トナーカートリッジを交換する」(P.127)
色点が印刷される Printer	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3]［A4］を交換する」(P.130)
色線が印刷される Printer	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3]［A4］を交換する」(P.130)
等間隔に汚れが起きる Printer	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚印刷してください。
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3]［A4］を交換する」(P.130)

症　状	原　因	処　置
色でぬりつぶされた部分に白点が現れる	**使用している用紙が適切ではありません。**	**適切な用紙をセットしてください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.130)
指でこするとかすれる **トナーが定着しない** **用紙がトナーで汚れる**	**用紙トレイにセットした用紙と操作パネルで設定した【用紙種類】が合っていません。**	**用紙トレイにセットした用紙に適する【用紙種類】を操作パネルで設定してください。** 参照 「5.3.2　用紙トレイ1〜4に用紙をセットする」の「用紙トレイ 1 〜 4 にセットする用紙種類と用紙サイズの設定について」(P.116)
	用紙が湿気を含んでいます。	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
	使用している用紙が適切ではありません。	**適切な用紙をセットしてください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
用紙全体がぬりつぶされて印刷される	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.130)
	高圧電源の故障が考えられます。	**弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。**

症　状	原　因	処　置
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいドラムカートリッジと交換してください。 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.130)
白抜けや白筋が出る	レーザースキャナー部が汚れている可能性があります。	レーザースキャナー部を清掃してください。 参照 「5.9　プリンターを清掃する」(P.178)
	高圧電源の故障が考えられます。	弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
用紙にシワが付く 文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
	用紙の継ぎ足しをしています。	
	用紙が湿気を含んでいます。	

症　状	原　因	処　置
縦長に白抜けする	**ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいドラムカートリッジと交換してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ[A1][A2][A3][A4]を交換する」(P.130)
	レーザースキャナー部が汚れている可能性があります。	**レーザースキャナー部を清掃してください。** 参照 「5.9　プリンターを清掃する」(P.178)
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。	**新しいトナーカートリッジと交換してください。** 参照 「5.4.2　トナーカートリッジを交換する」(P.127)
斜めに印刷される	**用紙トレイのガイドクリップが正しい位置にセットされていません。**	**縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
全体がうっすらと印刷される	**用紙トレイ 5（手差し）を使用して印刷した場合で、プリンタードライバーで選択した用紙サイズと実際にセットされている用紙のサイズが異なっています。または、一度に複数枚の用紙が搬送されています。**	**用紙トレイ 5（手差し）に、正しいサイズの用紙をセットするか、用紙をよくさばいてからセットしてください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)

6.5 ディスプレイに表示される主なメッセージ一覧

ここでは、プリンターのディスプレイに表示されるメッセージとエラーコードについて説明します。

6.5.1 メッセージ一覧（50 音順）

メッセージには、プリンターの状態を表すものとエラーを表すものがあります。エラーメッセージについては、「原因」と「処置」を記載しています。

注記
エラーメッセージが表示されたときは、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。

補足
「*」は数字を表します。「xxxx」は印刷しているレポート / リスト、セキュリティープリントの文書番号と文書名、入力ポート、用紙サイズまたは用紙サイズと方向のどれかを表します。「XXXX」は用紙種類を表します。

メッセージ	原因 / 処置
HDD ファイル フリョウ [セット] キーデショキカシマス	**【原因】** オプションの内蔵ハードディスクを装着している場合で、機械の使用中に停電などでいったん電源が切られたために、ハードディスク内のデータが壊れたことが考えられます。 **【処置】** 操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押してください。ハードディスクが初期化されます。 注記 ハードディスクを初期化すると、登録したフォームやロゴ、セキュリティープリントのデータなどが消去されます。また、オプションの PostScript ソフトウエアキットを装着している場合は、PostScript のダウンロードフォントも消去されます。
IP アドレス ガ チョウフク シテ イマス	**【原因】** IP アドレスが重複しています。 **【処置】** IP アドレスを変更してください。 参照 「1.3　IP アドレスを設定する」(P.8)
IP アドレス ノ シュトク ニ シッパイ シマシタ	**【原因】** DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に失敗しました。 **【処置】** 手動で IP アドレスを設定してください。 参照 「1.3　IP アドレスを設定する」(P.8)
PC カード スロットガ ミセ ツゾクカ コショウチュウデス	**【原因】** USB ケーブルが正しく接続されていない場合があります。 **【処置】** 『DocuPrint C3530 取扱説明書＜メディアプリント機能編＞』に従って USB ケーブルを正しく接続してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

トラブル対処方法 6

メッセージ	原因 / 処置
xxxx プリント シテイマス トレイ *	**【状態】 レポート / リストを印刷しています。** 参照 レポート / リストを印刷中は、コンピューターからの印刷データを受信できません。
xxxx.xxxx プリント シテイマス トレイ *	**【状態】 セキュリティープリントのジョブを印刷しています。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
エラー シュウリョウ シマシタ (*-***)**	**【原因】 エラーが発生して、正しく印刷されませんでした。** **【処置】 ディスプレイに表示されているエラーコード「(***-***)」を確認して処置してください。** 参照 「6.5.2　エラーコード一覧」(P.221)
オナジ SMB ホストメイ ガ ソンザイ シテイマス	**【原因】 同じ SMB のホスト名が存在しています。** **【処置】 ホスト名を変更してください。** 参照 同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。
オフライン	**【状態】 〈オンライン〉ボタンを押して、オフライン状態になっています。オフライン状態を解除するには、再び〈オンライン〉ボタンを押してください。** 補足 オフライン状態のときは、コンピューターからの印刷データは受信できません。
オフライン データ アリ	**【状態】 印刷中に、〈オンライン〉ボタンを押して、オフライン状態になっています。オフライン状態を解除するには、再び〈オンライン〉ボタンを押してください。** 補足 オフライン状態のときは、コンピューターからの印刷データは受信できません。
オプションガ ナイタメ キノウハ シヨウデキマセン	**【原因】 セキュリティー / サンプルプリント、またはメディアプリント機能を使用するには、オプションの装着が必要です。** **【処置】 セキュリティー / サンプルプリントを使用するには、内蔵ハードディスクが必要です。メディアプリント機能を使用するには、メモリーカードリーダー（推奨品）が必要です。**
オマチクダサイ	**【状態】** **• 本機のシステム状態を診断 / 初期化しています。電源スイッチを入れたときや、システムリセット時に表示されます。しばらくすると、【プリントデキマス】のメッセージに変わります。** **• 本機内部に残っている印刷データを強制的に排出するための、ウオームアップ中です。** 補足 コンピューターからの印刷データは受信できません。
カバー R7 ヲ トジテ クダサイ	**【原因】 フィニッシャーの X ポートカバーが開いています。** **【処置】 フィニッシャーの X ポートカバーを閉じてください。**

トラブル対処方法 6

メッセージ	原因 / 処置
カバー R8 ヲ トジテ クダサイ	**【原因】 フィニッシャーのトップカバーが開いています。** **【処置】 フィニッシャーのトップカバーを閉じてください。**
カバー R* ヲ トジテ クダサイ	**【原因】 R* カバーが開いています。** **【処置】 R* カバーを閉じてください。** 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.30)
カミヅマリデス R* ヲアケテ ミドリノレバーヲ アゲル	**【原因】 R* カバー部で紙づまりが発生しています。** **【処置】 ディスプレイに表示されたカバーの位置を状態表示部で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。** 参照 「6.2　プリンターの紙づまりを処置する」(P.187)
カミヅマリデス R* ヲアケテ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	**【原因】 R* カバー部で紙づまりが発生しています。** **【処置】 ディスプレイに表示されたカバーの位置を状態表示部で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。** 参照 「6.2　プリンターの紙づまりを処置する」(P.187)
カミヅマリデス トレイ * ニ ツマッテイルヨウシヲジョキョ	**【原因】 用紙トレイ * で紙づまりが発生しています。** **【処置】 用紙トレイ * に詰まっている用紙を取り除いてください。** 参照 「6.2　プリンターの紙づまりを処置する」(P.187)
シバラク オマチクダサイ xxxx	**【状態】 本機内部に残っている印刷データを強制排出するための、ウオームアップ中です。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
スベテ ノ データ ヲ チュウシ シテイマス	**【状態】 本機内部に残っている印刷データを破棄中です。** 補足 コンピューターからの印刷データは受信できません。
スベテ ノ データ ヲ ハイシュツ シテイマス トレイ *	**【状態】 本機内部に残っている印刷データを強制排出中です。** 補足 コンピューターからの印刷データは受信できません。
センタートレイ ノ ヨウシ ヲ トリノゾイテ クダサイ	**【原因】 排出トレイの用紙がいっぱいになりました。** **【処置】 排出トレイから用紙を取り除いてください。** 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.30)
チクセキ シテイマス xxxx　　　　　HDD	**【状態】 セキュリティープリントの印刷ジョブを蓄積しています。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。

メッセージ	原因 / 処置
チュウシ シテイマス **xxxx トレイ ***	**【状態】 印刷中のデータを破棄しています。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
テザシヲ カクニンシ [セット] **xxxx XXXX**	**【原因】 ［手差しキー操作待ち］を指定して印刷を指示しています。** **【処置】 用紙トレイ 5（手差し）にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙をセットするか、サイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙がセットされているか確認してください。そのあと、操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押すと印刷が開始されます。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
データ マチデス **xxxx**	**【状態】 印刷データを待っている状態です。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
デンゲンヲ オフ - オン シテクダサイ（xxx-xxx）	**【原因】 エラーが発生しました。** **【処置】 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再び同じメッセージが表示された場合は、「(***-***)」の表示内容を書き写してください。そのあと、電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。**
トナー カートリッジ ヲ **コウカン シテクダサイ：C**	**【原因】 シアントナーカートリッジのトナーがなくなりました。** **【処置】 新しいシアントナーカートリッジに交換してください。** 参照 「5.4.2　トナーカートリッジを交換する」(P.127)
トナー カートリッジ ヲ **コウカン シテクダサイ：K**	**【原因】 ブラックトナーカートリッジのトナーがなくなりました。** **【処置】 新しいブラックトナーカートリッジに交換してください。** 参照 「5.4.2　トナーカートリッジを交換する」(P.127)
トナー カートリッジ ヲ **コウカン シテクダサイ：M**	**【原因】 マゼンタトナーカートリッジのトナーがなくなりました。** **【処置】 新しいマゼンタトナーカートリッジに交換してください。** 参照 「5.4.2　トナーカートリッジを交換する」(P.127)
トナー カートリッジ ヲ **コウカン シテクダサイ：Y**	**【原因】 イエロートナーカートリッジのトナーがなくなりました。** **【処置】 新しいイエロートナーカートリッジに交換してください。** 参照 「5.4.2　トナーカートリッジを交換する」(P.127)

メッセージ	原因 / 処置
トナー カイシュウボトル B コウカンジキデス	**【状態】 トナー回収ボトルの交換時期です。新しいトナー回収ボトルを準備してください。** 参照 「5.4.4　トナー回収ボトル［B］を交換する」(P.134) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。
トナー カイシュウボトル B ヲ コウカン シテクダサイ	**【原因】 トナー回収ボトルがいっぱいになりました。** **【処置】 新しいトナー回収ボトルに交換してください。** 参照 「5.4.4　トナー回収ボトル［B］を交換する」(P.134)
トナー カイシュウボトル B ヲ セット シテクダサイ	**【原因】 トナー回収ボトルがセットされていない、または正しくセットされていません。** **【処置】 トナー回収ボトルを正しくセットしてください。** 参照 「5.4.4　トナー回収ボトル［B］を交換する」(P.134)
ドラム A1 コウカン シテクダサイ	**【原因】 ドラムカートリッジ A1 の交換時期です。** **【処置】 新しいドラムカートリッジ A1 に交換してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130)
ドラム A1 セット シテクダサイ	**【原因】 ドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。** **【処置】 ドラムカートリッジ正しくセットしてください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130)
ドラム A2 コウカン シテクダサイ	**【原因】 ドラムカートリッジ A2 の交換時期です。** **【処置】 新しいドラムカートリッジ A2 に交換してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130)
ドラム A3 コウカン シテクダサイ	**【原因】 ドラムカートリッジ A3 の交換時期です。** **【処置】 新しいドラムカートリッジ A3 に交換してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130)
ドラム A4 コウカン シテクダサイ	**【原因】 ドラムカートリッジ A4 の交換時期です。** **【処置】 新しいドラムカートリッジ A4 に交換してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130)

メッセージ	原因 / 処置
トレイ 5 カクニン [セット] **xxxx XXXX**	**【原因】 手差しトレイ（トレイ 5）に正しい用紙がセットされていません。** **【処置】 手差しトレイ（トレイ 5）に、サイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。**
トレイ * ニ ヨウシヲ ホキュウ **xxxx XXXX**	**【原因】 用紙トレイ * のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙は、用紙切れです。** **【処置】 用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
トレイ * ノ ヨウシヲ カクニン **xxxx XXXX**	**【原因】 用紙トレイ * に正しい用紙がセットされていません。カラー用の OHP フィルムがセットされています。本機では、カラー用の OHP フィルムは使用できません。** **【処置】 用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙をセットしてください。OHP フィルムは、枠なしの OHP フィルム（V516）を使用してください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
トレイ * ヲ **オシコンデ クダサイ**	**【原因】 用紙トレイ * が引き出されています。** **【処置】 用紙トレイ * を正しくセットしてください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
トレイ * ノ ヨウシヲ **カクニンシテクダサイ**	**【原因】 用紙トレイ*にセットされているサイズの用紙には印刷できません。** **【処置】 印刷できる用紙をセットしてください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
トレイ * ヲ アケテ オクリカケノ **ヨウシヲトリノゾイテクダサイ**	**【原因】 用紙トレイ * で紙づまりが発生しています。** **【処置】 用紙トレイ * に詰まっている用紙を取り除いてください。** 参照 「6.2　プリンターの紙づまりを処置する」(P.187)
トレイ *(ユウセン) ニ セット **xxxx XXXX**	**【原因】 用紙トレイ * のサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙は、用紙切れです。** **【処置】 用紙トレイ * にサイズと方向が xxxx で、用紙種類が XXXX の用紙を補給してください。** 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
ハイシュツ シテイマス **xxxx トレイ ***	**【状態】 印刷データを排出しています。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。

メッセージ	原因 / 処置
フィニッシャートレイ ノ ヨウシ ヲ トリダシテ クダサイ	【原因】 フィニッシャーの排出トレイが、いっぱいになりました。 【処置】 フィニッシャーの排出トレイの用紙を、取り除いてください。
フィニッシャーフロントカバー ヲ トジテ クダサイ	【原因】 フィニッシャーのフロントカバーが開いています。 【処置】 フィニッシャーのフロントカバーを閉じてください。
フィニッシャー ヲ モトノ イチニ モドシテ クダサイ	【原因】 フィニッシャーが本体から離れています。 【処置】 フィニッシャーをもとの位置に戻してください。
ブヒン コウカン ヲ イライ シテクダサイ ***-***	【原因】 部品の交換の時期です。 【処置】 「(***-***)」の表示内容を、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
プリント シテイマス xxxx	【状態】 印刷データ処理中です。 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント シテイマス xxxx トレイ *	【状態】 トレイ * を使用して印刷中です。使用中のトレイは、引き出さないでください。 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント デキマス	【状態】 コンピューターからの印刷データを受信できる状態です。
プリント デキマス (***-***)	【原因】 本機に故障が発生しています。 【処置】 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「(***-***)」を確認して処置してください。 参照 「6.5.2 エラーコード一覧」(P.221)
プリント デキマス コウカン イライ ***-***	【原因】 部品の交換の時期が近づいています。 【処置】 「(***-***)」の表示内容を、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
プリント デキマス トナーコウカンジキ：C	【状態】 シアントナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいシアントナーカートリッジを準備してください。 参照 「5.4.2 トナーカートリッジを交換する」(P.127) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント デキマス トナーコウカンジキ：K	【状態】 ブラックトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいブラックトナーカートリッジを準備してください。 参照 「5.4.2 トナーカートリッジを交換する」(P.127) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。

メッセージ	原因 / 処置
プリント デキマス トナーコウカンジキ：M	**【状態】 マゼンタトナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいマゼンタトナーカートリッジを準備してください。** 参照 「5.4.2　トナーカートリッジを交換する」(P.127) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント デキマス トナーコウカンジキ：Y	**【状態】 イエロートナーカートリッジの残量が少なくなっています。新しいイエロートナーカートリッジを準備してください。** 参照 「5.4.2　トナーカートリッジを交換する」(P.127) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント デキマス ドラムコウカンジキ：A1	**【状態】 ドラムカートリッジ A1 の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジ A1 を準備してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント デキマス ドラムコウカンジキ：A2	**【状態】 ドラムカートリッジ A2 の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジ A2 を準備してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント デキマス ドラムコウカンジキ：A3	**【状態】 ドラムカートリッジ A3 の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジ A3 を準備してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント デキマス ドラムコウカンジキ：A4	**【状態】 ドラムカートリッジ A4 の交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジ A4 を準備してください。** 参照 「5.4.3　ドラムカートリッジ［A1］［A2］［A3］［A4］を交換する」(P.130) 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。

メッセージ	原因 / 処置
プリント デキマス フューザー E コウカン	【原因】 フューザーカートリッジの交換時期です。 【処置】 弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
プリント デキマス フューザー E コウカン ジキ	【状態】 フューザーカートリッジの交換時期が近づいています。 補足 印刷処理、およびコンピューターからの印刷データを受信できます。
プリント デキマス ボトル B コウカンジキ	【状態】 トナー回収ボトルの交換時期が近づいています。新しいトナー回収ボトルを準備してください。
フロントカバー ヲ トジテクダサイ	【原因】 フロントカバーが開いています。 【処置】 フロントカバーを閉じてください。 参照 「3.1　各部の名称と働き」(P.30)
ホチキスカートリッジ F ヲ コウカン シテクダサイ	【原因】 フィニッシャーのホチキスカートリッジを交換する時期です。 【処置】 新しいホチキスカートリッジと交換してください。 参照 「5.4.5　ホチキスカートリッジを交換する」(P.138)
モウイチド テザシ ノ ヨウシヲ セットシテ クダサイ	【原因】 用紙トレイ 5（手差し）に、正しく用紙がセットされていないか、カラー用の OHP フィルムがセットされています。本機では、カラー用の OHP フィルムは使用できません。 【処置】 用紙トレイ 5（手差し）に、正しく用紙をセットするか、OHP フィルムは、枠なしの OHP フィルム（V516）を使用してください。 参照 「5.3　用紙をセットする」(P.109)
ログファイル フリョウ [セット] キーデ ショキカシマス	【原因】 オプションの内蔵ハードディスクを装着している場合で、機械の使用中に停電などでいったん電源が切られたために、ハードディスク内のデータが壊れたことが考えられます。 【処置】 操作パネルの〈排出 / セット〉ボタンを押してください。ログファイルが初期化されます。 注記 ログファイルの初期化には、数十秒かかります。初期化中に本機の電源を切らないでください。

6.5.2 エラーコード一覧

エラーが発生して印刷が正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、次のようなメッセージとエラーコード（* – ***）が表示されます。**

```
ｴﾗｰ ｼｭｳﾘｮｳ ｼﾏｼﾀ
   (***-***)
```

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ
   (***-***)
```

下表でエラーコードを参照して、処置してください。

注記

- エラーコードが表示されたときは、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。
- 本機の電源を切ると、プリンター内の残っている印刷データやプリンターのメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

エラーコード	原因 / 処置
003-746	【原因】 指定された用紙種類と、給紙トレイや両面印刷などの設定の組み合わせが不正です。 【処置】 用紙種類とそのほかの設定を確認し、用紙種類にあった設定に変更してください。
003-747	【原因】 操作パネルで用紙トレイ 1 ～ 4 の［トレイの用紙サイズ］を［定形外］に設定し、プリンタードライバーの［用紙トレイ選択］を［自動］に設定して、定形サイズまたは用紙トレイに設定されていない非定形サイズに印刷を指示したり、操作パネルで用紙トレイ 1 ～ 4 の［トレイの用紙サイズ］を［自動］に設定、プリンタードライバーの［用紙トレイ選択］を［自動］に設定して、非定形サイズの印刷を指示したりするなど、プリントパラメーターの組み合わせが正しくありません。 【処置】 印刷指示を確認してください。
007-250	【原因】 本体とオプションのトレイモジュール（用紙トレイ 2 ～ 4、または用紙トレイ 3 ～ 4）との間で、通信エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源を切り、トレイモジュールのコネクターケーブルが本体背面にあるコネクターに、正しく接続されていることを確認してください。 そのあとで、本機の電源を入れても状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 1 は使用できます。
007-270	【原因】 用紙トレイ 1 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 1 以外の用紙トレイは使用できます。

エラーコード	原因 / 処置
007-271	【原因】 用紙トレイ 2 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。
007-272	【原因】 用紙トレイ 3 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 3 以外の用紙トレイは使用できます。
007-273	【原因】 用紙トレイ 4 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 4 以外の用紙トレイは使用できます。
007-274	【原因】 用紙トレイ 5（手差し）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 5（手差し）以外の用紙トレイは使用できます。
007-276	【原因】 用紙トレイ 3（大容量）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 3（大容量）以外の用紙トレイは使用できます。
007-277	【原因】 用紙トレイ 4（大容量）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 4（大容量）以外の用紙トレイは使用できます。
007-281	【原因】 用紙トレイ 1 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 1 以外の用紙トレイは使用できます。
007-282	【原因】 用紙トレイ 2 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。

エラーコード	原因 / 処置
007-283	【原因】 用紙トレイ 3 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 3 以外の用紙トレイは使用できます。
007-284	【原因】 用紙トレイ 4 が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 4 以外の用紙トレイは使用できます。
007-291	【原因】 用紙トレイ 3（大容量）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 3（大容量）以外の用紙トレイは使用できます。
007-293	【原因】 用紙トレイ 4（大容量）が故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。なお、用紙トレイ 4（大容量）以外の用紙トレイは使用できます。
007-954	【原因】 プリンタードライバーで指定した用紙サイズと、手差しトレイにセットした用紙サイズが違っていることが考えられます。 【処置】 プリンタードライバーで正しい用紙サイズを指定してから印刷をしてください。
012-241 012-242 012-244 012-252 012-253	【原因】 フィニッシャーが故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
012-254	【原因】 フィニッシャーに排出した用紙を、フィニッシャートレイが下がりきる前に取り出してセンサーに接触してしまった、またはフィニッシャートレイの下に異物があります。 【処置】 本機の電源を切り、フィニッシャートレイの下に異物がある場合は取り除いてから、電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
012-255	【原因】 フィニッシャートレイが故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
012-256 012-257 012-260 012-262 012-267 012-281	【原因】 フィニッシャーが故障しました。 【処置】 本機の電源を切り、入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
016-500	【原因】 SMTP サーバーの名前が正しく設定されていません。 【処置】 CentreWare Internet Services で、SMTP サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバーの設定も確認してください。 参照 「4.13.1　メールプリントをするための環境設定」(P.92)
016-501	【原因】 POP3 サーバーの名前が正しく設定されていません。 【処置】 CentreWare Internet Services で、POP3 サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバーの設定も確認してください。 参照 「4.13.1　メールプリントをするための環境設定」(P.92)
016-502	【原因】 POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 CentreWare Internet Services で、POP3 で使用するユーザー名とパスワードが正しいかを確認してください。 参照 「4.13.1　メールプリントをするための環境設定」(P.92)
016-503	【原因】 SMTP サーバーの名前が正しく設定されていません。 【処置】 CentreWare Internet Services で、SMTP サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバーの設定も確認してください。 参照 「4.13.1　メールプリントをするための環境設定」(P.92)

エラーコード	原因 / 処置
016-504	【原因】 メール送信時に行う［POP before SMTP］で、POP3 サーバーの名前が正しく設定されていません。 【処置】 CentreWare Internet Services で、POP3 サーバーの設定が正しいかを確認してください。また、DNS サーバーの設定も確認してください。 参照 「4.13.1　メールプリントをするための環境設定」(P.92)
016-505	【原因】 メール送信時に行う［POP before SMTP］で、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 【処置】 CentreWare Internet Services で、POP3 で使用するユーザー名とパスワードが正しいかを確認してください。 参照 「4.13.1　メールプリントをするための環境設定」(P.92)
016-701	【原因】 メモリーが不足したため、ART EX またはメディアプリントの印刷データを処理できませんでした。 【処置】 • ［印刷モード］が［高精細］の場合は［高画質］にして、もう一度印刷を指示してください。それでも状態が改善されないときは、［標準］にして印刷を指示してください。 • メディアプリントをしていた場合は、メモリーを増設してください。 参照 「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)
016-702	【原因】 プリントページバッファが不足したため、ART EX の印刷データを処理できませんでした。 【処置】 次のどれかの方法で処置してください。 • ［印刷モード］が［高精細］の場合は［高画質］にする それでも状態が改善されないときは、［標準］にする • ページ印刷モードを利用する • プリントページバッファを増やす • メモリーを増設する 参照 ［印刷モード］については「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)、ページ印刷モードについては「4.2　印刷機能の設定について」(P.47)、プリントページバッファについては「1.5　メモリーの割り当てについて」(P.19)
016-705	【原因】 内蔵増設ハードディスクが装着されていないので、セキュリティープリント文書が登録できませんでした。 【処置】 セキュリティープリント機能を使用するには、内蔵増設ハードディスクを装着する必要があります。 参照 「4.8　機密文書を印刷する / 出力結果を確認してから印刷する(セキュリティー / サンプルプリント)」(P.69)

エラーコード	原因 / 処置
016-706	【原因】 セキュリティー/ サンプルプリントの最大ユーザー数を超えました。 【処置】 本機内に蓄積されている不要な文書、ユーザーを削除し、もう一度印刷を指示してください。
016-707	【原因】 内蔵増設ハードディスクが装着されていないか、またはハードディスクの故障などで、サンプルプリントが印刷できませんでした。 【処置】 サンプルプリント機能を使用するには、内蔵増設ハードディスクが必要です。
016-716	【原因】 ディスクの容量が不足したので、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 【処置】 内蔵増設ハードディスクを装着するか、内蔵増設ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-721	【原因】 印刷処理中エラーが発生しました。次の原因が考えられます。 ①共通メニューの［プリント設定］の［用紙の優先順位］がすべての用紙で【シナイ】に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している ②ESC/P（オプション）のコマンドエラー 【処置】 ①については、自動トレイ選択で印刷をする場合は、［用紙の優先順位］で、用紙のどれかを【シナイ】以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選択すると、自動的に [用紙の優先順位] が【シナイ】に設定されてしまうので、注意してください。 ②については、印刷データを確認してください。 参照 ［用紙の優先順位］については、「7.2　共通メニュー項目の説明」(P.238)
016-726	【原因】 プリントモード指定が【ジドウ】の場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。 次の原因が考えられます。 ①PostScript ソフトウエアキットが装着されていない状態で、PostScript データを送信した ②PostScript ソフトウエアキットが装着されていて、内蔵増設ハードディスクが装着されていない状態で、LPR などを使って、PDF ファイルを本機に直接送信した ③ART Ⅳ / エミュレーションキットが装着されていない場合に、プリントモード指定を【ジドウ】で、ART Ⅳ、ESC/P、HP-GL/2 のデータを送信した 【処置】 ①については、PostScript ソフトウエアキットの装着が必要です。 ②については、内蔵増設ハードディスクの装着が必要です。 ③については、ART Ⅳ/エミュレーションキットの装着が必要です。
016-728	【原因】 TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 【処置】 印刷データを確認してください。
016-729	【原因】 TIFF データの色数、解像度が有効範囲の上限を超えているため、印刷できませんでした。 【処置】 印刷データを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-730	【原因】 サポートされていないコマンドを検知しました。 【処置】 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-731	【原因】 TIFF データが途中で切れていて印刷できませんでした。 【処置】 もう一度印刷を指示してください。
016-748	【原因】 ハードディスクの領域が不足しているため、印刷できません。 【処置】 印刷データを分割する、複数部印刷している場合は 1 部ずつ印刷するなどで、印刷データのページ数を少なくしてください。
016-749	【原因】 PJL コマンドの構文エラーが発生しました。 【処置】 印刷設定を確認するか、PJL コマンドを訂正してください。
016-751	【原因】 PDF ファイルを、コンテンツブリッジを使用して印刷できませんでした。 【処置】 Adobe Acrobat Reader を使って PDF ファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] から印刷を指示してください。
016-752	【原因】 メモリーが不足しているため、PDF ファイルをコンテンツブリッジを使用して印刷できませんでした。 【処置】 Contents Bridge Utility の [Contents Bridge] ダイアログボックスで [印刷モード] の設定を次のように変更してください。 • [高画質] が選択されていた場合は、[標準] に変更。 • [標準] が選択されていた場合は、[高速] に変更。 参照 •「4.12　PDF を直接印刷する（コンテンツブリッジ）」(P.86) • コンテンツブリッジを使用しないで PDF ファイルを直接 lpr コマンドなどを使って印刷している場合は「7.2.1　プリント言語の設定」(P.238) を参照して操作パネルで設定を変更してください。
016-753	【原因】 PDF ファイルのパスワードが、プリンターに設定されているパスワード、または Contents Bridge Utility 設定したパスワードとが一致しません。 【処置】 正しいパスワードを、プリンター、またはコンテンツブリッジで設定して、もう一度印刷を指示してください。
016-754	【原因】 PDF ファイルに LZW 圧縮を使用したオブジェクトが含まれています。オプションのコンテンツブリッジ拡張キットが装着されていない場合は、印刷できません。 【処置】 次の方法で印刷してください。 • Adobe Acrobat Readerを使ってPDFファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] から印刷を指示してください。 • LZW 圧縮を使用したオブジェクトを含む PDF ファイルを頻繁にコンテンツブリッジを使って印刷する場合は、コンテンツブリッジ拡張キットを装着することをお勧めします。

エラーコード	原因 / 処置
016-755	**【原因】 印刷が許可されていないPDFファイルは印刷できません。** **【処置】 Adobe Acrobatを使用して、PDFファイルの印刷禁止の指定を解除してから、もう一度印刷を指示してください。**
016-760	**【原因】 PostScriptの処理中にエラーが発生しました。** **【処置】 次のどれかの方法で処置してください。** **• ［印刷モード］を［高画質］にする** **• プリントページバッファを増やす** **• PS使用メモリーを増やす** 参照 ［印刷モード］については「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)、プリントページバッファ、PS使用メモリーについては「1.5　メモリーの割り当てについて」(P.19)
016-761	**【原因】 イメージ処理中にエラーが発生しました。** **【処置】 ［印刷モード］を［高画質］にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、［ページ印刷モード］を［する］に設定し、［印刷モード］を［高画質］で印刷してください。** 参照 ［印刷モード］については「4.9　印刷モードを設定する」(P.74)、ページ印刷モードについてはプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。
016-762	**【原因】 実装されていないプリント言語が指定されました。** **【処置】 本機は標準で、ART EX、TIFF、PDFデータを処理できます。それ以外の印刷データを送信したい場合は、該当するプリント言語を処理できるオプションを取り付けてください。** 補足 • ART IV / エミュレーションキットを取り付けている場合は、標準で処理できるプリント言語以外に、次のプリント言語を処理できます。 ・ART IV、201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2 • PostScriptソフトウエアキットを取り付けている場合は、標準で処理できるプリント言語以外に、次のプリント言語を処理できます。 ・PS、HP-GL、HP-GL/2
016-764	**【原因】 SMTPサーバーに接続できませんでした。** **【処置】 SMTPサーバーの管理者にご相談ください。**
016-765	**【原因】 SMTPサーバーのハードディスクの容量がいっぱいのため、メール送信できませんでした。** **【処置】 SMTPサーバーの管理者にご相談ください。**
016-766	**【原因】 SMTPサーバーでエラーが発生しました。** **【処置】 SMTPサーバーの管理者にご相談ください。**

エラーコード	原因 / 処置
016-767	【原因】 あて先のメールアドレスを間違って指定したため、メール送信ができませんでした。 【処置】 あて先のメールアドレスを確認し、もう一度送信してください。 参照 「4.13.1　メールプリントをするための環境設定」(P.92)
016-768	【原因】 本機のメールアドレスが正しくないため、SMTP サーバーに接続できませんでした。 【処置】 本機のメールアドレスを確認してください。 参照 「4.13.1　メールプリントをするための環境設定」(P.92)
016-796	【原因】 メール受信時に添付文書だけを印刷するように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信ししたので、そのメールが破棄されました。 【処置】 メール本文やメールヘッダー情報なども印刷したい場合は、CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を変更してください。
016-797	【原因】 受信メールの出力先が不正です。 【処置】 正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。 参照 「4.13　文書をメールでプリンターに送る（メールプリント）」(P.92)
051-700	【原因】 メディアプリントに使用しているメディアが損傷している可能性があります。 【処置】 正常なメディアを使用して、もう一度メディアプリントを行ってください。 注記 メディアは、『DocuPrint C3530 取扱説明書 ＜メディアプリント機能編＞』を参照して正しい手順で取り出し、セットしてください。誤った手順でメディアの取り出し、セットを行うと、メディアを破損するおそれがあります。
051-701	【原因】 メディアが、メディア専用のアダプター（PCMCIA カード）に正しくセットされていない、またはメモリーカードリーダーのメディア挿入口（PCMCIA スロット）に正しくセットされていません。 【処置】 メディアを、メディア専用のアダプターに正しくセットして、メモリーカードリーダーのメディア挿入口（PCMCIA スロット）に正しくセットしてください。 注記 メディアは、『DocuPrint C3530 取扱説明書 ＜メディアプリント機能編＞』を参照して正しい手順で取り出し、セットしてください。誤った手順でメディアの取り出し、セットを行うと、メディアを破損するおそれがあります。

エラーコード	原因 / 処置
051-702	【原因】 メディアプリントを行うためにセットしたメディア内に、メディアプリントができるデータが格納されていない、またはデータが壊れています。 【処置】 メディアプリントでは、メディア内のデータの読み込みに一定のルールがあります。メディアに格納されているデータの種類およびファイル構成を確認してください。 注記 メディアは、『DocuPrint C3530 取扱説明書 ＜メディアプリント機能編＞』を参照して正しい手順で取り出し、セットしてください。誤った手順でメディアの取り出し、セットを行うと、メディアを破損するおそれがあります。
051-703	【原因】 メモリーカードリーダーが本機に正しく接続されていない可能性があります。 【処置】 本機の電源を切り、メモリーカードリーダーが本機に正しく接続されているかどうかを確認して、もう一度はじめから操作してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。 注記 メディアは、『DocuPrint C3530 取扱説明書 ＜メディアプリント機能編＞』を参照して正しい手順で取り出し、セットしてください。誤った手順でメディアの取り出し、セットを行うと、メディアを破損するおそれがあります。

6.6 TCP/IP 環境使用時のトラブル

ここでは、TCP/IP の環境で使用している場合のトラブルについて、原因や確認方法、処置方法を記載しています。そのほかの環境でのトラブルについては、本機に同梱されているCD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

6.6.1 Windows 95/Windows 98/Windows Me の場合

印刷されないとき

お使いのコンピューターの［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、表示されたウィンドウで、本機の状態が「印刷不可状態（NetworkError）」と表示された場合の対処方法について説明します。

原因	確認方法	処置
本機が、コンピューターと異なるネットワークに接続されている。	ネットワークのシステム管理者に、コンピューターが接続されているネットワークと、本機が接続されているネットワークの間に、ルーターやゲートウェイが介在しているか確認する。	本機を、コンピューターが接続されているネットワークに直接接続する。
コンピューターから本機までのネットワーク上に障害が発生して、コネクションが確立できない。	「印刷不可状態（NetworkError）」と表示される。	ネットワークのシステム管理者に、ネットワーク障害について調べてもらう。
本機の IP アドレスを誤って入力している。	「印刷不可状態（NetworkError）」と表示される。プリンターアイコンの［ファイル］メニューの［プロパティ］を選択し、［詳細］タブの［ポートの設定］を選択する。表示された［FX TCP/IP DPU ポートの設定］ダイアログボックスのＩＰアドレスと、機能設定リストの IP アドレスを比較する（機能設定リストのプリント方法は、「5.5 レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照してください)。	［FX TCP/IP DPU ポートの設定］ダイアログボックスの IP アドレスに、本機に設定されている IP アドレスを正しく入力する。
コンピューターから印刷指示をしたあと、本機の電源が切れたり、電源が入っていない本機へコンピューターから印刷を指示した。	「印刷不可状態（NetworkError）」と表示される。本機の電源が入っているか調べる。	本機の電源を入れる。
本機に対して、多数のコンピューターから同時に印刷を指示している。	「印刷不可状態（NetworkError）」と表示される。	なし（自動的に印刷が再開されます）。

原因	確認方法	処置
コンピューターのディスク容量が不足しているので、印刷するファイルをスプールできない。	「印刷不可状態(SpoolError)」と表示される。[マイコンピュータ]を開き、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me がインストールされているディスク(例 :C ドライブ)を右クリックする。表示されたメニューから[プロパティ]を選択し、空き領域を確認する。	不要なファイルを削除して、ディスクの空き領域を確保したあと、[プリンタ]ウィンドウの[ドキュメント]メニューの[一時停止]を選択し、停止状態を解除する(印刷が再開されます)。

6.6.2 Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP の場合

印刷されないとき

原　因	確認方法	処　置
正しい IP アドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、本機の IP アドレスが正しいかどうか調べてもらう。	本機に、正しい IP アドレスを設定する。
[LPD スプール]を【メモリースプール】に設定している場合に、コンピューターから1回の印刷指示で送信される印刷データの容量が、受信容量の上限を超えている。	[LPD スプール]のメモリー容量を確認して、1 回の印刷指示で送信しようとしている印刷データの容量と比較してみる。	1. 印刷データ容量が、1 つのファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、そのファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割して印刷を指示する。 2. 印刷データ容量が、複数のファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、1 度に印刷を指示するファイル数を減らす。
印刷処理中に対処不可能な障害が発生した。	操作パネルのディスプレイでエラーが表示されていないか確認する。	電源スイッチを入れ直す。
コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択する。

6.7 CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症　状	処　置
CentreWare Internet Services に接続できない。	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ 機能設定リストを印刷して確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか？ インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバーを使わないで、ブラウザーの設定を「プロキシサーバーを使用しない」にするか、接続したいアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
ブラウザーで【しばらくお待ちください】等のメッセージが表示されたままになる。	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、ブラウザーの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
［表示更新］が機能しない。	指定されている OS やブラウザーを使用していますか？ 「5.1.1　CentreWare Internet Services の概要」(P.98) を参照して、使用している OS やブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
左側エリアのメニューを選択しても、右側エリアが更新できない。	
画面の表示が崩れる。	ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない。	［表示更新］を押してください。
日本語が正しく設定できない。	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カナ文字は使用できない場合があります。
［新しい設定を適用］を押しても反映されない。	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
［新しい設定を適用］を押すと、ブラウザーに【無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました】や【データがありません】などのメッセージが表示される。	ユーザー名とパスワードは正しいですか？ 正しいユーザー名とパスワードを入力してください。 工場出荷時は、ユーザー名とパスワードともに「admin」が設定されています。
	本機を再起動してください。

6.8 メール通知サービス、メールプリント使用時のトラブル

メール通知サービス、メールプリントを使用している場合のトラブルについて、処置方法を記載しています。

症　状	処　置
メールプリントができない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesで、設定を確認してください。
	［メール受信］がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesで、設定を確認してください。
	SMTPサーバーのIPアドレス、POP3サーバーのIPアドレス（受信プロトコルでPOP3を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesで、設定を確認してください。
	POPユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesで、設定を確認してください。
	受信許可ドメインを設定していませんか。 CentreWare Internet Servicesで、自分のドメインが受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。
	SMTPサーバー、POPサーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
メールプリントで添付のPDFファイルが印刷されない	メモリー容量が不足していると、印刷できないことがあります。容量の大きな添付ファイルを頻繁に印刷する場合は、メモリーを増設することをお勧めします。
メール通知サービスで、本機の状態がメールされない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesで、設定を確認してください。
	［メール通知］がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesで、設定を確認してください。
	SMTPサーバーのIPアドレス、POP3サーバーのIPアドレス（受信プロトコルでPOP3を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesで、設定を確認してください。
	POPユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesで、設定を確認してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Servicesのプロパティ画面で、設定を確認してください。
	送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。 CentreWare Internet Servicesのプロパティ画面で、正しい送信先を入力してください。
	SMTPサーバー、POPサーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。

7章

共通メニューの設定

7.1 共通メニューの概要

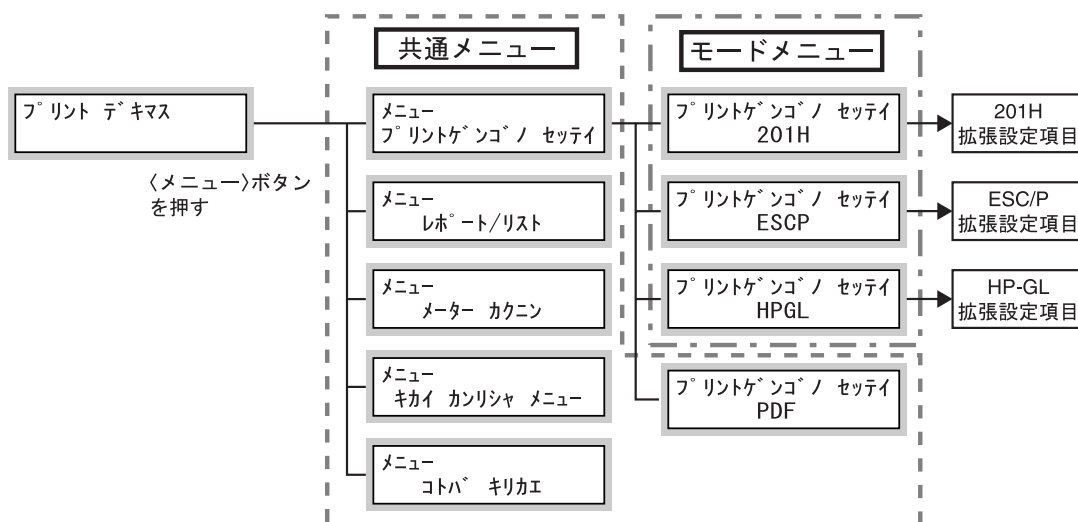
7.1.1 メニューについて

メニューには、「共通メニュー」と「モードメニュー」があります。

参照

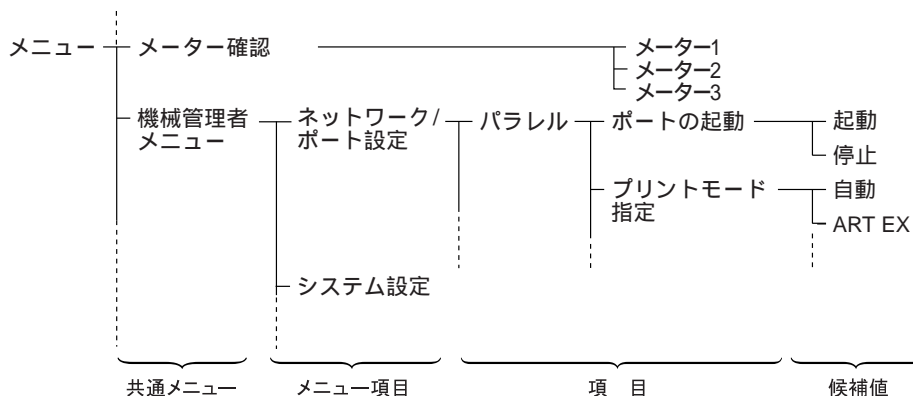
モードメニューは、オプションのART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。詳しくは、本機に同梱されているCD-ROM内のマニュアルを参照してください。

補足

【HP-GL】は、オプションのPostScript® ソフトウエアキットを取り付けた場合にも表示されます。

7.1.2 共通メニューについて

共通メニューは、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。
共通メニューは、次のような階層で構成されています。

- **共通メニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値**

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。

共通メニューには、次の項目があります。

共通メニュー	内容
プリント言語の設定	**201H、ESC/P、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定、および PDF ダイレクトプリント機能に関する設定をします。** 参照 • PDF ダイレクトプリントの設定項目については、「7.2.1 プリント言語の設定」(P.238) を参照してください。 • 各エミュレーションの設定項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。
レポート / リスト	**レポート / リストメニューは、オプションのエミュレーションモードの設定内容、プリンターの設定情報、エラー履歴、ジョブ履歴、フォントに関する情報、出力の集計など本機内部の情報を印刷し、確認するためのメニューです。** 参照 レポート / リストメニューについて詳しくは、「5.5 レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照してください。
メーター確認	**メーター確認メニューは、印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示するメニューです。** 参照 メーター確認の操作は、「5.6 総印刷枚数を確認する」(P.162) を参照してください。
機械管理者メニュー	**機械管理者メニューは、ネットワーク / ポート設定、システム設定（警告音、節電モードなど）、プリント設定、メモリー設定、画質補正、プリンターの設定値やハードディスクなどの初期化、フォームデータの削除などについて設定するためのメニューです。** 補足 「停止」に設定されているポートの各種設定はできません。 参照 機械管理者メニューの設定項目については、「7.2.2 機械管理者メニュー」(P.241) を参照してください。基本操作については、「7.3.1 基本的な操作方法」(P.262) を参照してください。
言葉切り替え	**操作パネルの表示言語を切り替えるためのメニューです。日本語、English から選択します。** 補足 この項目は、ART IV / エミュレーションキット（オプション）を取り付けている場合には表示されません。

7.2 共通メニュー項目の説明

ここでは、共通メニューの中の［プリント言語の設定］の［PDF］、［機械管理者メニュー］、［言葉切り替え］で設定できる項目ついて説明します。

参照

- メーター確認の操作については、「5.6　総印刷枚数を確認する」(P.162) を参照してください。
- レポート / リストについては、「5.5　レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照してください。
- 上記以外の共通メニューの設定方法については、「7.3 共通メニューの基本操作」(P.262) を参照してください。

補足

CentreWare Internet Services を使用すると、さらに詳細な設定ができます。詳しくは、「5.1　コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services)」(P.98) を参照してください。

7.2.1 プリント言語の設定

［プリント言語の設定］では、201H、ESC/P、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定、および PDF ダイレクトプリント機能に関する設定をします。

参照

各エミュレーションの設定項目については、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

PDF

PDF ダイレクトプリント機能に関する設定をします。PDF ダイレクトプリント機能とは、PDF ファイルをプリンタードライバーを使わないで、直接プリンターに送信して印刷する機能です。
弊社ユーティリティの「Contents Bridge」を使用しないで PDF ファイルを印刷する場合は、ここでの設定が有効になります。

参照

「4.12　PDF を直接印刷する（コンテンツブリッジ)」(P.86)

プリント処理モード

PDF ダイレクトプリント機能を使用するとき、印刷処理をするモードを選択します。

補足

- この項目は、オプションの PostScript ソフトウエアキットを装着している場合に表示されます。
- 【PDF Bridge】を選択した場合と【PS】を選択した場合では、印刷結果が異なることがあります。
- 【PS】を選択した場合は、【レイアウト】での設定は無効になります。

【PDF Bridge】（初期値）
PDF を、弊社製の PDF ダイレクトプリント機能を使用して処理します。
【PS】
PDF を、Adobe 社製の PostScript の機能を使用して処理します。

部数

印刷する部数を、1 ～ 999 部の間で設定します。初期値は、【1 ブ】です。

両面

両面印刷について設定します。

補足

この項目は、両面機能付きの場合に有効です。

【シナイ】（初期値）
両面印刷を行いません。
【チョウヘントジ】
用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。
【タンペントジ】
用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷を行います。

印刷モード

画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。
【ヒョウジュン】（初期値）
標準的な速度、画質で印刷します。
【コウガシツ】
印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。
【コウソク】
速度を優先して印刷します。

パスワード

PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。印刷する PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ印刷できます。
設定できる文字は、英半角で 32 文字までです。

ソート

複数部数を、1 部ごとにソート（1、2、3...1、2、3...）して印刷するかどうかを設定します。
初期値は、【シナイ】です。

用紙サイズ

出力する用紙サイズを設定します。
【A4】（初期値）
A4 サイズの用紙に印刷されます。
【ジドウ】
印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。

レイアウト

印刷するときのレイアウトについて設定します。

補足

この項目は、［プリント処理モード］で［PDF Bridge］を設定した場合に表示されます。

【ジドウバイリツ】（初期値）
印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。PDF ファイルの原稿サイズに応じて、A4 またはレターサイズのどちらかを自動的に判別し、印刷されます。
【100%（トウバイ）】
印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。
【カタログ（ショウサッシ）】
印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、印刷結果がカタログのようにページ割り付けされて両面印刷されます。ただし、ページ構成によっては、カタログ印刷ができない場合があります。その場合は、【ジドウバイリツ】で印刷されます。

補足

- 両面機能がない場合は、片面に印刷されます。
- ［用紙サイズ］で［A4］を設定している場合は、A4 サイズの用紙に印刷されます。
- ［用紙サイズ］で［自動］を設定している場合は、A3、または A4 の用紙に印刷されます。

【2 アップ】
1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。
【4 アップ】
1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、A4 固定になります。

カラーモード

カラーで印刷するか、白黒で印刷するかを設定します。
【カラー（ジドウ）】（初期値）
原稿のページごとにカラーか白黒かが自動的に判断されます。白黒以外の色が使われている場合はカラーで印刷され、白黒だけが使われている場合は白黒で印刷されます。
【シロクロ】
白黒で印刷されます。

7.2.2 機械管理者メニュー

機械管理者メニューは、ネットワーク / ポート設定、システム設定（警告音、節電モード、システム時計など）、プリント設定、メモリー設定、画質補正、プリンターの設定値やハードディスクなどの初期化、フォームデータの削除などについて設定するためのメニューです。

ネットワーク / ポート設定

ネットワーク / ポート設定メニューは、コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定するためのメニューです。

パラレル

パラレルインターフェイスを使う場合に設定します。

■ポートの起動

電源を入れたときに、パラレルインターフェイスの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、パラレルインターフェイスを使う設定になっています。

注記

メモリーが不足した場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード指定 * 注記 (1)

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【201H】【ESC/P】【HP-GL/2】【TIFF】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【201H】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。【HP-GL/2】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合にも表示されます。
【HexDump】* 補足 (2)
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット、または ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■PJL * 注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■**Adobe 通信プロトコル**

PostScript の通信プロトコルを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。
候補値は、以下のとおりです。
【ヒョウジュン】（初期値）
通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。
【バイナリー】
通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が【ヒョウジュン】に比べて速くなることがあります。
【TBCP】
通信プロトコルにASCII形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。

補足

- コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
- 通常は、初期値の【ヒョウジュン】で使用してください。
- ここでの設定は、パラレルのプリントモード指定が【PS】の場合にだけ有効です。

■**自動排出時間 ＊補足 (1)**

データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。
時間は 5 〜 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。初期値は【30 ビョウ】です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■**双方向通信**

パラレルインターフェイスの双方向送信（IEEE1284）を有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。

■**インプットプライム**

INPUT_PRIME 制御（ハードウエアリセット）を有効にするか無効にするかを設定します。INPUT_PRIME 信号を受信すると、リセット処理が行われます。初期値は【ユウコウ】です。

補足

この設定は、エミュレーションで使用します。

注記

コンピューターによっては、印刷するたびに INPUT_PRIME 信号が出力されてリセット処理が行われるので、操作パネルから指定したメニュー操作の内容が印刷結果に反映されないことがあります。このような場合は【ムコウ】を指定することによって、メニュー操作の内容を反映できます。

LPD

LPD を使う場合に設定します。

■**ポートの起動**

電源を入れたときに、LPD ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、LPD を使う設定になっています。

補足

LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード指定 ＊注記 (1)

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【201H】【ESC/P】【HP-GL/2】【TIFF】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。
【ART4】【201H】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。【HP-GL/2】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合にも表示されます。
【HexDump】＊補足 (2)
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット、または ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■PJL ＊注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■コネクションタイムアウト ＊補足 (1)

印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ～ 3600 秒の間で、1 秒単位に設定します。初期値は【16 ビョウ】です。

■TBCP フィルター

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。初期値は【ムコウ】です。

■ポート番号

ポート番号を、515、または 8000 ～ 9999 の間で設定します。初期値は、【515】です。

NetWare

NetWare を使う場合に設定します。

■**ポートの起動**

電源を入れたときに、NetWare ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。NetWare を使う場合、【キドウ】に設定してください。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■**トランスポートプロトコル**

NetWare で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX/SPX、TCP/IP のどちらか、または両方が使えます。初期値は【TCP/IP,IPX/SPX】です。

補足

TCP/IP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。

■**プリントモード指定 * 注記 (1)**

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【201H】【ESC/P】【HP-GL/2】【TIFF】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【201H】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。【HP-GL/2】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合にも表示されます。
【HexDump】* 補足 (2)
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット、または ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■**PJL * 注記 (2)**

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■**検索回数 * 補足 (1)**

ファイルサーバーを検索する回数を設定します。
1 ～ 100 回の間で 1 回単位、または上限なしを設定します。検索間隔は、1 分です。初期値は【ジョウゲンナシ】です。

■**TBCP フィルター**

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。初期値は【ムコウ】です。

SMB

SMB を使う場合に設定します。

■ポートの起動

電源を入れたときに、SMB ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、SMB を使う設定になっています。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■トランスポートプロトコル

SMB で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。NetBEUI、TCP/IP のどちらか、または両方が使えます。初期値は【TCP/IP,NetBEUI】です。

補足

TCP/IP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。

■プリントモード指定 * 注記 (1)

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【201H】【ESC/P】【HP-GL/2】【TIFF】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【201H】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。【HP-GL/2】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合にも表示されます。
【HexDump】* 補足 (2)
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット、または ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■PJL * 注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■TBCP フィルター

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。初期値は【ムコウ】です。

IPP

IPP を使う場合に設定します。

■ポートの起動

電源を入れたときに、IPP ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。IPP を使う場合、【キドウ】に設定してください。

補足

IPP ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード指定 * 注記 (1)

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【201H】【ESC/P】【HP-GL/2】【TIFF】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【201H】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。【HP-GL/2】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合にも表示されます。
【HexDump】* 補足 (2)
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット、または ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■PJL * 注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■アクセス権制御

印刷ジョブの中止や削除、本機をポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。初期値は【ムコウ】です。

■DNS 使用

本機を認識するときに、DNS（Domain Name System）に登録した名前を使うかどうかを設定します。初期値は【ユウコウ】で、DNS 名を使用するようになっています。【ムコウ】にすると、IP アドレスを使って本機を認識します。

■追加ポート番号 * 補足 (1)

追加ポート番号を 0、80、または 8000 〜 9999 の間で設定します。初期値は【80】です。

■タイムアウト

印刷データの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0 〜 65535 秒の間で 1 秒単位に設定します。初期値は【60 ビョウ】です。

■TBCP フィルター

PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。初期値は【ムコウ】です。

EtherTalk

EtherTalk を使う場合に設定します。この項目は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。

■ポートの起動

電源を入れたときに、EtherTalk ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。EtherTalk を使う場合、【キドウ】を設定してください。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■PJL ＊注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しない PJL コマンドが使えます。PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

USB

USB ポートを使う場合に設定します。

■ポートの起動

電源を入れたときに、USB ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、ポートを使う設定になっています。

注記

メモリーが不足した場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■プリントモード指定 ＊注記 (1)

印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【201H】【ESC/P】【HP-GL/2】【TIFF】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【201H】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART Ⅳ / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。【HP-GL/2】は、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合にも表示されます。
【HexDump】＊補足 (2)
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。この項目は、PostScript ソフトウエアキット、または ART Ⅳ / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■**PJL ＊注記 (2)**
本機では、どのプリント言語にも依存しないPJLコマンドが使えます。PJLコマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくるPJLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJLコマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■**自動排出時間 ＊補足 (1)**
データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。
時間は5～1275秒の間で、5秒単位に設定します。初期値は【30ビョウ】です。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■**Adobe通信プロトコル**
PostScriptの通信プロトコルを設定します。この項目は、PostScriptソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。
候補値は、以下のとおりです。
【ヒョウジュン】（初期値）
通信プロトコルがASCII形式のときに設定します。
【バイナリー】
通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が【ヒョウジュン】に比べて速くなることがあります。
【TBCP】
通信プロトコルにASCII形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。

補足
- コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
- 通常は、初期値の【ヒョウジュン】で使用してください。
- ここでの設定は、パラレルのプリントモード指定が【PS】の場合にだけ有効です。

Port9100

Port9100を使う場合に設定します。

■**ポートの起動**
電源を入れたときに、Port9100ポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。Port9100を使う場合、【キドウ】を設定してください。

■**プリントモード指定 ＊注記 (1)**
印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【ART EX】【PS】【ART4】【201H】【ESC/P】【HP-GL/2】【TIFF】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScriptソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。【ART4】【201H】【HP-GL/2】【ESC/P】は、ART Ⅳ / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。【HP-GL/2】は、PostScriptソフトウエアキットが装着されている場合にも表示されます。
【HexDump】＊補足 (2)
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応するASCIIコードで印刷します。この項目は、PostScriptソフトウエアキット、またはART Ⅳ / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■PJL ＊注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しないPJLコマンドが使えます。PJLコマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。ここでは、コンピューターから送られてくるPJLコマンドを有効にするか無効にするかを設定します。PJLコマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。通常は【ユウコウ】にします。初期値は【ユウコウ】です。

■コネクションタイムアウト ＊補足 (1)

印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2～65535秒の間で、1秒単位に設定します。初期値は【60ビョウ】です。

■ポート番号

ポート番号を、9100、または8000～9999の間で設定します。初期値は、【9100】です。

■TBCPフィルター

PostScriptデータを処理するときに、TBCPフィルターを有効にするか無効にするかを設定します。この項目は、PostScriptソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。初期値は【ムコウ】です。

BMLinkS

BMLinkSプリントサービスを使う場合に設定します。この項目は、ART IV / エミュレーションキット、またはPostScriptソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。

■ポートの起動

電源を入れたときに、BMLinkSポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。BMLinkSを使う場合、【キドウ】を設定してください。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

SNMP設定

SNMPを使う場合に設定します。SNMPの設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報はSNMPで管理されていて、アプリケーションはSNMPからプリンターの情報を収集します。

■ポートの起動

電源を入れたときに、SNMPポートの状態を「起動」にするか「停止」にするかを設定します。初期値は【キドウ】で、SNMPを使う設定になっています。

注記

ポートを【キドウ】にしたときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートのポート状態を【テイシ】にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。

■トランスポートプロトコル

SNMPで使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX、UDPのどちらか、または両方が使えます。初期値は【UDP】です。

補足

- UDPを使う場合は、コンピューター側、本機側ともにIPアドレスが必要です。
- IPX、UDPどちらのプロトコルを使うかは、アプリケーションの説明書を参照してください。

■コミュニティ登録 (R)

プリンターの管理情報（MIB）を読み出すためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

■コミュニティ登録 (R/W)

プリンターの管理情報（MIB）を読み書きするためのコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

■コミュニティ登録 (Trap)

トラップで使用するコミュニティ名を、英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 12 文字の間で設定します。初期値は【ミトウロク】です。

TCP/IP 設定

■IP アドレス取得方法

TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を DHCP（Dynamic Host Configuration Protcol）サーバー、BOOTP、または RARP から自動的に取得するか、手動で指定するかを設定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は【DHCP】です。

補足

【DHCP】、【BOOTP】、または【RARP】から、【シュドウ】に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されるので、手動で IP アドレスを設定してください。

■IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス ＊補足 (1)

これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。

注記

- 誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。
- サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを“0”に設定した場合など）、数値の設定後に〈メニュー〉ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。
- 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。

インターネットサービス

インターネットサービスを使うかどうかを設定します。
【キドウ】に設定すると、「CentreWare Internet Services」を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。初期値は【キドウ】です。

補足

インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスの設定が必要です。

WINS サーバー設定

■DHCP からアドレス取得

WINS（Windows Internet Name Service）を利用するために必要な、WINS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するか、手動で取得するかを指定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。初期値は【スル】です。

補足

【スル】から【シナイ】に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されるので、手動で IP アドレスを設定してください。

■プライマリー IP アドレス、セカンダリー IP アドレス ＊補足 (1)

これらの項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 〜 255 までの数値です。プライマリー IP アドレスが無効の場合、セカンダリー IP アドレスも無効になります。

注記

誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。

Ethernet 設定

Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクターの種類を設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
100BASE-TX と 10BASE-T を自動的に切り替えます。
【100BASE-TX】
100BASE-TX に固定して使う場合に選択します。
【10BASE-T】
10BASE-T に固定して使う場合に選択します。

IPX/SPX フレームタイプ

IPX/SPX の動作フレームタイプを設定します。
候補値は、以下のとおりです。
【ジドウ】（初期値）
フレームタイプを自動で設定します。
【Ethernet Ⅱ】
Ethernet 仕様のフレームタイプを使います。
【Ethernet 802.3】
IEEE802.3 仕様のフレームタイプを使います。
【Ethernet 802.2】
IEEE802.3/IEEE802.2 仕様のフレームタイプを使います。
【Ethernet SNAP】
IEEE802.3/IEEE802.2/SNAP 仕様のフレームタイプを使います。

受け付け制限

■IP ポート制限

印刷を受け付ける IP アドレスを制限するかしないかを設定します。【スル】に設定すると、登録されている IP アドレス以外からの印刷を受け付けません。初期値は【シナイ】です。

補足

【スル】に設定しても、登録されている IP アドレスがすべて 000.000.000.000 の場合は、無効となります。

■受け付け IP アドレス設定 ＊補足 (1)

受け付ける IP アドレスを制限する場合に、印刷を受け付ける IP アドレスを登録します。IP アドレスは、10 個まで登録できます。登録した IP アドレスには、アドレスマスクを設定します。IP アドレス、アドレスマスクは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 〜 255 までの数値です。例えば、［IP アドレス］：［129.249.110.23］、［IP アドレスマスク］：［255.255.255.0］ と設定した場合、印刷を受け付ける IP アドレスは、［129.249.110.*（1 〜 254）］ です。

システム設定

システム設定メニューは、警告音、節電モードなど、本機の動作設定を行うためのメニューです。

異常警告音

本機に異常が発生したときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。初期値は【ナラサナイ】です。音量の調整はできません。

操作パネル設定 ＊補足 (1)

■操作パネル制限

メニュー操作とモードメニュー操作に、パスワードによる制限をかけるかどうかを設定します。【スル】に設定すると、メニュー操作時とモードメニュー操作時にパスワードの入力が必要になります。初期値は【シナイ】です。なお、モードメニューは、オプションのART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に使用できます。HP-GL/2 エミュレーションは、PostScript ソフトウエアキットが装着されている場合にも使用できます。

補足

- 【スル】に設定したときにパスワードが設定されていないと、パスワード設定画面が表示されます。パスワードとして 4 桁の数字を、〈▼〉、〈▲〉ボタンを押して入力してください。〈▶〉、〈◀〉ボタンで桁を移動できます。
- パスワードとして、「0000」は設定できません。

■暗証番号設定

操作パネル制限を設定している場合のパスワードを変更できます。現在設定されているパスワードを 4 桁の数字で入力すると、暗証番号を入力する画面が表示されます。新しい暗証番号を設定してください。

補足

操作パネル制限を【スル】に設定しないと、パスワードを変更できません。

オフライン自動解除 ＊補足 (1)

オフライン状態を自動的に解除するかどうかを設定します。解除しないか、解除する時間を 1 ～ 30 分の間で 1 分単位に設定します。初期値は【シナイ】です。

節電モード

節電モード（スリープモード）は、一定の時間が経過すると、自動的に機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。

補足

節電モードについては、「5.7　節電機能（スリープモード）を利用する」(P.166) を参照してください。

節電モード移行時間 ＊補足 (1)

節電モード（スリープモード）に移行するまでの時間を 15 ～ 240 分の間で 1 分単位に設定します。節電モードになると、〈節電〉ボタンが点灯します。初期値は【30 フンゴ】です。

補足

節電モードについては、「5.7　節電機能（スリープモード）を利用する」(P.166) を参照してください。

自動ジョブ履歴

処理を行ったプリントジョブに関する情報（ジョブ履歴レポート）を、自動的に印刷するかどうかを設定します。
【プリントスル】に設定すると、過去に自動で排出されていないジョブ履歴が、記憶領域いっぱいになった時点（50 件）で、古いものから自動的に印刷されます。実行中や実行待ちのプリントジョブは記録されません。
初期値は【プリントシナイ】です。

レポート両面プリント

本機が両面印刷機能付きの場合で、レポート / リストを印刷するときに、片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。初期値は【カタメン】です。

プリント可能領域

プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。オプションのエミュレーション（ESC/P は除く）や PostScript で印刷する場合に有効です。初期値は【ヒョウジュン】です。

バナーシート設定

■バナーシート出力
バナーシートを出力するかどうかを設定します。出力する場合は、文書のはじめに出力するか、終わりに出力するか、またははじめと終わりに出力するかを設定します。

■バナーシートトレイ
バナーシートを出力するトレイを、用紙トレイ 1 ～ 4 から設定します。

セキュリティープリント操作

この項目は、オプションの内蔵増設ハードディスクと 256MB 以上のメモリーが装着されている場合に表示されます。
セキュリティープリント機能を使用するかどうかを設定します。初期値は【ユウコウ】で、セキュリティープリント機能を使用する設定になっています。
【ムコウ】に設定すると、セキュリティープリントを印刷できなくなります。

システム時計 ＊補足 (1)

本機のシステム時計の日付（年 / 月 / 日）と時刻（時 / 分）を、西暦（4 桁、2000 ～ 2099 年の範囲）、24 時間表示で設定します。ここで設定された日付 / 時刻が、レポートやリストに印刷されます。

■日付
2003 年 01 月 01 日のように、YYYY/MM/DD の形式で設定します。

■時刻
12 時 02 分のように、HH/MM の形式で設定します。

■日付表示切り替え
日付の表示順序を、YYYY/MM/DD（年 / 月 / 日）、MM/DD/YYYY（月 / 日 / 年）、DD/MM/YYYY（日 / 月 / 年）から設定します。

■時刻表示切り替え
時刻表示を、12 時間表示、24 時間表示から設定します。

■タイムゾーン
必要に応じて、タイムゾーンを設定します。

■サマータイム設定、サマータイム開始日、サマータイム終了日

必要に応じて、サマータイムについて設定します。

最初のプリント速度

最初の印刷の速度を、カラー優先にするか白黒優先にするかを設定します。初期値は、【カラーユウセン】です。

ドラム寿命動作

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージ表示後、約 2,500 枚は正常に印刷できます。
ドラムカートリッジの交換時期になったとき、印刷を停止するかしないかを選択します。
【プリント テイシ スル】（初期値）
ドラムカートリッジ交換時期のメッセージ表示後は、新しいドラムカートリッジに交換するまで印刷は停止されます。
【プリント テイシ シナイ】
ドラムカートリッジ交換時期になっても、印刷は停止されません。

補足

ドラムカートリッジは、約 30,000 ページ印刷すると交換時期になります。これ以降も印刷を続けると、印刷画質など本機の性能に影響が出ることがあります。新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

プリント設定

プリント設定メニューは、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定するためのメニューです。

参照

自動トレイ選択について詳しくは、「5.3.7　自動トレイ選択について」(P.125) を参照してください。

用紙の置き換え

自動トレイ選択によって選択された用紙サイズがセットされている用紙トレイがない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えて印刷をするかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。候補値は、以下のとおりです。
【シナイ】（初期値）
置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。
【オオキイサイズヲ センタク】
選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。
【チカイサイズヲ センタク】
選択されている用紙サイズに最も近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。
【テザシトレイ カラ キュウシ】
手差しトレイにセットされている用紙に印刷します。

補足

コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。

トレイの用紙種類

用紙トレイにセットする用紙の種類を設定します。初期値はすべての用紙トレイで【フツウシ】です。ユーザー 1 ～ 5 には、「用紙名称設定」で指定した名称が表示されます。

■トレイ 1 ～ 4

普通紙、再生紙、上質紙、厚紙 1、厚紙 1（A)、厚紙 1（B)、厚紙 1（C)、厚紙 1（S)、厚紙 F、厚紙 F（A)、厚紙 F（B)、厚紙 F（C)、厚紙 F（S)、厚紙 2、厚紙 2（A)、厚紙 2（B)、厚紙 2（C)、厚紙 2（D)、厚紙 2（S)、OHP フィルム、コート紙 1、コート紙 F、コート紙 2、ラベル紙、うす紙、ユーザー 1 ～ 5 から選択します。

補足

- 厚紙 F は、フィニッシャーに排出できる厚紙の用紙種類です。
- コート紙は、用紙トレイ 5（手差し）にセットすることをお勧めします。
- (A)、(B)、(C)、(D)、(S) は、画質の処理方法を表します。画質の処理については、次ページの「用紙の画質処理」の説明を参照してください。

■トレイ 5（テザシ）

普通紙、再生紙、上質紙、厚紙 1、厚紙 1 うら、厚紙 2、厚紙 2 うら、OHP フィルム、コート紙 1、コート紙 1 うら、コート紙 2、コート紙 2 うら、ラベル紙、うす紙、ユーザー 1 ～ 5 から選択します。

用紙の優先順位

自動トレイ選択によって選択される用紙トレイにセットされている用紙の種類の優先順位を設定します。ユーザー 1 ～ 5 には、【用紙名称設定】で指定した名称が表示されます。

■普通紙、再生紙、上質紙、厚紙 F、厚紙 F（A)、厚紙 F（B)、厚紙 F（C)、厚紙 F（S)、コート紙 F、ユーザー 1 ～ 5

それぞれの用紙種類について、優先順位を【セッテイシナイ】、【1 ～ 14 バンメ】から選択します。異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択される用紙トレイは、【トレイの優先順位】によって決定します。【セッテイシナイ】に設定すると、その用紙種類が設定されている用紙トレイは、自動トレイ選択の対象となりません。初期値は普通紙【1 バンメ】、再生紙【2 バンメ】、上質紙【3 バンメ】、それ以外は【セッテイシナイ】です。

補足

- 厚紙 F は、フィニッシャーに排出できる厚紙の用紙種類です。
- (A)、(B)、(C)、(D)、(S) は、画質の処理方法を表します。画質の処理については、次ページの「用紙の画質処理」の説明を参照してください。

トレイの優先順位

用紙トレイ 1 ～ 4 について、自動トレイ選択によって選択される用紙トレイの優先順位を設定します。用紙トレイ 5（手差し）は、自動トレイ選択の対象外です。

■1 ～ 3 番め

【1 バンメ】～【3 バンメ】に任意のトレイを設定します。各優先順位に同じ用紙トレイは設定できません。【2 バンメ】が設定できる用紙トレイは、【1 バンメ】で設定した用紙トレイ以外で、【3 バンメ】が設定できる用紙トレイは、【1 バンメ】と【2 バンメ】で設定した用紙トレイ以外になります。残りの用紙トレイが優先順位 4 になります。初期値の優先順位は用紙トレイ 1 ～ 4 の順番です。

トレイの用紙サイズ

用紙トレイにセットする用紙のサイズを設定します。

補足

各用紙トレイにセットできる用紙サイズについては、「付録 A.1　製品の仕様」の「用紙サイズ」(P.273) を参照してください。

■トレイ 1 ～ 4

【ジドウ】（初期値）
定形サイズの用紙をセットする場合に選択します。

【テイケイガイ】
非定形サイズの用紙をセットする場合は、【テイケイガイ】を選択し、たて、よこのサイズを 1mm 単位で設定します。

用紙の画質処理

用紙に応じた画質処理の設定ができます。セットする用紙に合わせて、画質処理を設定してください。普通紙、再生紙、上質紙、厚紙 1、厚紙 F、厚紙 1 うら、厚紙 2、厚紙 2 うら、ユーザー 1 ～ 5 の用紙に対して、画質の処理方法が設定できます。ユーザー 1 ～ 5 は、普通紙が複数のトレイにセットされているときに、それぞれに異なった画質処理を設定したい場合に使用します。ユーザー1 ～ 5 には、[用紙名称設定] で指定した名称が表示されます。それぞれの用紙種類に、画質の処理方法を設定します。候補は、以下のとおりです。

補足

厚紙 F は、フィニッシャーに排出できる厚紙の用紙種類です。

■普通紙、再生紙、上質紙、ユーザー 1 ～ 5

A：（[上質紙] の初期値）
　J 紙（82g/m^2）など、カラー専用の上質紙に適した画質です。
B：（[普通紙] の初期値）
　一般的に使われているオフィス用紙（P 紙、C^2（シーツー）紙など）に適した画質です。
C：（[再生紙] の初期値）
　再生紙（C^{2}r（シーツーアール）紙、WR100 紙など）に適した画質です。
D：地合が悪い用紙 * で、印刷時に画質のムラが発生する場合に選択します。
E：[D] の画質処理に加えて、低線数で処理します。[D] で印刷しても、画質のムラが目立つときに選択します。ただし、この画質処理は、プリンタードライバーのプロパティで［印刷モード］を［高画質］にした場合と、［印刷モード］が［標準］、［画質調整モード］が［おすすめ］の場合で、［おすすめ画質タイプ］を［写真］、または［プレゼンテーション］を選択して印刷した場合にだけ有効です。
F：地合が悪く *、重さが 90g/m^2 の用紙で、印刷時に画質のムラが発生する場合に選択します。
G：[F] の画質処理に加えて、低線数で処理します。[F] で印刷しても、画質のムラが目立つときに選択します。ただし、この画質処理は、プリンタードライバーのプロパティで［印刷モード］を［高画質］にした場合と、［印刷モード］が［標準］、［画質調整モード］が［おすすめ］の場合で、［おすすめ画質タイプ］を［写真］、または［プレゼンテーション］を選択して印刷した場合にだけ有効です。
S：普通紙でも厚手の用紙に適した画質です。
* 地合が悪い用紙とは、光に透かして見たときに、表面の透過度にムラが目立つ用紙です。

■厚紙 1、厚紙 F（フィニッシャー）、厚紙 1 うら
A：（初期値）
厚紙 1（99 〜 169g/m^2）に適した画質です。
B：薬袋などに適した画質です。
C：ホワイトフィルムなどに適した画質です。
S：耐水シートなどに適した、特殊な設定の画質です。

■厚紙 2、厚紙 2 うら
A：（初期値）
厚紙 2（170 〜 220g/m^2）に適した画質です。
B：名刺用紙などに適した画質です。
C：厚紙 1（99 〜 169g/m^2）に適した画質です。
D：コート紙 1（99 〜 169g/m^2）に適した画質です。
S：フィルムラベルなどに適した、特殊な設定の画質です。

用紙名称設定

用紙の名称を 5 種類まで登録できます。

■ユーザー 1 〜 5
英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 〜 12 文字の間で設定します。

センタートレイのオフセット

オフセット排出機能を使う場合の用紙の排出方法を設定します。【セット ゴトニ ズラス】、【ジョブ ゴトニ ズラス】、【シナイ】から選択します。ここでの設定は、コンピューター側からオフセット排出の指定がないときに有効となります。初期値は【セット ゴトニ ズラス】です。

ID 印字機能

特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。
初期値は、【シナイ】です。

メモリー設定 ＊補足 (1)

メモリー設定メニューは、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量の変更などを行うためのメニューです。

注記
- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。メモリーの割り振りについて詳しくは、「1.5　メモリーの割り当てについて」(P.19) を参照してください。
- ポートを起動に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを停止に設定するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。ただし、パラレル、USB ポートは自動的に停止に設定されることはありません。

PS 使用メモリー

PostScript の使用メモリー容量を指定します。この項目は、PostScript® ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。
8.00 ～ 32.00MB の間で、0.25MB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は【16.0M】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

ART EX フォームメモリー

ART EX プリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。
32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は【128K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスクが装着されている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには【ハードディスク】と表示されます。

ART4 フォームメモリー

ART IV用フォームのメモリー容量を指定します。この項目は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は【128K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスクが装着されている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには【ハードディスク】と表示されます。

ART4 ユーザー定義メモリー

ART IVのユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。この項目は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は【32K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

HPGL オートレイアウトメモリー

HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。この項目は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。
64 ～ 5120KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は【64K】です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスクが装着されている場合は、オートレイアウト用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには【ハードディスク】と表示されます。

受信バッファ容量

インターフェイスごとに、受信バッファ（コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。LPD、SMB、IPP の場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。
受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなることがあります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

補足

- ポート状態が【テイシ】に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。
- コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらない場合があります。

候補値は、以下のとおりです。

■パラレルメモリー、NetWare メモリー、IPP メモリー、EtherTalk メモリー、USB メモリー、Port9100 メモリー

64 ～ 1024KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値はパラレルと USB メモリーは【64K】、そのほかは【256K】です。なお、256MB 以上のメモリーを装着している場合、【EtherTalk メモリー】の設定範囲は 1024 ～ 2048KB となり、初期値は【1024K】です。【EtherTalk メモリー】は、PostScript® ソフトウエアキットが装着されている場合に表示されます。

■LPD スプール、SMB スプール

【スプールシナイ】（初期値）
スプール処理は行われません。あるコンピューターからの LPD、SMB の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。
LPD、SMB 専用の受信バッファのメモリー容量を、64 ～ 1024KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は【256K】です。なお、256MB 以上のメモリーを装着している場合、【LPD メモリー】の設定範囲は 1024 ～ 2048KB となり、初期値は【1024K】です。
【ハードディスクスプール】
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。この項目は、内蔵増設ハードディスクが装着されている場合に表示されます。
【メモリースプール】
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。
この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.25 ～ 32.00MB の間で 0.25MB 単位に設定します。初期値は【1.00M】です。なお、設定したメモリー容量よりも大きい印刷データは、受信できません。このようなときは、【ハードディスクスプール】、または【スプールシナイ】を選択してください。

注記

Windows 2000 で、LPR バイトカウントを無効にしている場合、スプールメモリーで設定されている容量より大きな容量の文書を送信すると、ジョブの送信が繰り返されてしまいます。
この場合には、プリンタードライバープロパティの [ポート] タブを開いて、LPR バイトカウントを有効にするか、メモリースプールの容量を文書容量よりも大きい値に変更してください。

■IPP スプール

この項目は、内蔵増設ハードディスクが装着されている場合に表示されます。
【スプールシナイ】（初期値）
スプール処理は行われません。あるコンピューターからの IPP の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。
IPP 専用の受信バッファのメモリー容量を、64 ～ 1024KB の間で 32KB 単位に設定します。初期値は【256K】です。
【ハードディスクスプール】
スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。

画質補正

印刷画質の色階調がずれた場合に、簡易的に階調を補正できます。階調を補正することによって、本機の印刷画質を一定の品質に保つことができます。
階調補正には、解像度優先と階調優先の 2 種類があります。

参照
階調補正の操作手順については、「5.8 階調を補正する」(P.169) を参照してください。

初期化 / データ削除

NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ハードディスク、集計レポートの初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除できます。

補足
初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。初期値については、「7.4 共通メニュー一覧」(P.264) を参照してください。

NV メモリー初期化

NV メモリーを初期化します。NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことです。
NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

ハードディスク初期化

内蔵増設ハードディスクを初期化します。初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV（オプション）、HP-GL/2（オプション）の各フォーム、ART IVユーザー定義データ、SMB フォルダーです。セキュリティープリント文書、各ログは、消去されません。この項目は、内蔵増設ハードディスクが装着されている場合に表示されます。

集計レポート初期化

出力集計レポートの初期化を行います。初期化を行うと、集計値が 0 になります。

フォームの削除

登録されているフォームがない場合は、【フォームトウロク ハ アリマセン】と表示されます。

■ART EX フォーム削除
ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。

■ART4 フォーム削除
ART IV用フォームを削除します。この項目は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■201H フォーム削除
エミュレーションの 201H 用フォームを削除します。この項目は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

■ESC/P フォーム削除
エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。この項目は、ART IV / エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

セキュリティ文書削除

セキュリティープリントとして蓄積されている文書を削除します。文書がない場合は、【ブンショ ハ アリマセン】と表示されます。
この項目は、内蔵増設ハードディスクが装着されている場合に表示されます。

＊注記 (1) 【ジドウ】設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

(2) ・【ユウコウ】の設定時、プリントモード指定が【HexDump】に設定されている場合、PJL コマンドも【HexDump】で出力されます。

・PJL コマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。

＊補足 (1) 〈▼〉ボタンまたは〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉ボタンと〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

(2) ダンププリントの各列は、次の項目が印刷されます。

Count	**ジョブの先頭データからのバイト数が印刷されます。**
16 進数表記コード	**印刷データを 4 バイトごとに区切り、16 進表記形式で印刷されます。**
ASCII コード	**印刷データを JIS X0201 の 8 単位符号を使用して印刷されます。JIS X0201 で定義されていない文字は、「UD」と印刷されます。**

7.2.3　言葉切り替え

操作パネルの表示言語を、［日本語］、［English］から選択します。初期値は［日本語］です。

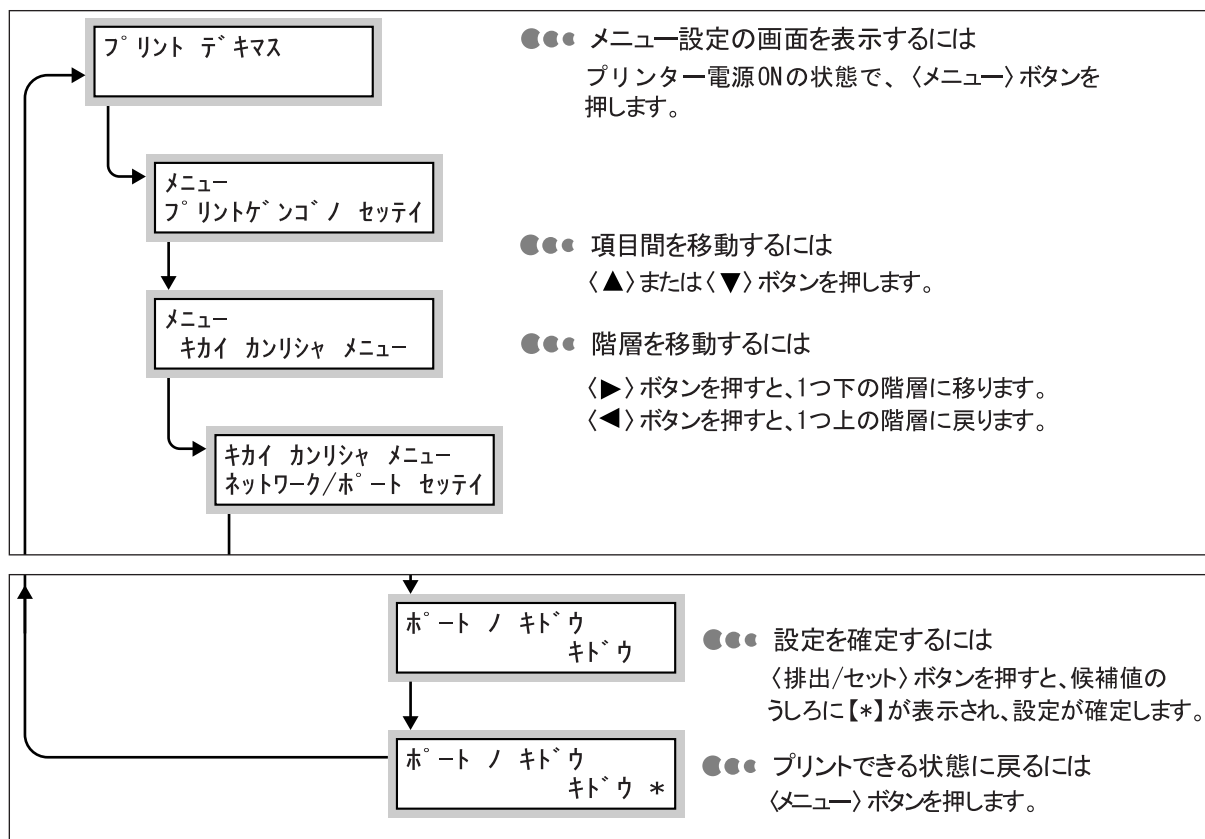
補足

- 【English】に設定した場合、プリンタードライバーや弊社ソフトウエアは英語版を使用してください。
  なお、英語版のプリンタードライバー、Contents Bridge Utility は、「2.3　最新プリンタードライバーの入手方法」(P.27) を参照して弊社のホームページからダウンロードしてください。
- この項目は、ART IV / エミュレーションキットﾞ（オプション）を取り付けている場合には表示されません。

7.3 共通メニューの基本操作

共通メニューの基本的な操作について説明します。

7.3.1 基本的な操作方法

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移りながらプリンターの設定をするときには、次のボタンを押します。

補足

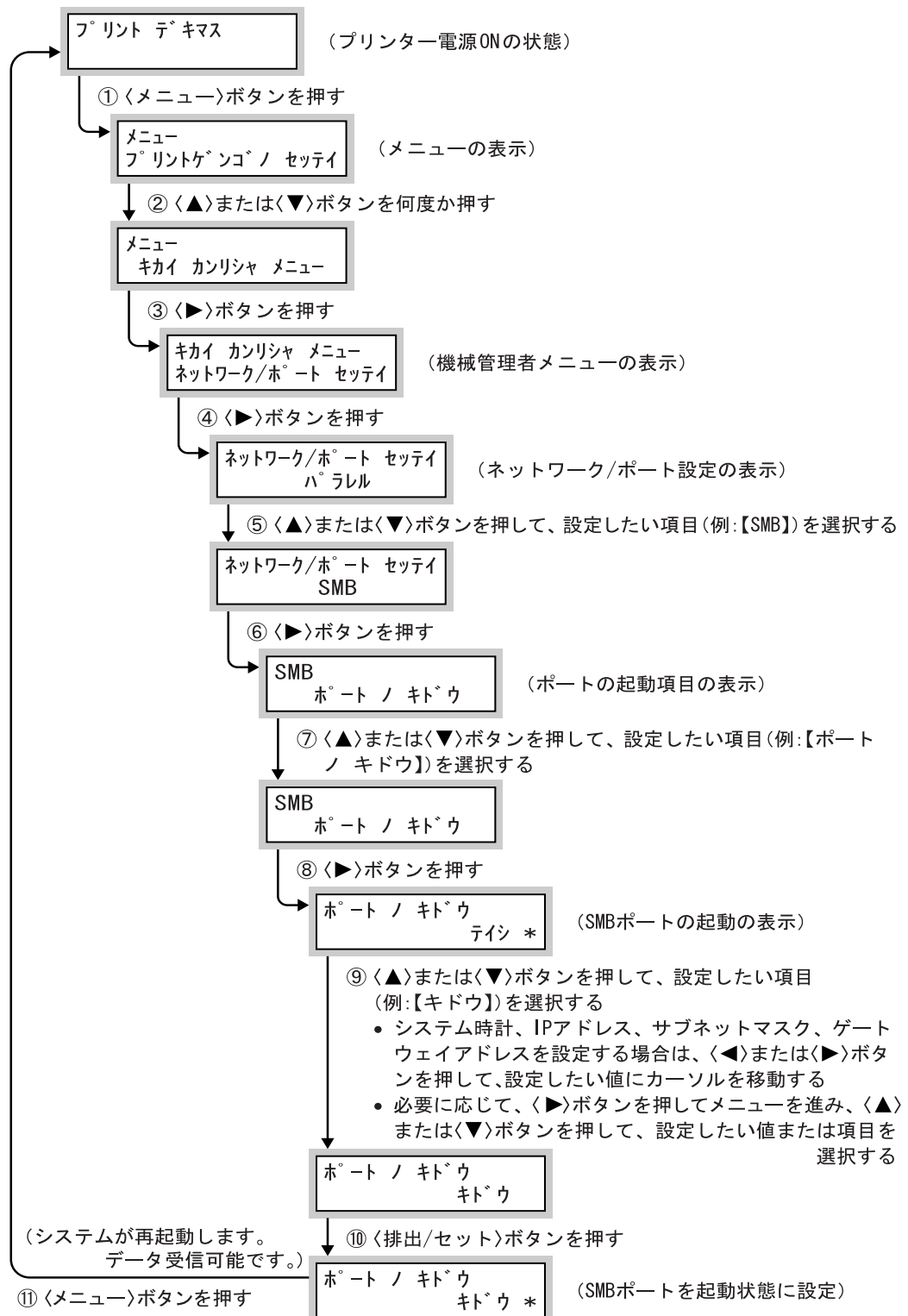
一度〈排出 / セット〉ボタンを押して確定した値（【*】が付きます）は、はじめから設定し直してください。

設定した値を、初期値に戻すには

初期値に戻したい項目を表示させて、〈▲〉〈▼〉ボタンを同時に押します。
変更処理が終了すると工場出荷時の値が表示されます。〈排出 / セット〉ボタンを押すと、値が確定されます。

7.3.2　共通メニューの設定を変更する

共通メニューの設定方法について、SMB ポートを「起動」に設定する場合を例に説明します。

共通メニューの設定 7

7.4 共通メニュー一覧

共通メニューの構成は、次のとおりです。

■凡例

▲ ▼ ◀ ▶	〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉ボタンを押します。	〈▲〉〈▼〉ボタンは、同階層内でメニューや項目を切り替えます。〈▲〉ボタンを押すと 1 つ前、〈▼〉ボタンを押すと 1 つあとのメニューや項目が表示されます。 〈◀〉〈▶〉ボタンは、メニューの階層を切り替えたり、設定値のカーソル (_) を左右に移動したりします。メニューで〈▶〉ボタンを押すと 1 つ下の階層に移り、〈◀〉ボタンを押すと 1 つ上の階層に戻ります。
セ	〈排出 / セット〉ボタンを押します。	1 つ下の階層に移ります。または、設定を確定します (設定した値には「*」が付きます)。
(網掛け枠)	オプション	オプションを取りつけた場合に表示されます。
(太枠)	初期値（太枠）	工場出荷時の設定値です。

補足

メニュー画面を終了するには、〈メニュー〉ボタンを押します。

次ページへ

前ページより

次ページへ

前ページより

次ページへ

前ページより

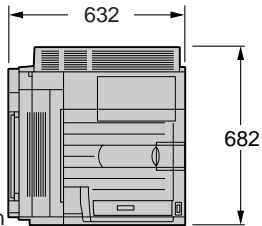
次ページへ

前ページより

次ページへ

前ページより

付　録

A 主な仕様

A.1 製品の仕様

本体

項　目	内　容
形式	デスクトップタイプ
プリント方式	レーザーゼログラフィー（マイクロタンデム）
ウオームアップタイム	40 秒以下（電源投入時、室温 20 ℃）
連続プリント速度 補足 OHP フィルム以外の用紙は、白黒、カラー共にプリント速度は同じです。	用紙トレイ 1 から給紙 普通紙： 片面 :35 枚 / 分（A4▯）、26 枚 / 分（A4▭）、 21 枚 / 分（B4）、17 枚 / 分（A3） 両面 :28 枚 / 分（A4▯）、16 枚 / 分（A4▭）、 14 枚 / 分（B4）、13 枚 / 分（A3） OHP フィルム :白黒： 16 枚 / 分（A4▯）、13 枚 / 分（A4▭）、 11 枚 / 分（A3） カラー :8.2 枚 / 分(A4▯)、6.6 枚 / 分(A4▭)、 5.5 枚 / 分（A3） 厚紙 1/ ラベル紙： 片面 :22 枚 / 分（A4▯）、16 枚 / 分（A4▭）、 13 枚 / 分（B4）、11 枚 / 分（A3） 両面 :18 枚 / 分（A4▯）、10 枚 / 分（A4▭）、 8.8 枚 / 分（B4）、8.2 枚 / 分（A3）
	用紙トレイ 5（手差し）から給紙 普通紙： 片面 :26 枚 / 分（A4▯）、21 枚 / 分（A4▭）、 17 枚 / 分（B4）、17 枚 / 分（A3） 両面 :26 枚 / 分（A4▯）、15 枚 / 分（A4▭）、 13 枚 / 分（B4）、13 枚 / 分（A3） OHP フィルム :白黒： 16 枚 / 分（A4▯）、13 枚 / 分（A4▭）、 11 枚 / 分（A3） カラー :8.2 枚 / 分(A4▯)、6.6 枚 / 分(A4▭)、 5.5 枚 / 分（A3） 厚紙 1/ ラベル紙 / コート紙 1： 片面 :16 枚 / 分（A4▯）、13 枚 / 分（A4▭）、 13 枚 / 分（B4）、11 枚 / 分（A3）、 9.4 枚 / 分（432.1 ～ 483.0㎜）、 5.5 枚 / 分（長尺（483.1 ～ 900㎜））、 4.1 枚 / 分（長尺 900.1 ～ 1200㎜） 両面 :16 枚 / 分（A4▯）、9.4 枚 / 分（A4▭）、 8.8 枚 / 分（B4）、8.2 枚 / 分（A3） 厚紙 2/ コート紙 2： 片面 :11 枚 / 分（A4▯）、8.2 枚 / 分（A4▭）、 6.6 枚 / 分（B4）、5.5 枚 / 分（A3）、 4.7 枚 / 分（432.1 ～ 483.0㎜） はがき（▭）：11 枚 / 分
解像度	出力解像度：1200dpi（47.2 ドット/㎜）*1、 600dpi（23.6 ドット/㎜）多値 *2 *1: 256MB メモリー（オプション）以上装着時 *2: 9,600dpi × 600dpi 相当以上

項　目	内　容
設置環境	温度：10 ～ 32 ℃ 湿度：15 ～ 85%（ただし結露がないこと） 温度が 32 ℃のときは湿度 47.5% 以下、湿度が 85% のときは温度 27.8 ℃以下でご使用ください。
用紙サイズ	用紙トレイ 1 ～ 4（標準トレイ、3 トレイキャビネットのトレイ 2 ～ 4、大容量給紙キャビネットのトレイ 2）： A5 ～ A3、または 11 × 17"
	用紙トレイ 3、4（大容量給紙キャビネットのトレイ 3、4）： A4、8.5 × 11"、B5
	用紙トレイ 5（手差し）： 官製はがき～ 12 × 18"、または 12.6 × 17" 非定形：短辺：100 ～ 305㎜、長辺：140 ～ 1200㎜
給紙容量 （用紙はすべて P 紙）	標準モデル： 用紙トレイ 1（560 枚）、用紙トレイ 5（手差し）（100 枚）
	標準＋ 1 トレイキャビネットモデル： 用紙トレイ 1、2（各 560 枚）、用紙トレイ 5（手差し）（100 枚）
	標準＋ 3 トレイキャビネットモデル： 用紙トレイ 1 ～ 4（各 560 枚）、用紙トレイ 5（手差し）（100 枚）
	標準＋大容量給紙キャビネットモデル： 用紙トレイ 1、2（各 560 枚）、用紙トレイ 3（大容量）（980 枚）、用紙トレイ 4（大容量）（1,280 枚）、用紙トレイ 5（手差し）（100 枚）
最大給紙容量	3,480 枚（560 ＋ 560 ＋ 980 ＋ 1,280 ＋ 100） ※標準＋大容量給紙キャビネットモデルの場合
排出トレイ容量	標準排出トレイ：　約 400 枚（A4） オフセット排出時、約 200 枚（A4） 補足 オフセット排出機能を使用できる用紙サイズは以下のとおりです。 幅：305.0mm（12 インチ）以下 長さ：482.6mm（19 インチ）以下
	オプション： サイドトレイ：　約 400 枚（A4） フィニッシャー：約 1,000 枚（A4、8.5 × 11" 以下のサイズ） 約 500 枚（A4、8.5 × 11" 以上のサイズ） （用紙質量：64 ～ 128g/m²） 補足 小さいサイズの上に大きいサイズの用紙が積載された場合は、300 枚まで収容できます。
両面印刷	あり（両面印刷機能ありの場合）

項　目	内　　容
ホチキス	あり（フィニッシャー（オプション）装着機の場合）
	ホチキス可能枚数：　　2 ～ 50 枚（P 紙） ホチキス可能用紙質量：90g/m²
	ホチキス可能用紙サイズ： A4□、A4、B5□、B4、A3、一六開□、八開□、8 × 10"、8.5 × 11"□、8.5 × 11"、8.5 × 13"、8.5 × 14"、11 × 17"
メモリー容量	標準： 64MB（両面印刷機能なしの場合） 256MB（両面印刷機能ありの場合）
	オプション： 増設メモリー（256MB/512MB）
搭載フォント	標準： アウトラインフォント（平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5、欧文 15 書体） オプション（PostScript 専用）： ・日本語 2 書体（平成 2 書体）、欧文 136 書体 ・日本語 2 書体（モリサワ 2 書体）、欧文 136 書体
PDL	標準：ART EX
	オプション：PostScript3、ART IV
エミュレーション	PC-PR201H、ESC/P、HP-GL、HP-GL/2
インターフェイス	標準： Ethernet（100Base-TX/10Base-T） 双方向パラレル（IEEE1284-B） USB1.1 USB2.0（オプション）
対応プロトコル	セントロ： Compatible.Nibble、ECP
	Ethernet： ネットワークプロトコル TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、UDP/IP ネットワークサービス LPD、SMB、NetWare、EtherTalk（PostScript ソフトウエアキット（オプション）装着時）、SNMP、HTML/HTTP、DHCP、WinsClient、DNS、IPP、Port9100
ドライバー対応 OS	Windows® 95/Windows® 98/Windows® Me/Windows NT® 4.0/Windows® 2000/Windows® XP
動作音	フルカラーモード稼動時：7.0B、53dB(A) 白黒モード稼動時：6.9B、52dB(A) 待機時：4.6B、29dB(A) 注記 IS09296 に基づく 単位 B：音響パワーレベル 単位 dB(A)：放射音圧レベル（バイスタンダ位置）
電源	100V・15A、50/60Hz 共用
消費電力	最大：1353W 以下、稼動時平均：1033W 以下 節電モード時：8.5W 以下 （電源を切った状態でも、本機は微少の電力を消費しています。完全に電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。）

項　目	内　　容
大きさ	標準モデル： 幅 632 ×奥行 682 ×高さ 493㎜
	標準＋ 1 トレイキャビネットモデル： 幅 632 ×奥行 682 ×高さ 857㎜
	標準＋ 3 トレイキャビネットモデル： 幅 632 ×奥行 682 ×高さ 857㎜
	標準＋大容量給紙キャビネットモデル： 幅 632 ×奥行 682 ×高さ 857㎜
	標準＋フィニッシャー： 幅 632 ×奥行 682 ×高さ 1070㎜
機械占有寸法	標準モデル： 幅 632 ×奥行 682㎜ （用紙トレイ 5（手差し）含まず） 632 682 単位：mm
質量 （トナーカートリッジ、用紙、オプションを除く）	標準モデル：85kg 以下
	標準＋ 1 トレイキャビネットモデル：110kg
	標準＋ 3 トレイキャビネットモデル：115kg
	標準＋大容量給紙キャビネットモデル：125kg
	標準＋フィニッシャー：120kg

付　録

A.2 印刷できる領域

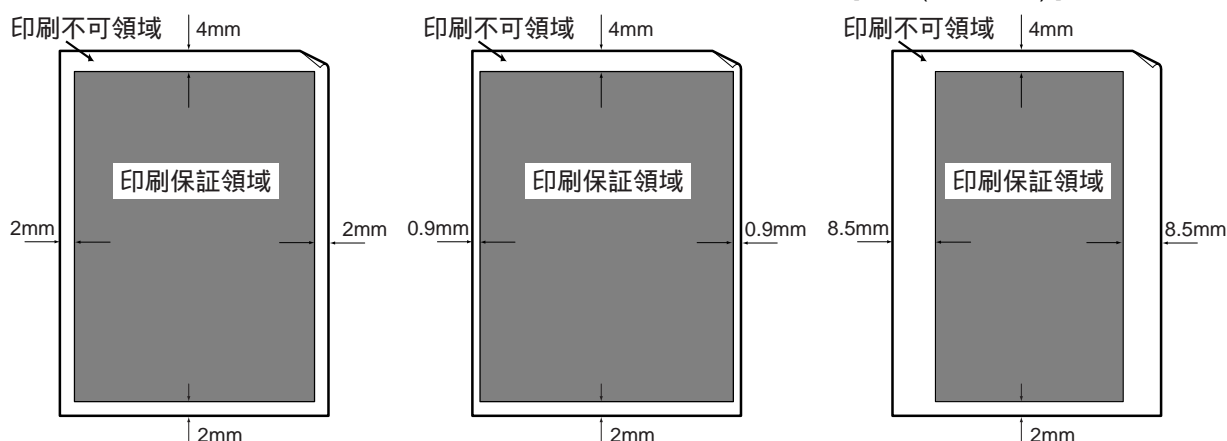
標準印字エリア

印刷できる領域は、標準で、用紙の上下左右の端から4.1㎜を除いた領域です(SRA3(320㎜幅)の場合は、左右8.5㎜を除いた領域)。なお、実際の印字領域は、各プリンター（プロッター）制御言語によって異なることがあります。

拡張印字エリア

プリント領域を拡張する設定にすると、最大で 302 × 1194㎜ の範囲に印字が可能です。また、用紙サイズによって、印字不可領域は異なります。

補足

プリント領域を拡張するには、プリンタードライバーの［用紙］タブの［プリント領域 / 余白］、または操作パネルの［プリント可能領域］で設定を変更します。

A.3 内蔵フォント

標準で以下のフォントを使用できます。

参照

オプションの PostScript フォントについては、『PostScript® ソフトウエアキット取扱説明書』を参照してください。

ストロークフォント（HP-GL/2 専用）

- **欧文＋カタカナストロークフォント**
- **日本語ストロークフォント**

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript では使用できません。

	名称	ART EX	ART IV	ESC/P, 201H	HP-GL, HP-GL/2	PDF Bridge
和文	平成明朝体™ W3	●	●	●	●	●
	平成角ゴシック体™ W5	●	●	●	●	●
	平成明朝体™ W3P					●
	平成角ゴシック体™ W5P					●
	ストロークフォント				●	
欧文	ストロークフォント				●	
	CS Times Roman		●			
	CS Times Bold		●			
	CS Times Bold Italic		●			
	CS Times Italic		●			
	CS Courier Medium		●			
	CS Courier Bold		●			
	CS Courier Bold Oblique		●			
	CS Courier Oblique		●			
	CS Triumvirate		●			
	CS Triumvirate Bold		●			
	CS Triumvirate Bold Italic		●			
	CS Triumvirate Italic		●			
	CS Symbol		●			
	ITC Zapf Dingbats					●
	Arial	●				●
	Arial Bold	●				●
	Arial Italic	●				●
	Arial Bild Italic	●				●
	Courier	●				●
	Courier Bold	●				●
	Courier Italic	●				●
	Courier Bold Italic	●				●

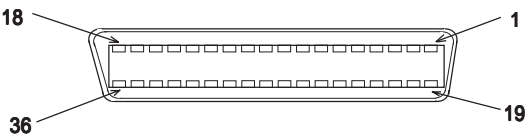
	名称	ART EX	ART IV	ESC/P, 201H	HP-GL, HP-GL/2	PDF Bridge
欧文	Times New Roman	●				●
	Times New Roman Bold	●				●
	Times New Roman Italic	●				●
	Times New Roman Bold Italic	●				●
	Century	●				
	Symbol	●				●
	Wingdings	●				
	GoldSAMM					●
	GoldSEMM					●
	OCRB		●	●		

●：標準装備

A.4 パラレルインターフェイス

本機に標準で装備されているパラレルインターフェイス（セントロニクス準拠インターフェイス /IEEE1284 規格準拠）について説明します。

コネクターの形状

プリンターには、IEEE1284-B タイプのコネクターが装備されています。コネクターの形状は、次のようになっています。

ピン配置

双方向が OFF のとき、各信号のピン配置は、次のようになっています。

Pin No.	Signal Name	I/O	Pin No.	Signal Name	I/O
1	nStrobe	I	19	Signal Ground	―
2	Data1	I	20	Signal Ground	―
3	Data2	I	21	Signal Ground	―
4	Data3	I	22	Signal Ground	―
5	Data4	I	23	Signal Ground	―
6	Data5	I	24	Signal Ground	―
7	Data6	I	25	Signal Ground	―
8	Data7	I	26	Signal Ground	―
9	Data8	I	27	Signal Ground	―
10	nAck	O	28	Signal Ground	―
11	Busy	O	29	Signal Ground	―
12	PError	O	30	Signal Ground	―
13	Select	O	31	nInit	I
14	nAutoFd	I	32	nFault	O
15	(RESERVED)	―	33	(RESERVED)	―
16	Logic GND	―	34	(RESERVED)	―
17	Chassis Gnd	―	35	(RESERVED)	―
18	Peripheral Logic High	O	36	nSelectIn	I

補足

- I/O はプリンターから見て I が入力信号、O が出力信号、―は信号でないことを表しています。
- 双方向が ON のときの結線は、IEEE1284-B タイプコネクターの規格に準拠しています。

付録

信号の意味

双方向がOFFのとき

- **nStrobe(Pin No.1)**
  Data1～8を読み込むための同期信号、LOWアクティブのパルスが必要です。
- **Data1～8(Pin No.2～9)**
  8 bits パラレルのData入力でData1がLSB（最下位bit ）、Data8がMSB（最上位bit ）です。
- **nAck(Pin No.10)**
  受信DATAの取り込み完了を表すLOWアクティブのパルス信号です。
- **Busy(Pin No.11)**
  プリンターがDATA受信不可能であることを表すHIGHアクティブの信号です。
- **PError(Pin No.12)**
  用紙がなくなったことを表すHIGHアクティブの信号です。
- **Select(Pin No.13)**
  データ受信可能であることを表すHIGHアクティブの信号です。
- **nAutoFd(Pin No.14)**
  双方向がONのときのための信号です。
- **Chassic Gnd(Pin No.17)**
  フレームグランドに接続されます。
- **Peripheral Logic High(Pin No.18)**
  プリンター側の+5V電圧です。
- **Signal Ground(Pin No.19～30)**
  各信号用グランドに接続されます。
- **nInit(Pin No.31)**
  プリンターの初期化を要求するLOWアクティブのパルス信号です。
- **nFault(Pin No.32)**
  プリンターに紙づまりなどの障害が発生したことを表すLOWアクティブの信号です。
- **nSelectIn(Pin No.36)**
  双方向がONのときのための信号です。

双方向がONのとき

各信号線はIEEE 1284の規格に準拠しています。

オプション製品一覧

主なオプション製品は以下のとおりです。お買い求めの際は、販売店までご連絡ください。

商品名	商品コード	備考
内蔵増設ハードディスク	EC100239	256MB 以上のメモリーが必要です。
増設メモリー（256MB）	EC100235	-
増設メモリー（512MB）	EC100236	-
1 トレイキャビネット	EC100232	-
3 トレイキャビネット	EC100233	-
大容量給紙キャビネット	EC100234	-
サイドトレイトランスポートキット（両面機能なし機用）	EC100176	-
サイドトレイ（両面機能付き機用）	EC100177	-
ライトステープルフィニッシャー	EC100238	内蔵増設ハードディスク、および 256MB 以上のメモリーが必要です。
オフセット出力キット	EC100196	-
コンテンツブリッジ拡張キット	EC100247	PDF ダイレクトプリント時には、256MB 以上のメモリーを推奨します。
USB2.0 キット	EC100287	-
パラレルインターフェイスケーブル （PC98 用 36Pin） （PC-98 MATE 用 36Pin） （IBM PC/AT 用 25Pin）	 VD14 YH57 VD15	-
長尺用紙セットガイド	EC100292	長尺サイズの用紙に印刷するには、256MB 以上のメモリーが必要です。
PostScript® ソフトウエアキット 平成 2 書体 モリサワ 2 書体	 EC100240 EC100241	256MB 以上のメモリーが必要です。 PostScript® ソフトウエアキットを装着すると、本機を PostScript 対応プリンターとして利用でき、Macintosh からも印刷できるようになります。 また、HP-GL/2エミュレーションを使用して印刷できます。
ART Ⅳ / エミュレーションキット	EC100242	256MB 以上のメモリーが必要です。 ART Ⅳ / エミュレーションキットを装着すると、ART Ⅳ や、201H、ESC/P、HP-GL/2 で印刷できます。各エミュレーションで印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。 エミュレーションモード　エミュレートするプリンター • 201H エミュレーションモード……PC-PR201H2 • ESC/P エミュレーションモード……VP-1000 • HP-GL エミュレーションモード……HP DesignJet 750C Plus または HP7586B • HP-GL/2 エミュレーションモード…HP DesignJet 750C Plus 補足 PostScript ソフトウエアキットと ART Ⅳ / エミュレーションキットは、同時に装着できません。

補足

- 商品の種類や商品コードは 2003 年 4 月現在のものです。
- 商品の種類や商品コードは変更されることがあります。
- 最新の情報については、弊社のプリンターサポートデスク、または販売店にお問い合わせください。

メディアプリント機能を使用する場合

メディアプリントをする場合は、メモリーカードリーダーが必要です。推奨品を用意していますので、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にお問い合わせください。

BMLinkS について

PostScript ソフトウエアキット、または ART IV / エミュレーションキットを装着すると、BMLinkS プリントサービスが使用できます。
使用する場合は、本機の【BMLinkS】ポートを【キドウ】にし、プリンタードライバーとマニュアルを以下のアドレスからダウンロードしてください。

http://www.jbmia.or.jp/bmlinks/

参照
ポートの起動については、「7.2.2 機械管理者メニュー」(P.241) を参照してください。

補足
BMLinkS プリントサービスを使用するには、オプションの内蔵ハードディスクが必要です。

C 注意 / 制限事項について

C.1 本体の注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

内蔵増設ハードディスク（オプション）について

- 内蔵増設ハードディスクを正しく動作させるためには、256MB 以上のメモリーが必要です。
- 内蔵増設ハードディスクを装着している場合、本機の使用中に停電などで電源が切られると、ハードディスク内のデータが壊れることがあります。
- 内蔵増設ハードディスクを装着した場合、lpd、SMB、IPP からの印刷データの格納先として、ハードディスクが指定できます。また、ART EX、ART IV（オプション）、HP-GL/2（オプション）それぞれのフォームの格納先は、ハードディスク固定になります。ほかの領域には変更できません。
- ハードディスクの初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV（オプション）、HP-GL/2（オプション）の各フォーム、ART IVユーザー定義データ、SMB フォルダーです。セキュリティープリント文書、各ログは、消去されません。

印刷結果が設定と異なるとき

プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果になることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。

- 両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
- ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）

オプションについて

- セキュリティー / サンプルプリント、ページ印刷モードを使用する場合は、オプションの内蔵増設ハードディスクと 256MB 以上のメモリーが必要です。
- 本機で、長尺サイズ（長さ：483.1 ～ 1200mm）の用紙に印刷する場合は、256MB 以上のメモリーが必要です。
- 本機をPostScript 対応プリンターとして使用する場合は、オプションの PostScript® ソフトウエアキットと 256MB 以上のメモリーが必要です。
- ART IV / エミュレーションキットを装着する場合は、256MB 以上のメモリーが必要です。
- ART IV対応、および、201H、ESC/P、HP-GL/2 をエミュレートする場合は、オプションの ART IV / エミュレーションキットが必要です。

補足

- PostScript ソフトウエアキットと ART IV / エミュレーションキットは、同時に装着できません。
- HP-GL/2 エミュレーション機能は、PostScript ソフトウエアキットを装着しても使用できます。

付録

両面プリントでのメーターのカウントについて

両面プリントで出力する場合、お客様が利用されるアプリケーションによっては、部数を指定する際の条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

両面印刷機能を使用できる用紙について

両面印刷機能を使用できる用紙は、64 ～ 169g/m² です。ただし、129g/m² 以上の用紙を使用して両面印刷を行うと、うら面の印字位置がずれることがあります。129g/m² 以上の用紙の両面に印刷する場合は、用紙トレイ 5（手差し）を使用して手動で用紙の両面に印刷することをお勧めします。

C.2 SMB

SMB での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本機側の設定について

- IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ポート状態を「起動」に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に「停止」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを「停止」にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量【SMB スプール】のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量【SMB スプール】のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定について

- IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているコンピューターで、ネットワーク（IP アドレスなど）の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

付録

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

【SMB スプール】の設定が【メモリースプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

【SMB スプール】の設定が【ハードディスクスプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

【SMB スプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

【SMB スプール】の設定が【ハードディスクスプール】、または【メモリースプール】のとき

印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足
印刷データが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターがハングアップしたように見えます。対処として、コンピューター側でその印刷データの送信を中止してください。

【SMB スプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

あるコンピューターから印刷要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからの印刷要求を受け付けることができません。

コンピューターのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合

コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合、本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、電源を切 / 入してください。

参照
本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止 / 強制排出は、操作パネルから操作できます。操作方法は、「3.3　印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.40)「3.4　印刷データを強制的に排出させる」(P.43) を参照してください。

付録

本機がオフライン状態のとき

本機がオフライン状態のときに、コンピューターから印刷を指示すると、本機ではデータ受信がされないで、コンピューター側には書き込みエラー発生のエラーダイアログボックスが表示されます。

ジョブの削除

Windows NT 4.0の場合、Service Pack 4以上をインストールしていないと、ジョブを削除できません。データ受信中にジョブを削除すると、書き込みエラーが表示されます。この場合、エラーダイアログボックスに表示される［再試行］は無効です。

C.3　TCP/IP（lpd）

TCP/IP（lpd）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本機側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目の設定をしてください。
- ポート状態を「起動」に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に「停止」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを「停止」にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、メモリーを増設してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量【LPD スプール】のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量【LPD スプール】のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定について

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているコンピューターで、ネットワーク（IP アドレスなど）の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

【LPD スプール】の設定が【メモリースプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

【LPD スプール】の設定が【ハードディスクスプール】のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

【LPD スプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

【LPD スプール】の設定が【ハードディスクスプール】、または【メモリースプール】のとき

印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足
印刷データが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターがハングアップしたように見えます。対処として、コンピューター側でその印刷データの送信を中止してください。

【LPD スプール】の設定が【スプールシナイ】のとき

あるコンピューターから印刷要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからの印刷要求を受け付けることができません。

コンピューターのIPアドレスやコンピューター名を変更した場合

コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合、本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、本機の電源を切 / 入してください。

補足
本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止 / 強制排出は、操作パネルから操作できます。操作方法は、「3.3　印刷を中止する / 印刷を指示したジョブの状態を確認する」(P.40)、「3.4　印刷データを強制的に排出させる」(P.43) を参照してください。

付録

D 用語集

【10BASE-T】
IEEE802.3の規格の中で、10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルのことです。

【100BASE-TX】
10BASE-Tの拡張版で、FastEthernet(ファーストイーサネット)とも呼ばれるものの1つです。通信速度が100Mbpsで、10BASE-Tの10Mbpsから大幅に高速になっています。

【A3】
420×297ミリメートルの用紙のことです。

【A4】
297×210ミリメートルの用紙のことです。

【A5】
210×148ミリメートルの用紙のことです。

【ART】
Advanced Rendering Toolの略で、弊社がページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。

【ART EX】
弊社製のページ記述言語です。

【B4】
364×257ミリメートルの用紙のことです。

【B5】
257×182ミリメートルの用紙のことです。

【CD-ROM】
コンパクトディスク(CD)にコンピューター用ソフトウエアや画像などのデータを記録したものです。

【CMYK】
カラー印刷などでの色の表現方法です。
C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)、K(ブラック)の4色に分解し、その4種類の色を重ね合わせて印刷します。

【DHCP】
Dynamic Host Configuration Protocolの略で、DHCPサーバーからDHCPクライアントにIPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】
Domain Name Systemの略で、インターネットでホスト名からIPアドレスを入手するための名前解決サービスです。

【dpi】
Dot Per Inchの略で、1インチ(約25.4mm)幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使用します。

【EtherTalk】
Macintosh専用のネットワークソフトウエア「AppleTalk」の通信プロトコルの一つです。

【HTTP】
インターネット上でWWWサーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【ICM】
Image Color Matchingの略で、Windows® 98/Windows® Me/Windows® 2000/Windows® XPで採用されている色管理用ソフトウエアです。デバイスによる色の違いを補正し、画面とプリンターによる印刷結果の色を一致させます。

【Image Enhancement(イメージエンハンスメント)】
白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

【IPP】
HTTPを使用して印刷するためのプロトコルです。

【IPアドレス】
TCP/IPプロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた4つの数値(10進数)で表します。

付録

【Java】
米国サン・マイクロシステムズ社がインターネットのホームページ上などで機能するソフトウエアのために開発したプログラム言語の 1 つです。Java 言語で開発されたアプリケーションをアプレットと呼びます。

【NetWare】
Novell 社が開発したネットワーク OS です。

【NetWare ファイルサーバー】
NetWare でネットワークを構築する場合に必要な専用のサーバーのことです。このサーバー上では、サーバーソフトウエアを、クライアントコンピューターではクライアント用ソフトウエアを組み込んで実行します。

【N アップ】
複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する機能です。本プリンターでは、2、4、8、16 アップ印刷ができます。

【OS】
コンピューターのハードウエアとソフトウエアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウエアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウエアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】
このマニュアルでは、米国 Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウエアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示したり、印刷したりするには、Adobe Acrobat Reader というソフトウエアをコンピューターにインストールする必要があります。

【Port9100】
Windows 2000、Windows XP 上でデータを送信できる、ネットワーク通信方法です。標準 TCP/IP ポートモニター上で使用できます。

【SMB】
Windows ネットワーク（Microsoft ネットワーク）上でデータを送信できるネットワーク通信方法で、Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows NT 4.0/Windows 2000/Windows XP 上で使用できます。

【SNMP】
ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。
管理する側には SNMP マネージャーというソフトウエアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウエアを組み込んで実行します。

【TCP/IP】
DARPANET(Defense Advanced Research Project Agency NetWork)で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【USB】
Universal Serial Bus の略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の 1 つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、コンピューターと周辺機器を簡単に接続できます。

【Web 画面】
このマニュアルでは、WWW ブラウザーを使用して情報を表示する画面のことを、「Web 画面」と呼びます。

【WINS】
Windows Internet Name Services の略で、TCP/IP 環境でコンピューター名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【WWW】
World Wide Web の略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【アドレス】
ネットワーク上のノード（ 各コンピューターや端末など ）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウエア】
コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウエアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウエアが販売されています。

【アンインストール】
コンピューターに組み込んだソフトウエアを削除することをいいます。

【印刷キュー（ プリントキュー ）】
特定のプリンターに印刷するために、コンピューターから印刷データを一時的に格納しておく場所のことです。

【印字領域】
用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【インストーラー】
ソフトウエアをコンピューターにインストールするための専用ソフトウエアのことです。

【インストール】
ソフトウエアやハードウエアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタードライバーなどのソフトウエアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ネットワーク拡張カードをプリンターに組み込むことをいいます。
このマニュアルでは、主にコンピューターにソフトウエアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

【インターフェイス】
互いに異なるシステム（ 系 ）が接触する部分を指します。コンピューターとプリンターの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。
インターフェイスの仕様、特に電気的仕様のことを単にインターフェイスということもあります。

【インターフェイスケーブル】
複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。
プリンターとパーソナルコンピューターを直接接続するパラレルケーブルや USB ケーブル、プリンターをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【エミュレーション】
他社のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【オンラインヘルプ】
コンピューターの画面に表示される説明書です。

【解像度】
画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といいます。

【階調】
色と色のなめらかさをいいます。グラデーションのステップ数で階調数を表し、その数値が大きいほどなめらかになります。

【カット紙】
A4、B5 などの定型サイズの用紙のことです。

【共通メニュー】
メーター確認、クイックセットアップ、レポート / リスト、システム設定、ネットワーク / ポート設定、メモリー設定、初期化 / データ削除、プリント設定、階調補正から構成され、すべてのプリントモードに共通の設定をするためのメニューです。

【グラデーション】
写真やイラストなどに見られる、連続した色の濃さの変化をいいます。

【クリック】
マウスボタンを 1 回、押して離すことです。このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。
また、マウスのボタンをすばやく 2 回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】
ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。
逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【受信バッファ】
バッファとはコンピューターから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリー容量を増やすことによって、コンピューターの解放を早くすることができます。

【初期値】
工場出荷時、および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】
コンピューターが行う一連の処理を指します。たとえば、1 つのファイルを印刷する処理が 1 件の印刷ジョブになります。印刷の中止や排出は、このジョブ単位で行われます。

【スクリーン】
プリンターなどで、印刷物の濃さを表すための点を網点といい、印刷するときの網点の列、または線の数をスクリーン線数といいます。スクリーン線数によって、表現できる階調が変化します。

【双方向通信】
2 つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、コンピューターから印刷データを送るだけでなく、プリンターからコンピューターに印刷状況などの情報を送ることができます。

【ソート】
複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1、2、3...1、2、3... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウエア】
コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウエアもソフトウエアの一種です。

【ドライブ】
ディスクを駆動する装置のことです。フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ、ハードディスクドライブなどがあります。

【ネットワークパス】
ネットワーク上の目的のコンピューターやファイルまでの経路のことです。
サーバー名を指定する場合などに使用します。

【ネットワークプリンター】
このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンターを「ネットワークプリンター」と呼びます。

【パラレルインターフェイス】
コンピューターと周辺機器との間のデータ伝送方式の 1 つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものにセントロニクスがあり、プリンターなどの周辺機器との接続に使用します。

【フォント】
書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の 1 セットを指します。

【ブラウザー】
インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウエアです。代表的なものには、Netscape Communicator や Internet Explorer などがあります。

【プラグアンドプレイ】
Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP で採用された、周辺機器をコンピューターに取り付けるだけで自動的に動作環境が設定され、すぐに周辺機器を使用できるようにする機能です。

【プリンタードライバー】
アプリケーションで作成したデータをプリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウエアです。

【プリントページバッファ】
印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

【フルカラー】
コンピューターの画面に表示できる最大の色数で、約 1,677 万色です。

【プロトコル】
複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウエア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2 つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】
コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】
1m2 の用紙 1 枚の質量です。

【モードメニュー】
ESC/P エミュレーションモード、HP-GL/2 エミュレーションモードで構成され、エミュレーションモードごとにその処理に固有な条件を設定するためのメニューです。

【リーガル】
14 × 8.5 インチ (約 356 × 216㎜) の用紙のことです。主にアメリカ合衆国で契約書など法的文書で使用されています。

【レター】
11 × 8.5 インチ (約 279 × 216㎜) の用紙のことです。主にアメリカ合衆国で社外内の文書に使用されています。

【ローカルプリンター】
このマニュアルでは、パラレルケーブルまたは USB ケーブルでコンピューターと直接接続したプリンターを「ローカルプリンター」と呼びます。

【ログイン】
コンピューターシステムの資源 (ネットワーク上のハードディスクやプリンターなど) にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

付録

Q&A

ここでは、よくある質問とその解決方法について説明します。
本機をご使用される場合に、参考にしてください。

プリンターの設定状況を確認したい

機能設定リストを見ると、現在のプリンターの設定状況が確認できます。

参照

機能設定リストについては、「5.5　レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照してください。

どんな印刷機能があるか知りたい

本機専用の ART EX プリンタードライバーでは、まとめて 1 枚、両面機能、拡大連写、小冊子作成などの印刷機能が使用できます。

参照

各機能については、本機に同梱されている CD-ROM のマニュアルを参照してください。

用紙トレイの用紙サイズを変えたい

用紙トレイ 1 ～ 4 にセットされている用紙以外のサイズの用紙を一時的に使用する場合は、用紙トレイ 5（手差し）を使用すると便利です。
また、用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズを変えることもできます。

参照

用紙トレイ 5（手差し）への用紙セット方法や、用紙トレイ 1 ～ 4 の用紙サイズ変更については、「5.3　用紙をセットする」(P.109) を参照してください。

はがきや封筒や長尺サイズの用紙に印刷したい

本機では、用紙トレイ 5（手差し）を使用して、官製はがきや封筒（定型長 3 号封筒）や長尺サイズの用紙に印刷できます。

参照

印刷方法については、「4.4　はがき / 封筒に印刷する」(P.52)、「4.6　非定形用紙 / 長尺用紙に印刷する」(P.58) を参照してください。

白黒印刷したい

白黒原稿は、自動的に判断して白黒印刷されます。カラー原稿を白黒印刷したい場合は、プリンタードライバーのプロパティで [カラーモード] を [白黒] に設定します。

参照

カラーモードの設定については、「4.9　印刷モードを設定する」(P.74) を参照してください。

特殊用紙に印刷したい

厚紙、OHP フィルム、うす紙などの特殊用紙に印刷できます。

参照

印刷方法については、「4.3　特殊用紙に印刷する」(P.49) を参照してください。

原稿に合わせた画質で印刷したい

原稿の種類（写真、文字、プレゼンテーション、Web など）に合わせて印刷したり、細かいカラーに関しての設定ができます。

参照

原稿の種類に合わせて印刷する場合は、「4.9　印刷モードを設定する」(P.74) を、細かいカラーの印刷設定については「4.10　画質を調整して印刷する」(P.78) を参照してください。

複数のコンピューターにプリンタードライバーをインストールしたい

セットアップディスク作成ツールを使用すると、同じ設定（印刷機能や、ポート）のプリンタードライバーを複数の人にインストールする場合に、便利です。

参照

セットアップディスク作成ツールについては、本機に同梱されている CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

印刷指示したのに印刷されない

ジョブ履歴レポート、またはエラー履歴レポートを印刷して、印刷を指示した印刷ジョブを確認してください。

参照

ジョブ履歴レポート、エラー履歴レポートについては、「5.5　レポート / リストを印刷する」(P.141) を参照してください。

OS をバージョンアップして、本機を使用したい

プリンタードライバーは、各 OS 専用のものがあります。新しい OS に対応したプリンタードライバーをインストールし直してください。

参照

プリンタードライバーのインストール方法については、「第 2 章　プリンタードライバーのインストール」(P.23) を参照してください。

印刷指示した印刷ジョブが出力されたか確認したい

CD-ROM に入っている CentreWare EasyOperator のプリンターモニターを使用すると、お使いのコンピューター上で印刷指示した印刷ジョブの処理状態を確認できます。また、CentreWare Internet Services を使用すると、お使いのコンピューターから印刷ジョブの削除もできます。

参照

- CentreWare Internet Services については、「5.1 コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services)」(P.98) を参照してください。
- プリンターモニターについては、本機に同梱されているCD-ROM内のマニュアルを参照してください。

印刷枚数を確認したい

操作パネルのディスプレイで、印刷枚数を確認できます。また、プリンター出力集計レポートを印刷すると、コンピューター別（ジョブオーナー別）に印刷枚数を確認できます。

参照

印刷枚数の確認については、「5.6 総印刷枚数を確認する」(P.162) を参照してください。

印刷に時間がかかる

印刷指示してもなかなか出力されない場合（目安として 5 分程度）は、以下の方法をお試しください。印刷時間が短縮される場合があります。

- **[グラフィックス］タブの［詳細設定］で、[ページ印刷モード］をオンに設定する（イメージや文字の点数の多い複雑なファイルに有効です）**
- **[グラフィックス］タブの［詳細設定］で、[イメージ圧縮］を最適な方法に変更する**
- **[グラフィックス］タブの［詳細設定］で、[プリンタドライバの解像度］を低く設定する**

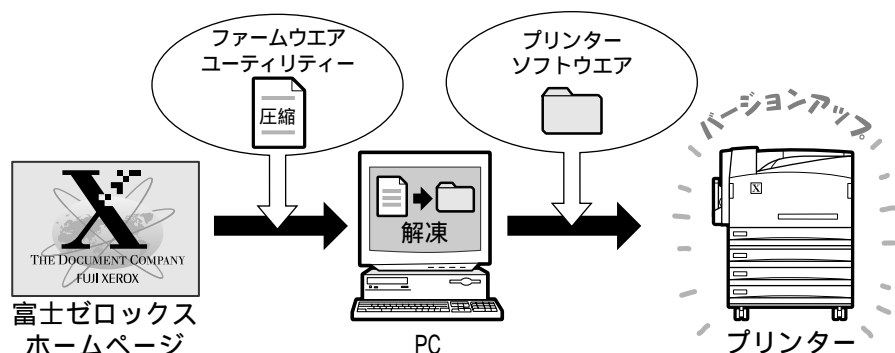
参照

- 印刷モードの設定の仕方については、「4.9 印刷モードを設定する」(P.74) を参照してください。
- ページ印刷モード、イメージ圧縮、プリンタドライバの解像度については、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

F　プリンター本体のソフトウエアのバージョンアップについて

弊社では、プリンター本体に組み込まれたソフトウエア（以下、「プリンターソフトウエア」と呼びます）を、パーソナルコンピューターからバージョンアップするツールを提供しています。
このツールを、ファームウエアユーティリティーと呼びます。
このファームウエアユーティリティーは、弊社のホームページから取り出すことができます。
DocuPrint C3530 では、このファームウエアユーティリティーを使用して、プリンターソフトウエアをバージョンアップすることができます。

ファームウエアユーティリティーを入手するホームページのアドレス（URL）

http://download.fujixerox.co.jp/

プリンターソフトウエアのバージョンアップの流れ

バージョンアップする操作の流れは、次のとおりです。詳細な手順は、ファームウエアユーティリティーに付属する Read Me ファイルを参照してください。

操作手順

1 弊社のホームページから、該当製品（DocuPrint C3530）のファームウエアユーティリティーをコンピューターにダウンロードします。

2 ファームウエアユーティリティーを解凍します。

3 ファームウエアユーティリティーを実行して、プリンターソフトウエアのバージョンアップをします。

G 消耗品と定期交換部品の寿命について

消耗品の寿命について

商品名	印刷可能ページ数
トナーカートリッジ (ブラック)	約 26,000 ページ
トナーカートリッジ (シアン)	約 15,000 ページ
トナーカートリッジ (イエロー)	約 15,000 ページ
トナーカートリッジ (マゼンタ)	約 15,000 ページ
ドラムカートリッジ	約 30,000 ページ
トナー回収ボトル	約 27,000 ページ

補足

- 印刷可能ページ数は、A4▯の用紙を使用し、5% 印字比率で印刷した場合の枚数です。
- 印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

定期交換部品の寿命について

商品名	交換寿命	備考
フューザーカートリッジ	約 100,000 枚	ー
セカンド BTR	約 100,000 枚	部品の寿命が過ぎると、本機は停止します。
IBT クリーナー	約 100,000 枚	ー
現像器キット（K 色）	約 480,000 枚	ー
現像器キット（Y 色）	約 480,000 枚	ー
現像器キット（M 色）	約 480,000 枚	ー
現像器キット（C 色）	約 480,000 枚	ー
用紙搬送ロールキット	約 300,000 枚	ー
IBT ベルト交換キット	約 480,000 枚	ー
手差し用紙送りロールキット	約 50,000 枚	手差しトレイを使用した場合の枚数です。
オフセット出力キット	約 480,000 枚	ー

補足

- 交換寿命の枚数は、A4▯の用紙を使用した場合の枚数です。
- 交換寿命は、印刷内容や用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。
- 定期交換部品は、弊社エンジニアが交換いたします。

補修用性能部品について

弊社は、消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 7 年間保有しています。

H 用紙サイズとメモリー容量について

プリンタードライバーの［印刷モード］の設定と印刷する用紙サイズによって、必要なメモリー容量は異なります。なお、必要なメモリー容量の数値は、本機の使用環境などによって異なります。下表のメモリー容量を、目安として印刷を指示してください。

補足

- プリンタードライバーの種類によって、必要なメモリー容量は異なります。
- 下表のメモリー容量は、本機が工場出荷時の設定であることを前提にした数値です。必要なメモリー容量は、プロトコルの起動状態や受信バッファサイズによって異なります。

AET EX プリンタードライバー

		メモリー容量 片面（単位：MB）	メモリー容量 両面（単位：MB）
印刷モード	用紙サイズ	出力可能	出力可能
標準	A5	64	256
	B5	64	256
	A4	64	256
	B4	64	256
	A3	64	256
	非定形	64	256
	長尺（305 × 1200）	256	ー
高画質	A5	64	256
	B5	64	256
	A4	64	256
	B4	256	256
	A3	256	256
	非定形	256	256
	長尺（305 × 1200）	256	ー
高精細	A5	64	256
	B5	64	256
	A4	64	256
	B4	256	256
	A3	256	256
	非定形	256	256
	長尺（305 × 1200）	256	ー

PostScript プリンタードライバー

		メモリー容量 片面（単位：MB）	メモリー容量 両面（単位：MB）
印刷 モード	用紙サイズ	出力可能	出力可能
高速	A5	256	256
	B5	256	256
	A4	256	256
	B4	256	256
	A3	256	256
	非定形	256	256
	長尺（305 × 1200）	256	―
高画質	A5	256	256
	B5	256	256
	A4	256	256
	B4	256	256
	A3	256	256
	非定形	256	256
	長尺（305 × 1200）	256	―
高精細	A5	256	256
	B5	256	256
	A4	256	256
	B4	256	256
	A3	256	256
	非定形	256	256
	長尺（305 × 1200）	256	―

索引

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ラ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

• マニュアルの名称	DocuPrint C3530 取扱説明書	• 管理番号	DE3016J1-3

• ご 芳 名		• 貴 社 名	
• 所属部門		• 電話番号	[内線]
• 所 在 地			

• ページ	• 行	• 内容へのご指摘 / ご要望

• 富士ゼロックス記入欄		
• 記事	• 受付 NO.	• 受付担当印

3 版

[折り込み線]

切り取り線

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

［ 送付先 ］

HID 開発部

マニュアルデザイン グループ (KSP)　行

担当社員

事業部　営業所　課　G

氏名

[折り込み線]

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守**、**操作**、**修理**のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、
および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時30分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint C3530 取扱説明書

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社

発行年月―2003年 3月 第1版
2003年 6月 第3版

(帳票 No:DE3016J1-3)
Printed in Japan

● 富士ゼロックス、および富士ゼロックスプリンティングシステムズに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-27-4100 フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時〜12時、13時〜17時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

● インターネットホームページで富士ゼロックスプリンティングシステムズの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

http://www.fxpsc.co.jp

この取扱説明書は、リサイクルに配慮して製本されています。不要となった際には回収、リサイクルに出しましょう。

この説明書は再生紙を使用しております。

2003年 6月 3版 部番： 892E85702 帳票番号：DE3016J1-3